

第4次浦添市男女共同参画行動計画策定業務

浦添市男女共同参画に関する 市民・事業者等の意識と実態調査報告書 (令和7年度)

浦添市 市民協働・男女共同参画課

令和8年3月

目 次

1. 多様な暮らしや働き方に関する調査結果（市民）	1
(1) 調査の実施概要.....	1
(2) 調査の結果概要.....	3
(3) 調査の結果詳細.....	6
1) 回答者の属性.....	6
2) 男女平等に関する意識について	13
3) 家庭生活について	16
4) 仕事について.....	25
5) ハラスメント/配偶者等からの暴力について	31
6) 性の多様性について	45
7) 男女共同参画社会について	51
8) 調査票	57
2. 職場環境に関する事業所意識調査結果	60
(1) 調査の実施概要.....	60
(2) 調査の結果概要.....	61
(3) 調査の結果詳細.....	63
1) 事業所の概要について	63
2) ワーク・ライフ・バランスについて	67
3) 育児休業・介護休業の状況について	69
4) ポジティブ・アクションについて	73
5) 事業所の男女共同参画への取組みについて	74
6) ハラスメントについて	79
7) 性の多様性について	82
8) 男女共同参画行政について	84
9) 調査票	85
3. 男女共同参画に関する中生意識調査結果	87
(1) 調査の実施概要.....	87
(2) 調査の結果概要.....	88
(3) 調査の結果詳細.....	90
1) 回答者の属性.....	90
2) 学校・生活面の平等観について	92
3) ジェンダーステレオタイプ（性別による偏見・固定観念）について	97
4) デートDV（交際相手からの暴力）について	108
5) ネットリテラシー（インターネットの危険性・正しい理解）について	112
6) 性の多様性について	116

7) 生理用品について	121
8) 調査票	122
4. 男女共同参画に関する高校生意識調査結果	125
(1) 調査の実施概要	125
(2) 調査の結果概要	126
(3) 調査の結果詳細	129
1) 回答者の属性	129
2) 学校・生活面の平等観について	131
3) ジェンダーステレオタイプ（性別による偏見・固定観念）について	136
4) デートDV（交際相手からの暴力）について	146
5) ネットリテラシー（インターネットの危険性・正しい理解）について	150
6) 性の多様性について	154
7) 生理用品について	159
8) 調査票	160
5. 男女共同参画に関する浦添市職員意識調査結果	163
(1) 調査の実施概要	163
(2) 調査の結果概要	164
(3) 調査の結果詳細	166
1) 回答者の属性について	166
2) 職場環境について	171
3) ワーク・ライフ・バランスについて	173
4) 昇進と能力について	175
5) 女性の管理職・審議会委員登用について	178
6) 育児休業について	182
7) ハラスメントについて	185
8) L G B T Qを含む性の多様性への理解について	189
9) 条例等の認知度について	193
10) 調査票	195

1. 多様な暮らしや働き方に関する調査結果（市民）

（1）調査の実施概要

1) 調査の目的

男女共同参画に関する市民の意識や実態を把握するとともに、令和8年度策定予定の「第4次浦添市男女共同参画行動計画」を検討するための基礎資料として活用することを目的に実施した。

2) 調査の実施方法・結果

対象者	20～69歳の浦添市民（71,690名）
サンプルサイズ	2,000件
抽出方法	住民基本台帳を基にした層化無作為抽出法
実施方法	郵送による配布・回収に加えてWEB回答を併用
調査期間	令和7年12月19日～令和8年1月13日
有効回収数・率	527件・26.4%

抽出対象	男性	女性	小計
20代	185 (9.3%)	191 (9.6%)	376 (18.8%)
30代	193 (9.7%)	195 (9.8%)	388 (19.4%)
40代	218 (10.9%)	221 (11.1%)	439 (22.0%)
50代	209 (10.5%)	234 (11.7%)	443 (22.2%)
60代	162 (8.1%)	192 (9.6%)	354 (17.7%)
計	967 (48.4%)	1,033 (51.7%)	2,000 (100%)

3) 結果の見方

- ・回答結果の割合は、回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しているため、単数回答であっても、合計値が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、割合を出している。そのため、複数回答の質問については、すべての選択肢の比率を合計すると、合計が100%を超える。
- ・表や図中で、選択肢の文章が長いものは省略して載せている場合がある。また、「n」は集計の対象者数（設問の限定条件に該当する人の数）を表している。
- ・標本調査を行っているため、調査結果には統計上の誤差（標本誤差）が生じることがある。母集団71,690人に対し、抽出調査の信頼度を95%（信頼度係数1.96）、許容誤差を±5%とした場合、統計学上の必要回答数は383件である。本調査の有効回収数は527件であ

り、本調査から得られた分析結果は、浦添市民全体の意見として推定するために十分な精度を得ている。

$$n = \frac{N}{\left(\frac{e}{Z}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

n：必要回答数 N：母集団 Z：信頼度係数 (1.96)
P：母比率 (当該選択肢を選択した者の割合) e：誤差率

- ・ 標本誤差は次の数式で求められる (信頼度を 95%とした場合)。

$$b = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

b：信頼度 95%の標本誤差 N：母集団 n：有効回答数
p：回答比率

- ・ 母集団と調査結果との間の標本誤差を下表に示す。本調査において回答数が 527 件となる設問は、標本誤差が最大で±4.25%となり、国が実施している調査設計で目安とされることが多い標本誤差±5%を下回っている。

■ 標本誤差早見表

n \ p	10% または 90%	20% または 80%	30% または 70%	40% または 60%	50%
527	±2.55	±3.40	±3.90	±4.17	±4.25
456	±2.74	±3.66	±4.19	±4.48	±4.57
250	±3.71	±4.95	±5.67	±6.06	±6.19
100	±5.88	±7.83	±8.98	±9.60	±9.79

※母集団 71,690 (令和7年8月末住民基本台帳世帯数)、信頼度 95% (係数 1.96) として算出。

- ・ なお、アンケートは人によって答える／答えない対応が異なるため、回収されたデータの性別・年代別構成比は、母集団の構成比と必ずしも一致しない。そこで、回収されたデータの構成比を母集団とほぼ同じにするため、重み付け※による補正集計を行った。このため、報告書内に記載する集計上の件数と、上記に記載の有効回収数 (527 件) とは異なる。また、端数処理の関係で件数と内訳の合計が一致しない場合がある。
※重み付けとは、性別・年代ごとの回収率を、母集団 (人口) における構成比に合わせるため、性別・年齢ごとに乗じる係数のこと。
- ・ また、本調査には標本誤差があり、50%の回答割合では±4.25である (母集団において 45.75%~54.25%の範囲にあると考えられる)。回答割合の差を評価する際には、差の大ききで判断するのではなく、z 検定やカイ二乗検定で有意差を確認したうえで、有意水準 5%以下の場合に「有意差がある (統計的に意味がある差)」として記載している。

(2) 調査の結果概要

※以降の値は、重み付けによる補正を行った結果である。

1) 回答者の属性

- ・回答者の性別をみると、「1. 男性」が47.3%、「2. 女性」が50.8%、「3. その他」が0.4%、「4. 答えたくない」が1.0%となっている。
- ・回答者の年齢をみると、「4. 50代」が22.5%と最も割合が高く、次いで「3. 40代」が21.7%、「2. 30代」が19.2%、「1. 20代」が19.0%、「5. 60代」が17.6%となっている。
- ・回答者の職業をみると、「2. 会社員・公務員（管理職以外）」が37.2%と最も割合が高い。
- ・回答者の婚姻状況をみると、「1. 結婚している」が59.9%と最も割合が高い。
- ・回答者の世帯構成をみると、「3. 2世代家族（子ども）」が42.2%と最も割合が高い。
- ・回答者の子どもの有無をみると、「1. 子どもはいない」が34.0%、「2. いる」が61.4%となっている。

2) 男女平等に関する意識について

- ・各分野における男女の地位をみると、「ウ 学校教育の場」に関しては「平等になっている」が47.3%と約5割を占めている。一方で、「オ 政治の場」「キ 社会通念・慣習・しきたりなど」「ク 社会全体でみた場合」においては、『男性優遇』（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）が約60～70%と高い傾向となっている。

3) 家庭生活について

- ・配偶者（またはパートナー）がいる回答者の家庭生活における役割をみると、「ク 家庭の問題の最終的な決定」に関しては、「夫と妻が同じ程度分担」が55.0%と5割以上を占めている。一方で、「イ 家事をする（掃除・洗濯・炊事）」は『妻の役割』（「主に妻が行い、夫が一部分担」＋「主に妻が行う」）のほうが+57ポイント高く、「ア 家計を支える」は『夫の役割』（「主に夫が行う」＋「主に夫が行い、妻が一部分担」）のほうが+47ポイント高くなっている。
- ・現在の家庭内の役割分担の満足度について、「2. やや満足している」が32.2%と最も割合が高い。
- ・結婚や家庭生活に関する考えについて、『賛成』（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）をみると、「ア 結婚は個人の自由であるから、結婚はしてもしなくてもどちらでもよい」が83.2%と最も割合が高い。一方、『反対』（「どちらかといえば反対」＋「反対」）をみると、「カ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」が73.1%と最も割合が高い。
- ・男性が家事等に積極的に参加するにあたって必要なことを尋ねたところ、「3. 夫婦や家族間で家事などの分担をするよう十分話し合うこと」が69.1%と最も割合が高い。

4) 仕事について

- ・職場における性差に対する考えをみると、すべての項目において「平等になっている」が最も高い割合となっており、特に「エ 教育や研修制度」については59.2%と約6割を占めている。
- ・一方で、「イ 賃金・昇進・昇格」については『男性優遇』（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）のほうが、『女性優遇』（「女性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）よりも42ポイント高くなっている。
- ・仕事と私生活の両立に必要なことについて、「1. フレックスタイム制やテレワーク、時短勤務など、多様な働き方を促進する制度の整備」が58.1%と最も割合が高い。
- ・キャリアアップへの考えを尋ねたところ、『キャリアアップしたい』（「1. キャリアアップしたい」＋「2. ややキャリアアップしたい」）が64.3%、『キャリアアップしたくない』（「3. あまりしたくない」＋「4. したくない」）が34.6%となっている。
- ・キャリアアップを「あまりしたくない」「したくない」と回答した理由をみると、「2. ストレスが増えそうだから」（67.4%）や「1. 責任が重くなりそうだから」（58.4%）といった精神的負担に関する理由が高い傾向となっている。

5) ハラスメント/配偶者等からの暴力について

- ・職場や学校、地域等におけるセクシュアル・ハラスメントについて、「受けたことがある」の内訳をみると、「カ 結婚、離婚、恋人、妊娠、子どもの有無等についてあれこれ言う」が19.4%と最も高い。
- ・暴力だと思う行動について、ほとんどの項目において「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が高い傾向となっている。その中でも、「オ 嫌がっているのに性的な行為を強要する」が89.4%と最も割合が高い。
- ・配偶者等や交際相手からの暴力について、暴力が『あった』（「1. 2度あった」＋「何度もあった」）項目をみると、「イ 人格を否定するような暴言を受けた」が18.2%と最も高い割合となっている。
- ・全回答者のうち21.9%（526人中115人）が、なんらかのDV被害を受けたことがあると回答している。配偶者等や交際相手からの暴力に関する相談先をみると、「10. どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」が42.6%最も割合が高く、次いで、「8. 友人知人に相談した」が28.3%となっている。
- ・配偶者等や交際相手からの暴力に関して相談しなかった理由をみると、「11. 相談するほどの事ではないと思ったから」が67.3%と約7割を占めている。
- ・DV等の相談窓口の配慮事項をみると、「7. 匿名で相談ができる」が66.4%と最も割合が高い。

6) 性の多様性について

- ・性の多様性に関する語句の認知度について、『知っていた』（「内容もよく知っていた」＋「内容を少し知っていた」）語句をみると、「ウ）カミングアウト」が75.2%と最も割合が高い。一方、「知らなかった」語句をみると、「オ）SOGI」が79.9%と最も割合が高い。
- ・身近な方から性的少数者であることを打ち明けられた場合について、「3. いままで通り接する」が39.9%と最も割合が高い。
- ・自分の性などに悩んだ経験をみると、「2. ない」が81.4%と最も割合が高くなっている。『ある』（「1. よくある」＋「2. たまにある」）と回答した人は全体の5.5%を占めている。
- ・性の多様性を尊重する取組として必要なものについては、「2. 幼少期からの教育」が52.4%と最も割合が高い。

7) 男女共同参画について

- ・男女共同参画に関する語句の認知状況について、「内容もよく知っていた」をみると「オ ワークライフバランス」が31.8%と最も割合が高い。一方、「知らなかった」割合が高い項目をみると「カ アンコンシャス・バイアス」が53.6%、「ア 浦添市男女共同参画行動計画」が51.6%となっている。
- ・自治体の首長等に女性の参画が少ない理由について、「1. 家庭生活との両立が難しい」が67.5%と最も割合が高い。
- ・男女共同参画社会の実現に向けて浦添市が今後特に力を入れていくべきにことについてみると、「6. 育児や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が64.0%と最も割合が高い。

(3) 調査の結果詳細

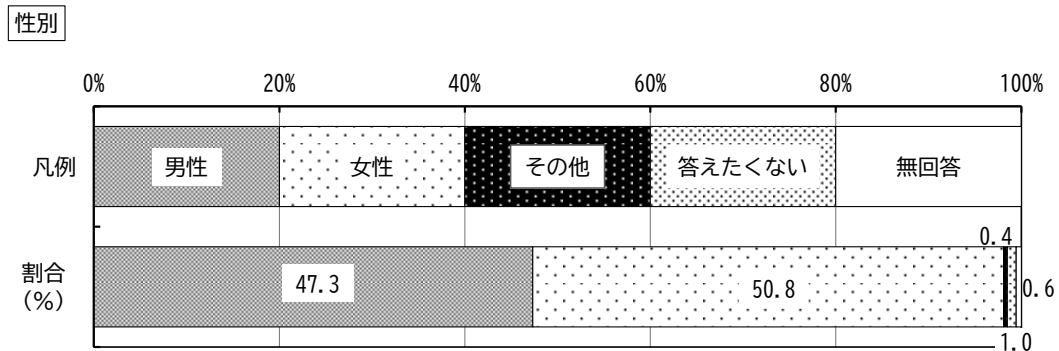
※以降の値は、重み付けによる補正を行った結果である。なお、前回の令和3年度調査結果に関しては重み付けによる補正を行っていない。

1) 回答者の属性

A あなたの性別をお答えください。あなたが自認する性でもけっこうです。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 答えたくない
-------	-------	--------	-----------

回答者の性別をみると、「1. 男性」が47.3%、「2. 女性」が50.8%、「3. その他」が0.4%、「4. 答えたくない」が1.0%となっている。

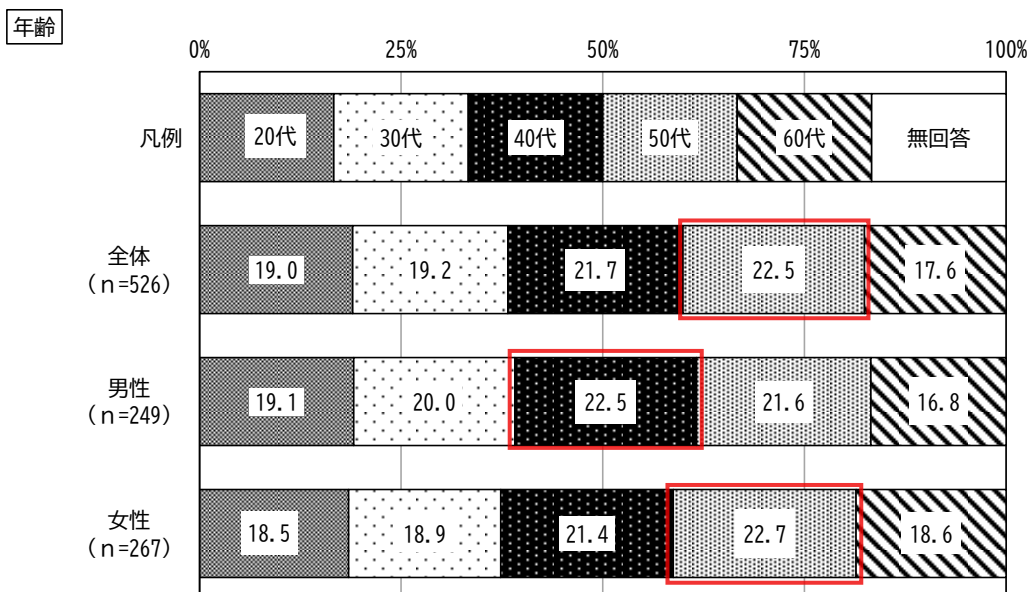


B あなたの年齢をお答えください。(○は1つ) ※2025年12月1日時点

1. 20代	2. 30代	3. 40代
4. 50代	5. 60代	6. 70代

回答者の年齢をみると、「4. 50代」が22.5%と最も割合が高く、次いで「3. 40代」が21.7%、「2. 30代」が19.2%、「1. 20代」が19.0%、「5. 60代」が17.6%となっている。

性別にみると、男性は「3. 40代」が22.5%と最も割合が高く、次いで「4. 50代」が21.6%となっている。女性は「4. 50代」が22.7%と最も割合が高く、次いで「3. 40代」が21.4%となっている。



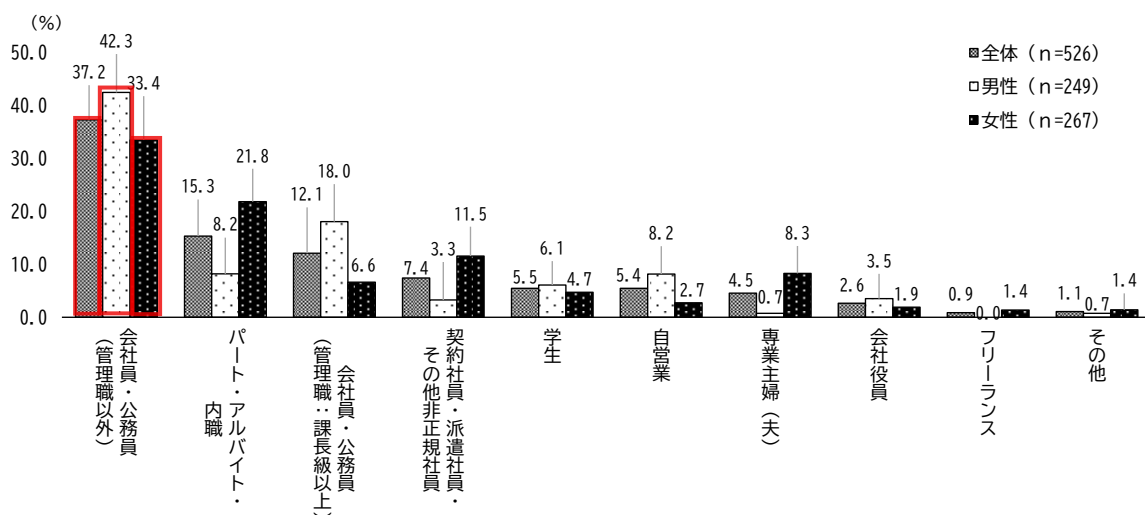
C あなたは現在働いていますか。あてはまる項目が複数ある方は、主なものを選んでください。
(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 会社員・公務員（管理職：課長級以上） | 2. 会社員・公務員（管理職以外） |
| 3. パート・アルバイト・内職 | 4. 契約社員・派遣社員・その他非正規社員 |
| 5. 会社役員 | 6. 自営業 |
| 7. フリーランス | 8. 専業主婦（夫） |
| 9. 学生 | 10. 無職 |
| 11. その他（ ） | |

回答者の職業をみると、「2. 会社員・公務員（管理職以外）」が37.2%と最も割合が高く、次いで「3. パート・アルバイト・内職」が15.3%、「1. 会社員・公務員（管理職：課長級以上）」が12.1%となっている。

性別にみると、男性は「2. 会社員・公務員（管理職以外）」が42.3%と最も割合が高く、次いで「1. 会社員・公務員（管理職：課長級以上）」が18.0%となっている。女性は「2. 会社員・公務員（管理職以外）」が33.4%と最も割合が高く、次いで「3. パート・アルバイト・内職」が21.8%となっている。

就業状況（単数回答）



【その他】保育士（2件）/児童福祉施設管理者/育休中/休業中/生活保護世帯

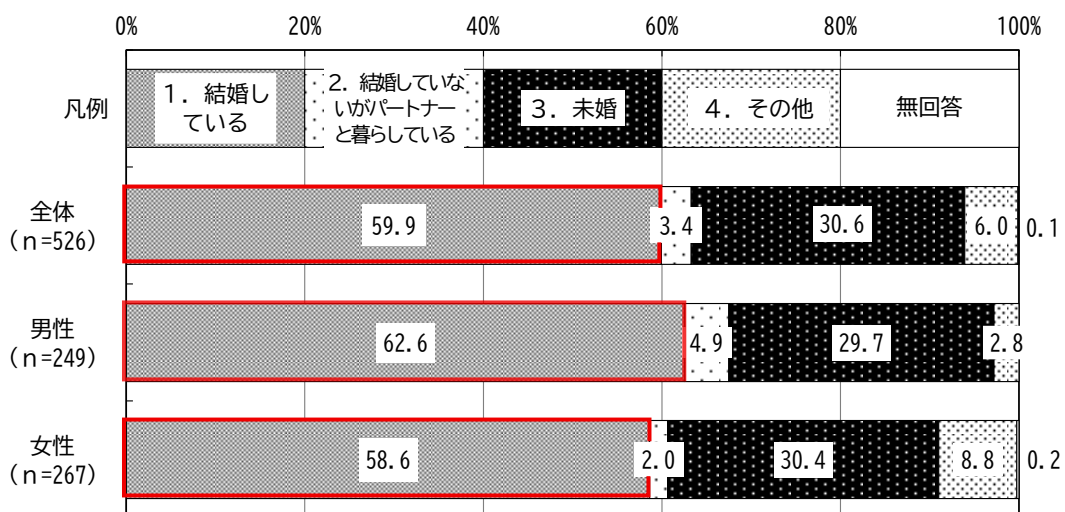
D あなたは、現在結婚していますか。(○は1つ)

1. 結婚している	2. 結婚していないがパートナーと暮らしている	⇒Eへ ⇒Fへ
3. 未婚	4. その他	

回答者の婚姻状況を見ると、「1. 結婚している」が 59.9%と最も割合が高く、次いで「3. 未婚」が 30.6%となっている。

性別にみると、男性は「1. 結婚している」が 62.6%と最も割合が高く、次いで「3. 未婚」が 29.7%となっている。女性は「1. 結婚している」が 58.6%と最も割合が高く、次いで「3. 未婚」が 30.4%となっている。

婚姻状況



【Dで「1. 結婚している」、「2. 結婚していないがパートナーと暮らしている」と回答した】

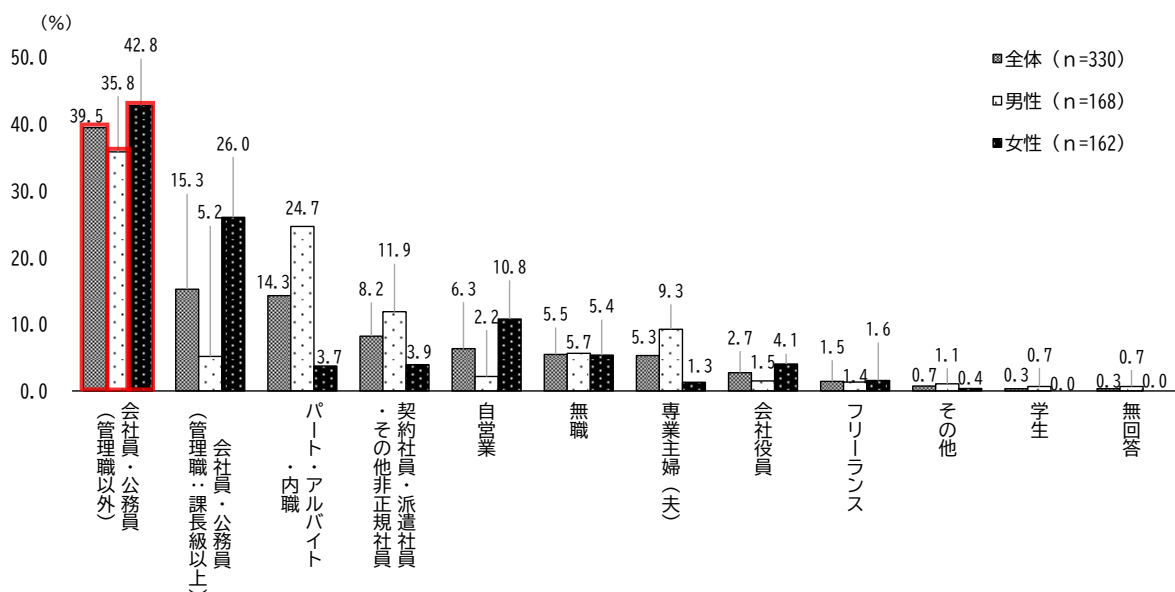
E 配偶者（またはパートナー）の職業をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 会社員・公務員（管理職：課長級以上） | 2. 会社員・公務員（管理職以外） |
| 3. パート・アルバイト・内職 | 4. 契約社員・派遣社員・その他非正規社員 |
| 5. 会社役員 | 6. 自営業 |
| 7. フリーランス | 8. 専業主婦（夫） |
| 9. 学生 | 10. 無職 |
| 11. その他（ ） | |

『「1. 結婚している」、「2. 結婚していないがパートナーと暮らしている』を選択した回答者の配偶者（またはパートナー）の職業をみると、「2. 会社員・公務員（管理職以外）」が 39.5%と最も割合が高く、次いで「1. 会社員・公務員（管理職：課長級以上）」が 15.3%、「3. パート・アルバイト・内職」が 14.3%となっている。

性別にみると、男性は「2. 会社員・公務員（管理職以外）」が 35.8%と最も割合が高く、次いで「3. パート・アルバイト・内職」が 24.7%となっている。女性は「2. 会社員・公務員（管理職以外）」が 42.8%と最も割合が高く、次いで「1. 会社員・公務員（管理職：課長級以上）」が 26.0%となっている。

配偶者（またはパートナー）の職業（単数回答）



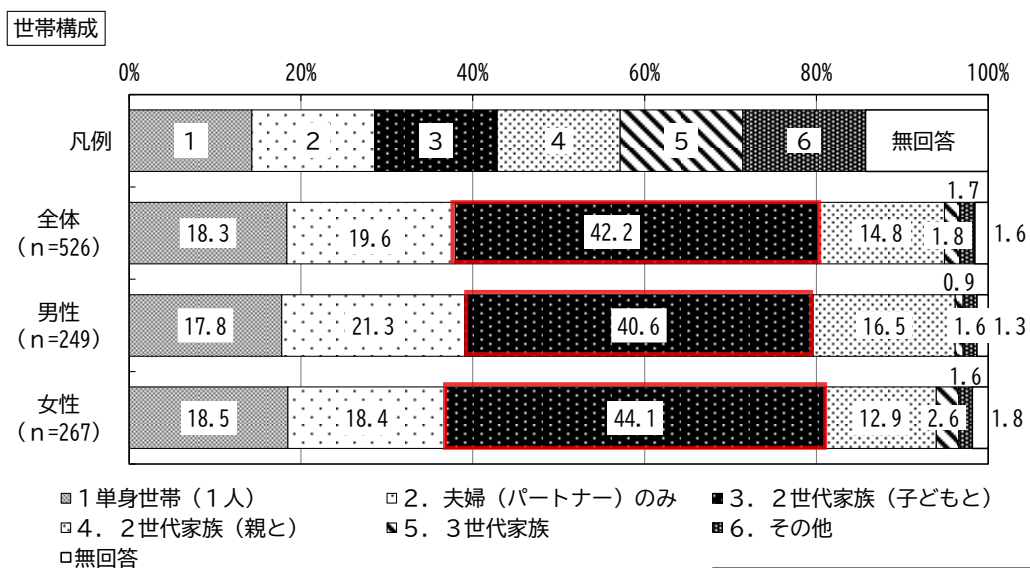
【その他】 B型事業所での作業/専従者従業員/大工

F あなたの世帯構成をお答えください。(〇は1つ)

1. 単身世帯 (1人)	2. 夫婦 (パートナー) のみ	3. 2世代家族 (子どもと)
4. 2世代家族 (親と)	5. 3世代家族	6. その他 ()

回答者の世帯構成をみると、「3. 2世代家族 (子どもと)」が42.2%と最も割合が高く、次いで「2. 夫婦 (パートナー) のみ」が19.6%、「1. 単身世帯 (1人)」が18.3%、「4. 2世代家族 (親と)」が14.8%となっている。

性別にみると、男性は「3. 2世代家族 (子どもと)」が40.6%と最も割合が高く、次いで「2. 夫婦 (パートナー) のみ」が21.3%となっている。女性は「3. 2世代家族 (子どもと)」が44.1%と最も割合が高く、次いで「1. 単身世帯 (1人)」が18.5%となっている。



【その他】兄弟・姉妹/義理の姉

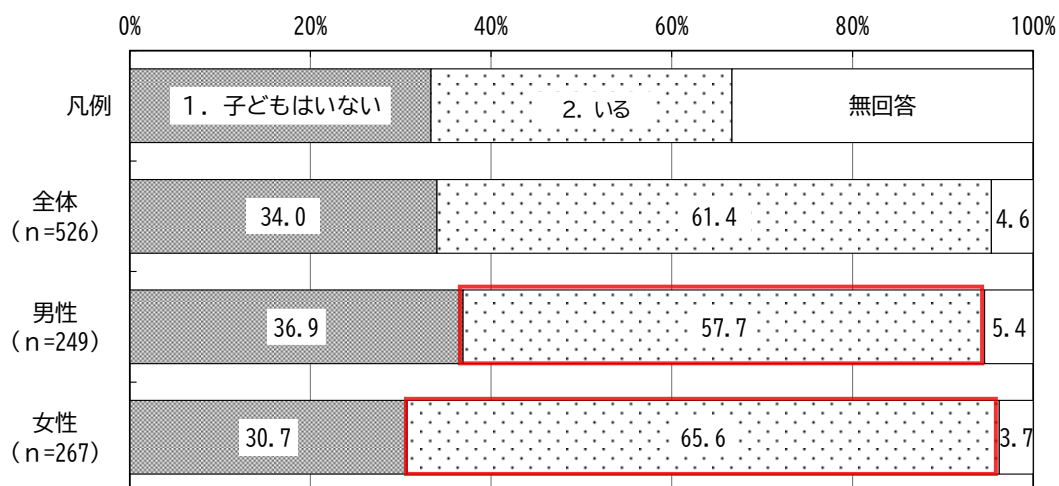
G お子さんはいらっしゃいますか (成人または別居している子どもも含みます)。(○は1つ)

1. 子どもはいない ⇒問1へ 2. いる (人) ⇒Hへ

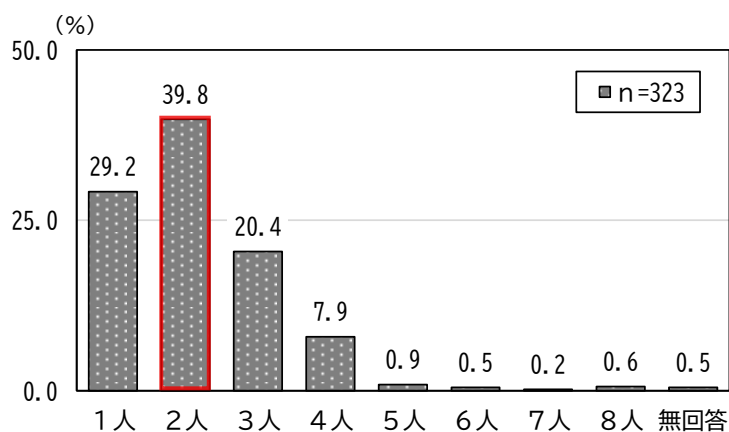
回答者の子どもの有無をみると、「1. 子どもはいない」が34.0%、「2. いる」が61.4%となっている。なお、子どもの数については、「2人」が39.8%と最も割合が高く、次いで「1人」が29.2%、「3人」が20.4%となっている。

性別にみると、男性は「2. いる」が57.7%と最も割合が高く、次いで「1. 子どもはいない」が36.9%となっている。女性も「2. いる」が65.6%と最も割合が高く、次いで「1. 子どもはいない」が30.7%となっている。

お子さんの有無



こどもの数 (n=323)



【Gで「2. いる」と回答した方】

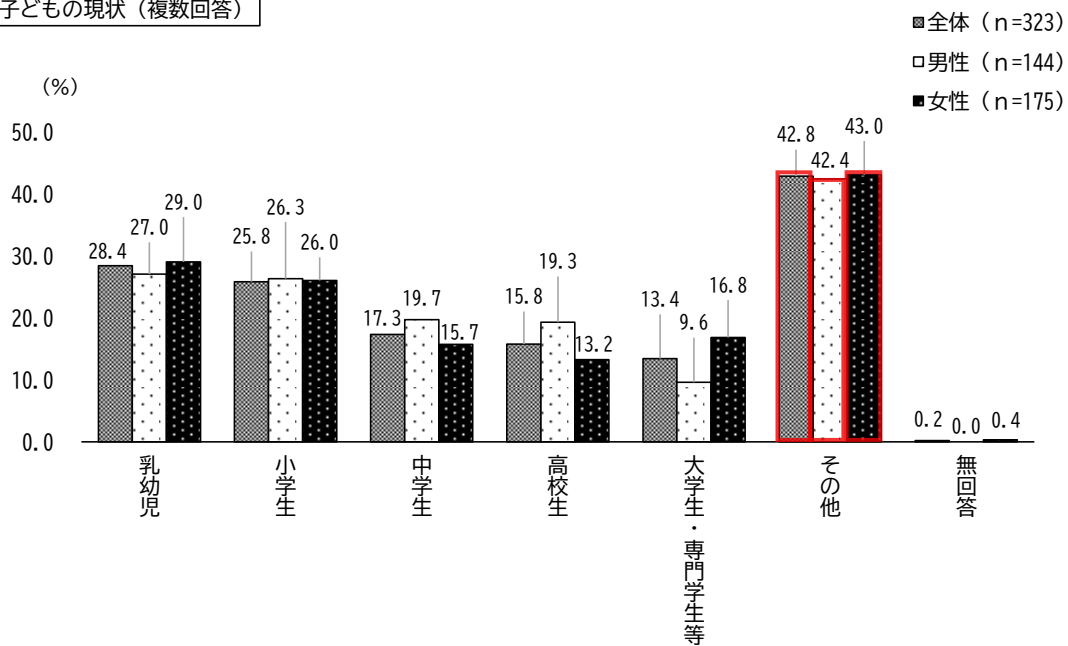
H お子さんはこの中ではどれにあたりますか。(〇はいくつでも)

1. 乳幼児	2. 小学生	3. 中学生
4. 高校生	5. 大学生・専門学生等	6. その他()

回答者の子どもの内訳をみると、「6. その他」(成人等)が42.8%となっており、次いで「1. 乳幼児」が28.4%、「2. 小学生」が25.8%となっている。

性別にみると、男性は「6. その他」(成人等)が42.4%と最も割合が高く、次いで「1. 乳幼児」が27.0%となっている。女性も「6. その他」(成人等)が43.0%と最も割合が高く、次いで「1. 乳幼児」が29.0%となっている。

子どもの現状(複数回答)



【その他】成人(46件)/社会人(29件)/浪人(2件)/障がい者(2件)

2) 男女平等に関する意識について

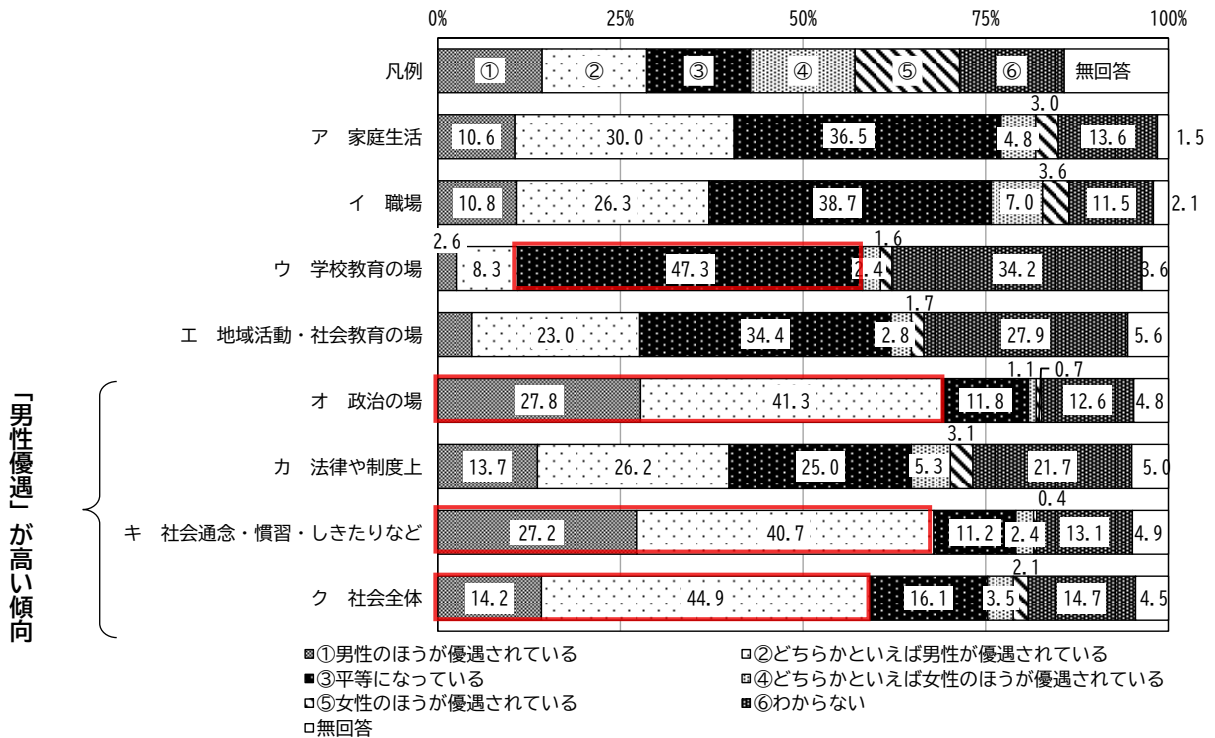
問1 あなたは、次にあげるア～クの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
あなたの考えに近い選択肢（番号）を選んでください。（○はそれぞれ1つ）

項目	選択肢	い優男 る遇性 さの れ方 てが	さのいど れ方え がばら か と 優男 遇性	て平 等 に な っ て	さのいど れ方え がばら か と 優女 遇性	い優女 る遇性 さの れ方 てが	わ か ら な い
ア 家庭生活		1	2	3	4	5	6
イ 職場		1	2	3	4	5	6
ウ 学校教育の場		1	2	3	4	5	6
エ 地域活動・社会活動の場		1	2	3	4	5	6
オ 政治の場		1	2	3	4	5	6
カ 法律や制度上での扱い		1	2	3	4	5	6
キ 社会通念・慣習・しきたりなど		1	2	3	4	5	6
ク 社会全体でみた場合		1	2	3	4	5	6

男女の地位をみると、「ア 家庭生活」「イ 職場」「ウ 学校教育の場」「エ 地域活動・社会活動の場」においては、「平等になっている」の割合が最も高い。特に「ウ 学校教育の場」に関しては47.3%と約5割を占めている。

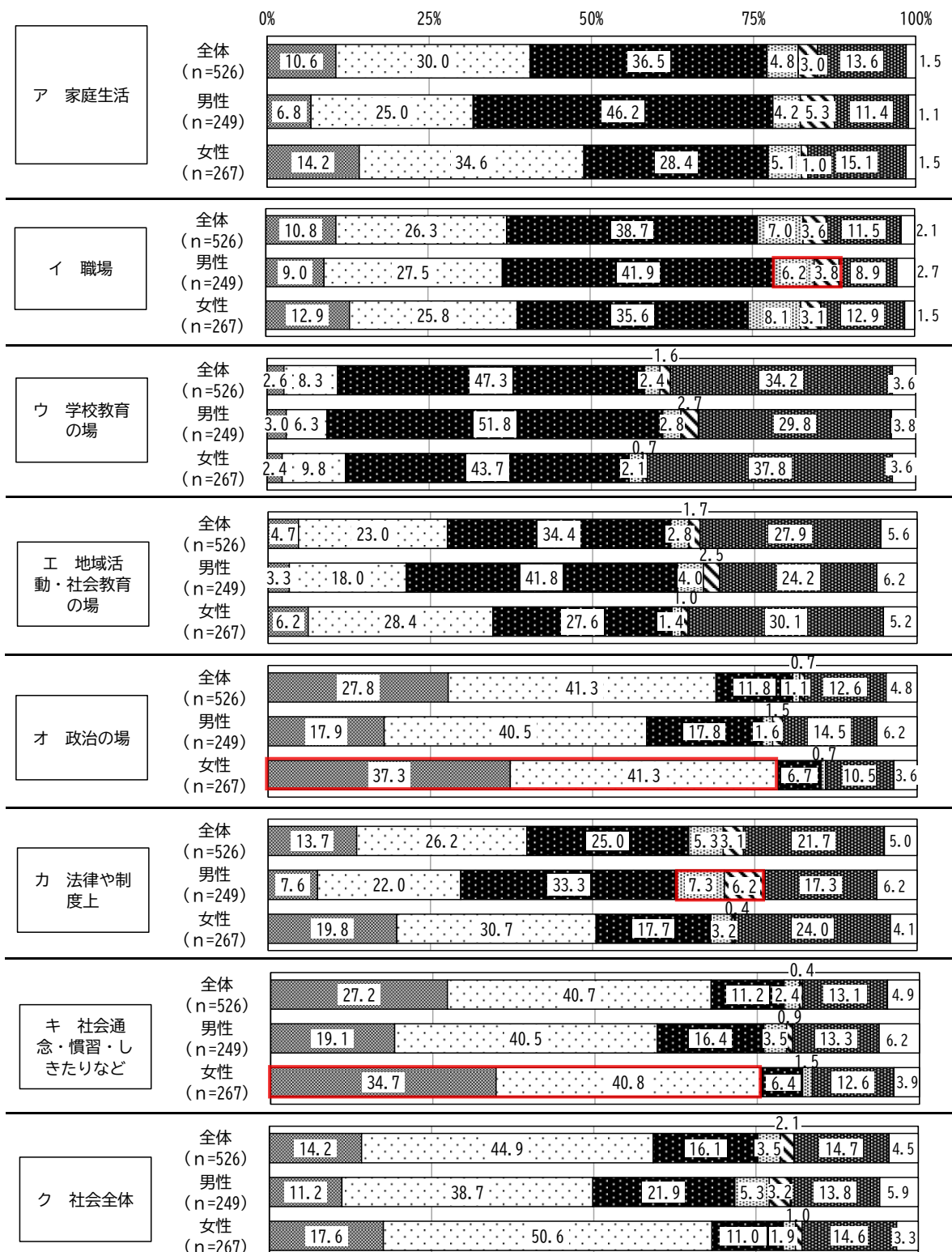
『男性優遇』（「男性の方が優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）と『女性優遇』（「女性の方が優遇されている」+「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）を比較すると、「オ 政治の場」「キ 社会通念・慣習・しきたりなど」「ク 社会全体でみた場合」において、『男性優遇』は6～7割と非常に高い傾向となっている。

問1 男女平等に関する意識について

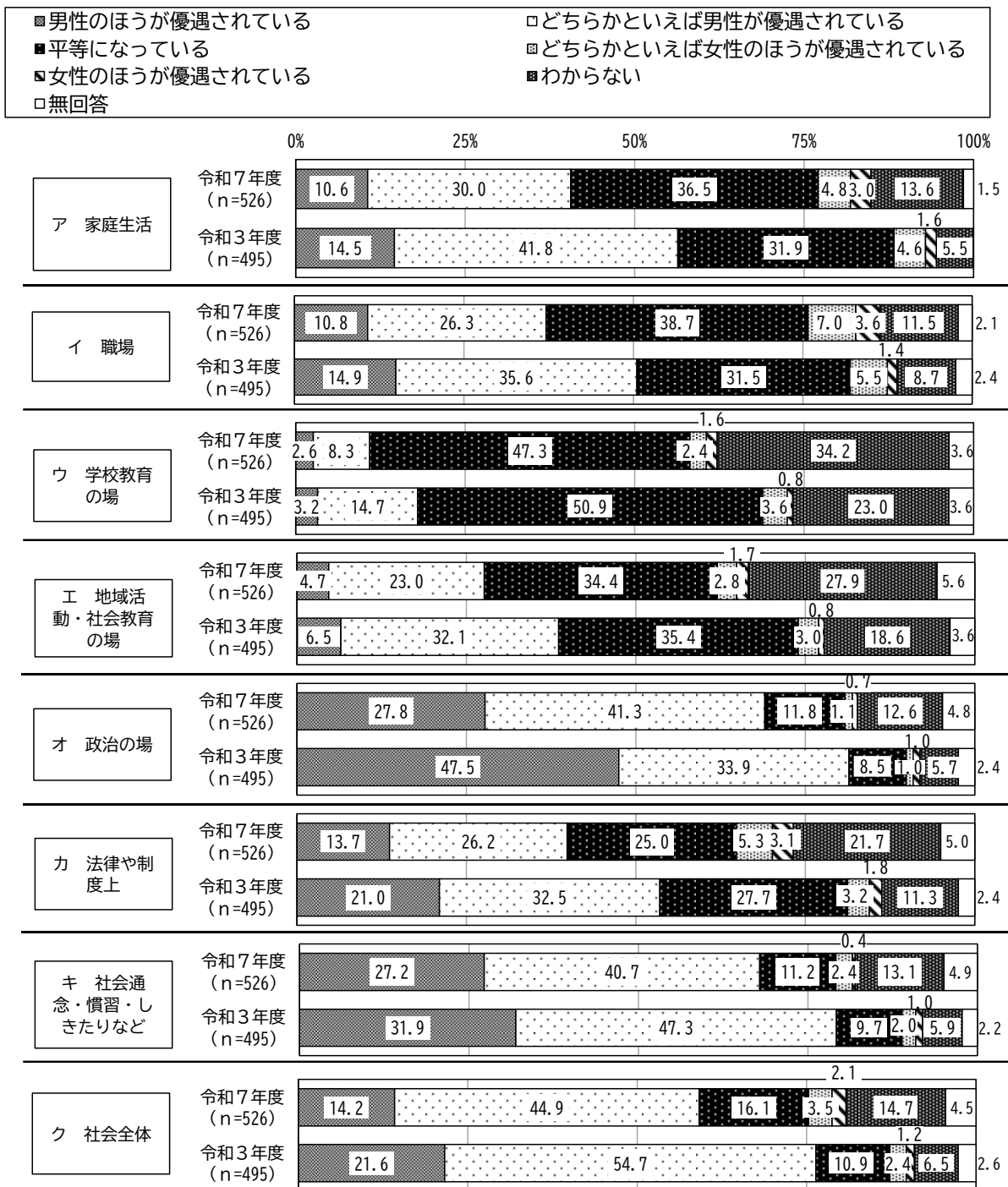


性別にみると、男性は『女性優遇』について「カ 法律や制度上での扱い」が13.5%と最も割合が高く、次いで「イ 職場」が10.0%となっている。女性は『男性優遇』について「オ 政治の場」が78.6%と最も割合が高く、次いで「キ 社会通念・慣習・しきたりなど」が75.5%となっている。

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| ■ 男性のほうが優遇されている | □ どちらかといえば男性が優遇されている |
| ■ 平等になっている | □ どちらかといえば女性のほうが優遇されている |
| □ 女性のほうが優遇されている | ■ わからない |
| □ 無回答 | |



参考までに令和3年度調査結果と比較すると、「平等になっている」が上昇した項目をみると、「イ 職場」が+7ポイント、次いで「ア 家庭生活」及び「ク 社会全体」が+5ポイントとなっている。一方、低下した項目は「ウ 学校教育の場」が-4ポイント、次いで「カ 法律や制度上の扱い」が-3ポイントとなっている。



3) 家庭生活について

【問2～3は、Dで「1. 結婚している」、「2. 結婚していないがパートナーと暮らしている」と回答した方】

問2 あなたの家庭では、ア～クの家庭内の事柄を主にどなたが行っていますか。

ア～クについて、あてはまる選択肢（番号）を選んでください。（○はそれぞれ1つ）

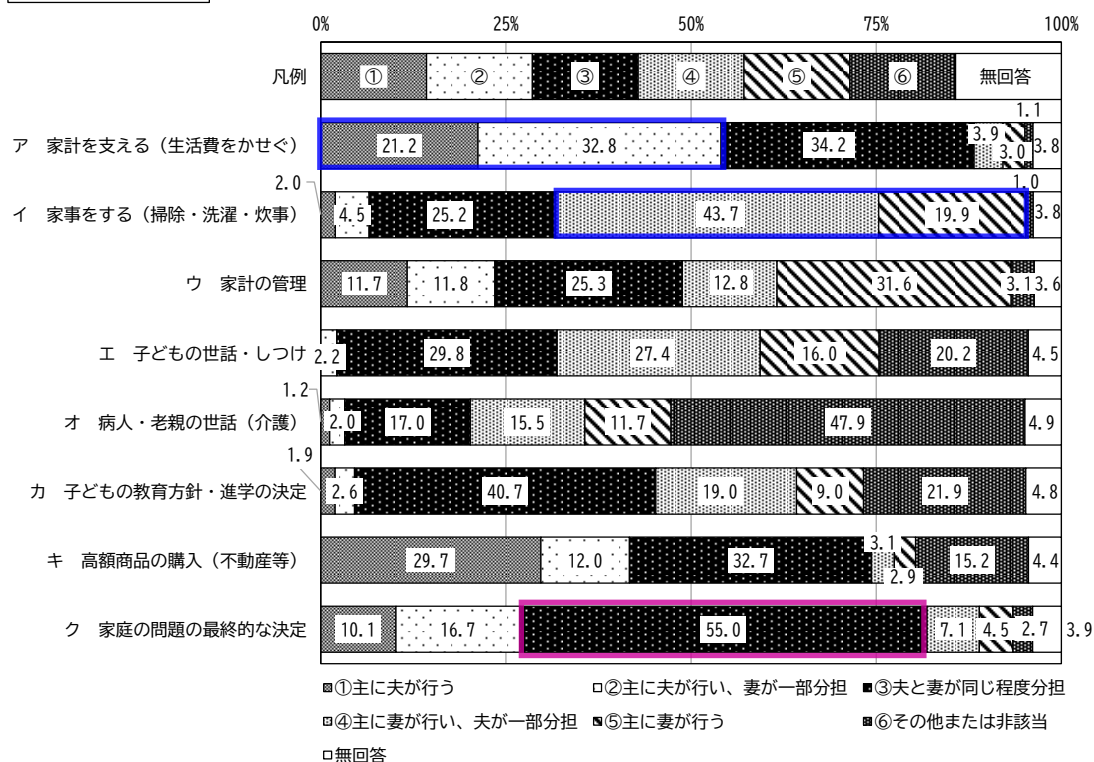
項目	選択肢	行主 うに 夫が	一 行主 に、 妻が 一部 分担	分 同 夫 と 妻 が 同 じ 程 度 分 担	一 行主 に、 夫が 一部 分担	行主 うに 妻が	非 ま 該 当 そ の 他
ア 家計を支える（生活費をかせぐ）		1	2	3	4	5	6
イ 家事をする（掃除・洗濯・炊事）		1	2	3	4	5	6
ウ 家計の管理		1	2	3	4	5	6
エ 子どもの世話・しつけ		1	2	3	4	5	6
オ 病人・老親の世話（介護）		1	2	3	4	5	6
カ 子どもの教育方針・進学の設定		1	2	3	4	5	6
キ 高額商品の購入（不動産等）		1	2	3	4	5	6
ク 家庭の問題の最終的な決定		1	2	3	4	5	6

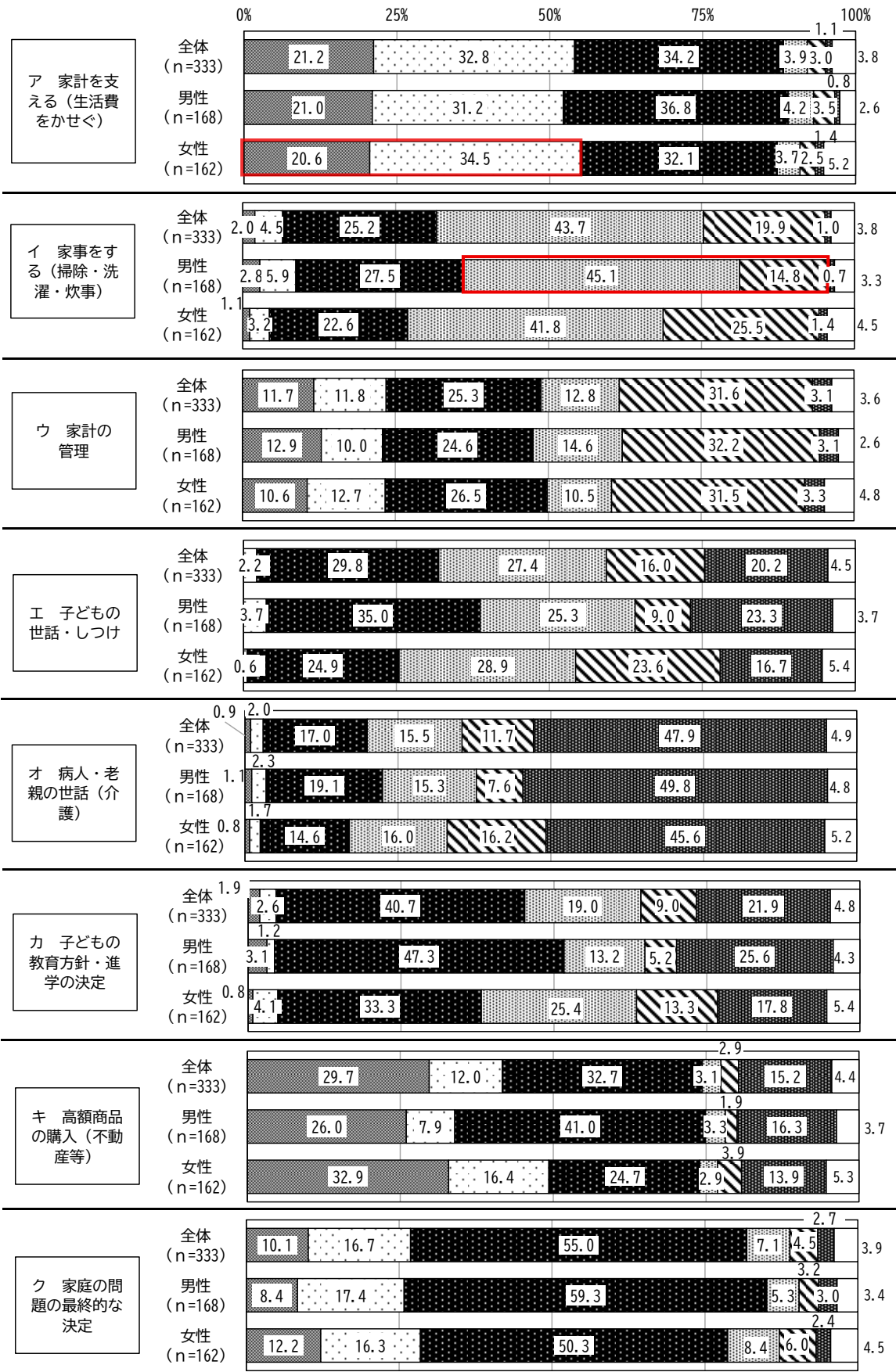
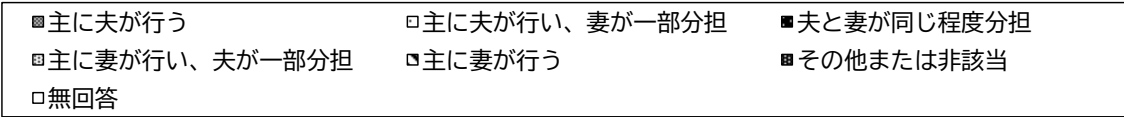
配偶者（またはパートナー）がいる回答者の家庭生活における役割をみると、「ア 家計を支える」「エ 子どもの世話・しつけ」「カ 子どもの教育方針・進学の設定」「ク 家庭の問題の最終的な決定」については、「夫と妻が同じ程度分担」の割合が最も高い。特に「ク 家庭の問題の最終的な決定」に関しては55.0%と5割以上を占めている。

一方で、「イ 家事をする（掃除・洗濯・炊事）」は『妻の役割』（「主に妻が行い、夫が一部分担」+「主に妻が行う」）のほうが+57ポイント高く、「ア 家計を支える」は『夫の役割』（「主に夫が行う」+「主に夫が行い、妻が一部分担」）のほうが+47ポイント高くなっている。

性別にみると、『妻の役割』について男性は「イ 家事をする（掃除・洗濯・炊事）」が59.9%と最も割合が高く、次いで「ウ 家計の管理」が46.8%となっている。『夫の役割』について、女性は「ア 家計を支える（生活費をかせぐ）」が55.1%と最も割合が高く、次いで「キ 高額商品の購入（不動産等）」が49.3%となっている。

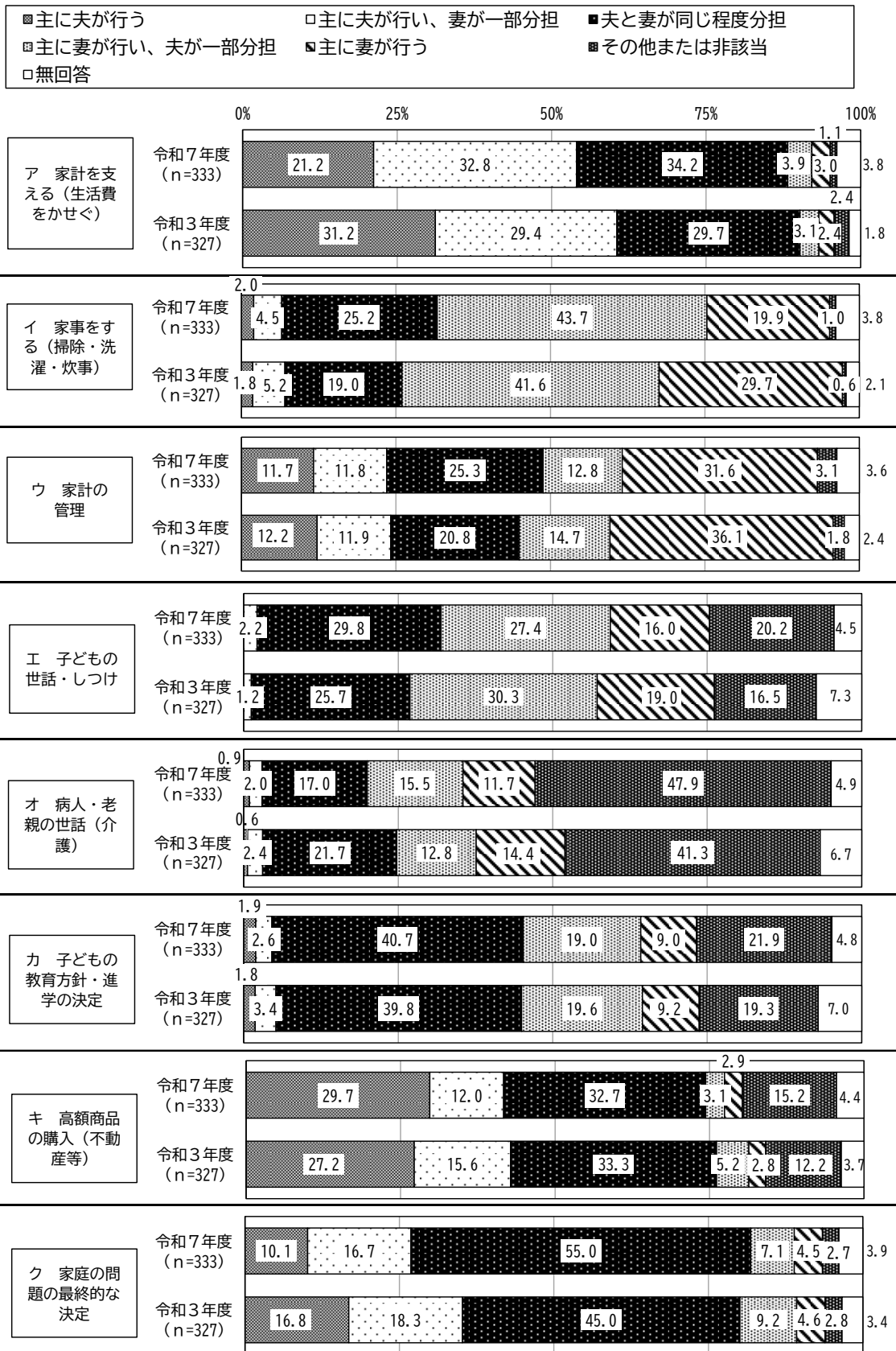
問2 家庭生活について





参考までに令和3年度調査結果と比較すると、「夫と妻が同じ程度分担」が上昇した項目をみると、「ク 家庭の問題の最終的な決定」が+10ポイント、次いで「イ 家事をする（掃除・洗濯・炊事）」が+6ポイントとなっている。

低下した項目は「オ 病人・老親の世話（介護）」が-5ポイント、次いで「キ 高額商品の購入（不動産等）」が-1ポイントとなっている。



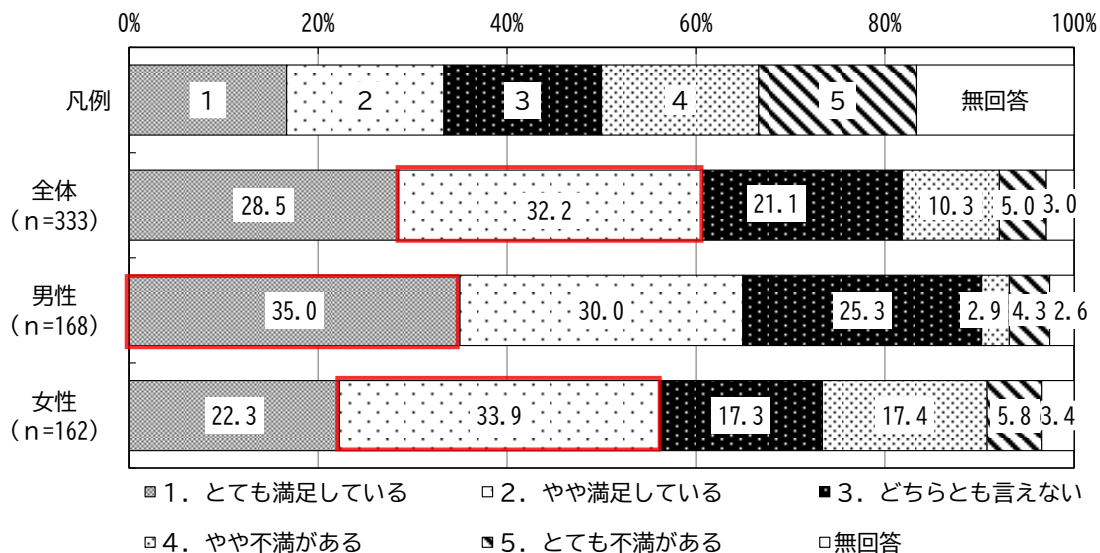
問3 あなたは、現在の家庭内の役割分担（家計・家事・育児等）に、どの程度満足していますか。
 (○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. とても満足している | 2. やや満足している |
| 3. どちらとも言えない | 4. やや不満がある |
| 5. とても不満がある | |

現在の家庭内の役割分担の満足度について、「2. やや満足している」が32.2%と最も割合が高い。次いで「1. とても満足している」が28.5%、「3. どちらとも言えない」が21.2%となっている。

性別にみると、男性は「1. とても満足している」が35.0%と最も割合が高く、次いで「2. やや満足している」が30.0%となっている。女性は「2. やや満足している」が33.9%と最も割合が高く、次いで「1. とても満足している」が22.3%となっている。

問3 家庭内の役割分担について

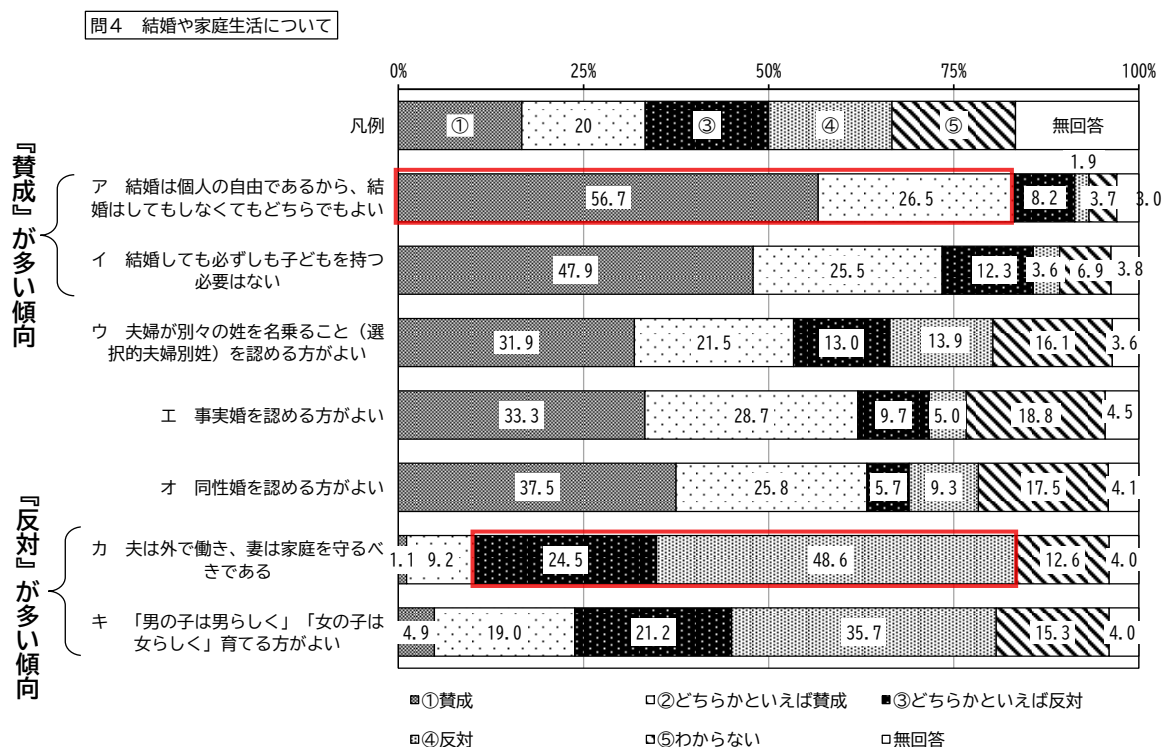


問4 結婚や家庭生活に関するア～キについて、あなたの考えに近い選択肢（番号）を選んでください。（○はそれぞれ1つ）

項目	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
ア 結婚は個人の自由であるから、結婚はしてもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
イ 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
ウ 夫婦が別々の姓を名乗ること（選択的夫婦別姓）を認めるほうがよい	1	2	3	4	5
エ 事実婚を認めるほうがよい	1	2	3	4	5
オ 同性婚を認めるほうがよい	1	2	3	4	5
カ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
キ 「男の子は男らしく」「女の子は女らしく」育てるほうがよい	1	2	3	4	5

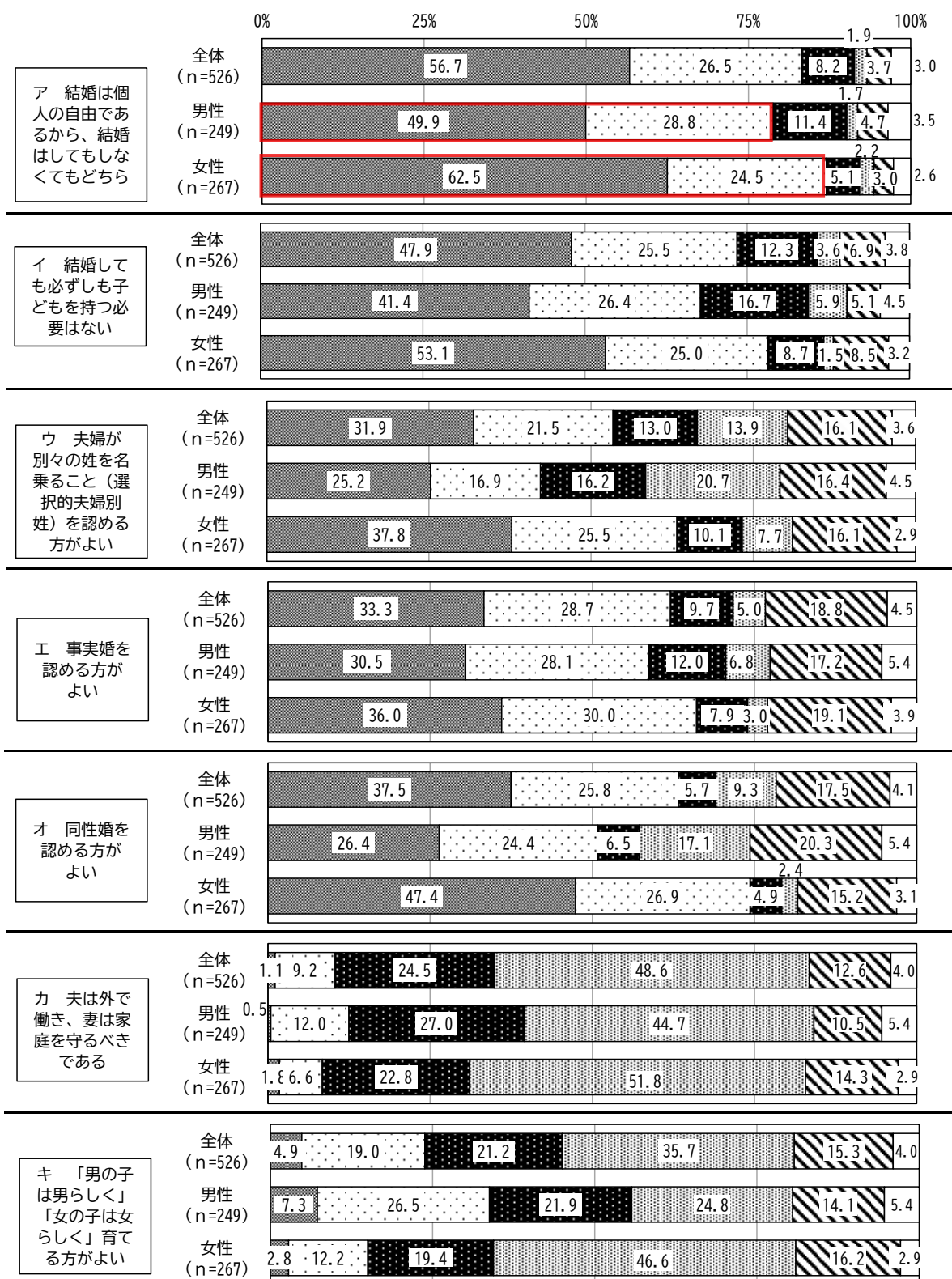
結婚や家庭生活に関する考えについて、『賛成』（「賛成」+「どちらかといえば賛成」）をみると、「ア 結婚は個人の自由であるから、結婚はしてもしなくてもどちらでもよい」が83.2%と最も割合が高く、次いで「イ 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」が73.4%となっている。

一方、『反対』（「どちらかといえば反対」+「反対」）をみると、「カ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」が73.1%と最も割合が高く、次いで「キ 『男の子は男らしく』『女の子は女らしく』育てるほうがよい」が56.9%となっている。



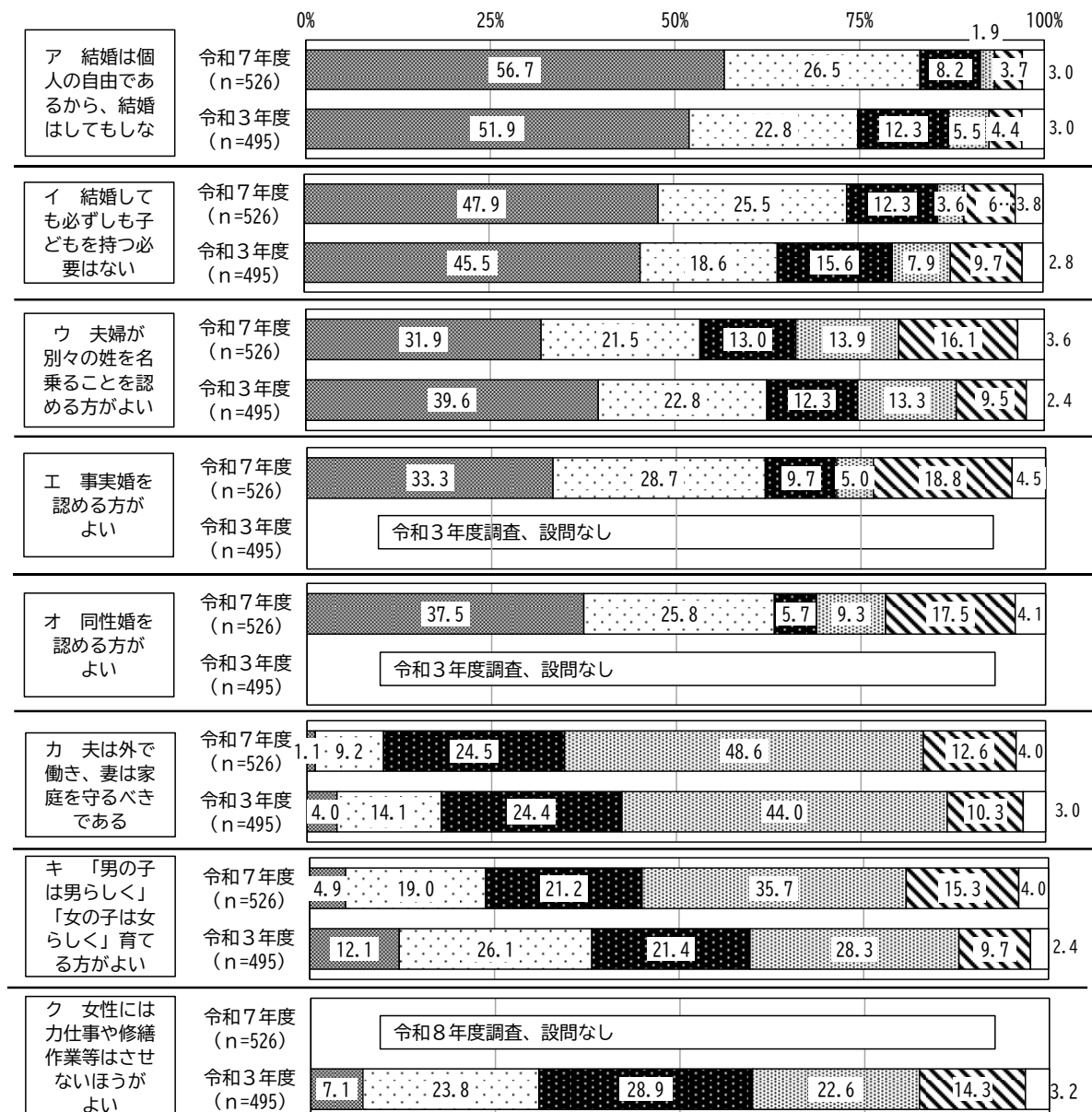
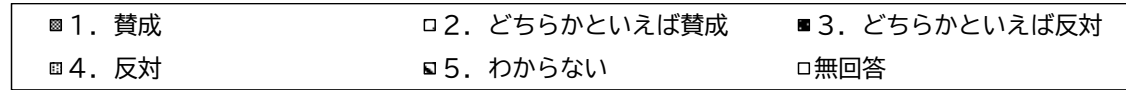
性別にみると、『賛成』について、男性は「ア 結婚は個人の自由であるから、結婚はしてもしなくてもどちらでもよい」が78.7%と最も割合が高く、次いで「イ 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」が67.8%となっている。女性は「ア 結婚は個人の自由であるから、結婚はしてもしなくてもどちらでもよい」が87.0%と最も割合が高く、次いで「イ 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」が78.1%となっている。

■ 1. 賛成 □ 2. どちらかといえば賛成 ■ 3. どちらかといえば反対 □ 4. 反対 ■ 5. わからない □ 無回答



参考までに令和3年度調査結果と比較すると、『賛成』が上昇した項目をみると、「イ 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」が+9ポイント、次いで「ア 結婚は個人の自由であるから、結婚はしてもしなくてもどちらでもよい」が+8ポイントとなっている。

低下した項目は「キ 「男の子は男らしく」「女の子は女らしく」育てるほうがよい」が-14ポイント、次いで「ウ 夫婦が別々の姓を名乗ること（選択的夫婦別姓）を認めるほうがよい」が-9ポイントとなっている。



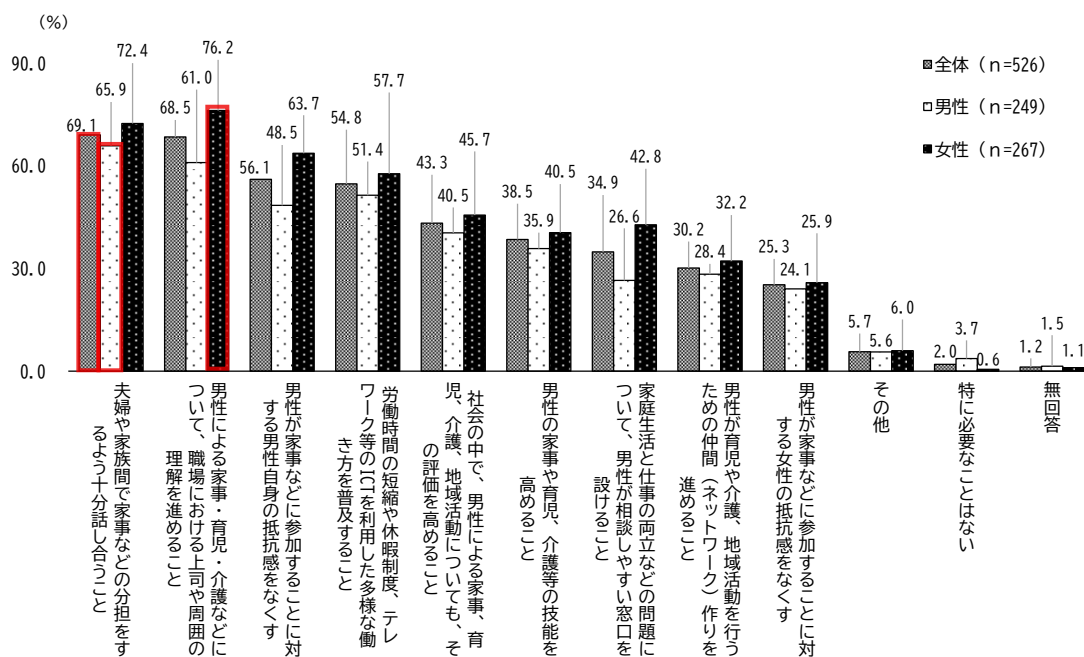
問5 あなたは今後、男性が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす
3. 夫婦や家族間で家事などの分担をするよう十分話し合うこと
4. 男性による家事・育児・介護などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること
5. 労働時間の短縮や休暇制度、テレワーク等の ICT を利用した多様な働き方を普及すること
6. 社会の中で、男性による家事、育児、介護、地域活動についても、その評価を高めること
7. 男性の家事や育児、介護等の技能を高めること
8. 男性が育児や介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）作りを進めること
9. 家庭生活と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
10. その他（具体的に）
11. 特に必要なことはない

男性が家事等に積極的に参加するにあたって必要なことを尋ねたところ、「3. 夫婦や家族間で家事などの分担をするよう十分話し合うこと」が69.1%と最も割合が高くなっている。次いで、「4. 男性による家事・育児・介護などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」が68.5%、「1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」が56.1%、「5. 労働時間の短縮や休暇制度、テレワーク等の ICT を利用した多様な働き方を普及すること」が54.8%となっている。

性別にみると、男性は「3. 夫婦や家族間で家事などの分担をするよう十分話し合うこと」が65.9%と最も割合が高く、次いで「4. 男性による家事・育児・介護などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」が61.0%となっている。女性は「4. 男性による家事・育児・介護などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」が76.2%と最も割合が高く、次いで「3. 夫婦や家族間で家事などの分担をするよう十分話し合うこと」が72.4%となっている。

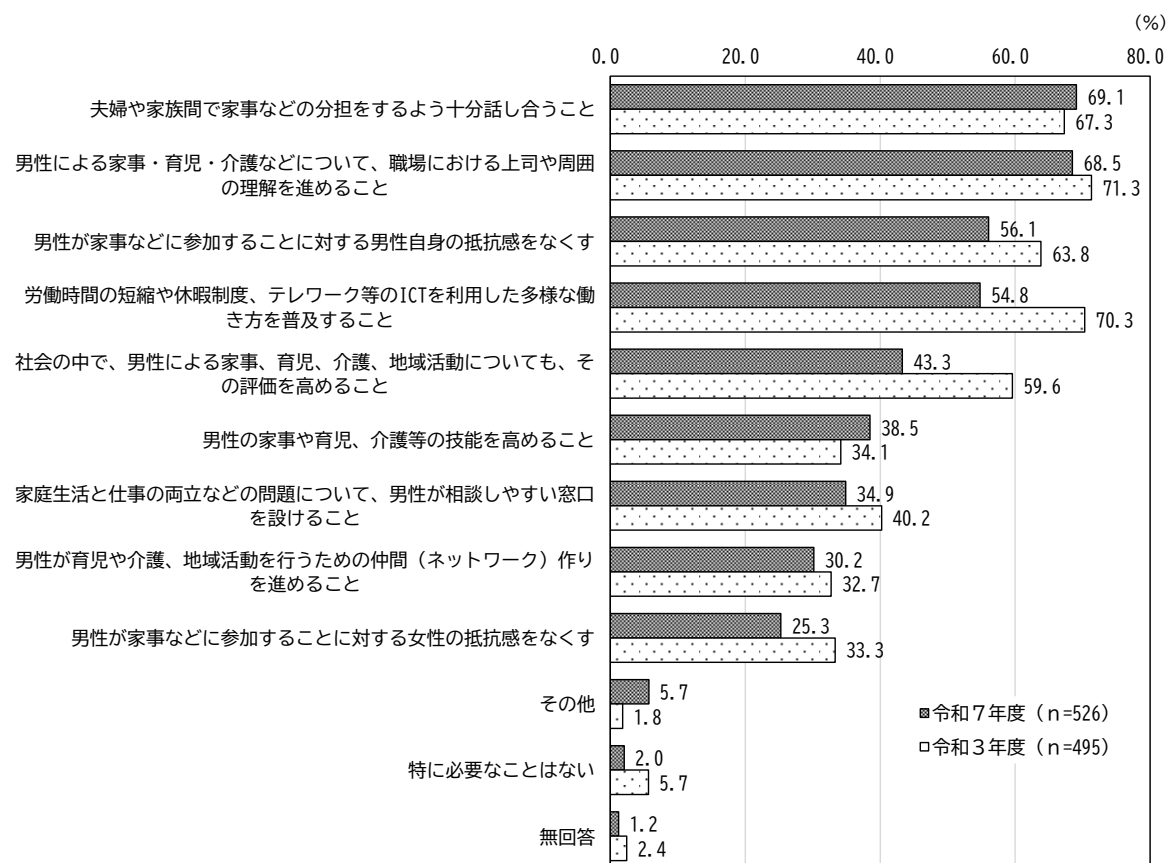
問5 男性が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要だと思うこと（複数回答）



参考までに令和3年度調査結果と比較すると、上昇した項目については、「7. 男性の家事や育児、介護等の技能を高めること」が+4ポイント、次いで「3. 夫婦や家族間で家事などの分担をするよう十分話し合うこと」が+2ポイントとなっている。

低下した項目については、「5. 労働時間の短縮や休暇制度、テレワーク等のICTを利用した多様な働き方を普及すること」及び「6. 社会の中で、男性による家事、育児、介護、地域活動についても、その評価を高めること」が-16ポイントとなっている。

問5 男性が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要だと思うこと（複数回答）



【その他】

家庭生活と仕事の両立などの問題について、女性が相談しやすい窓口を設けること/前提として女性がそれを望んでいること/女性も働きながら育児や家庭のことを誰かに評価されようとして行なっているわけではない、男性だからとかではないと思う/職場や社会の理解の啓発活動を進める/子どもの頃からの教育(世間の意識改革)/家事を行うことが当たり前であると考え方を改めることが大事。指示される、頼まれるのでは無く自分から行動する意識改革が必要/産後ケア施設、支援センターなど母親向けのサービスを男女平等に提供する/専業主夫を世間的に認めること/男性も女性も仕事を持ち、家庭は各々の家庭で両立させて欲しい/家庭に根付いている「嫁は夫の実家に入る、介護をする」などの考え方を正す。家庭内にある夫が主人であるという考え方をなくす/男性とか、女性とかは関係ないと思います。誰が稼いでもいいのですが1人の収入で生活できる事が当たり前の社会になってほしいです。そこで共働きを選択するのか、主婦、主夫を選択するのか夫婦で話し合えばいいと思います/家庭内で男女が納得していれば、なんら問題なし/二人の間にできた子は女が責任を持って育てる、男は仕事せよ/幼少期から教育として男児女児ともに自立することを前提とする生活を送る/男、本人次第/人として、金のために働き、生きるためにそうじ、食事、洗濯する事を学校でも又、地域でも根づかせてほしい。人として、生きるために何が必要か/男性・女性どちらも男性が家事を「手伝う」みたいな考え方、捉え方から変わる必要があるかと思う。一緒に住んでいるからチームとして一緒にやるとか相談しながらやるとか考え方をすり合わせていくことが大切だと思う/仕事人間の男が退職後の行き場等（家事教室とか）を作る/子どもの時からしっかり男が家事するのは当たり前だということを教育する/ふたりで子どもを育てると決めたのに、いざとなれば女性任せ。お金を稼ぐ人がえらいみたいな考え方の変容/参加しなかったとしても批判しない事、自由で良い/育休制度などある程度法で定めて国が推奨すること/産院などで父親教室やテキストなどで子育てへの理解を深める機会があるとよい/常に全てこなしています/男性が結婚しない/個人的に男性が料理や育児に参加すること/男性の家事などが当たり前でできる社会、環境づくり（男子トイレにベビーシートなどが当たり前にあるなど）/お互いに日頃から自身にできることは積極的に協力し合う意識や行動が必要では

4) 仕事について

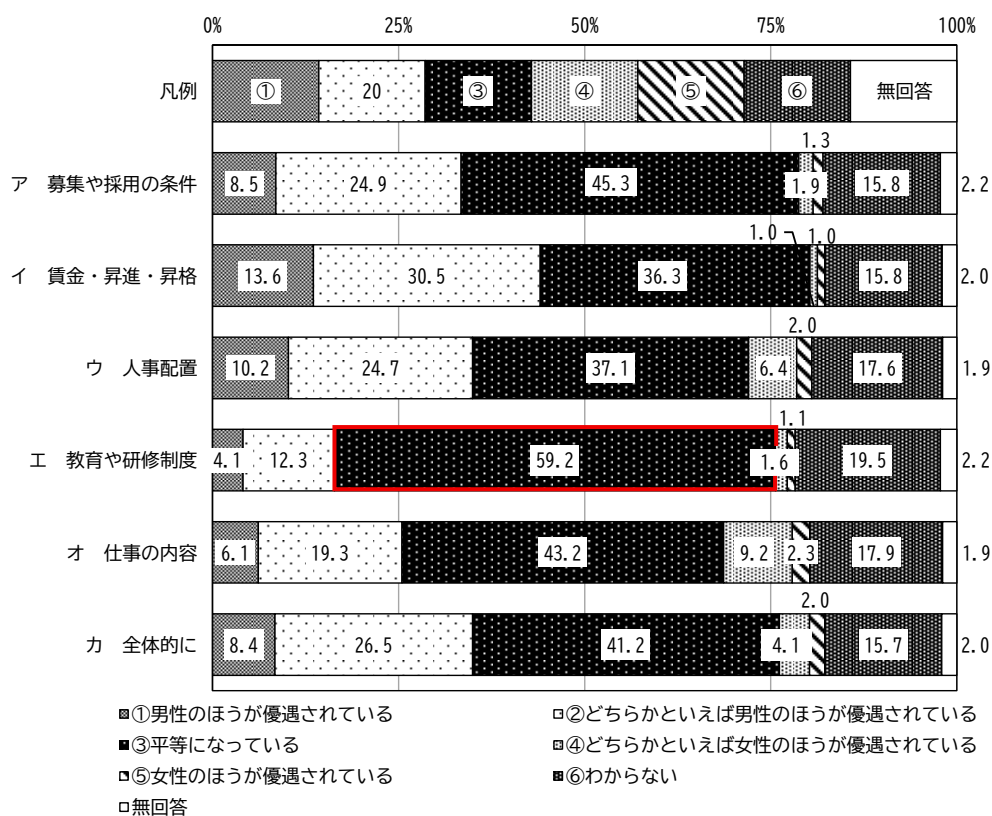
問6 あなたは、職場において、次にあげるア～カについて性別によって差があると思いますか。あなたの考えに近い選択肢（番号）を選んでください。（○はそれぞれ1つ）

項目	選択肢	男性のほう が優遇 されている	男性のほう が優遇 されている どちらか といえば	平等に なっている	女性のほう が優遇 されている	女性のほう が優遇 されている どちらか といえば	わからない
	ア 募集や採用の条件		1	2	3	4	5
イ 賃金・昇進・昇格		1	2	3	4	5	6
ウ 人事配置		1	2	3	4	5	6
エ 教育や研修制度		1	2	3	4	5	6
オ 仕事の内容		1	2	3	4	5	6
カ 全体的に		1	2	3	4	5	6

職場における性差に対する考えをみると、すべての項目において「平等になっている」が最も高い割合となっており、特に「エ 教育や研修制度」については59.2%と約6割を占めている。

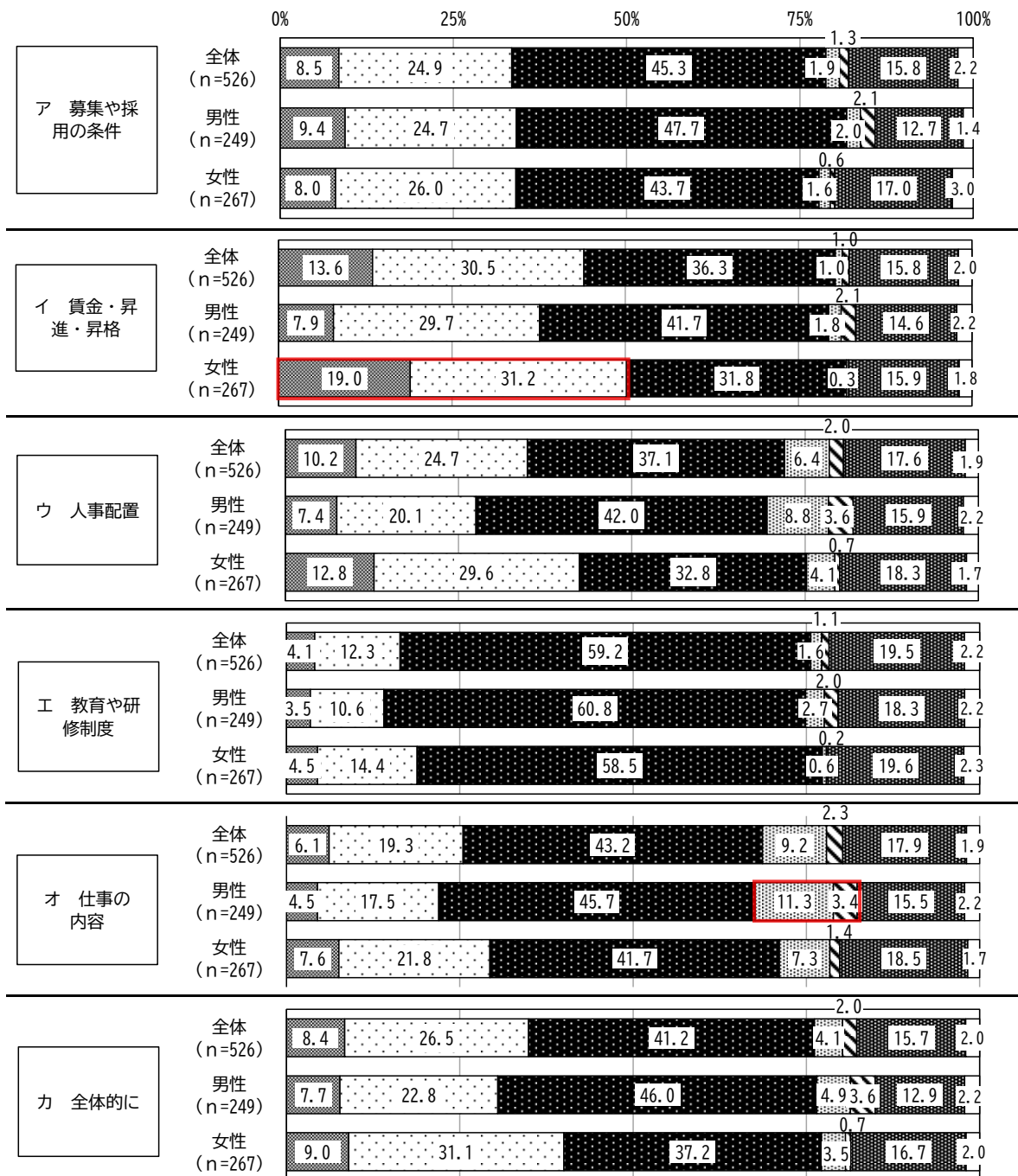
一方で、「イ 賃金・昇進・昇格」については『男性優遇』（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）のほうが、『女性優遇』（「女性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）よりも42ポイント高くなっており、次いで「ア 募集や採用の条件」（＋30ポイント）、「カ 全体的に」（＋29ポイント）、「ウ 人事配置」（＋27ポイント）となっている。

問6 職場における性別による対応や評価の差

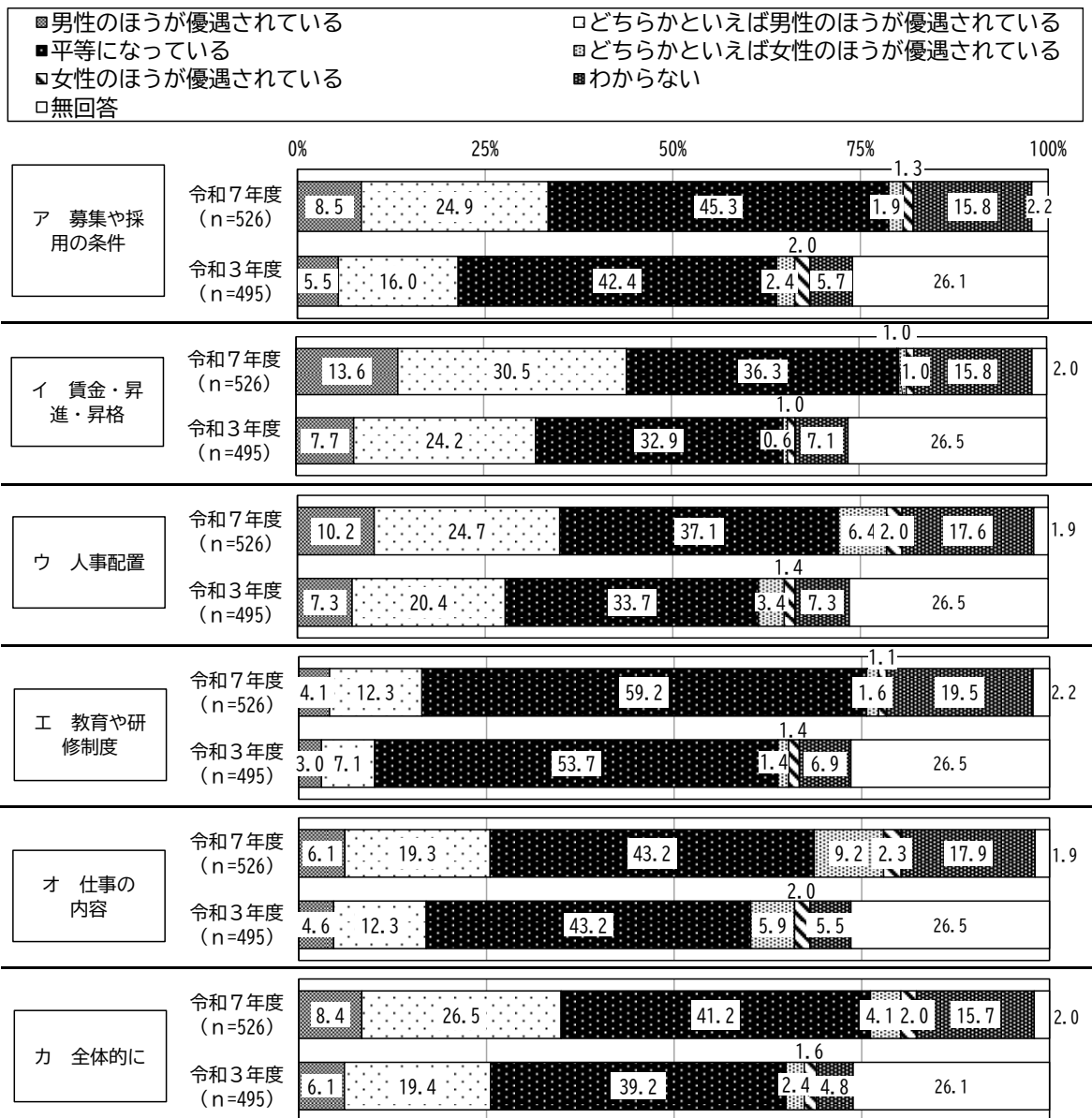


性別にみると、男性は『女性優遇』について「オ 仕事の内容」が14.7%と最も割合が高く、次いで「ウ 人事配置」が12.4%となっている。女性は『男性優遇』について「イ 賃金・昇進・昇格」が50.2%と最も割合が高く、次いで「ウ 人事配置」が42.4%となっている。

- 男性のほうが優遇されている
- 平等になっている
- 女性のほうが優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性のほうが優遇されている
- どちらかといえば女性のほうが優遇されている
- わからない



参考までに令和3年度調査結果と比較すると、「平等になっている」が上昇した項目をみると、「エ 教育や研修制度」が+6ポイント、次いで「ア 募集や採用の条件」及び「イ 賃金・昇進・昇格」、「ウ 人事配置」が+3ポイントとなっている。なお、低下した項目は0件となっている。



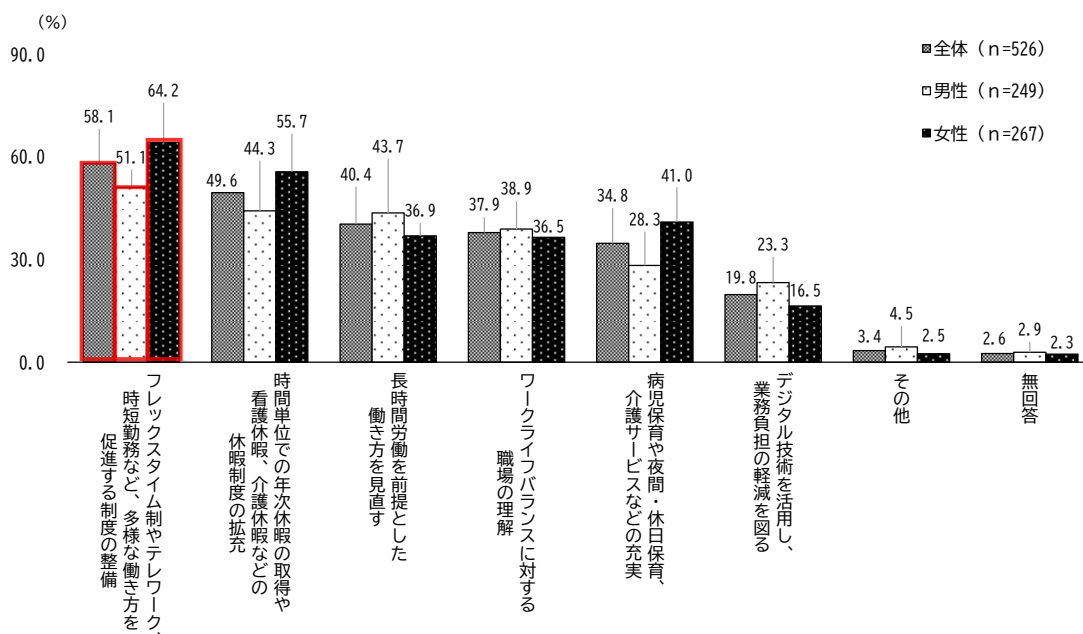
問7 あなた自身は、仕事も私生活もバランスよく両立させるために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. フレックスタイム制やテレワーク、時短勤務など、多様な働き方を促進する制度の整備
2. 長時間労働を前提とした働き方を見直す
3. 時間単位での年次休暇の取得や看護休暇、介護休暇などの休暇制度の拡充
4. 病児保育や夜間・休日保育、介護サービスなどの充実
5. デジタル技術を活用し、業務負担の軽減を図る
6. ワークライフバランスに対する職場の理解
7. その他(具体的に)

仕事と私生活の両立に必要なことについて、「1. フレックスタイム制やテレワーク、時短勤務など、多様な働き方を促進する制度の整備」が58.1%と最も割合が高く、次いで「3. 時間単位での年次休暇の取得や看護休暇、介護休暇などの休暇制度の拡充」が49.6%、「2. 長時間労働を前提とした働き方を見直す」が40.4%となっている。

性別にみると、男性は「1. フレックスタイム制やテレワーク、時短勤務など、多様な働き方を促進する制度の整備」が51.1%と最も割合が高く、次いで「3. 時間単位での年次休暇の取得や看護休暇、介護休暇などの休暇制度の拡充」が44.3%となっている。女性も「1. フレックスタイム制やテレワーク、時短勤務など、多様な働き方を促進する制度の整備」が64.2%と最も割合が高く、次いで「3. 時間単位での年次休暇の取得や看護休暇、介護休暇などの休暇制度の拡充」が55.7%となっている。

問7 仕事も私生活もバランスよく両立させるために、必要だと思うこと(複数回答)



【その他】給与を補填する制度/給与アップ一択/私生活大事にしたい人への理解も必要、長く働きたいと思う人への理解も必要だと思う/医療職の人員不足/仕事の有無に関わらず子どもの預り制度の見直し/制度はあっても使いにくい職場の雰囲気改善・職場全体の理解を深める/入った時からある賃金の男女差をなくす/自身の仕事をアウトソーシングする/基本給(ベースアップ)、税が上がったことによる負担軽減対策/本人に合わせた働き方をさせる。働いて移りたい人はいるので/勤務希望(休み3日まで)が少ない日数だと用事ができない。シフトに関してももっと優遇してほしい/仕事の疲れをとるために休日はダラダラ過ごすのではなく、休日を楽しみ過ごすために仕事を頑張る。限られた時間内で効率よく業務をこなすために工夫する(ダラダラおしゃべりをしたり、ネットサーフィンしたりしない)。ワーク・ライフ・バランスに対する職場の理解ではなく、個人個人の捉え方、過ごし方を変えないと両立は難しいと思う。もっと休日がほしい、もっと残業減らせになっちゃわないか。研修も仕事と捉えて自己研鑽しない人も増えているように感じる。研修はあくまで自分の技術・知識のアップデートのためだと思うのだが/生理休暇年5日でもいいから有休でほしい/働き手が選択できる自由(今は働くことが集中すべき時か否か。学ぶべき時か否かを自由に選択できる雰囲気)

【現在働いている方（問Cで選択肢1～7を選んだ方）】

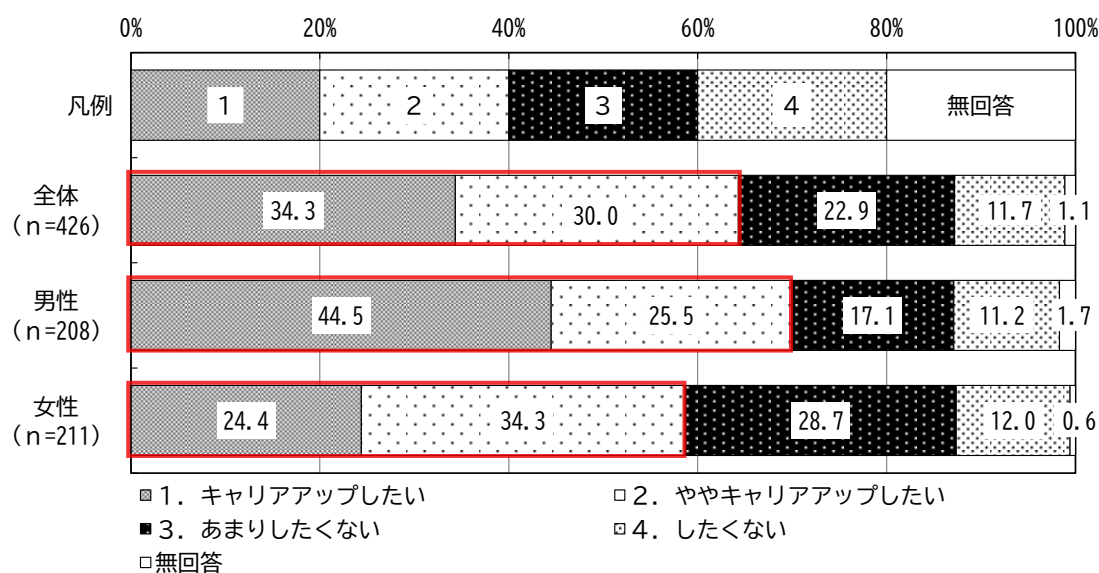
問8 あなたのキャリアアップへの考えについてお答えください。（○は1つ）

1. キャリアアップしたい	2. ややキャリアアップしたい	⇒問10へ
3. あまりしたくない	4. したくない	⇒問9へ

キャリアアップへの考えを尋ねたところ、『キャリアアップしたい』（「1. キャリアアップしたい」＋「2. ややキャリアアップしたい」）が64.3%、『キャリアアップしたくない』（「3. あまりしたくない」＋「4. したくない」）が34.6%となっている。

性別にみると、男性は『キャリアアップしたい』が70.0%、『キャリアアップしたくない』が28.3%となっている。女性は『キャリアアップしたい』が58.7%、『キャリアアップしたくない』が40.7%となっている。

問8 あなたのキャリアアップ(管理職への昇進など)への考えについて(n=426)



問9 【問8で「3. (キャリアアップを) あまりしたくない」「4.したくない」と答えた方】へ、その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

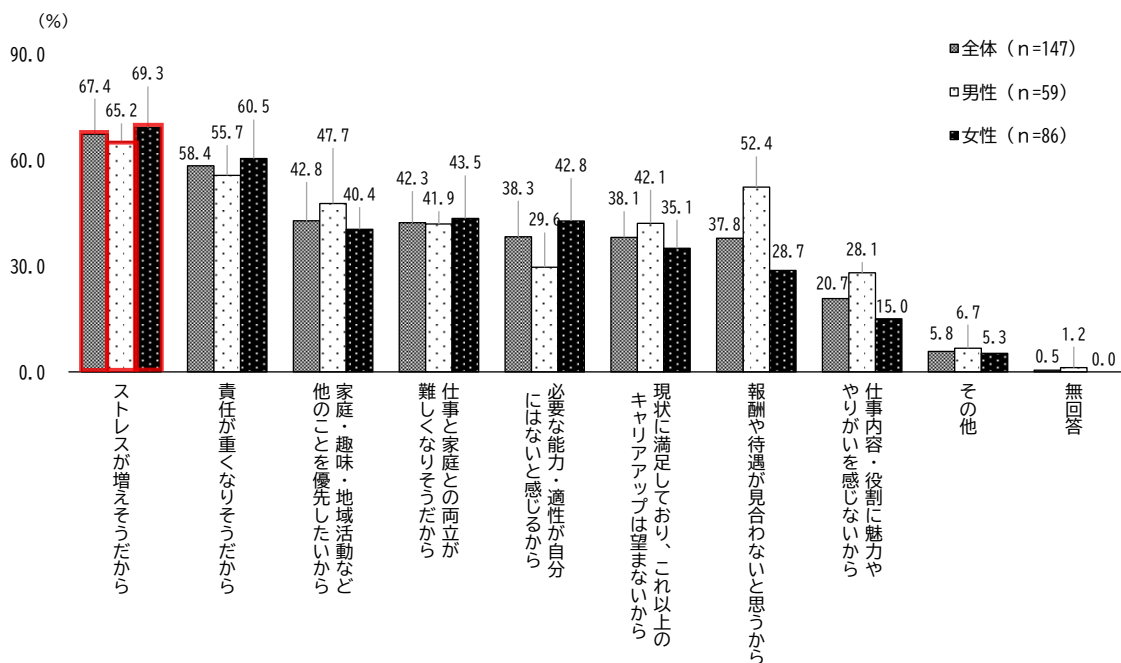
1. 責任が重くなりそうだから
2. ストレスが増えそうだから
3. 仕事と家庭との両立が難しくなりそうだから
4. 必要な能力・適性が自分にはないと感じるから
5. 仕事内容・役割に魅力ややりがいを感じないから
6. 報酬や待遇が見合わないと思うから
7. 現状に満足しており、これ以上のキャリアアップは望まないから
8. 家庭・趣味・地域活動など他のことを優先したいから
9. その他 (具体的に)

キャリアアップを「あまりしたくない」「したくない」と回答した理由をみると、「2. ストレスが増えそうだから」(67.4%)や「1. 責任が重くなりそうだから」(58.4%)といった精神的負担に関する理由が高い傾向となっている。

次いで、「8. 家庭・趣味・地域活動など他のことを優先したいから」(42.8%)、「3. 仕事と家庭との両立が難しくなりそうだから」(42.3%)といったプライベートや家庭生活に関する理由が続いている。

性別にみると、男性は「2. ストレスが増えそうだから」が65.2%と最も割合が高く、次いで「1. 責任が重くなりそうだから」が55.7%となっている。女性も「2. ストレスが増えそうだから」が69.3%と最も割合が高く、次いで「1. 責任が重くなりそうだから」が60.5%となっている。

問9 「3. (キャリアアップを) あまりしたくない」「4.したくない」と答えた理由 (複数回答)



【その他】どれだけやっても同じ。やらないやれない人も同じ/年なので/年齢的にも現状で良い/来年定年をむかえる/年齢的に仕事を辞めたいから/シングルでパートをしています、就職を他で考えているから/現在、定年退職をしたあとの仕事なのでゆっくり過ごしたい

5) ハラスメント/配偶者等からの暴力について

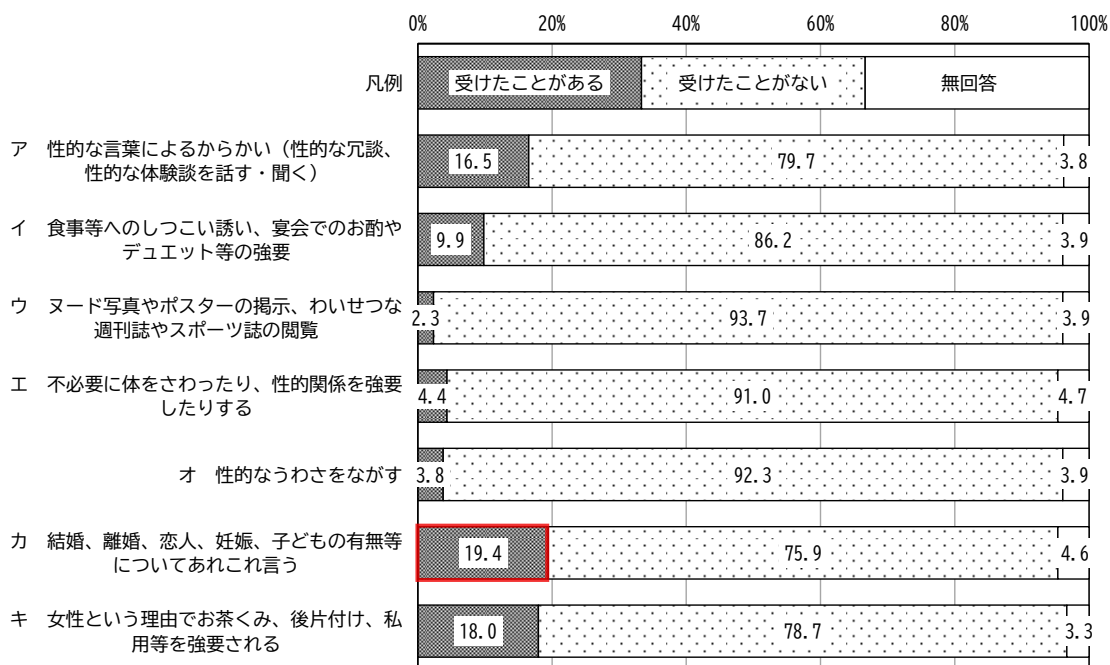
問 10 あなたは、過去5年ほどの間に、職場や学校、地域などで次にあげるア～キのようなセクシュアル・ハラスメント（性的な言動による不快な経験）を受けたことがありますか。あてはまる選択肢（番号）を選んでください。（○はそれぞれ1つ）

項目	選択肢	受けたことがある	受けたことがない
ア 性的な言葉によるからかい（性的な冗談、性的な体験談を話す・聞く）		1	2
イ 食事等へのしつこい誘い、宴会でのお酌やデュエット等の強要		1	2
ウ ヌード写真やポスターの掲示、わいせつな週刊誌やスポーツ誌の閲覧		1	2
エ 不必要に体をさわったり、性的関係を強要したりする		1	2
オ 性的なうわさをながす		1	2
カ 結婚、離婚、恋人、妊娠、子どもの有無等についてあれこれ言う		1	2
キ 女性という理由でお茶くみ、後片付け、私用等を強要される ※女性のみ回答してください		1	2

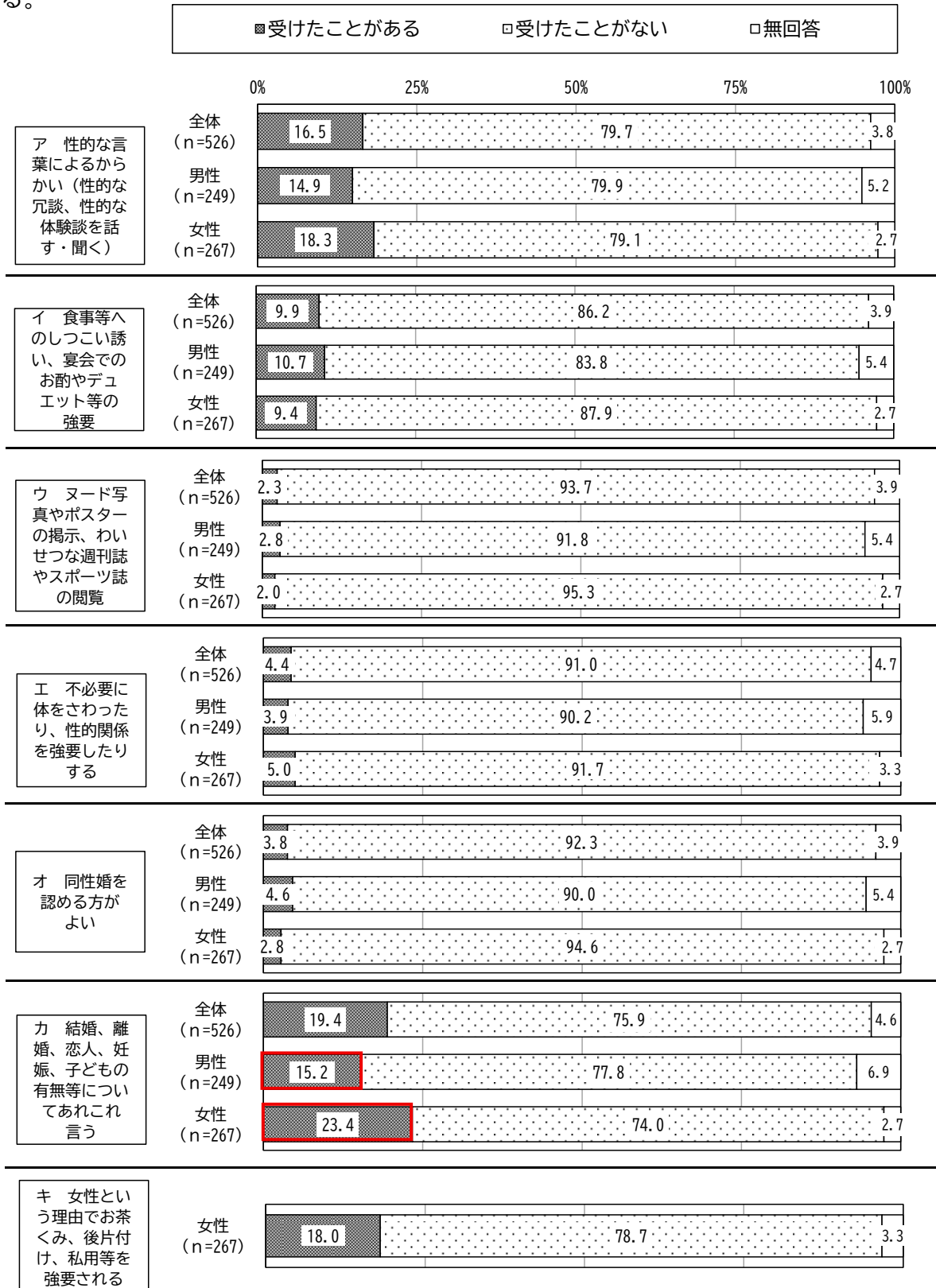
職場や学校、地域等におけるセクシュアル・ハラスメントについて、全項目において「受けたことがない」が75%以上を占めている。

「受けたことがある」の内訳をみると、「カ 結婚、離婚、恋人、妊娠、子どもの有無等についてあれこれ言う」が19.4%と最も高く、次いで「キ 女性という理由でお茶くみ、後片付け、私用等を強要される」が18.0%、「ア 性的な言葉によるからかい」が16.5%となっている。

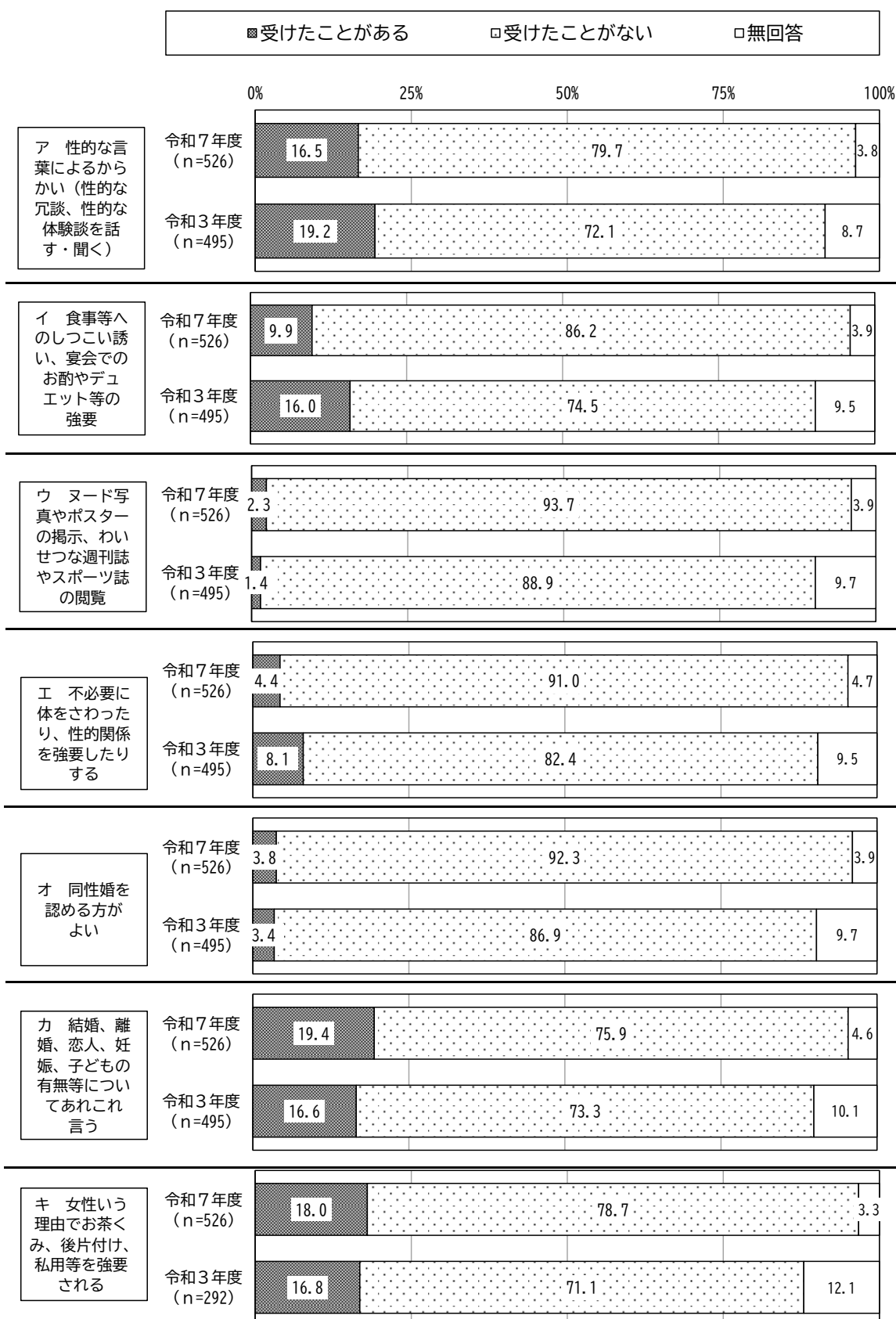
問10 職場や学校、地域などでハラスメントについて



性別にみると、男性は「カ 結婚、離婚、恋人、妊娠、子どもの有無等についてあれこれ言う」が15.2%と最も割合が高く、次いで「ア 性的な言葉によるからかい(性的な冗談、性的な体験談を話す・聞く)」が14.9%となっている。女性は「カ 結婚、離婚、恋人、妊娠、子どもの有無等についてあれこれ言う」が23.4%と最も割合が高く、次いで「ア 性的な言葉によるからかい(性的な冗談、性的な体験談を話す・聞く)」が18.3%となっている。



参考までに令和3年度調査結果と比較すると、「受けたことがある」については、「カ 結婚、離婚、恋人、妊娠、子どもの有無等についてあれこれ言う」が+3ポイント上昇している。低下した項目については、「イ 食事等へのしつこい誘い、宴会でのお酌やデュエット等の強要」が-6ポイント、次いで「エ 不必要に体をさわったり、性的関係を強要したりする」が-4ポイントとなっている。



問11 あなたは、夫婦や恋人の間で次のようなことが行われた場合、それを暴力だと思いませんか。
 下記のア～コについて、あなたの考えに近い選択肢(番号)を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合もある	暴力にあたるとは思わない
ア 平手で打つ	1	2	3
イ 殴るふりをしておどす	1	2	3
ウ 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
エ 「誰のおかげで食べられるんだ」などに見下して言う	1	2	3
オ 嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
カ 避妊に協力しない	1	2	3
キ 生活費を渡さない	1	2	3
ク お金の使いみちを細かくチェックする	1	2	3
ケ 親きょうだい、友人との付き合いを禁止・制限する	1	2	3
コ 相手の交友関係や電話、メール、SNSなどをチェックする	1	2	3

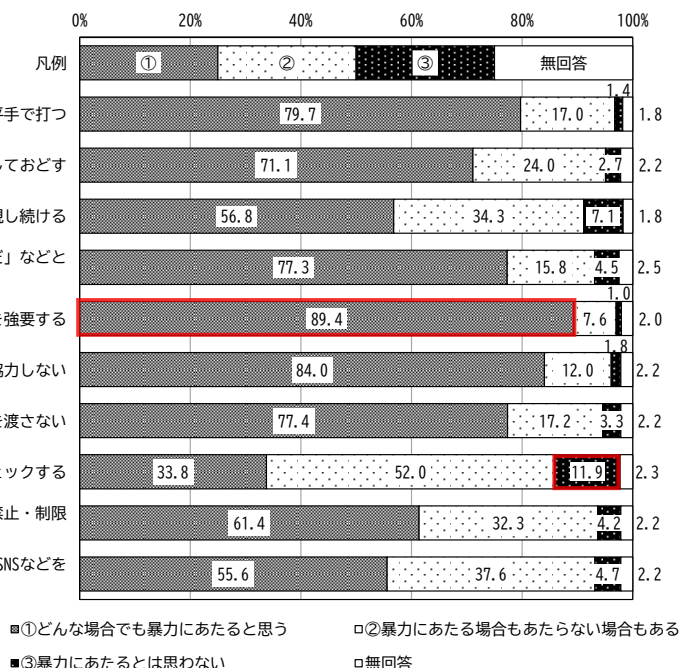
暴力だと思う行動について、ほとんどの項目において「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が高い傾向となっている。その中でも、「オ 嫌がっているのに性的な行為を強要する」が89.4%と最も割合が高く、次いで「カ 避妊に協力しない」が84.0%、「ア 平手で打つ」が79.7%となっている。

一方、「暴力にあたるとは思わない」の割合が高い項目をみると、「ク お金の使いみちを細かくチェックする」では11.9%と最も高くなっている。

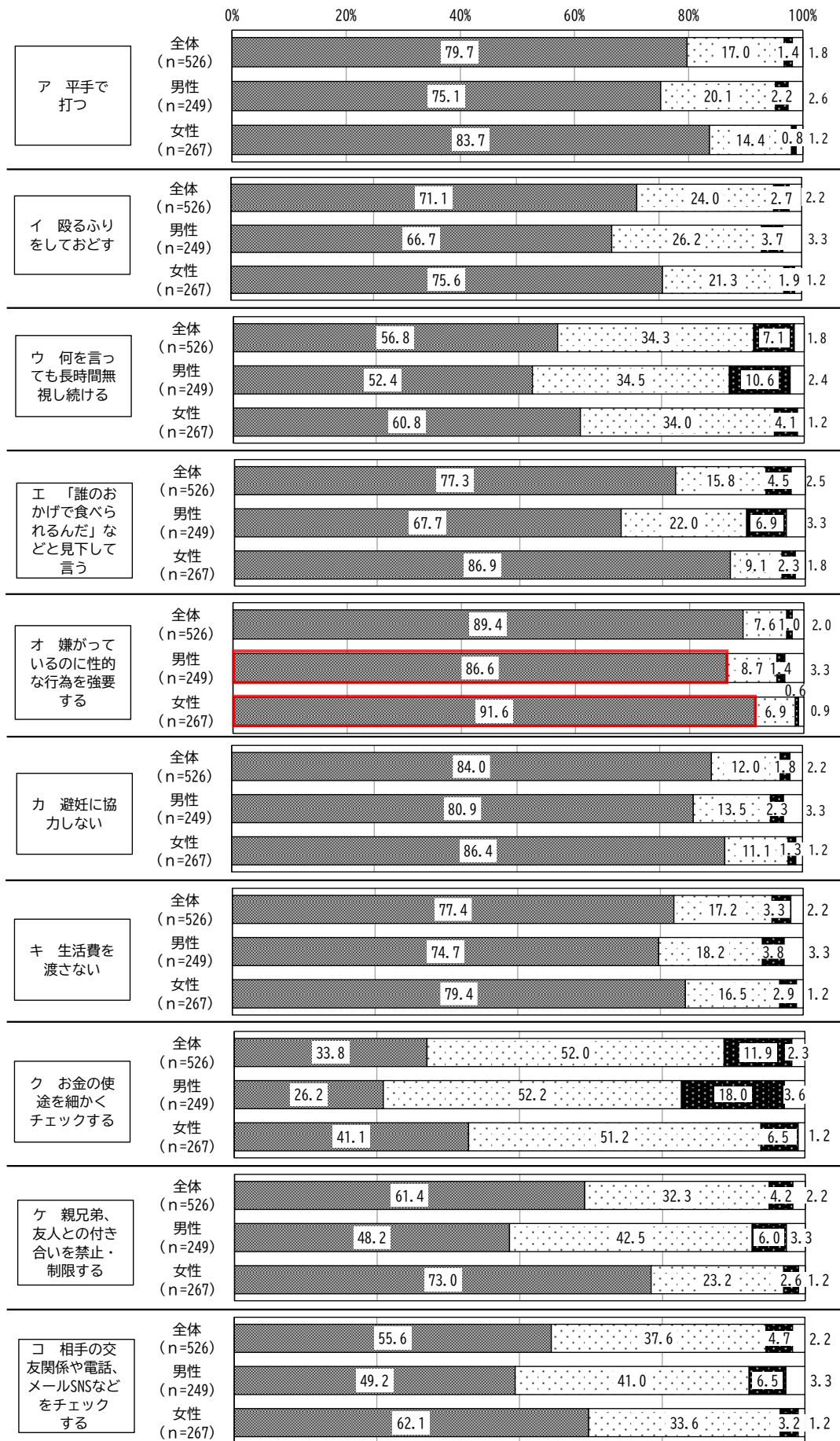
性別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」行動について、男性は「オ 嫌がっているのに性的な行為を強要する」が86.6%と最も割合が高く、次いで「カ 避妊に協力しない」が80.9%となっている。女性は「オ 嫌がっているのに性的な行為を強要する」が91.6%と最も割合が高く、次いで「エ 「誰のおかげで食べられるんだ」などに見下して言う」が86.9%となっている。

参考までに令和3年度調査結果と比較すると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が上昇した項目については、「カ 避妊に協力しない」が+13ポイント、次いで「オ 嫌がっているのに性的な行為を強要する」が+6ポイントとなっている。低下した項目をみると、「ケ 親きょうだい、友人との付き合いを禁止・制限する」が-8ポイント、次いで「ク お金の使いみちを細かくチェックする」及び「コ 相手の交友関係や電話、メール、SNSなどをチェックする」が-3ポイントとなっている。

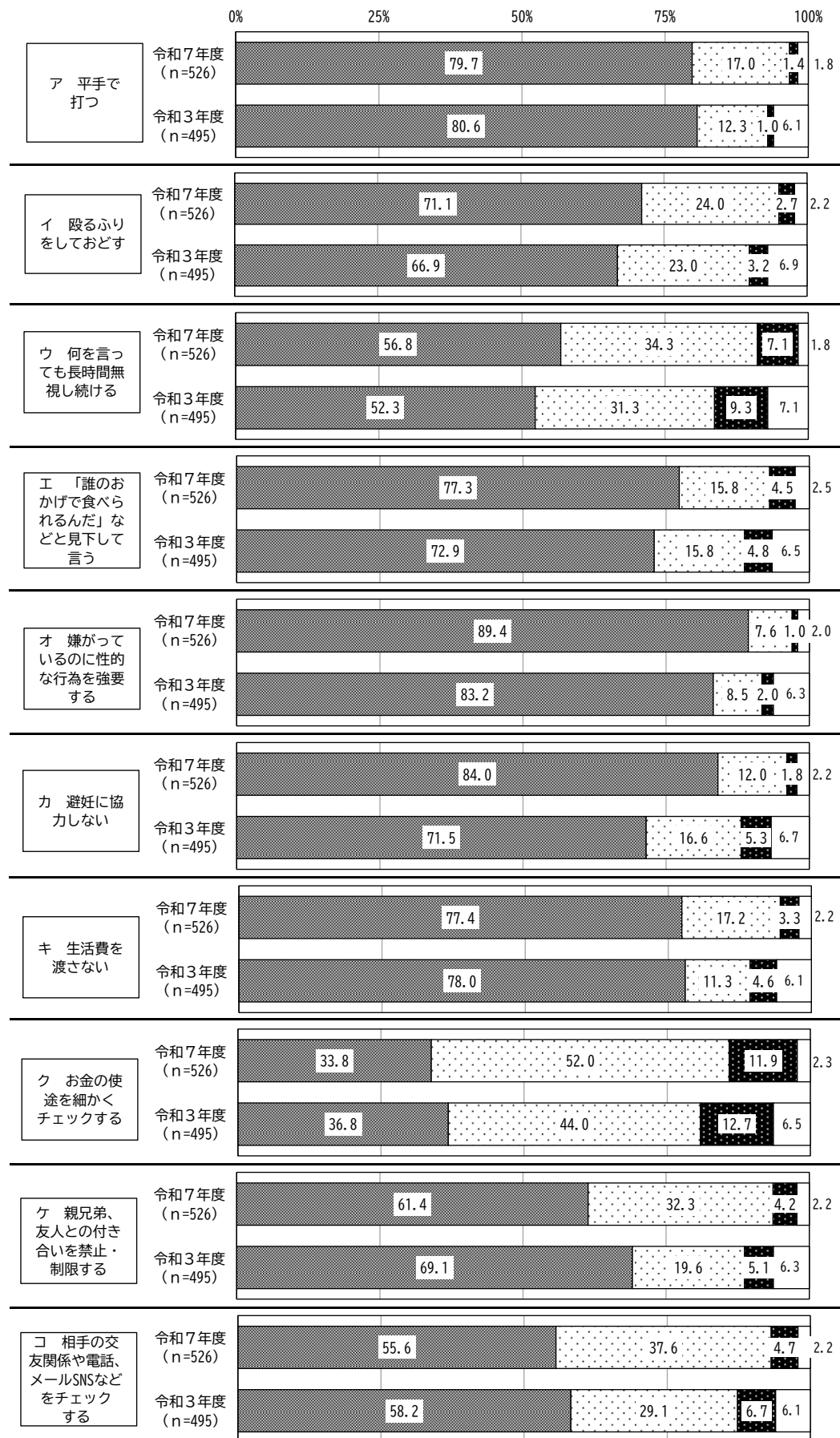
問11 暴力だと思う行動



どの場合でも暴力にあたると思う 暴力にあたる場合もあたらない場合もある
 暴力にあたるとは思わない 無回答



どの場合でも暴力にあたると思う
 暴力にあたる場合もあたらぬ場合もある
 暴力にあたるとは思わない
 無回答



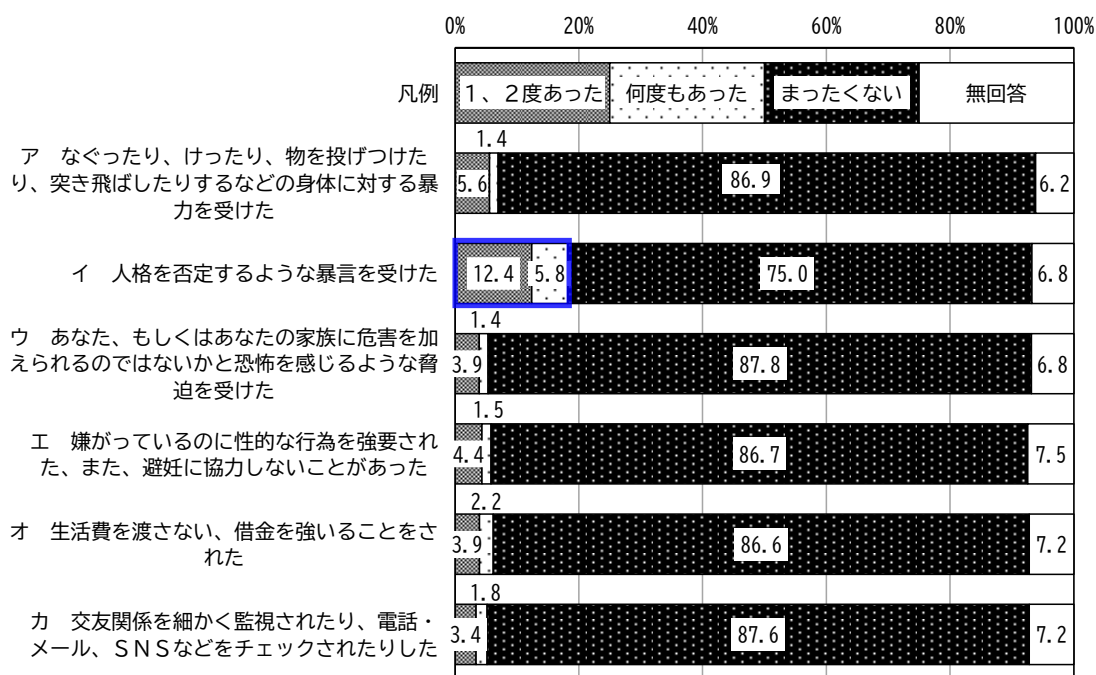
問12 あなたは、過去5年ほどの間に、配偶者等（事実婚や別居中、元配偶者も含む）や交際相手からの次のようなことをされたことがありますか。ア～カについて、あてはまる選択肢（番号）を選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	1、2度あった	何度もあった	まったくない
ア なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた	1	2	3
イ 人格を否定するような暴言を受けた	1	2	3
ウ あなた、もしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
エ 嫌がっているのに性的な行為を強要された、または、避妊に協力しないことがあった	1	2	3
オ 生活費を渡さない、借金を強いることをされた	1	2	3
カ 交友関係を細かく監視されたり、電話・メール・SNSをチェックされたりした	1	2	3

配偶者等や交際相手からの暴力について、全ての項目において「まったくない」が最も高い割合を占めている。

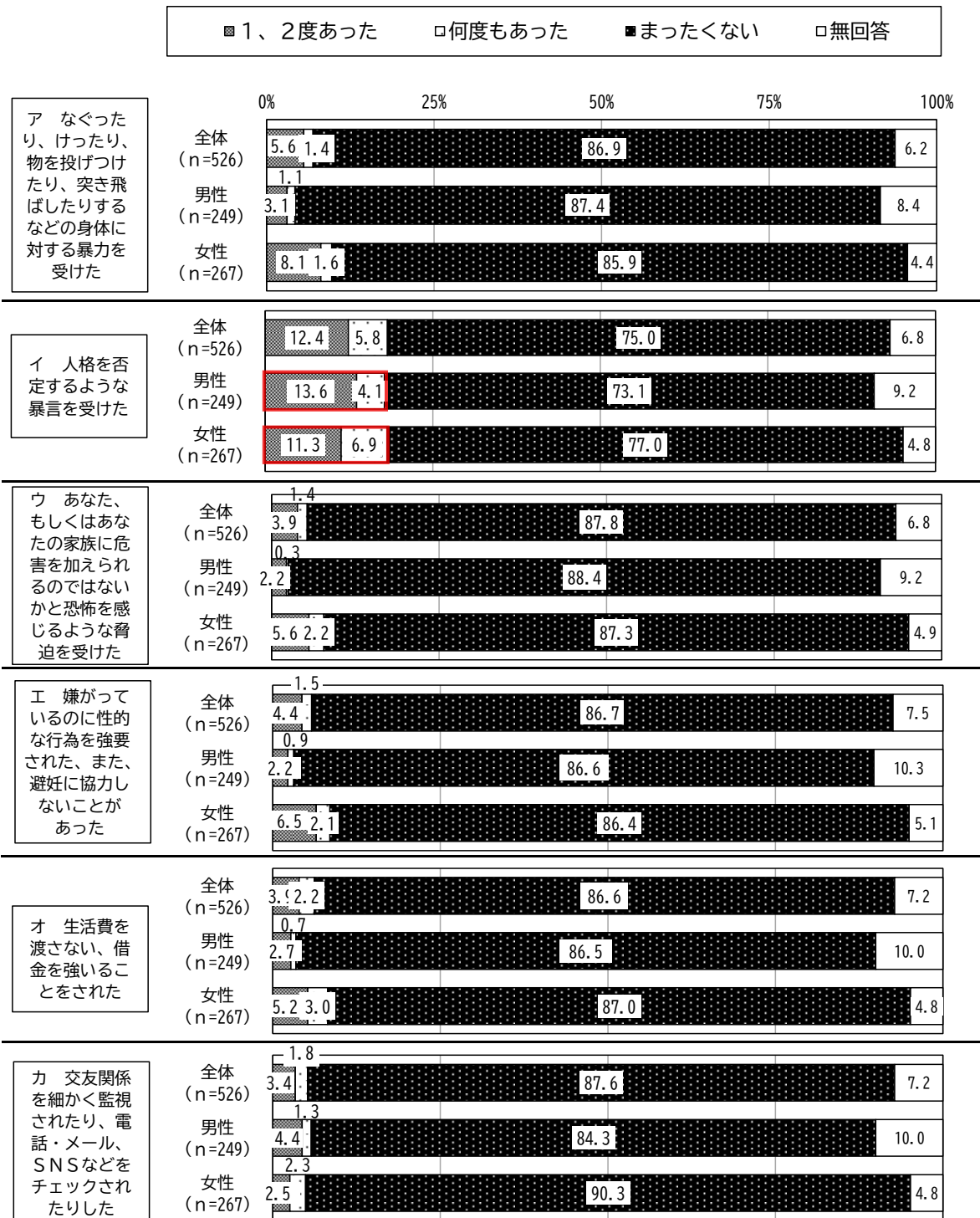
暴力が『あった』（「1、2度あった」＋「何度もあった」）項目をみると、「イ 人格を否定するような暴言を受けた」が18.2%と最も高い割合となっている。

問12 配偶者等や交際相手からの暴力について

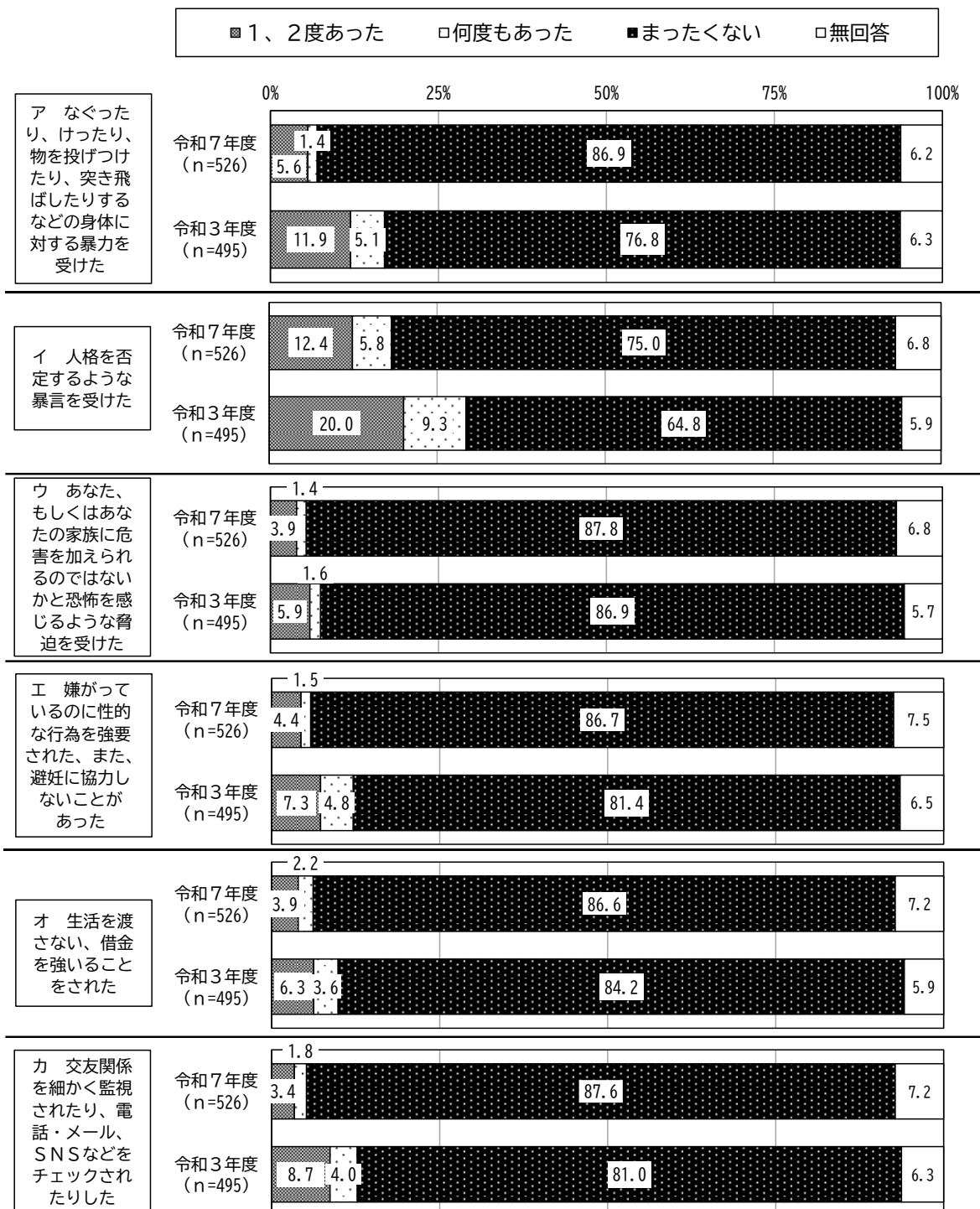


性別にみると、暴力が『あった』について、男性は「イ 人格を否定するような暴言を受けた」が17.7%と最も割合が高く、次いで「カ 交友関係を細かく監視されたり、電話・メール・SNSをチェックされたりした」が5.7%となっている。

女性は「イ 人格を否定するような暴言を受けた」が18.2%と最も割合が高く、次いで「ア なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた」が9.7%となっている。



参考までに令和3年度調査結果と比較すると、暴力が『あった』が上昇した項目は0項目となっている。低下した項目をみると、「イ 人格を否定するような暴言を受けた」が-11ポイント、次いで「ア なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた」が-10ポイントとなっている。



【問12で「1、2度あった」「何度もあった」と答えた方】

問13 あなたはそのことを、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○はいくつでも)

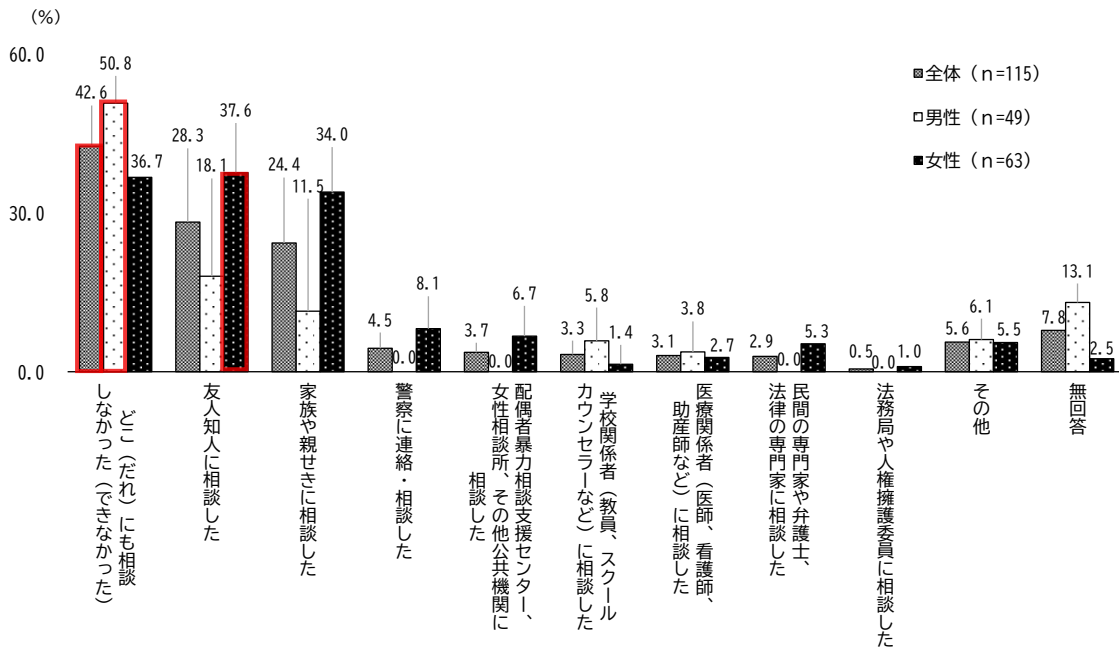
1. 警察に連絡・相談した
2. 法務局や人権擁護委員に相談した
3. 配偶者暴力相談支援センター、女性相談所、その他公共機関に相談した
4. 民間の専門家や弁護士、法律の専門家に相談した
5. 医療関係者（医師、看護師、助産師など）に相談した
6. 学校関係者（教員、スクールカウンセラーなど）に相談した
7. 家族や親せきに相談した
8. 友人知人に相談した
9. その他（具体的に _____)
10. どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった） ⇒ 問14へ

全回答者のうち 21.9%（526人中115人）が、問12のア～カのいずれかのDV被害を受けたことがあると回答している。

配偶者等や交際相手からの暴力に関する相談先をみると、「10. どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」が42.6%と最も割合が高い。次いで、「8. 友人知人に相談した」が28.3%、「7. 家族や親せきに相談した」が24.4%となっている。

性別にみると、男性は「10. どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」が50.8%と最も割合が高く、次いで「8. 友人知人に相談した」が18.1%となっている。女性は「8. 友人知人に相談した」が37.6%と最も割合が高く、次いで「10. どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」が36.7%となっている。

問13 誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか（複数回答）

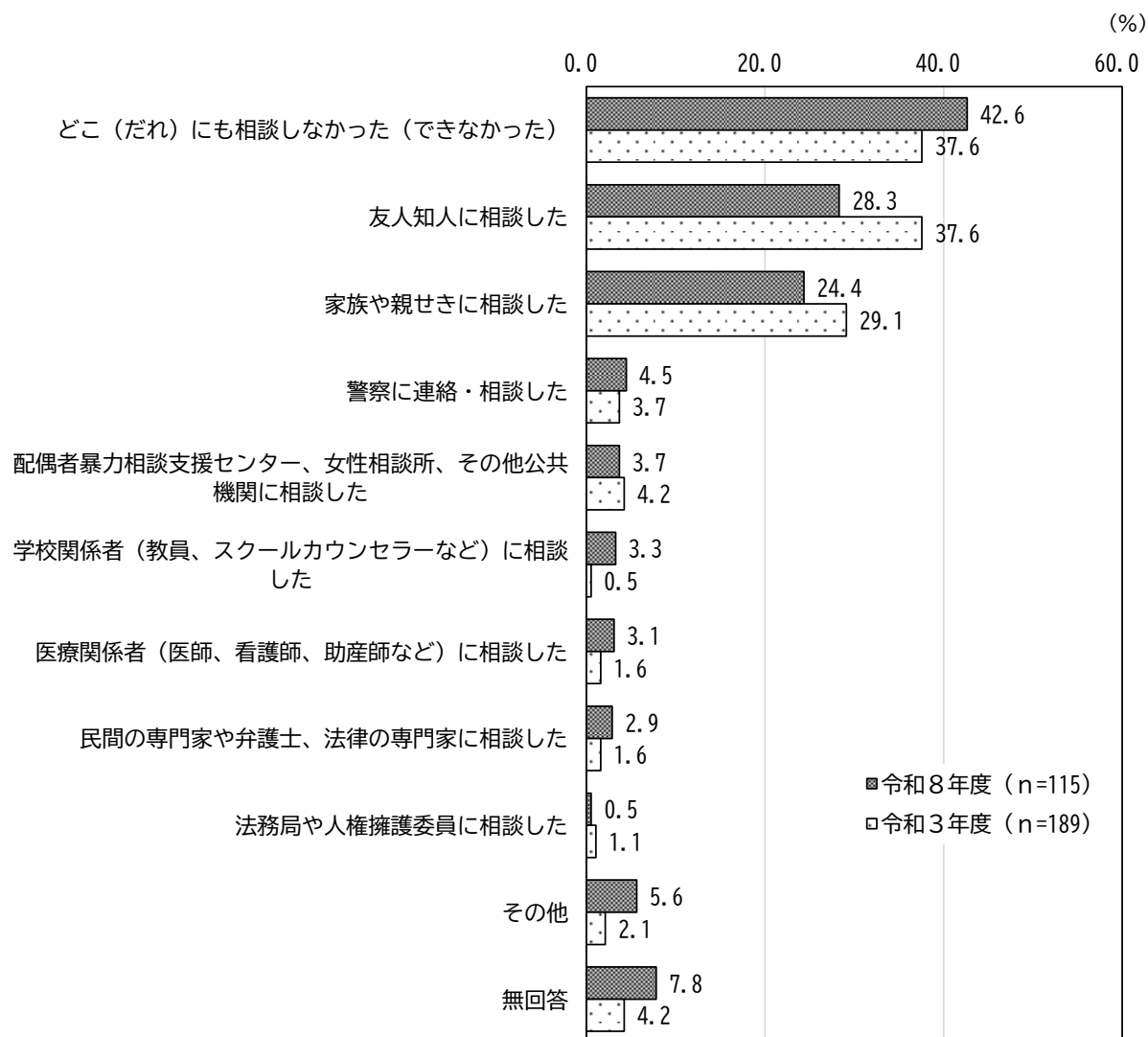


【その他】自分で解決できる程度なので、相談する必要もなかった/相談するほど深刻ではない/時間が解決した/本人と話し合った。現在は良くなっている。もし元に戻れば離婚も考えていいと思っている/本人に伝えた/自己処理、がまんしたら治まった

参考までに令和3年度調査結果と比較すると、上昇した項目については、「10. どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」が+5ポイント、次いで「6. 学校関係者（教員、スクールカウンセラーなど）に相談した」が+3ポイントとなっている。

低下した項目については、「8. 友人知人に相談した」が-9ポイント、次いで「7. 家族や親せきに相談した」が-5ポイントとなっている。

問13 誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか（複数回答）



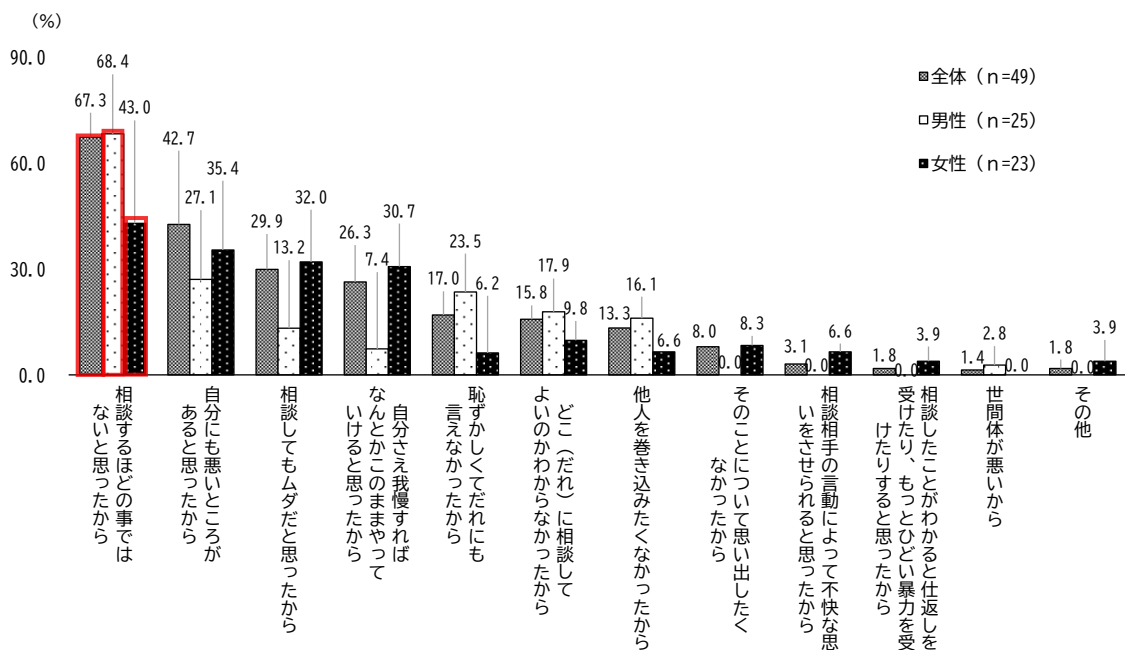
【問13で「10. どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」と答えた方】
 問14 どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。（○はいくつでも）

1. どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから
2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
3. 相談してもムダだと思ったから
4. 相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから
5. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
6. 自分さえ我慢すればなんとかこのままやっていけると思ったから
7. 世間体が悪いから
8. 他人を巻き込みたくなかったから
9. そのことについて思い出したくなかったから
10. 自分にも悪いところがあると思ったから
11. 相談するほどの事ではないと思ったから
12. その他（具体的に

配偶者等や交際相手からの暴力に関して相談しなかった理由をみると、「11. 相談するほどの事ではないと思ったから」が67.3%と約7割を占めている。次いで、「10. 自分にも悪いところがあると思ったから」が42.7%、「3. 相談してもムダだと思ったから」が29.9%となっている。

性別にみると、男性は「11. 相談するほどの事ではないと思ったから」が68.4%と最も割合が高く、次いで「10. 自分にも悪いところがあると思ったから」が27.1%となっている。女性も「11. 相談するほどの事ではないと思ったから」が43.0%と最も割合が高く、次いで「10. 自分にも悪いところがあると思ったから」が35.4%となっている。

問14 どこ（だれ）にも相談しなかった理由（複数回答）

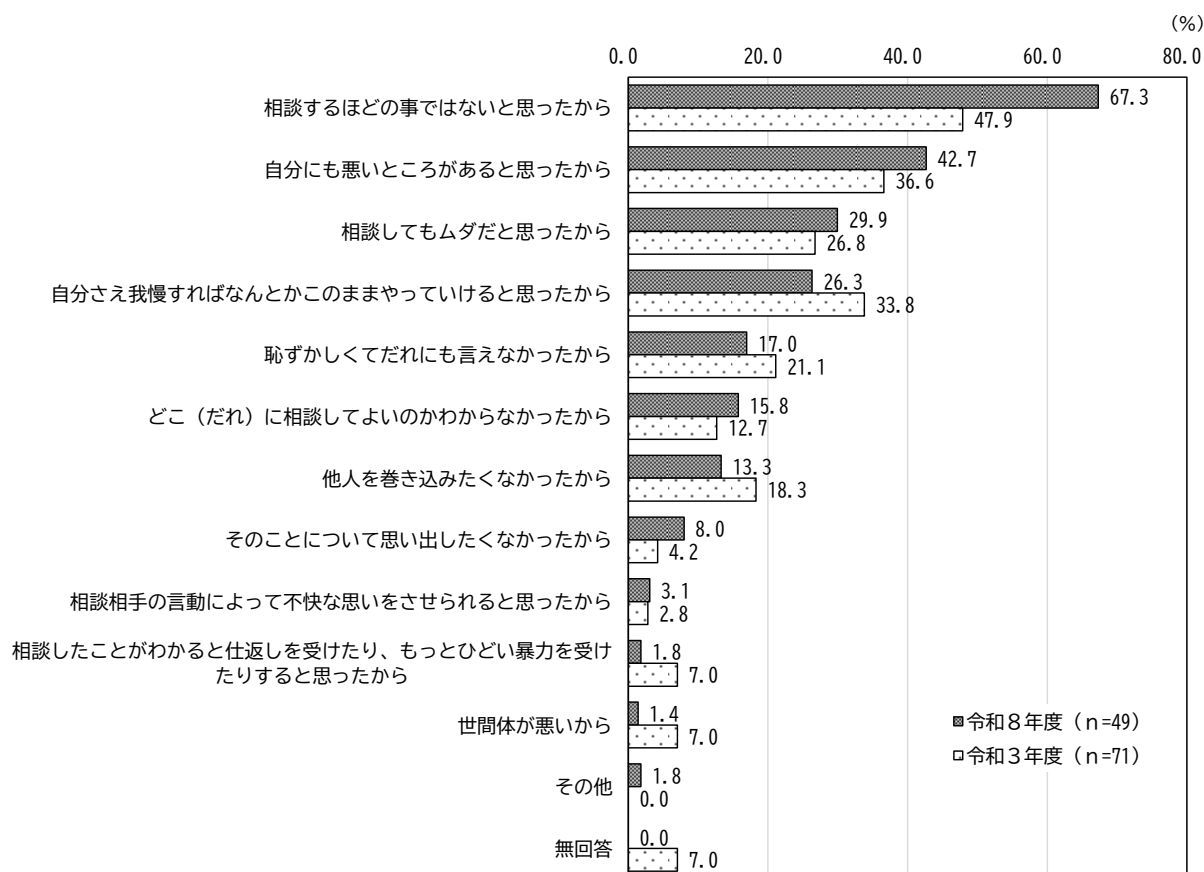


【その他】本人に関係を終わらせると言ったら止めるから

参考までに令和3年度調査結果と比較すると、上昇した項目については、「11. 相談するほどの事ではないと思ったから」が+19ポイント、次いで「10. 自分にも悪いところがあると思ったから」が+6ポイントとなっている。

低下した項目については、「6. 自分さえ我慢すればなんとかこのままやっていけると思ったから」が-8ポイント、次いで「7. 世間体が悪いから」が-6ポイントとなっている。

問14 どこ（だれ）にも相談しなかった理由（複数回答）



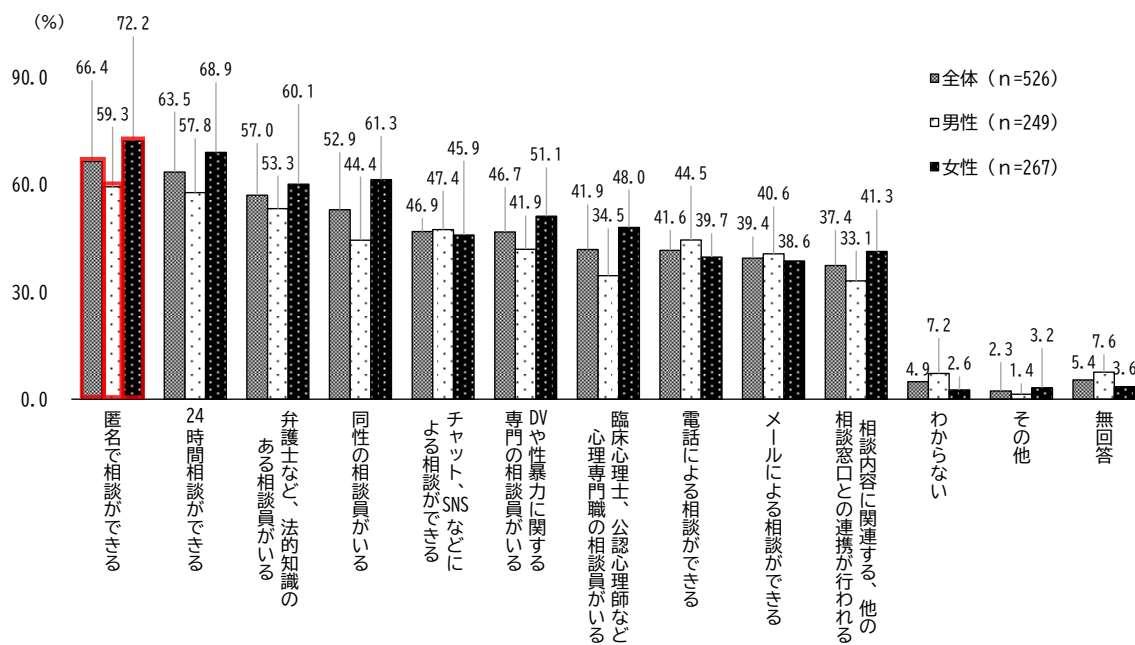
問 15 あなたが、DV や性暴力の被害やそれに関する悩みを相談できる窓口などで配慮してほしいと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. メールによる相談ができる
2. チャット、SNS などによる相談ができる
3. 電話による相談ができる
4. 24 時間相談ができる
5. 相談内容に関連する、他の相談窓口との連携が行われる
6. 同性の相談員がいる
7. 匿名で相談ができる
8. 弁護士など、法的知識のある相談員がいる
9. 臨床心理士、公認心理師など、心理専門職の相談員がいる
10. DV や性暴力に関する専門の相談員がいる
11. その他 (具体的に)

DV 等の相談窓口の配慮事項をみると、「7. 匿名で相談ができる」が 66.4%と最も割合が高く、次いで「4. 24 時間相談ができる」が 63.5%、「8. 弁護士など、法的知識のある相談員がいる」が 57.0%、「6. 同性の相談員がいる」が 52.9%と 5 割以上を占めている。

性別にみると、男性は「7. 匿名で相談ができる」が 59.3%と最も割合が高く、次いで「4. 24 時間相談ができる」が 57.8%となっている。女性も「7. 匿名で相談ができる」が 72.2%と最も割合が高く、次いで「4. 24 時間相談ができる」が 68.9%となっている。

問15 DVや性暴力の被害、それに関する悩みを相談できる窓口等、配慮してほしいこと（複数回答）



【その他】相談員の処遇を改善し専門性を高める/秘密厳守であることが絶対/同年代の相談員がいる。具体的な行動を教えてもらえる/専門家への無料相談・時間制限なし/費用安い。無料/すぐに避難できるような関係図を提案できる環境づくり/相談窓口有る事をしっかり伝えよ。行政のサービス全体に言える事だがただあるだけで市民に十分知られていないサービスが多過ぎる/専門性の高い人の配置。いくら相談できますよと言われても初回の感じで、「この人に相談できない」と思ったらそこまで。窓口あってないようなもの/個人保護の重視/ビデオチャット/ボランティア残業の廃止/メール、電話等、相談となると長時間になると思うのでできれば無料であって欲しい

6) 性の多様性について

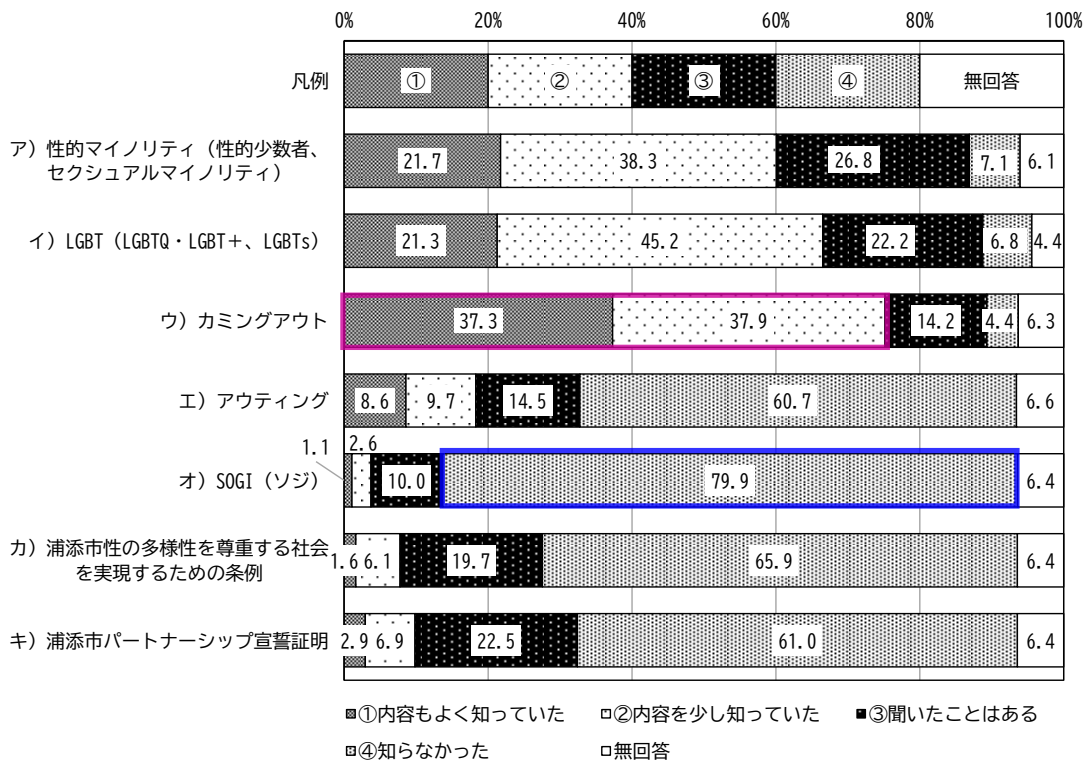
問16 あなたは、性の多様性に関する次のア～キの言葉を知っていますか。あてはまる選択肢(番号)を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

項目	選択肢			
	知っ てい た 内 容 も よ く	知っ てい た 内 容 を 少 し	は 聞 い た こ と は あ る	知 ら な か っ た
ア) 性的マイノリティ (性的少数者、セクシュアルマイノリティ)	1	2	3	4
イ) LGBT (LGBTQ・LGBT+、LGBTs)	1	2	3	4
ウ) カミングアウト	1	2	3	4
エ) アウティング	1	2	3	4
オ) SOGI (ソジ)	1	2	3	4
カ) 浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例	1	2	3	4
キ) 浦添市パートナーシップ宣誓証明	1	2	3	4

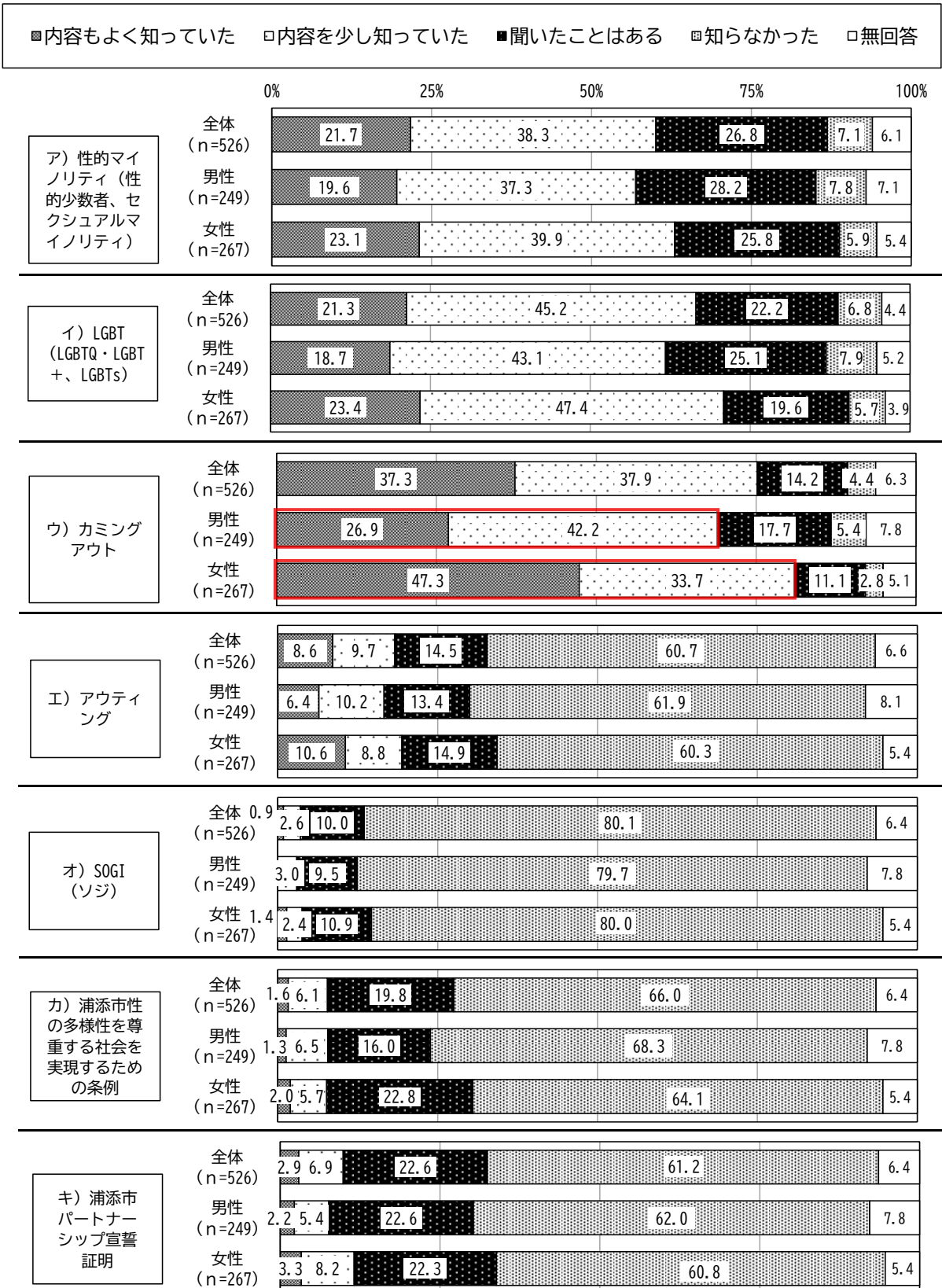
性の多様性に関する語句の認知度について、『知っていた』(「内容もよく知っていた」+「内容を少し知っていた」)語句をみると、「ウ) カミングアウト」が75.2%と最も割合が高く、次いで「イ) LGBT」が66.5%、「ア) 性的マイノリティ」が60.0%となっている。

一方、「知らなかった」語句をみると、「オ) SOGI」が79.9%と最も割合が高く、次いで「カ) 浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例」が65.9%、「キ) 浦添市パートナーシップ宣誓証明」が61.0%、「エ) アウティング」が60.7%となっている。

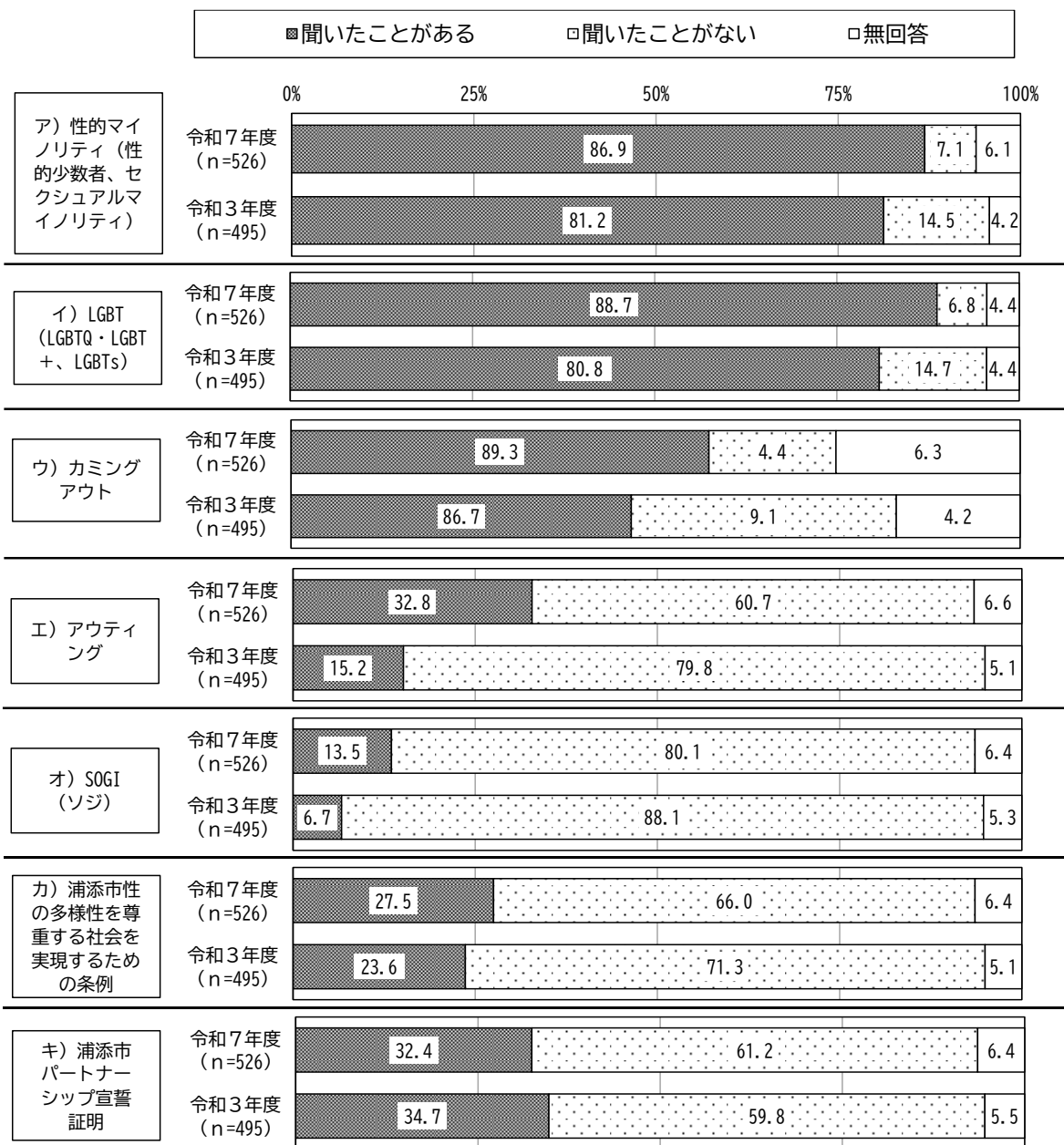
問16 性の多様性に関する語句の認知度



性別にみると、『知っていた』語句について、男性は「ウ) カミングアウト」が69.1%と最も割合が高く、次いで「イ) LGBT (LGBTQ・LGBT+、LGBTs)」が61.8%となっている。女性も「ウ) カミングアウト」が81.0%と最も割合が高く、次いで「イ) LGBT (LGBTQ・LGBT+、LGBTs)」が70.8%となっている。



令和3年度調査結果とは選択肢が異なるため一概に比較できないが、参考までに「聞いたことがある」が上昇した項目についてみると、「エ）アウティング」が+18ポイント、次いで「イ）LGBT（LGBTQ・LGBT+、LGBTs）」が+8ポイントとなっている。一方、「キ）浦添市パートナーシップ宣誓証明」は-2ポイント低下している。



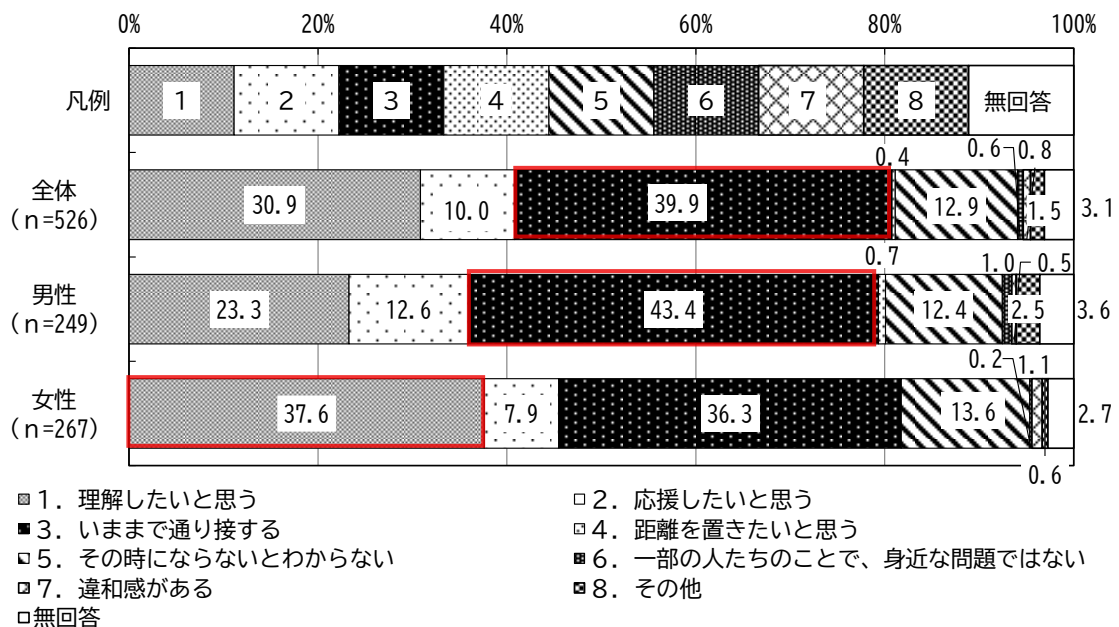
問 17 あなたは、家族や友人など身近な方から性的少数者（セクシュアルマイノリティ）であることを打ち明けられたとしたら、どのように思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 理解したいと思う | 2. 応援したいと思う |
| 3. いままで通り接する | 4. 距離を置きたいと思う |
| 5. その時にならないとわからない | 6. 一部の人のことで、身近な問題ではない |
| 7. 違和感がある | 8. その他（ ） |

身近な方から性的少数者であることを打ち明けられた場合について、「3. いままで通り接する」が39.9%と最も割合が高く、次いで「1. 理解したいと思う」が30.9%、「5. その時にならないとわからない」が12.9%となっている。

性別にみると、男性は「3. いままで通り接する」が43.4%と最も割合が高く、次いで「1. 理解したいと思う」が23.3%となっている。女性は「1. 理解したいと思う」が37.6%と最も割合が高く、次いで「3. いままで通り接する」が36.3%となっている。

問17 身近な方から性的少数者であることを打ち明けられた時



【その他】嗜好の問題だけなら気にしない。異性として対応して欲しいならケースバイケース/相手が求めている対応による/LGB は性的思考なので今までとおり接する。Tは性自認なので対応が難しく距離を置くかもしれない/絶対守らないし

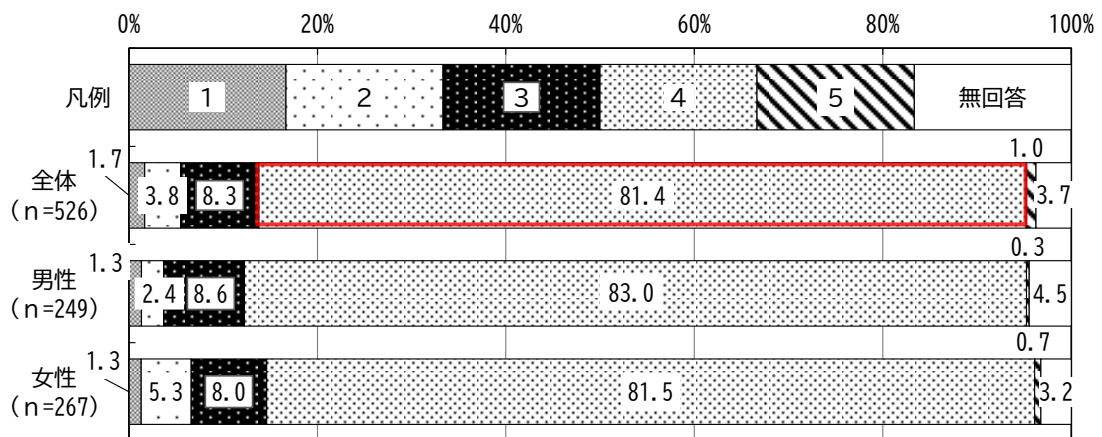
問 18 あなたは今までに、自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などに悩んだことはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. よくある | 2. たまにある |
| 3. ほとんどない | 4. まったくない |
| 5. 答えたくない | |

自分の性などに悩んだ経験をみると、「4. まったくない」が 81.4%と最も割合が高くなっている。『ある』(「1. よくある」+「2. たまにある」)と回答した人は全体の 5.5%を占めている。

性別にみると、『ある』と回答した男性は 3.7%、女性は 6.6%となっている。

問18 自分の身体の性、心の性または性的指向(同性愛など)に悩んだこと



■ 1. よくある □ 2. たまにある ■ 3. ほとんどない □ 4. まったくない □ 5. 答えたくない □ 無回答

問 19 あなたは、性の多様性を尊重する取組としてどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

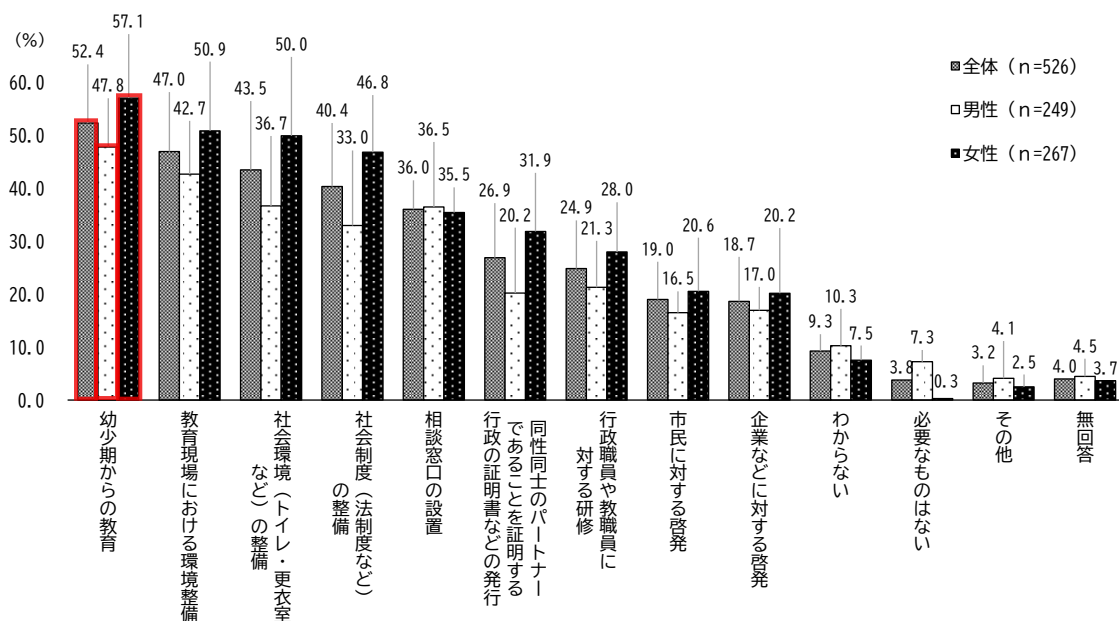
- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 1. 市民に対する啓発 | 2. 幼少期からの教育 |
| 3. 相談窓口の設置 | 4. 社会制度（法制度など）の整備 |
| 5. 社会環境（トイレ・更衣室など）の整備 | 6. 教育現場における環境整備 |
| 7. 行政職員や教職員に対する研修 | 8. 企業などに対する啓発 |
| 9. 同性同士のパートナーであることを証明する行政の証明書などの発行 | 10. その他（ ） |
| 11. わからない | 12. 必要なものはない |

性の多様性を尊重する取組として必要なものについては、「2. 幼少期からの教育」が52.4%と最も割合が高く、次いで「6. 教育現場における環境整備」が47.0%、「5. 社会環境（トイレ・更衣室など）の整備」が43.5%となっている。

一方、「1. 市民に対する啓発」（19.0%）や「8. 企業などに対する啓発」（18.7%）は低い傾向となっている。

性別にみると、男性は「2. 幼少期からの教育」が47.8%と最も割合が高く、次いで「6. 教育現場における環境整備」が42.7%となっている。女性も「2. 幼少期からの教育」が57.1%と最も割合が高く、次いで「6. 教育現場における環境整備」が50.9%となっている。

問19 性の多様性を尊重する取組として必要だと思うこと（複数回答）



【その他】保育園等の幼少期からの、保護者への講和/そもそも性の多様性に対して取り組む必要性がどれくらい有るのかの説明が無いので回答出来ません/法律で多様な形の婚姻を認めること/法的に認められることは必要だが、社会全体に「理解を強要」するのは違うと思う/必要以上に配慮されず、同等に、当たり前扱われる社会的評価の醸成/啓発活動のみ。多様性の許容は必要だが、あくまで嗜好の違いのため、対応を変える必要はないと認識してる/過剰にやり過ぎているせいで当事者が生きづらくなってる気がする/現状多様性ばかり気にして、多様性というカテゴリーに含まれていない人には我慢を強いている気がする。どちらかを尊重（優遇）ではなく、両方の不安や心配している点を解決するだけでいいと思う。希望を通すよりも、不安な個所を解消したら各々の衝突などは減ると思う/トイレを男女一緒にするのは危険なのでやめてほしい/性の多様性というとなんとなくいい物と勘違いするが、単なる性的嗜好の問題である。そんな事をわざわざ他者に知らせ、理解を求める事がおかしいと思う/その人を理解してあげること/当事者からの話/すべての人が理解出来ること/一般への意識啓発/家庭でのアンコンバイアスを減らす

7) 男女共同参画社会について

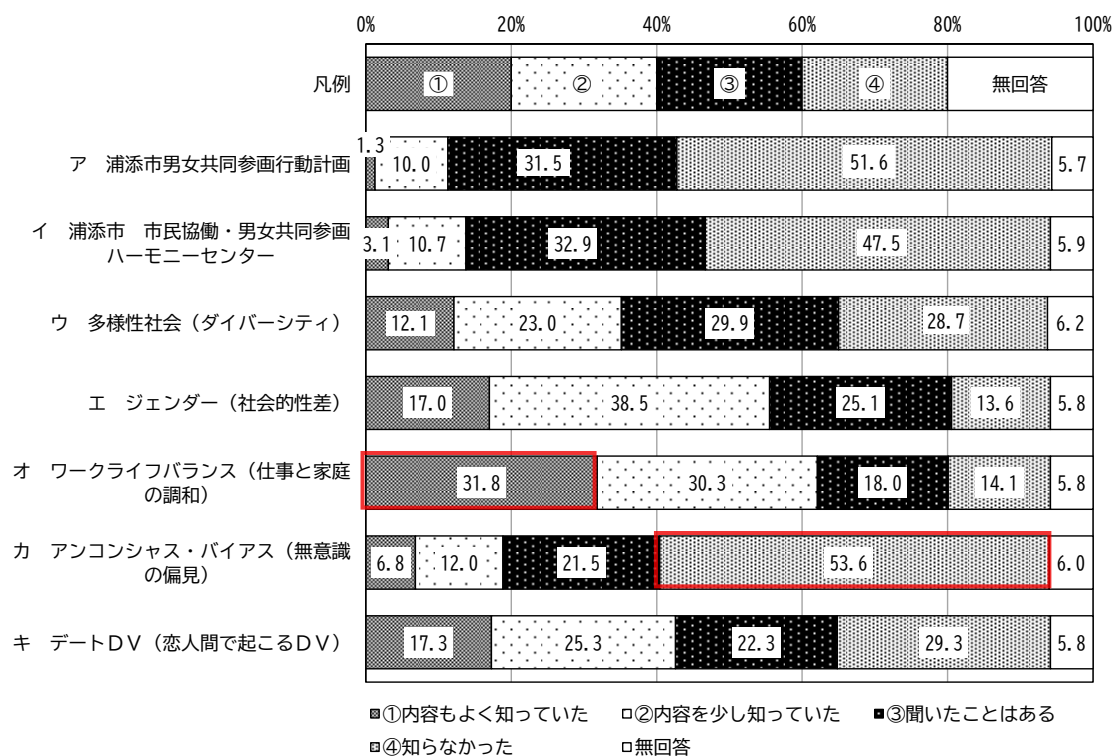
問 20 次のア～キの言葉について、知っていますか。あてはまる選択肢（番号）を選んでください。
 (○はそれぞれ1つ)

項目	選択肢	内容もよく知っていた	内容を少し知っていた	聞いたことはある	知らなかった
ア 浦添市男女共同参画行動計画	1	2	3	4	
イ 浦添市 市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター	1	2	3	4	
ウ 多様性社会（ダイバーシティ）	1	2	3	4	
エ ジェンダー（社会的性差）	1	2	3	4	
オ ワークライフバランス（仕事と家庭の調和）	1	2	3	4	
カ アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）	1	2	3	4	
キ デートDV（恋人間で起こるDV）	1	2	3	4	

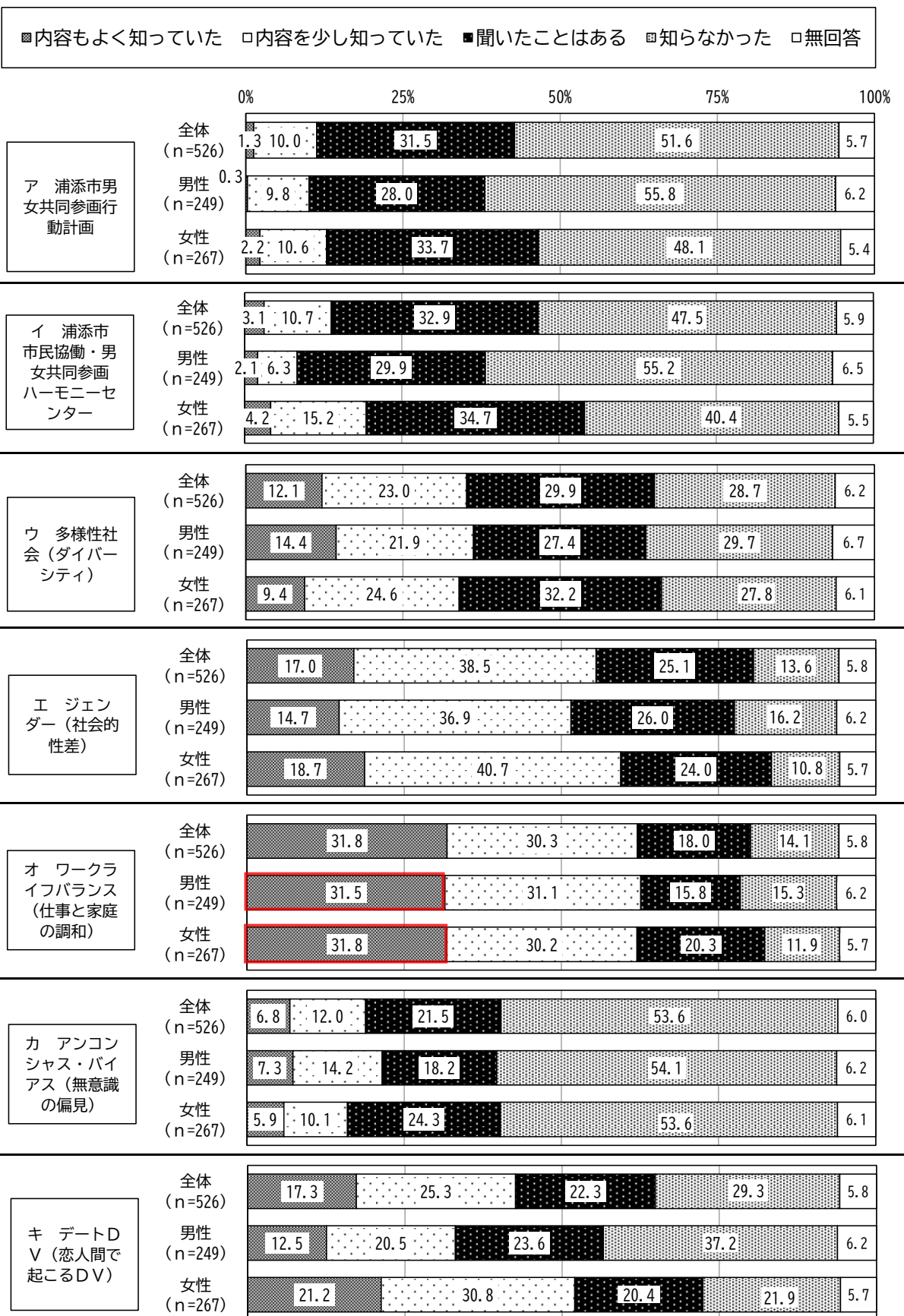
男女共同参画に関する語句の認知状況について、「内容もよく知っていた」をみると「オ ワークライフバランス」が31.8%と最も割合が高く、次いで「キ デートDV」が17.3%、「エ ジェンダー」が17.0%となっている。

一方、「知らなかった」割合が高い項目をみると「カ アンコンシャス・バイアス」が53.6%、「ア 浦添市男女共同参画行動計画」が51.6%、「イ 浦添市 市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター」が47.5%となっている。

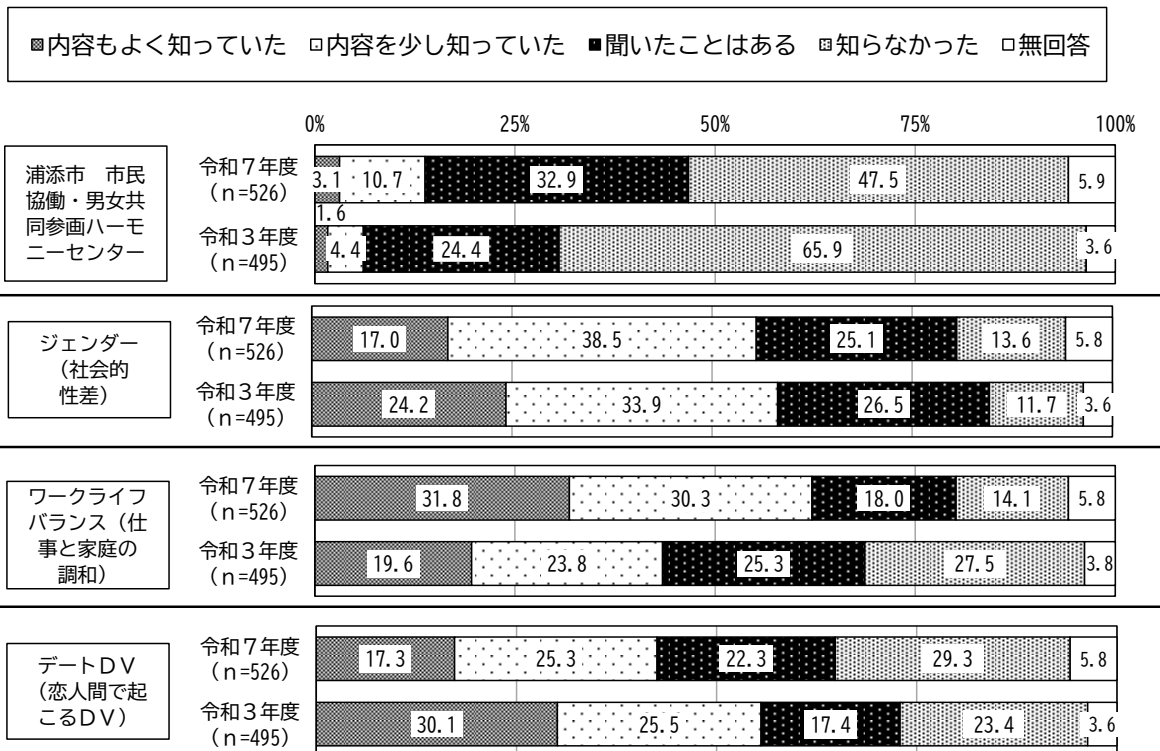
問20 男女共同参画社会について



「内容もよく知っていた」について性別にみると、男性は「オ ワークライフバランス」が31.5%と最も割合が高く、次いで「エ ジェンダー」が14.7%となっている。女性は「オ ワークライフバランス」が31.8%と最も割合が高く、次いで「キ デートDV」が21.2%となっている。



参考までに令和3年度調査結果と比較すると、「内容もよく知っていた」が上昇した項目については、「オ ワークライフバランス」が+12ポイント、次いで「ア 浦添市男女共同参画行動計画」が+2ポイントとなっている。低下した項目をみると、「キ デートDV」が-13ポイント、次いで「エ ジェンダー」が-7ポイントとなっている。



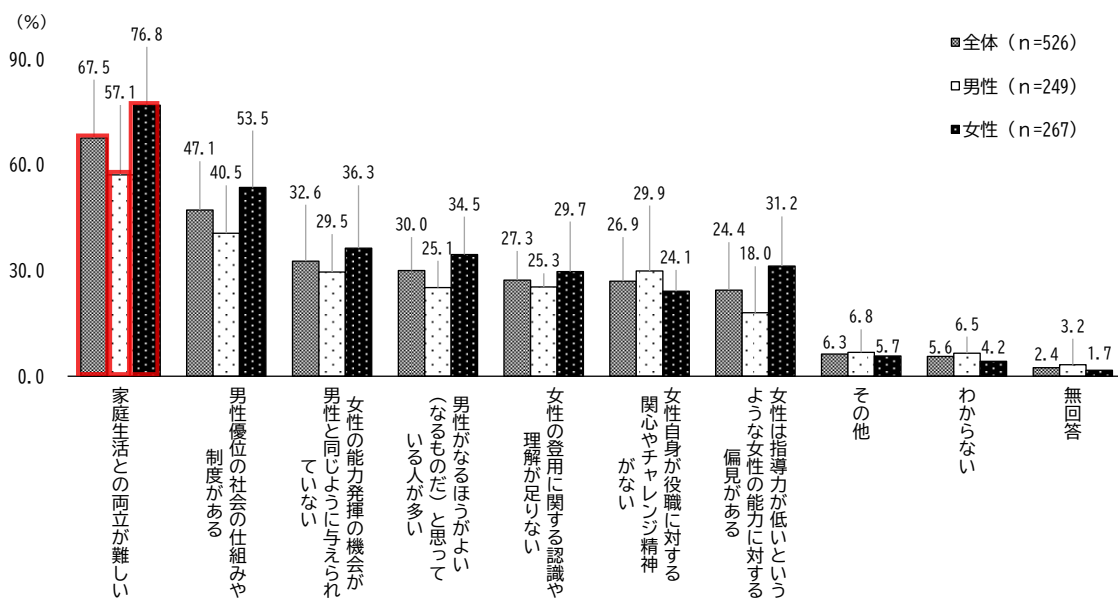
問 21 女性の社会進出は進みつつありますが、自治体の首長（知事や市町村長）や議員、企業の管理職などはまだ女性が少ないのが現状です。このように女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。（〇はいくつでも）

1. 家庭生活との両立が難しい
2. 男性優位の社会の仕組みや制度がある
3. 女性は指導力が低いというような女性の能力に対する偏見がある
4. 女性の能力発揮の機会が男性と同じように与えられていない
5. 女性の登用に関する認識や理解が足りない
6. 男性になるほうがよい（なるものだ）と思っている人が多い
7. 女性自身が役職に対する関心やチャレンジ精神がない
8. その他（具体的に
9. わからない

自治体の首長等に女性の参画が少ない理由について、「1. 家庭生活との両立が難しい」が67.5%と最も割合が高く、次いで「2. 男性優位の社会の仕組みや制度がある」が47.1%、「4. 女性の能力発揮の機会が男性と同じように与えられていない」が32.6%、「6. 男性になるほうがよい（なるものだ）と思っている人が多い」が30.0%となっている。

性別にみると、男性は「1. 家庭生活との両立が難しい」が57.1%と最も割合が高く、次いで「2. 男性優位の社会の仕組みや制度がある」が40.5%となっている。女性も「1. 家庭生活との両立が難しい」が76.8%と最も割合が高く、次いで「2. 男性優位の社会の仕組みや制度がある」が53.5%となっている。

問21 自治体の首長や議員、企業の管理職などで女性の参画が少ない理由（複数回答）



【その他】女性の妊娠、出産、育児により職場復帰がしづらい状況/そもそも日本女性自身の大半がそれを望んでいないと感じる。(金銭的余裕があるなら専業主婦になりたいと思う女性も多い)/ 家族の理解や協力/この質問の仕方はおかしい。そもそも女性に対して直接質問すべきだと思う/妊娠出産による離脱/いろいろな面で女性は身体的な負担が男性に比べ大きい。子育てとの両立、閉経後の体調不良など/家事や子育ては女性がやるのが当然/その役職への能力が足りていない/女性がそういった役職についても周囲からの評価を得づらい。女性の方が社会的な立場よりもプライベートの充実を優先する傾向にある/男性の方が女性より長けている部分が多いからだと思う/男女は生物学的に違うのに全ての役割において同数にする必要があるのかの検証が充分されていない/妊娠での現場離脱による経験、スキル不足を補うための環境整備の費用/更年期や体の不調も男性よりはるかにあるのではないかとと思う/能力で決めれば、下駄を履かせると誰も幸せにならない/家庭にかかわる全てが女性負担の現状で、キャリアをつもうとすると家庭と両立しないといけない。当たり前で難しい。男性は家庭を考えないで仕事だけを考えるのでキャリアアップしやすいのは当たり前。家事育児出産介護人付き合いすべを、夫婦で協力できる社会(男性が家庭を大事にしてたら、男性間で良くない状況になると聞いたことがある)になれば女性もキャリアアップできると思う。(子供の体調不良での早退や欠勤もまずは母親にみたいのが無くなればいい)/全ての役職にいえる事ではないと思いますが、内閣総理大臣である高市首相が誕生した際に今まで女性活動家として活躍している方々はあまり望ましく思っていないように見えました。今までの役職に就く能力を持った女性が周りの女性から支持されない、あるいは妨害を受けてなれなかったこともあると思うので、そういったことが起こらない環境を作ることでも大事だと思う/妊娠・出産時、できないことやできることに制限があるから/男女の比率/女性側も積極的に表に立つ習慣をつけたほうがよい/圧倒的に家事をする男性が少ない。子供が熱で呼び出しがあっても休むのは女性が当たり前とか/育児等との両立がふつうに出来ない、多い/キャリアを築く時期と妊娠出産丸かぶり。そこに対する保障もなければ理解もない。社会が変わらないと女性にとっては無理/女性への意識啓発が必要。中高年の意識啓発/元々男性が多い職場なので女性が入りづらい/コミュニティの作り方がそもそも男女で違うと感じる/女性の下で働くのはいやだという男性の良くないプライド/女性のほうが賢いから/女性が活躍するのを快く思わない男性からの嫌がらせ等に耐えてまでやりたいと思う人がいない/家庭生活と言うよりもライフサイクルで子どもを持つ育てるの過程の中で、年齢的な限界にあってない日本の社会慣習が問題なのではないかと思う/女性は気負いすぎて、融通がきかないから選ばない

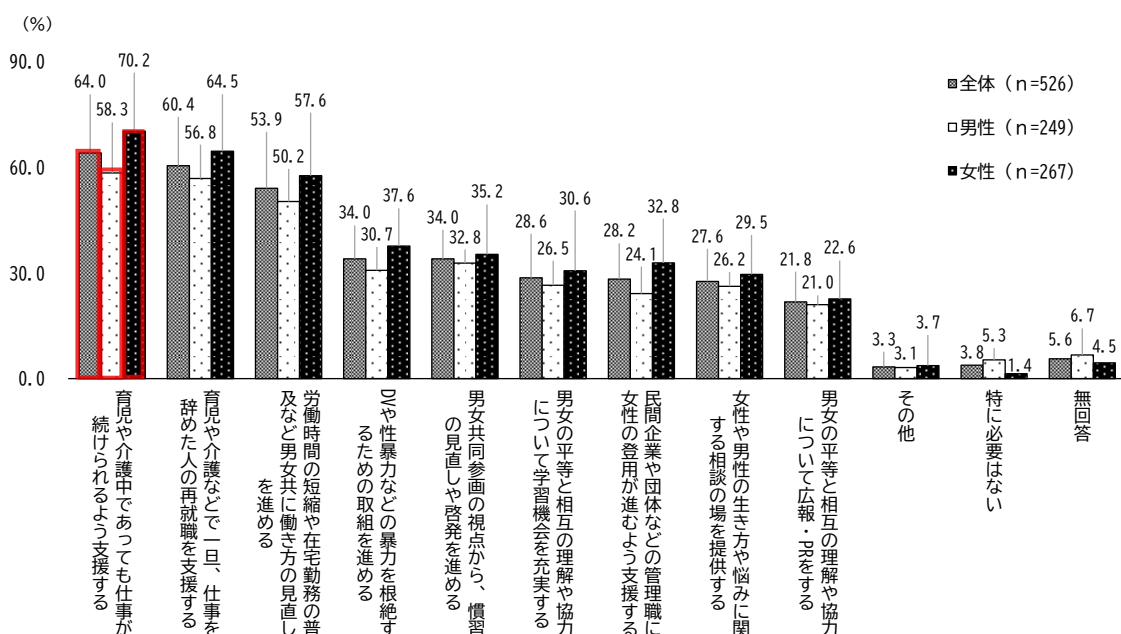
問 22 男女共同参画社会の実現に向けて、浦添市が今後特に力を入れていくべきだと思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

1. 男女共同参画の視点から、慣習の見直しや啓発を進める
2. 民間企業や団体などの管理職に女性の登用が進むよう支援する
3. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する
4. 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する
5. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める
6. 育児や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
7. 育児や介護などで一旦、仕事を辞めた人の再就職を支援する
8. 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PR をする
9. DV や性暴力などの暴力を根絶するための取組を進める
10. その他 (具体的に)
11. 特に必要はない

男女共同参画社会の実現に向けて浦添市が今後特に力を入れていくべきにことについてみると、「6. 育児や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が64.0%と最も割合が高く、次いで「7. 育児や介護などで一旦、仕事を辞めた人の再就職を支援する」が60.4%、「5. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める」が53.9%となっている。

性別にみると、男性は「6. 育児や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が58.3%と最も割合が高く、次いで「7. 育児や介護などで一旦、仕事を辞めた人の再就職を支援する」が56.8%となっている。女性も「6. 育児や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が70.2%と最も割合が高く、次いで「7. 育児や介護などで一旦、仕事を辞めた人の再就職を支援する」が64.5%となっている。

問22 男女共同参画社会の実現に向けて、浦添市が今後特に力を入れていくべきこと (複数回答)



【その他】仕事に支障をきたす原因(子育て介護等)の支援が重質する方法を考える/お手伝いさんほしい/どんどん発信(広報)するべき/子どもの不登校支援充実させてほしい。(女が)仕事を辞めないといけなくなる。仕事をやめて、生活ができない。金銭的問題、再就職支援を検討してほしい/市の組織の中に男女共同参画について具体的に行動化できるような構図をつくる/賃上、生活保護世帯への対応/男性・女性の相互理解をすすめる教育活動・イベント

8) 調査票

ご記入にあたってのお願い
 ○この調査には、郵便の宛先の本人様だけが回答ください。
 ○質問に当たっては、回答欄のあてはまる番号に○をつけてください。
 ○まつける数は、「1」だけ、のものに、「複数」のものがあります。



【回答を統計的に分析するためにおうかがいします。】

- A** あなたの性別をお答えください。あなたが回答する性でつけこずです。(Oは1つ)
 1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 答えたくない
- B** あなたの年齢をお答えください。(Oは1つ) ※2025年12月1日時点
 1. 20代 2. 30代 3. 40代
 4. 50代 5. 60代 6. 70代
- C** あなたは現在働いていますか。あてはまる項目が複数ある方は、左のものを選んでください。(Oは1つ)
 1. 会社員・公務員(管理職・課長級以上) 2. 会社員・公務員(管理職以外)
 3. パート・アルバイト・内職 4. 契約社員・派遣社員・その他の正社員
 5. 会社役員 6. 自営業
 7. フリーランス 8. 専業主婦(夫)
 9. 学生 10. 無職
 11. その他()
- D** あなたは、現に結婚していますか。(Oは1つ)
 1. 結婚している 2. 結婚していないがパートナーと暮らしている →Eへ
 3. 未婚 4. その他 →Fへ

【Dで「1」に結婚している、「2」に結婚していないがパートナーと暮らしている」と回答した方にお読みください。】

- E** 配偶者(またはパートナー)の職業をお答えください。(Oは1つ)
 1. 会社員・公務員(管理職・課長級以上) 2. 会社員・公務員(管理職以外)
 3. パート・アルバイト・内職 4. 契約社員・派遣社員・その他の正社員
 5. 会社役員 6. 自営業
 7. フリーランス 8. 専業主婦(夫)
 9. 学生 10. 無職
 11. その他()

- 1 -

【専業主婦について】

【問2へは、「Dで「1」に結婚している」「2」に結婚していないがパートナーと暮らしている」を回答した方にお読みください。あてはまらない方は該当を○でください。】

問2 あなたの家庭では、アンケートの家庭内の事柄を主にあなたが持っていますか。アンケートについて、あてはまる選択肢(番号)を選んでください。(Oはそれぞれ1つ)

項目	選択肢					
	1 主にあなたが 行う	2 あなたが 行うが、 配偶者が 行う	3 あなたが 行うが、 配偶者が 行う	4 あなたが 行うが、 配偶者が 行う	5 あなたが 行うが、 配偶者が 行う	6 その他
A 家計を支える(生活費をかせぐ)	1	2	3	4	5	6
イ 家事をする(掃除・洗濯・食事)	1	2	3	4	5	6
ウ 家計の管理	1	2	3	4	5	6
E 子どもの世話・シフト	1	2	3	4	5	6
オ 親入・老親の世話(介護)	1	2	3	4	5	6
カ 子どもの教育方針・進学の設定	1	2	3	4	5	6
キ 高額商品の購入(不動産等)	1	2	3	4	5	6
ク 家庭の問題の最終的な決定	1	2	3	4	5	6

問3 あなたは、現在の家庭内の役割分担(家事・家事・育児等)にどの程度満足していますか。(Oは1つ)

1. とても満足している 2. やや満足している
 3. どちらとも言えない 4. やや不満がある
 5. とても不満がある

- 3 -

- F** あなたの世帯構成をお答えください。(Oは1つ)
 1. 単身世帯(1人) 2. 夫婦(パートナー)のみ 3. 2世代世帯(子どもと)
 4. 2世代世帯(祖父母) 5. 3世代世帯 6. その他()

G お子さんはいらっしゃいますか(成人または同居している子どもも含めます)。(Oは1つ)
 1. 子どもはいない →問1へ 2. いる(人) →HA

【伝言「お読み」を回答した方にお読みください。】

- H** お子さんはこの中ではどれにあたりますか。(Oはいくつでも)
 1. 乳幼児 2. 小学生 3. 中学生
 4. 高校生 5. 大学生・専門学校生 6. その他()

【男女平等に関する意識について】

問1 あなたは、次におけるアンケートまでの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。アンケートの分野について、あなたの考えに近い選択肢(番号)を選んでください。(Oはそれぞれ1つ)

項目	選択肢					
	1 とても 同意している	2 同意がある	3 どちらか に同意がある	4 どちらか に同意はない	5 同意はない	6 わからない
A 家庭生活	1	2	3	4	5	6
イ 職場	1	2	3	4	5	6
ウ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
E 地域活動・社会教育の場	1	2	3	4	5	6
オ 政治の場	1	2	3	4	5	6
カ 法律や制度上	1	2	3	4	5	6
キ 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
ク 社会全体	1	2	3	4	5	6

- 2 -

【すべての方にお読みください。】

問4 結婚や家庭生活に関してアンケートの項目について、あなたの考えに近い選択肢(番号)を選んでください。(Oはそれぞれ1つ)

項目	選択肢				
	1 賛成	2 どちらか に賛成	3 どちらか に賛成	4 反対	5 わからない
A 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
イ 結婚しても必ずしも子どもを産む必要はない	1	2	3	4	5
ウ 夫婦の互々の性を尊重すること(遺伝的差別差別)を認めるほうがよい	1	2	3	4	5
E 専業主婦を認めるほうがよい	1	2	3	4	5
オ 同性愛を認めるほうがよい	1	2	3	4	5
カ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
キ 「男の子は男らしく」「女の子は女らしく」育てるほうがよい	1	2	3	4	5

問5 あなたは今後、男性が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(Oはいくつでも)

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の意識をなくす
 2. 男性が家事などに参加することに対する女性の意識をなくす
 3. 夫婦や家族間で家事などの分担をより分けしきうこと
 4. 男性による家事・育児・介護などについて、雇用における上司や周囲の理解を促すこと
 5. 労働時間の短縮や休暇制度、フレックスタイム等の1日を利用した多様な働き方を普及すること
 6. 社会の中で、男性による家事、育児、介護、地域活動についても、その評価を高めること
 7. 男性の家事や育児、介護等の技能を高めること
 8. 男性が育児や介護、地域活動を行うための事例(ネットワーク)作りを促すこと
 9. 家庭生活と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
 10. その他(具体的に)
 11. 特に必要なことはない

- 4 -

仕事について

問6 あなたは、職場において、次にあげるア～カについて性別によって差があると思いますが、あなたの考えに近い選択肢(番号)を選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

項目	選択肢	差がほとんどない	男性の方が優れている	女性の方が優れている	どちらかという優れている	どちらかという優れている	わからない
ア 業務や採用の条件	1	2	3	4	5	6	
イ 賃金・昇進・昇格	1	2	3	4	5	6	
ウ 人事配置	1	2	3	4	5	6	
エ 教育や研修制度	1	2	3	4	5	6	
オ 仕事の内容	1	2	3	4	5	6	
カ 全体的に	1	2	3	4	5	6	

問7 あなた自身は、仕事も私生活もバランスよく満足させるために、どのようなことが必要だと感じますか。(〇は3つまで)

1. フレックスタイム制やテレワーク、有給取得など、多様な働き方を促進する制度の整備
2. 長時間労働を前提とした働き方を見直す
3. 特等単位の年収保障の取得や健康保険、多様な休暇などの休暇制度の拡充
4. 育児休業や夜間・休日勤務、介護サービスなどの充実
5. デジタル技術を活用し、業務負担の軽減を図る
6. ワークライフバランスに対する職場の理解
7. その他(具体的に)

【現在働いている方(問6で選択肢1〜7を選んだ方)にお聞きします。問6で選択肢8〜11を選んだ方は問11をお読みください。】

問8 あなたのキャリアアップへの考えについてお答えください。(〇は1つ)

1. キャリアアップしたい	2. ややキャリアアップしたい	→問10へ
3. あまりしたくない	4. したくない	→問9へ

※ここでいうキャリアアップとは、昇進(管理職・上位職)、職務昇格の拡大、専門性の向上、技能・事業拡大など、仕事や働き方における持続可能なステップ全般を指します。

問11 あなたは、夫婦や恋人の間で次のようなことが行われた場合、それを暴力だと思えますか。下記のA～Cについて、あなたの考えに近い選択肢(番号)を選んでください。

(〇はそれぞれ1つ)

(配偶者等からの暴力は、性別にかかわらず被害者になることがありますので全員が答えください)

項目	選択肢	暴力にあたるものではない	暴力にあたるものではない	暴力にあたるものではない
ア 平手で打つ	1	2	3	
イ 殴るふりをしておどす	1	2	3	
ウ 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3	
エ 「誰のおかげで食べられるんだ」などと見下して言う	1	2	3	
オ 嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3	
カ 絶対に協力しない	1	2	3	
キ 生活費を渡さない	1	2	3	
ク お金の使途を細かくチェックする	1	2	3	
ケ 親兄弟、友人との付き合いを禁止・制限する	1	2	3	
コ 相手の交友関係や電話、メール36などをチェックする	1	2	3	

問9 →問8で「3. (キャリアアップを)あまりしたくない」「4. したくない」と答えた方へ、その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 責任が増くなりそうだから
2. ストレスが増えそうだから
3. 仕事と家庭との両立が難しくなりそうだから
4. 必要な能力・適性が自分にはないと感じるから
5. 仕事内容・役割に魅力ややりがいを感じないから
6. 報酬や待遇が見合わないと思うから
7. 現状に満足しており、これ以上のキャリアアップは望まないから
8. 家庭・趣味・地域活動など他のことを優先したいから
9. その他(具体的に)

ハラスメント/配偶者等からの暴力について

【すべての方にお聞きします。】

問10 あなたは、過去5年ほどの間に、職場や学校、地域などで次にあげるア～キのようなセクシュアル・ハラスメント(性的な言動による不快な経験)を受けたことがありますか。あてはまる選択肢(番号)を選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

項目	選択肢	受けたくらいある	受けたくない
ア 性的な言動によるからかい(性的な冗談、性的な戯言を話す・聞く)	1	2	
イ 食事等へのしつこい誘い、宴会でのお酌やデュエット等の強要	1	2	
ウ マード写真やポスターの掲示、おしらせや選択肢やスポーツ誌の閲覧	1	2	
エ 不必要に休ませたり、性的関係を強要したりする	1	2	
オ 性的なうたをながす	1	2	
カ 結婚、離婚、恋人、妊娠、子どもの有無等についてあれこれ言う	1	2	
キ 女性という理由でおどく、後片付け、私用車を強要される	1	2	

問12 あなたは、過去5年ほどの間に、配偶者等(事実婚や交際中、元配偶者も含む)や交際相手からの次のようなことをされたことがありますか。A～Cについて、あてはまる選択肢(番号)を選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

項目	選択肢	あつたことがない	あつたことがない	あつたことがない
ア なぐったり、げつたり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた	1	2	3	
イ 人格を否定するような暴言を受けた	1	2	3	
ウ あなた、もしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3	
エ 嫌がっているのに性的な行為を強要された。また、絶対に協力しないことがあった	1	2	3	
オ 生活費を渡さない、借金強いることをされた	1	2	3	
カ 交友関係を細かく監視されたり、電話・メール、SNSなどをチェックされたりした	1	2	3	

【問12で「1」「2」を複数選んだ方「3」を選んだ方にお聞きします。どの項目も「あつたことがない」という方は問11をお読みください。】

問13 あなたはそのことを、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(〇はいくつでも)

1. 警察に連絡・相談した
2. 関係者や人材確保委員に相談した
3. 配偶者暴力相談支援センター、女性相談所、その他公共機関に相談した
4. 医師の専門家や弁護士、法律の専門家に相談した
5. 高層関係者(医師、弁護士、政治家など)に相談した
6. 学校関係者(教員、スクールカウンセラーなど)に相談した
7. 家族や親せきに相談した
8. 友人知人に相談した
9. その他(具体的に)
10. どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)

【開 13】で「はい」と答えた方にもお聞きします。

開 14 どこ（どれ）にも相談しなかった（できなかった）と答えた方にお聞きします。

1. どこ（どれ）に相談してよいか分からなかったから
2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
3. 相談してもムダと思ったから
4. 相談したことがわかると迷惑を受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから
5. 相談相手の意図によって不快な思いをさせられると思ったから
6. 自分さえ我慢すればなんとかなると思えていたから
7. 相談が嫌いから
8. 他人を巻き込みたくなかったから
9. そのことについて話し出しにくかったから
10. 自分にも悪いところがあると聞いたから
11. 相談するほどの事ではないと思ったから
12. その他（具体的に）

【すべての方にお聞きします。】

開 15 あなたが、何や性暴力の被害やそれに関する悩みを相談できる窓口などで配達してほしいと思うことはありますか。（〇はい×いつでも）

1. メールによる相談ができる
2. チャット、LINEなどによる相談ができる
3. 電話による相談ができる
4. 24時間相談ができる
5. 相談内容に関連する、他の相談窓口との連携が行われる
6. 同性の相談員がいる
7. 匿名で相談ができる
8. 弁護士など、法的知識のある相談員がいる
9. 福祉の視点、心理的視点など、専門的知識の相談員がいる
10. 許や性暴力に関する専門の相談員がいる
11. その他（具体的に）
12. わからない

開 19 あなたは、性の多様性を尊重する取組としてどのようなことが必要だと思いますか。

（〇はい×いつでも）

1. 市民に対する啓発
2. 幼少期からの教育
3. 相談窓口の設置
4. 社会制度（法制度など）の整備
5. 社会福祉（トイロ・更衣室など）の整備
6. 教育現場における環境整備
7. 行政職員や教職員に対する研修
8. 企業などに対する啓発
9. 同性同士のパートナーであることも認める行動の証明書などの発行
10. その他（具体的に）
11. わからない
12. 必要なものはない

【男女共同参画社会について】

開 20 次のア～ホの言葉について、知っていますか。あてはまる選択肢（番号）を選んでください。（〇はい×いつでも）

項目	選択肢	知っている	知っているがよく	知っているが少し	ある程度知っている	知らない
ア 東京都男女共同参画行動計画		1	2	3	4	
イ 東京都 市民連絡・男女共同参画ハートセンター		1	2	3	4	
ウ 多様性社会（ダイバーシティ）		1	2	3	4	
エ フェンダー（社会的責任）		1	2	3	4	
オ ワークライフバランス（仕事と家庭の調和）		1	2	3	4	
カ アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）		1	2	3	4	
キ テートロV（恋人間で起こるDV）		1	2	3	4	

【性の多様性について】

開 16 あなたは、性の多様性に関する次のア～ホの言葉を知っていますが、あてはまる選択肢（番号）を選んでください。（〇はい×いつでも）

項目	選択肢	知っている	知っているがよく	知っているが少し	ある程度知っている	知らない
ア) 性的マイノリティ（性的少数者、セクシュアルマイノリティ）		1	2	3	4	
イ) LGBT（L:ゲイ、B:バイセクシュアル、G:ガールズ、T:トランスジェンダー）		1	2	3	4	
ウ) カミングアウト		1	2	3	4	
エ) アウティング		1	2	3	4	
オ) SOG（ソジ）		1	2	3	4	
カ) 東京都性の多様性を尊重する社会を実現するための条例		1	2	3	4	
キ) 東京都パートナーシップ宣誓証明		1	2	3	4	

開 17 あなたは、家族や友人など身近な方から性的少数者（セクシュアルマイノリティ）であることを打ち明けられたとしたら、どのように思いますか。（〇はい×いつでも）

1. 理解したいと思う
2. 応援したいと思う
3. いままで通り接する
4. 距離を置きたいと思う
5. その場にならないとわからない
6. 一部の人のことだけで、偏見な認識ではない
7. 連絡がある
8. その他（具体的に）

開 18 あなたは今までに、自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などに悩んだことはありますか。（〇はい×いつでも）

1. よくある
2. たまにある
3. ほとんどない
4. まったくない
5. 答えたくない

開 21 女性の社会進出は進みつつありますが、自治体の首長（知事や市町村長）や議員、企業の管理職などはまだ女性が少ないのが現状です。このように女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。（〇はい×いつでも）

1. 家庭生活との両立が難しい
2. 男性優先の社会の仕組みや制度がある
3. 女性には専任が足りないという女性の能力に対する偏見がある
4. 女性の能力発揮の機会が男性と同じように与えられていない
5. 女性の意欲に関する認識や理解が足りない
6. 男性になるほうがよい（なるものか）と思っている人が多い
7. 女性自身が役割に対する関心やチャレンジ精神がない
8. その他（具体的に）
9. わからない

開 22 男女共同参画社会の実現に向けて、東京都が今後特に力を入れていくべきだと思いますものはありますか。（〇はい×いつでも）

1. 男女共同参画の視点から、偏見の見直しや啓発を進める
2. 民間企業や団体などの管理職に女性の登用を促すよう支援する
3. 女性や男性の働き方や悩みに関する相談の場を提供する
4. 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実させる
5. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など両方に働き方の見直しを進める
6. 育児や介護などであっても仕事を続けられるよう支援する
7. 育児や介護などで一旦、仕事を辞めた人の再就職を支援する
8. 男女の平等と相互の理解や協力について広報・啓発をする
9. 許や性暴力などの暴力を根絶するための取組を進める
10. その他（具体的に）
11. 特に必要はない

【自由意見】

性別にとらわれず、すべての人が個性や能力が尊重され、自分らしく生きることができるとともに男女共同参画社会を実現していくため、あなたのご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査内容は以上です。ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒にてご返送ください。

2. 職場環境に関する事業所意識調査結果

(1) 調査の実施概要

1) 調査の目的

男女共同参画に関する事業所の意識や実態を把握するとともに、令和8年度策定予定の「第4次浦添市男女共同参画行動計画」の検討に向けた基礎資料として活用することを目的に実施した。

2) 調査の実施方法・結果

対象者	浦添市内の事業所
サンプルサイズ	1,000 件
抽出方法	単純無作為抽出法
実施方法	郵送による配布・回収およびWEB 回答
調査期間	令和8年2月2日～2月16日
回収結果	返戻 42 件・有効回答数 171 件・有効回答率 17.8%

	抽出数
株式会社	627
有限会社	170
合名会社	3
合資会社	13
合同会社	93
その他法人	50
協同組合	12
その他事業所	32
計	1,000

3) 結果の見方

- ・ 回答結果の割合は、回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しているため、単数回答であっても、合計値が100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、割合を出している。そのため、複数回答の質問については、すべての選択肢の比率を合計すると、合計が100%を超える。
- ・ 表や図中で、選択肢の文章が長いものは省略して載せている場合がある。また、「n」は集計の対象者数（設問の限定条件に該当する人の数）を表している。

(2) 調査の結果概要

1) 事業所の概要について

- ・回答のあった事業所の業種をみると、「10. 医療・福祉」が18.1%と最も高く、次いで「6. 卸売・小売業」が16.4%、「1. 建設業」が15.2%となっている。
- ・回答のあった事業所の合計値で、従業員（正規雇用及び非正規雇用）の性別の構成比をみると、男性が51.4%、女性が48.6%となっている。
- ・「一般事業主行動計画」の策定状況を尋ねたところ、「6. 『一般事業主行動計画』について知らない」が43.3%と最も高い。一方で、『策定している』（選択肢1～3）割合は16.9%と約6社に1社となっている。
- ・「一般事業主行動計画」を策定していない理由として、「1. 次世代育成支援対策推進法について知らないから」が50.0%と最も高い。

2) ワーク・ライフ・バランスについて

- ・ワーク・ライフ・バランスを推進するための取組み状況をみると、「①年次有給休暇の取得促進」、「②長時間労働抑制の取組」は「実施している」がいずれも8割を超えている（83.6%；81.9%）。

3) 育児休業・介護休業の状況について

- ・各種休業制度の利用状況をみると、「育児休業」の取得率は、女性が95.9%、男性が66.3%で、女性の取得率が高くなっている。
- ・男性の育児休業取得に関する課題として、「2. 代替要員の確保が難しい」が52.0%と最も高い。

4) ポジティブ・アクションについて

- ・「ポジティブ・アクション」の認知状況をみると、「4. 知らない」が46.8%と最も高い。『知っている』（「よく知っていて、具体的な取り組みもしている」＋「よく知っているが、具体的な取り組みはまだない」）は、24.5%となっている。

5) 事業所の男女共同参画への取組みについて

- ・事業所における性別による差をみると、「カ）全体的に」では「平等」が71.9%となっている。一方で、「ア）募集や採用の条件」、「イ）賃金・昇進・昇格」、「ウ）人事配置」において、『男性優遇』（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかと言えば男性が優遇されている」）のほうが5ポイント以上高くなっている。
- ・性別に基づく不利益や差別的慣行の是正のために、取り組むべきことを尋ねたところ、「2. 妊娠・出産・育児・介護等を理由とする不利益取扱いの防止」が37.4%と最も高い。一方、「6. 特に取り組んでいない」も36.3%みられる。
- ・同じような環境で働いていくために、特に女性にとって課題になっていると感じること

を尋ねたところ、「9. 女性は家庭事情等で勤務上の制約が生じやすく、配置や業務設計が難しいと思う」、「10. 昇進・管理職を希望する女性が少ないと思う」がともに 20.5%と高い。一方、「13. 特に課題はない」も 41.5%みられる。

- ・男女共同参画社会を形成していくため、事業所が今後重点的に取り組みたいことを尋ねると、「3. 育児・介護休暇等を取得しやすい環境づくり」37.4%と高い。

6) ハラスメントについて

- ・ハラスメント防止の取組み状況を見ると、「1. 就業規則にハラスメントに関する方針等を記載している」43.9%と最も高い。ハラスメント防止措置は法的義務となっているものの、「8. 特に実施していない」が36.3%となっている。
- ・事業所において、ハラスメントに関する相談があった場合の対応として、「1. 就業規則に基づき、行為者に一定の制裁（口頭注意、停職、降格、解雇等）を科す」が47.4%と高い。

7) 性の多様性について

- ・性的マイノリティに対する職場改善として、「4. 採用時や雇用時に不利な扱いを行わない」が28.7%と最も高くなっている。一方で、「9. 現在は何もしていないが、今後取り組みたい」が28.1%、「11. 取り組む予定はない」が23.4%、となっている。
- ・性の多様性に関する語句の認知状況をみると、「ア）浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例」も「イ）浦添市パートナーシップ宣誓証明も「知らなかった」が約半数（49.1%；50.9%）となっている。

8) 男女共同参画行政について

- ・男女共同参画計画の実現を目指すうえで、してほしい後押し（制度等）を尋ねたところ、「5. 休職者（産休、育休、介護休等）の代替要員確保への支援（費用助成、マッチング支援等）」が45.6%と最も高い。一方で、「7. 特に必要ない」が21.6%となっている。

(3) 調査の結果詳細

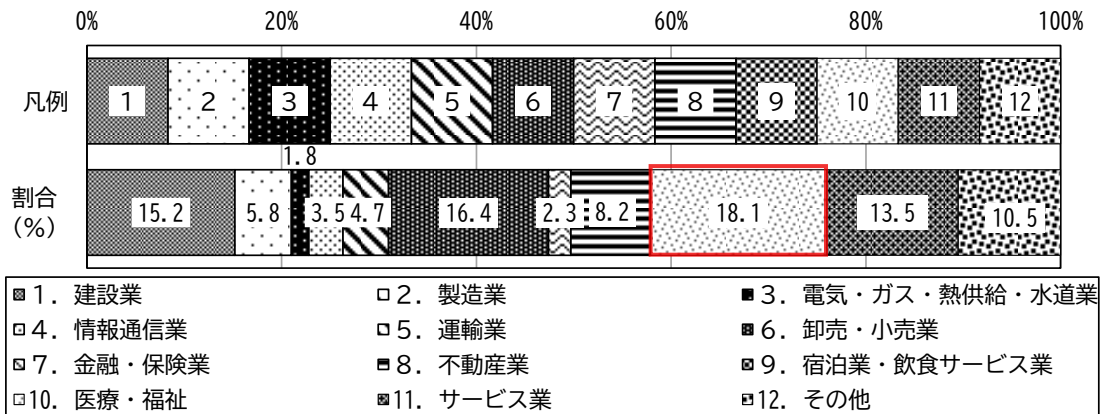
1) 事業所の概要について

問1. 貴事業所の主な業種は次のどれですか。(〇は1つ)

1. 建設業	2. 製造業	3. 電気・ガス・熱供給・水道業
4. 情報通信業	5. 運輸業	6. 卸売・小売業
7. 金融・保険業	8. 不動産業	9. 宿泊業・飲食サービス業
10. 医療・福祉	11. サービス業	12. その他 ()

回答のあった事業所の業種をみると、「10. 医療・福祉」が18.1%と最も高く、次いで「6. 卸売・小売業」が16.4%、「1. 建設業」が15.2%となっている。

問1. 業種



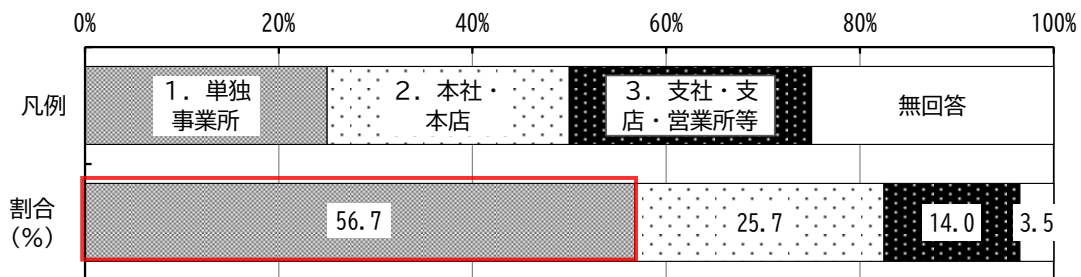
【その他】組合(2件)/CG制作プログラム開発/信託/リサイクル業/広告業/造園(除草作業メイン)/自動車学校/土業/職業紹介・労働者派遣業/専門サービス業/その他サービス業

問2. 事業所の区分は次のどれですか。

1. 単独事業所	2. 本社・本店	3. 支社・支店・営業所等
----------	----------	---------------

事業所の区分をみると、「1. 単独事業所」が56.7%と最も高く、次いで「2. 本社・本店」が25.7%、「3. 支社・支店・営業所等」が14.0%となっている。

問2. 事業所の区分



問3. 貴事業所が直接雇用する従業員、管理職の人数と、役員の人数を教えてください。なお、派遣社員は含みません。

	男性	女性
正規雇用	人	人
うち管理職	人	人
非正規雇用	人	人
役員	人	人

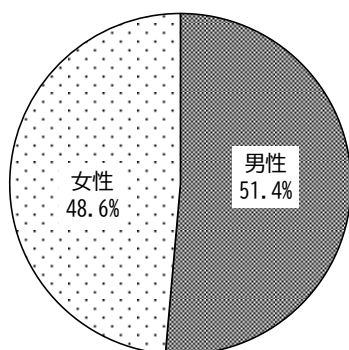
回答のあった事業所の合計値で、従業員（正規雇用及び非正規雇用）の性別の構成比をみると、男性が51.4%、女性が48.6%となっている。

従業員の規模をみると、「6～20人」が42.8%と最も高く、次いで「1～5人」が31.4%、「21～50人」が12.6%、「101人以上」が6.9%、「51～100人」が6.3%、となっている。

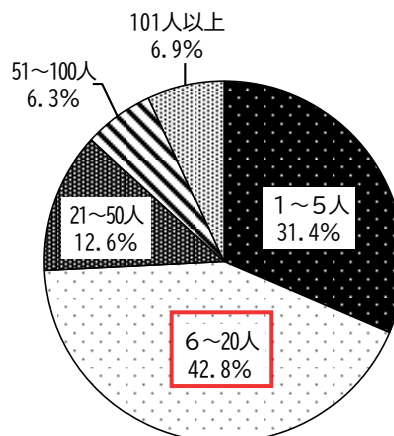
雇用形態別構成比をみると、「正規職員」では、男性が73.7%、女性が60.0%となっており、女性よりも男性のほうが約14ポイント高くなっている。

	男性	女性
正規雇用	2,221人	1,709人
うち管理職	452人 (20.4%)	124人 (7.6%)
非正規雇用	791人	1,138人
役員	279人	59人

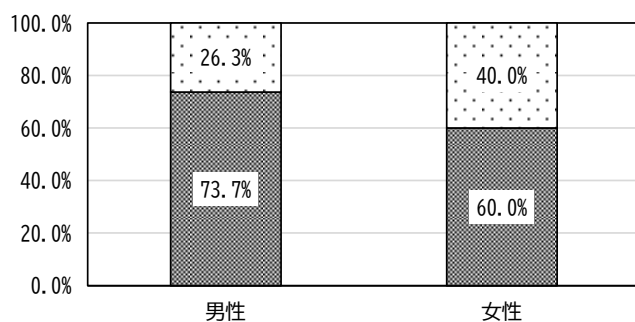
従業員の男女構成比



従業員の規模



雇用形態別構成比



□非正規従業員（パート・アルバイト・嘱託・派遣社員）
 ■正規従業員（総数）

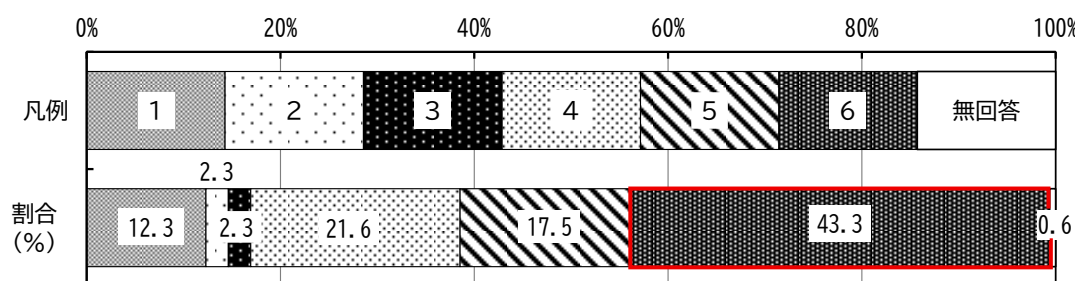
問4. 貴事業所では、次世代育成支援対策推進法および女性活躍推進法に規定されている「一般事業主行動計画」を策定していますか。(〇は1つ)

1. すでに両方とも策定している (一体化も含む)
2. 次世代育成支援対策推進法に基づく計画のみ策定している
3. 女性活躍推進法に基づく計画のみ策定している
4. 策定について検討または準備中である
5. 策定する予定はない
6. 「一般事業主行動計画」について知らない

「一般事業主行動計画」の策定状況を尋ねたところ、「6.『一般事業主行動計画』について知らない」が43.3%と最も高く、次いで「4. 策定について検討または準備中である」が21.6%、「5. 策定する予定はない」が17.5%となっている。

一方で、『策定している』(選択肢1～3)割合は16.9%と約6社に1社となっている。

問4.「一般事業主行動計画」の策定について



- 1. すでに両方とも策定している (一体化も含む)
- 2. 次世代育成支援対策推進法に基づく計画のみ策定している
- 3. 女性活躍推進法に基づく計画のみ策定している
- 4. 策定について検討または準備中である
- 5. 策定する予定はない
- 6. 「一般事業主行動計画」について知らない
- 無回答

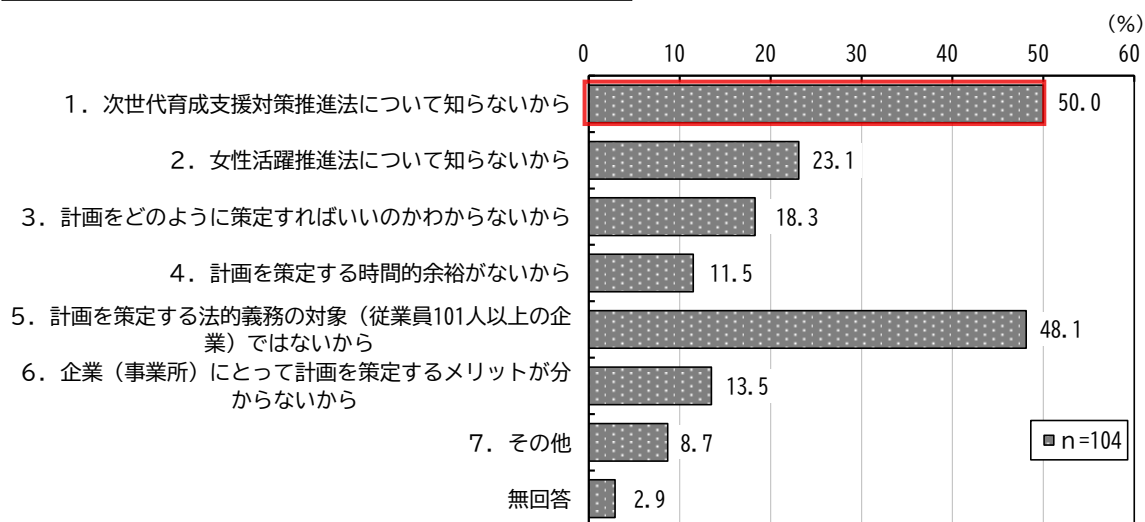
※【問4で「5」または「6」と答えた方におたずねします。】

問5. 「一般事業主行動計画」を策定していない理由は、次のどれですか。理由として近い選択肢（番号）を3つまでお選びください。（○は3つまで）

- 1. 次世代育成支援対策推進法について知らないから
- 2. 女性活躍推進法について知らないから
- 3. 計画をどのように策定すればいいのかわからないから
- 4. 計画を策定する時間的余裕がないから
- 5. 計画を策定する法的義務の対象（従業員101人以上の企業）ではないから
- 6. 企業（事業所）にとって計画を策定するメリットが分からないから
- 7. その他（ ）

「一般事業主行動計画」を策定していない理由として、「1. 次世代育成支援対策推進法について知らないから」が50.0%と最も高く、次いで「5. 計画を策定する法的義務の対象（従業員101人以上の企業）ではないから」が48.1%となっている。

問5. 「一般事業主行動計画」を策定していない理由（n=104）



【その他】現在従業員採用予定ないため/従業員の人数が少ないので、個別の事情を汲んで都度協議のほうが企業と従業員の双方のメリットが大きいので/該当しない

2) ワーク・ライフ・バランスについて

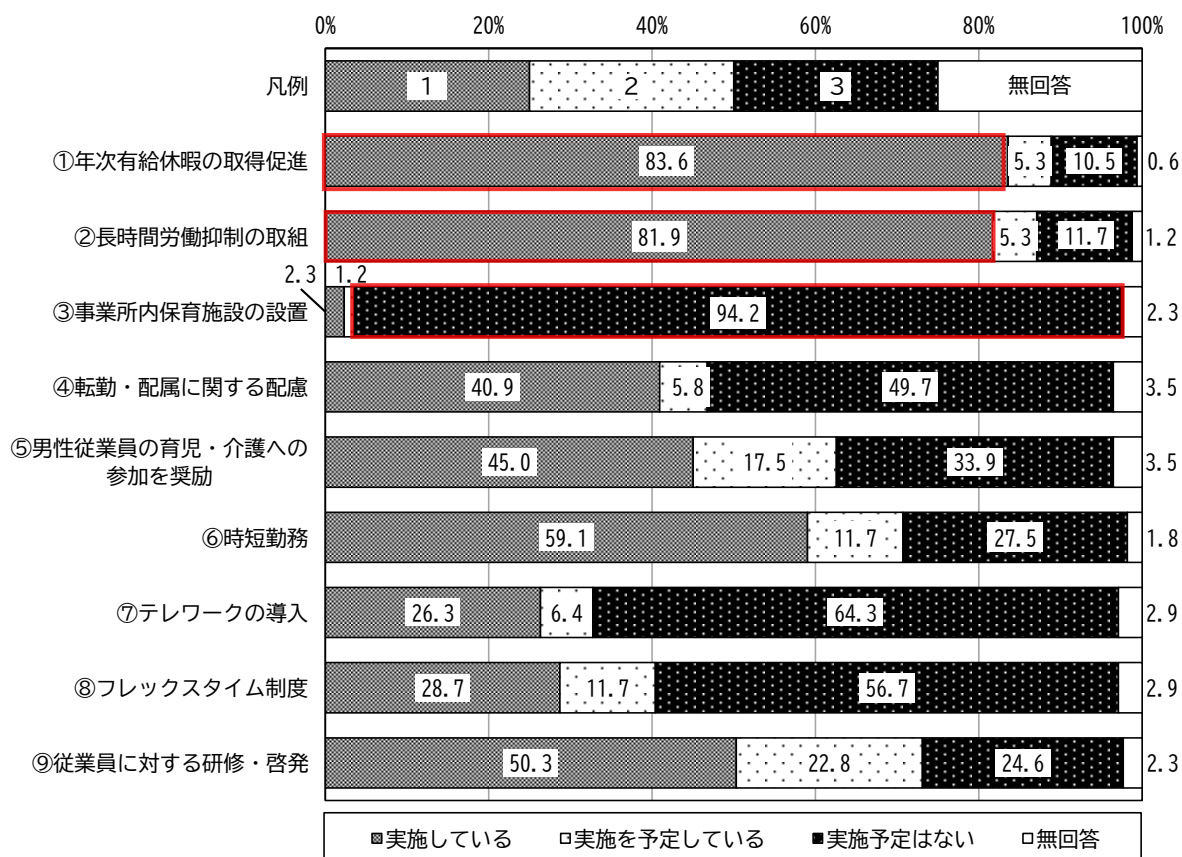
問6. 貴事業所において、ワーク・ライフ・バランスを推進するためのどのような取組を実施していますか。また、実施予定もお聞かせください。(○はそれぞれ1つ)

項目	選択肢	実施している	実施を予定している	実施予定はない
①年次有給休暇の取得促進		1	2	3
②長時間労働抑制の取組		1	2	3
③事業所内保育施設の設置		1	2	3
④転勤・配属に関する配慮		1	2	3
⑤男性従業員の育児・介護への参加を奨励		1	2	3
⑥時短勤務		1	2	3
⑦テレワークの導入		1	2	3
⑧フレックスタイム制度		1	2	3
⑨従業員に対する研修・啓発		1	2	3

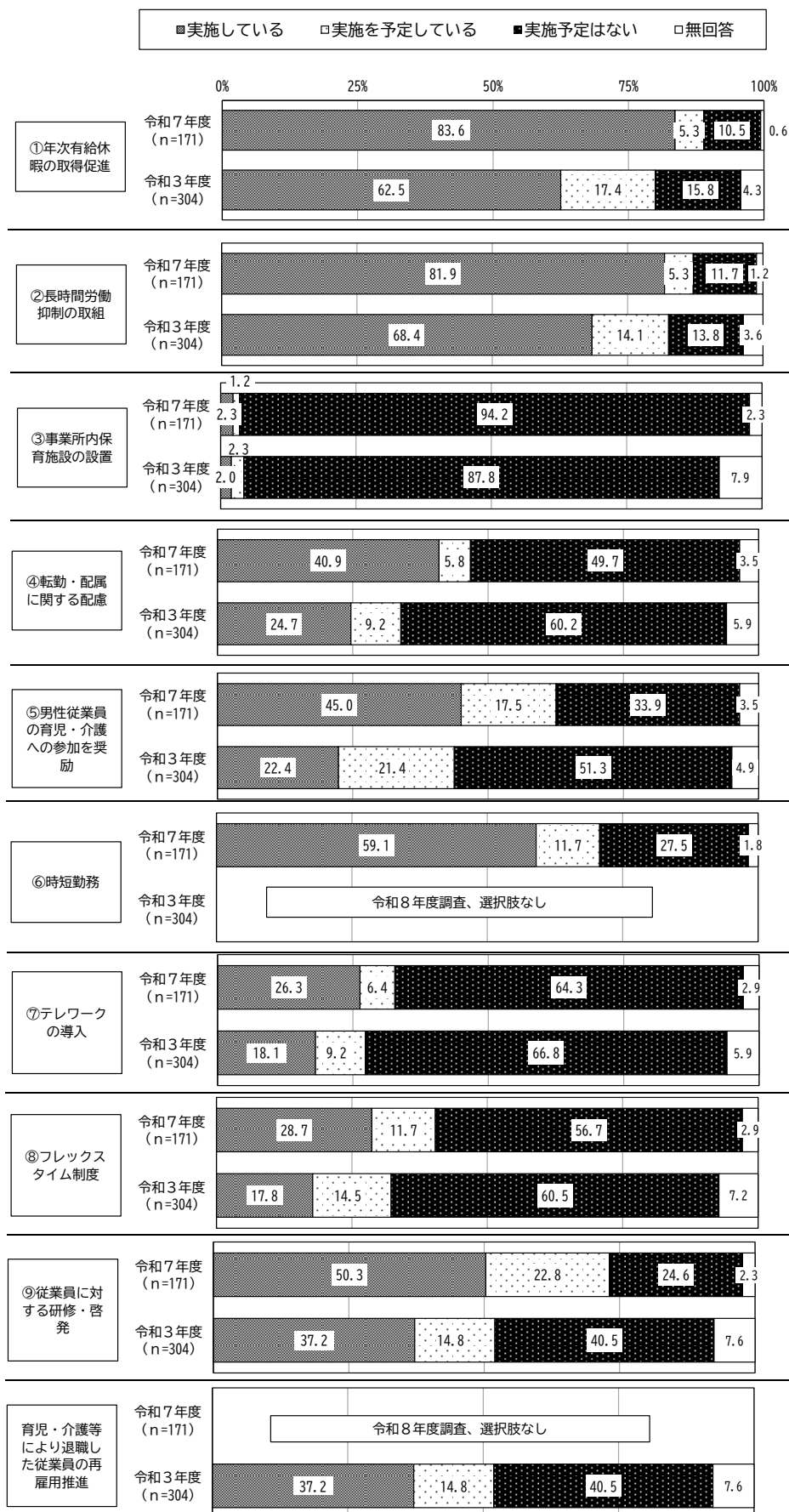
ワーク・ライフ・バランスを推進するための取組み状況を見ると、「①年次有給休暇の取得促進」、「②長時間労働抑制の取組」は「実施している」がいずれも8割を超えている(83.6%; 81.9%)。

「③事業所内保育施設の設置」は「実施予定はない」が94.2%と最も高くなっている。

問6. ワーク・ライフ・バランスを推進するための取組み



参考までに令和3年度調査結果と比較すると、「実施している」は比較対象のすべての項目において上昇している。内訳をみると、「⑤男性従業員の育児・介護への参加を奨励」が+23ポイント、次いで「①年次有給休暇の取得促進」が+21ポイントとなっている。



3) 育児休業・介護休業の状況について

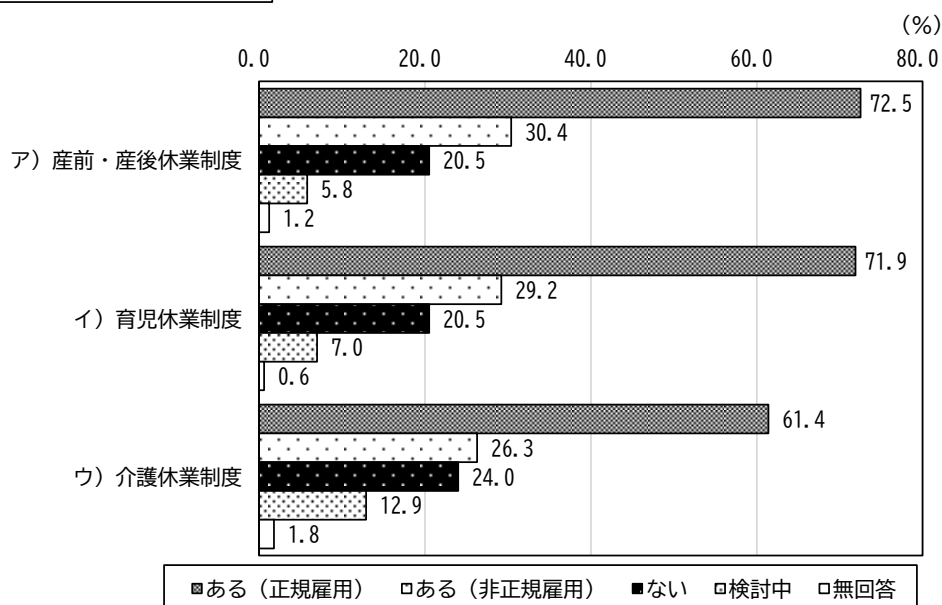
問7. 貴事業所には、下記のア～ウまでの各種休業制度の規程がありますか。規程が「ある」場合は、規程がある従業員の種類（正規雇用、非正規雇用）について、あてはまる選択肢（番号）すべてに○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

	ある		ない	検討中
	正規雇用	非正規雇用*		
ア) 産前・産後休業制度	1	2	3	4
イ) 育児休業制度	1	2	3	4
ウ) 介護休業制度	1	2	3	4

※ここでの非正規雇用とは、パート、アルバイト、嘱託・契約社員等を指し、派遣社員は含めません。

各種休業制度の規程の有無をみると、それぞれ「正規雇用」でも「ある」は60～70%台となっており、「非正規雇用」だと20～30%台となっている。

問7. 各種休業規定の有無



問8. 貴事業所では、直近1年間（2025年1月～12月末）に、出産した女性従業員、または配偶者が出産した男性従業員はいましたか。いた場合、その人数を性別・雇用形態別（正規雇用・非正規雇用）にそれぞれお答えください。（いなかった場合は0人と記入してください。）

		出産があった者
ア. 女性従業員	a. 正規雇用	()人
	b. 非正規雇用	()人
イ. 男性従業員	a. 正規雇用	()人
	b. 非正規雇用	()人

問9. 上記のうち、育児休業を取得した従業員はいましたか。いた場合、その人数を性別・雇用形態別（正規雇用・非正規雇用）にそれぞれお答えください。（いなかった場合は0人と記入してください。）

		育児休業取得者
ア. 女性従業員	a. 正規雇用	()人
	b. 非正規雇用	()人
イ. 男性従業員	a. 正規雇用	()人
	b. 非正規雇用	()人

※産前・産後休業には男性の配偶者出産看護休暇も含まれます。

問10. 貴事業所では、直近1年間（2025年1月～12月末）に、介護休業を取得した従業員はいましたか。いた場合、その人数を性別・雇用形態別（正規雇用・非正規雇用）にそれぞれお答えください。（いなかった場合は0人と記入してください。）

		介護休業取得者
ア. 女性従業員	a. 正規雇用	()人
	b. 非正規雇用	()人
イ. 男性従業員	a. 正規雇用	()人
	b. 非正規雇用	()人

各種休業制度の利用状況をみると、「育児休業」の取得率は、女性が95.9%、男性が66.3%で、女性の取得率が高くなっている。働き方で比較すると、女性は正規雇用のほうが取得率が高く、男性ではほぼ同じ割合となっている。

「介護休業」の取得者をみると、女性が12人、男性が4人となっている。

問8 出産した女性従業員、または配偶者が出産した男性従業員

	女性従業員	男性従業員
a 正規雇用	106人	80人
b 非正規雇用	16人	3人
合計	122人	83人

問9 各種休業対象者／問10 各種休業取得状況

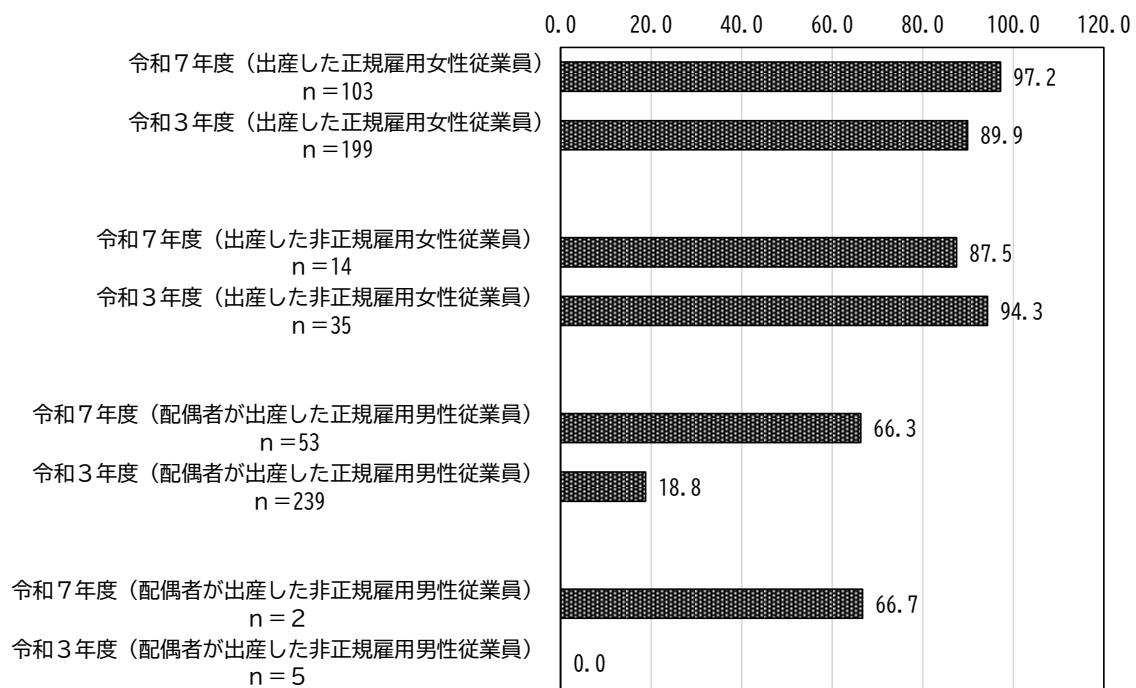
区分		女性従業員		男性従業員	
		育児休業	介護休業	育児休業	介護休業
問9 取得者	正規雇用	103人	5人	53人	3人
	非正規雇用	14人	4人	2人	1人
	合計	117人	12人	55人	4人
取得率	正規雇用	97.2%		66.3%	
	非正規雇用	87.5%		66.7%	
	合計	95.9%		66.3%	

※「問9 取得者」は、問8が無回答を除く

「育児休業」の取得率について、参考までに令和3年度調査結果と比較すると、上昇した項目については、「配偶者が出産した非正規雇用男性従業員」が+67ポイント、次いで「配偶者が出産した正規雇用男性従業員」が+48ポイントとなっている。

一方、「出産した非正規雇用女性従業員」は-7ポイントとなっている。

育児休業取得率



4) ポジティブ・アクションについて

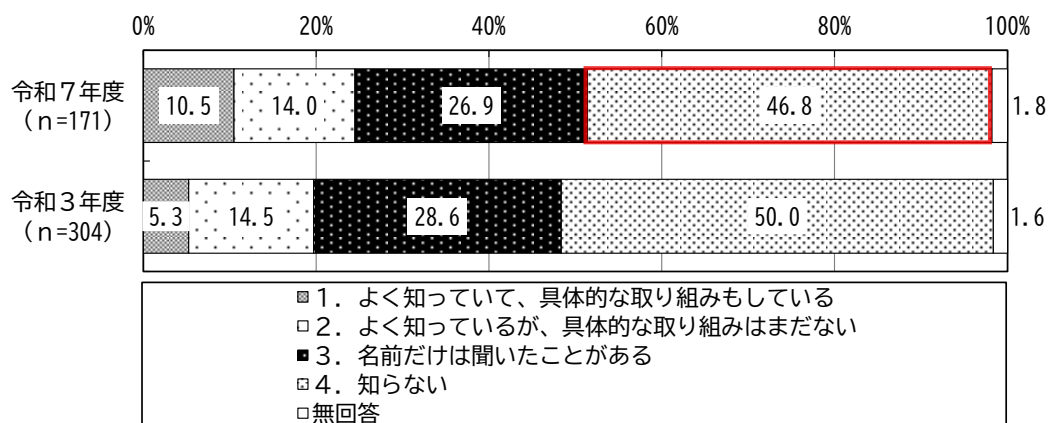
問12. 「ポジティブ・アクション」を知っていますか。

- | |
|--|
| 1. よく知っていて、具体的な取り組みもしている
2. よく知っているが、具体的な取り組みはまだない
3. 名前だけは聞いたことがある
4. 知らない |
|--|

「ポジティブ・アクション」の認知状況をみると、「4. 知らない」が46.8%と最も高く、次いで「3. 名前だけは聞いたことがある」が26.9%となっている。『知っている』（「よく知っていて、具体的な取り組みもしている」+「よく知っているが、具体的な取り組みはまだない」）は、24.5%となっている。

参考までに令和3年度調査結果と比較すると、『知っている』は+5ポイント上昇している。

問12. 「ポジティブ・アクション」について



5) 事業所の男女共同参画への取組みについて

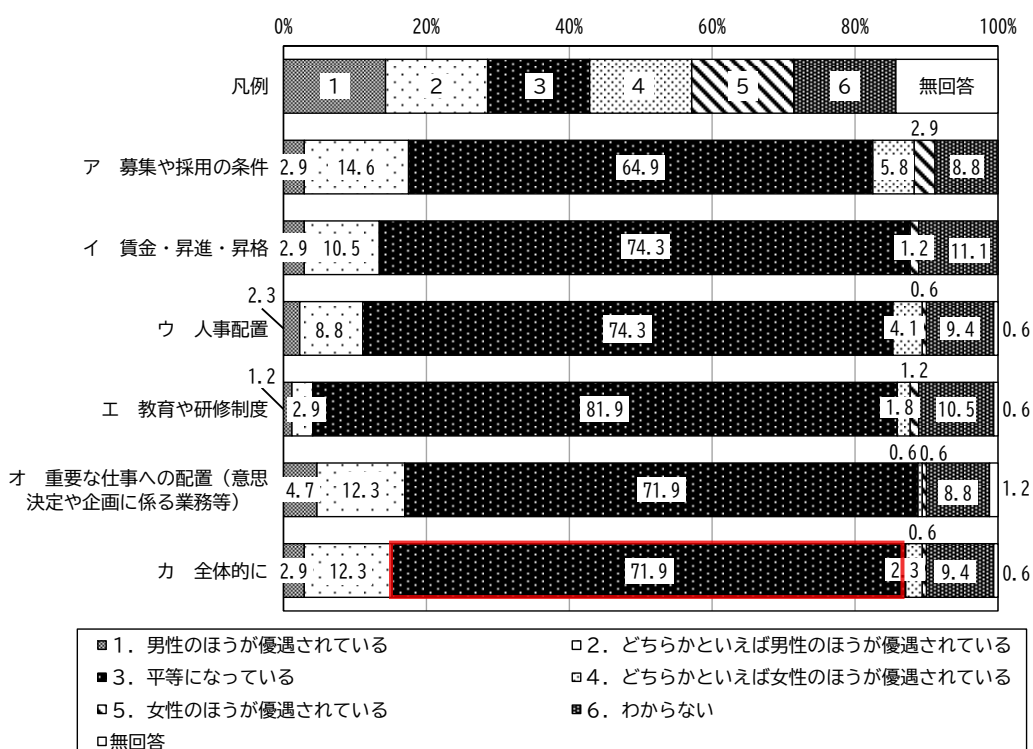
問13. 貴事業所において、次にあげる面で、性別による差があると思いますか。あなたの考えに近い選択肢(番号)を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

項目	選択肢	男性のほう が優遇されて いる	どちらかとい えば男性のほう が優遇されて いる	平等になっ てきている	どちらかとい えば女性のほう が優遇されて いる	女性のほう が優遇されて いる	わからない
	ア 募集や採用の条件		1	2	3	4	5
イ 賃金・昇進・昇格		1	2	3	4	5	6
ウ 人事配置		1	2	3	4	5	6
エ 教育や研修制度		1	2	3	4	5	6
オ 重要な仕事への配置(意思決定や企画に係る業務等)		1	2	3	4	5	6
カ 全体的に		1	2	3	4	5	6

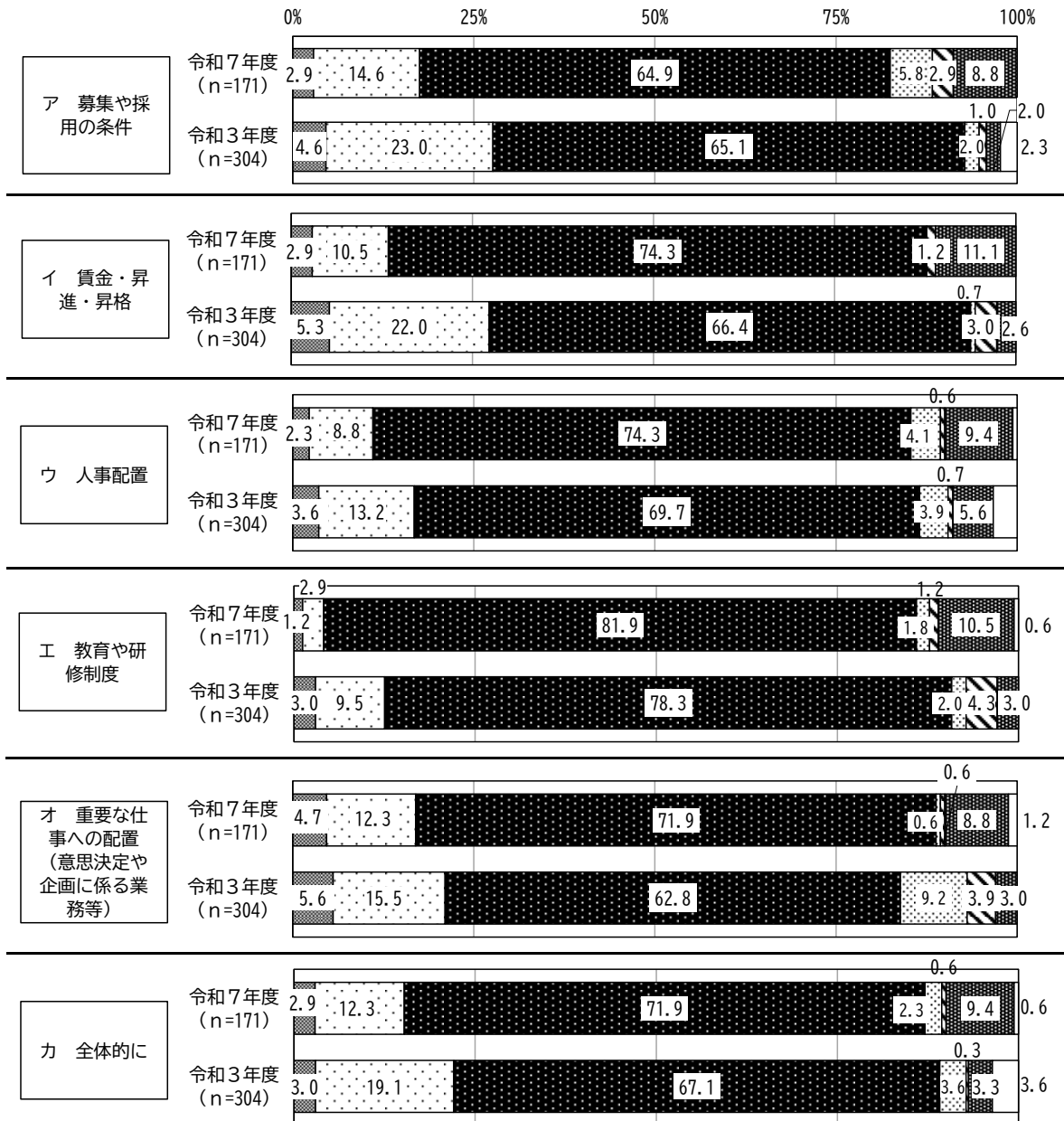
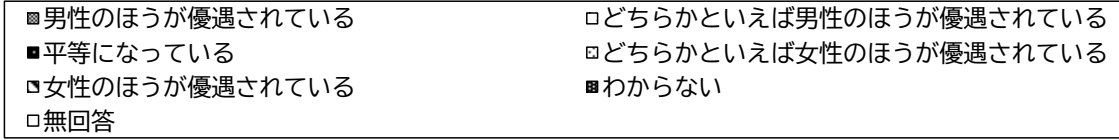
事業所における性別による差をみると、「カ) 全体的に」では「平等」が71.9%となっている。各項目をみると、「平等」が最も高いのは「エ) 教育や研修制度」の81.9%となっており、次いで「イ) 賃金・昇進・昇格」、「ウ) 人事配置」がともに74.3%となっている。

一方で、「ア) 募集や採用の条件」、「イ) 賃金・昇進・昇格」、「ウ) 人事配置」において、『男性優遇』(「男性の方が優遇されている」+「どちらかといえば男性が優遇されている」)のほうが5ポイント以上高くなっている。『女性優遇』(「どちらかといえば女性が優遇されている」+「女性の方が優遇されている」)のほうが5ポイント以上高い項目はみられない。

問13. 事業所における、性別による差について



参考までに令和3年度調査結果と比較すると、「平等になっている」が上昇した項目については、「オ 重要な仕事への配置（意思決定や企画に係る業務等）」が+9ポイント、次いで「イ）賃金・昇進・昇格」が+8ポイントとなっている。低下した項目をみると、「ア 募集や採用の条件」が-0.2ポイント微減している。



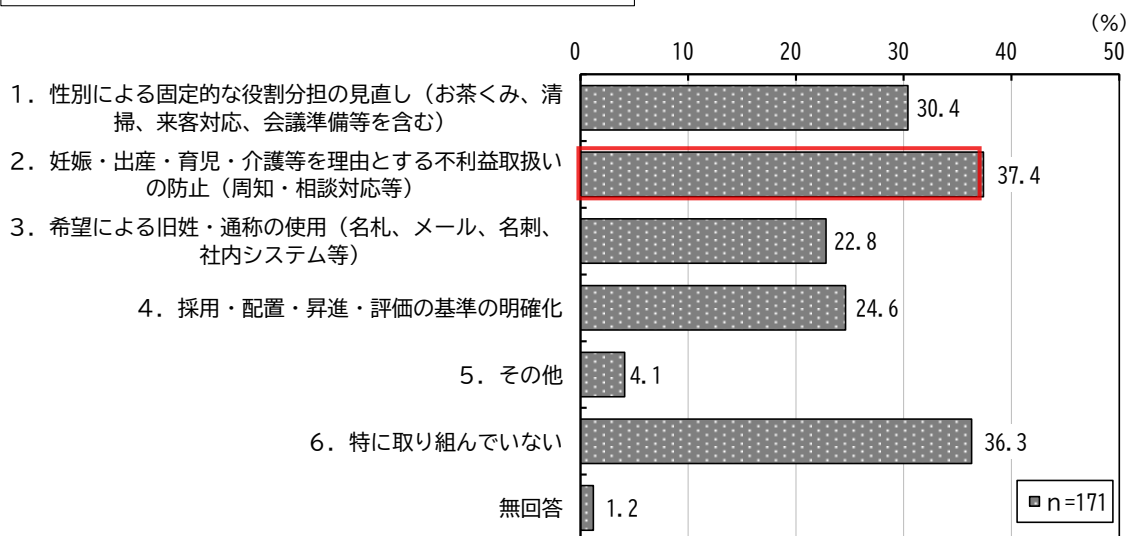
問 14. 貴事業所では、性別に基づく不利益や差別的慣行の是正のために、どのような取組を行っていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 性別による固定的な役割分担の見直し（お茶くみ、清掃、来客対応、会議準備等を含む） 2. 妊娠・出産・育児・介護等を理由とする不利益取扱いの防止（周知・相談対応等） 3. 希望による旧姓・通称の使用（名札、メール、名刺、社内システム等） 4. 採用・配置・昇進・評価の基準の明確化 5. その他（具体的に) 6. 特に取り組んでいない |
|---|

性別に基づく不利益や差別的慣行の是正のために、取り組むべきことを尋ねたところ、「2. 妊娠・出産・育児・介護等を理由とする不利益取扱いの防止」が37.4%と最も高く、次いで「1. 性別による固定的な役割分担の見直し」が30.4%となっている。

一方、「6. 特に取り組んでいない」も36.3%みられる。

問14. 性別に基づく不利益や差別的慣行の是正のための取組み



【その他】 選択項目は既に改善されている/男性がいないので比較できない/小児科なので、たまたま男性は役員で看護師と医療事務は女性/該当しない

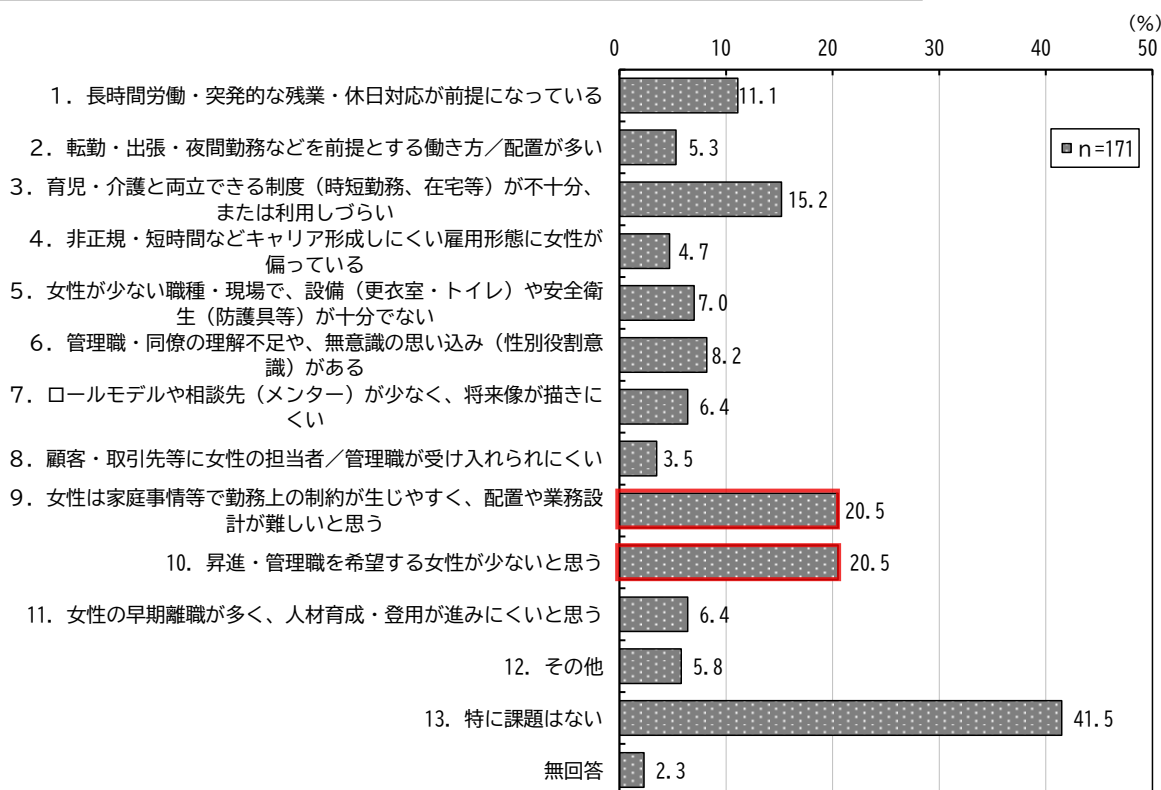
問 15. 貴事業所において、女性も男性も同じような環境で働いていくために、特に女性にとって課題になっていると感じることについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 長時間労働・突発的な残業・休日対応が前提になっている
2. 転勤・出張・夜間勤務などを前提とする働き方／配置が多い
3. 育児・介護と両立できる制度（時短勤務、在宅等）が不十分、または利用しづらい
4. 非正規・短時間などキャリア形成しにくい雇用形態に女性が偏っている
5. 女性が少ない職種・現場で、設備（更衣室・トイレ）や安全衛生（防護具等）が十分でない
6. 管理職・同僚の理解不足や、無意識の思い込み（性別役割意識）がある
7. ロールモデルや相談先（メンター）が少なく、将来像が描きにくい
8. 顧客・取引先等に女性の担当者／管理職が受け入れられにくい
9. 女性は家庭事情等で勤務上の制約が生じやすく、配置や業務設計が難しいと思う
10. 昇進・管理職を希望する女性が少ないと思う
11. 女性の早期離職が多く、人材育成・登用が進みにくいと思う
12. その他（具体的に)
13. 特に課題はない

同じような環境で働いていくために、特に女性にとって課題になっていると感じることを尋ねたところ、「9. 女性は家庭事情等で勤務上の制約が生じやすく、配置や業務設計が難しいと思う」、「10. 昇進・管理職を希望する女性が少ないと思う」がともに 20.5%と高く、次いで、「3. 育児・介護と両立できる制度（時短勤務、在宅等）が不十分、または利用しづらい」が 15.2%となっている。

一方、「13. 特に課題はない」も 41.5%みられる。

問15. 女性も男性も同じような環境で働いていくために、特に女性にとって課題になっていると感じること



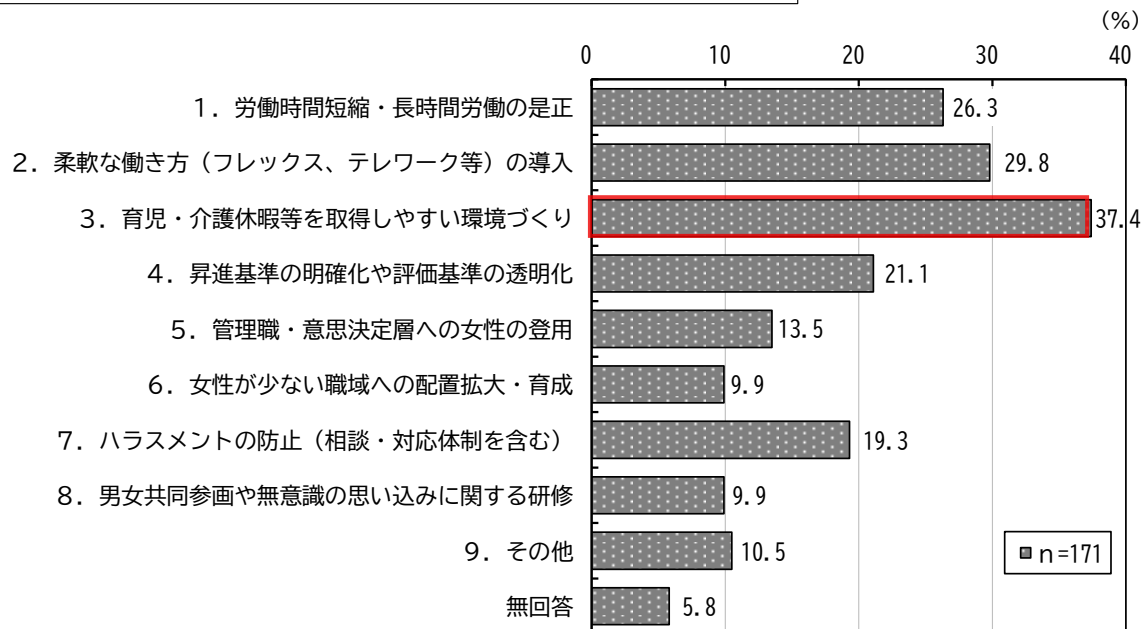
【その他】男性がいないので、比較できない/職員は女性なので、お子さんの行事の為の年休など、積極的に取ってもらっている。その間は他の職員で頑張っている。/女性社員がいない/建設現場・倉庫での資材搬入等、力仕事がある。

問16. 男女共同参画社会を形成していくため、貴事業所として今後重点的に取り組みたい（取り組む必要がある）ものは何ですか。（〇は3つまで）

1. 労働時間短縮・長時間労働の是正
2. 柔軟な働き方（フレックス、テレワーク等）の導入
3. 育児・介護休暇等を取得しやすい環境づくり
4. 昇進基準の明確化や評価基準の透明化
5. 管理職・意思決定層への女性の登用
6. 女性が少ない職域への配置拡大・育成
7. ハラスメントの防止（相談・対応体制を含む）
8. 男女共同参画や無意識の思い込みに関する研修
9. その他（ ）

男女共同参画社会を形成していくため、事業所が今後重点的に取り組みたいことを尋ねると、「3. 育児・介護休暇等を取得しやすい環境づくり」37.4%と高く、次いで、「2. 柔軟な働き方（フレックス、テレワーク等）の導入」29.8%、「1. 労働時間短縮・長時間労働の是正」26.3%となっている。

問16. 男女共同参画社会を形成していくため、今後重点的に取り組みたいもの



【その他】今のところ特になし（3件）/仲卸業務のため、市場が空いていたら会社も開けないといけないため、まずは国や市場が改革をしてくれないとこちらは何もできない/男性がいないので、比較できない/生産性向上、適正な価格設定

6) ハラスメントについて

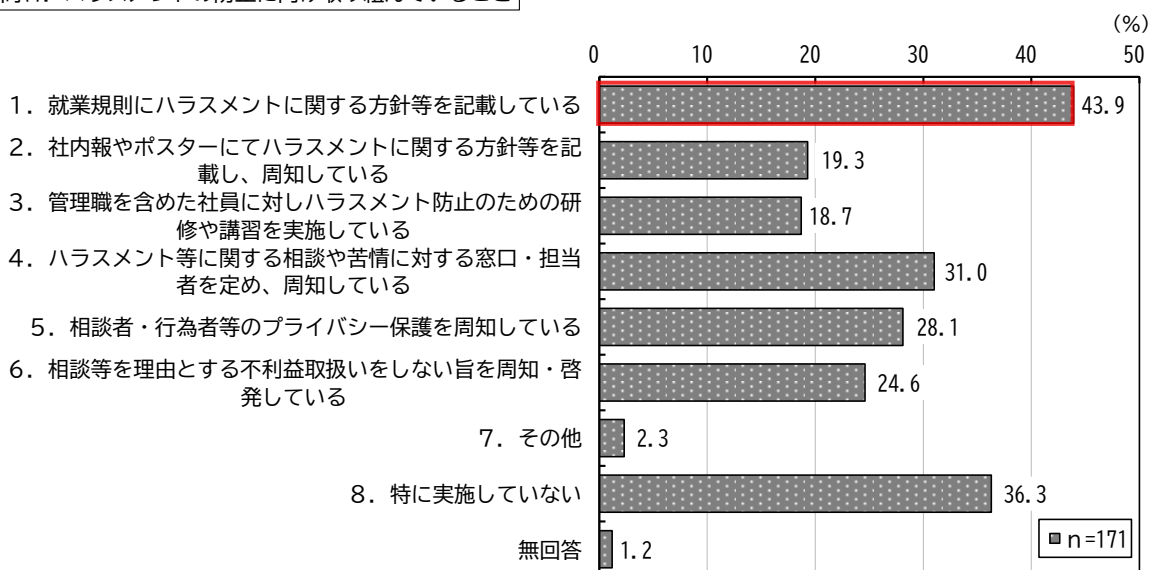
問 17. 貴事業所において、ハラスメントの防止に向け取り組んでいることはありますか。
(○はいくつでも)

1. 就業規則にハラスメントに関する方針等を記載している
2. 社内報やポスターにてハラスメントに関する方針等を記載し、周知している
3. 管理職を含めた社員に対しハラスメント防止のための研修や講習を実施している
4. ハラスメント等に関する相談や苦情に対する窓口・担当者を定め、周知している
5. 相談者・行為者等のプライバシー保護を周知している
6. 相談等を理由とする不利益取扱いをしない旨を周知・啓発している
7. その他 ()
8. 特に実施していない

ハラスメント防止の取組み状況を見ると、「1. 就業規則にハラスメントに関する方針等を記載している」43.9%と最も高く、次いで「4. ハラスメント等に関する相談や苦情に対する窓口・担当者を定め、周知している」が31.0%、「5. 相談者・行為者等のプライバシー保護を周知している」が28.1%となっている。

ハラスメント防止措置は法的義務となっているものの、「8. 特に実施していない」が36.3%となっている。

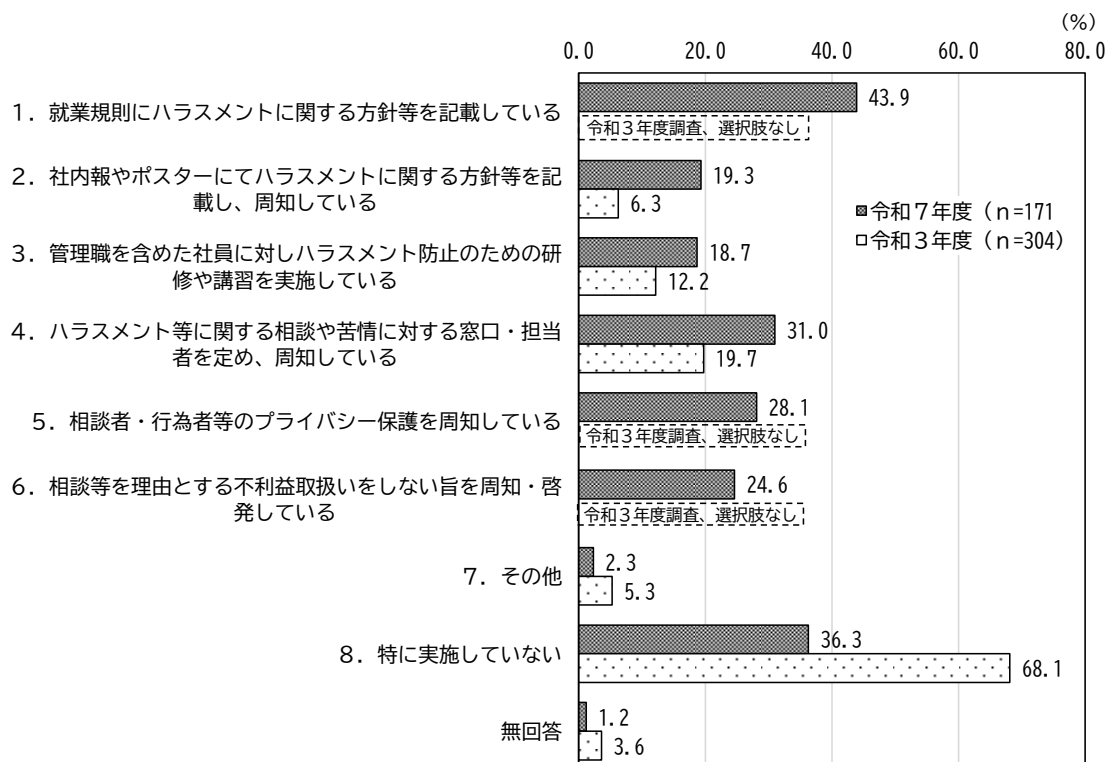
問17. ハラスメントの防止に向け取り組んでいること



【その他】職員が強いので常に意見を言われ、事業主は耐えている。

参考までに令和3年度調査結果と比較すると、上昇した項目については、「2. 社内報やポスターにてハラスメントに関する方針等を記載し、周知している」が+13ポイント、次いで「4. ハラスメント等に関する相談や苦情に対する窓口・担当者を定め、周知している」が+11ポイントとなっている。低下した項目をみると、「8. 特に実施していない」が-32ポイント低下している。

問17. 貴事業所において、ハラスメントの防止に向け取り組んでいること（複数回答）

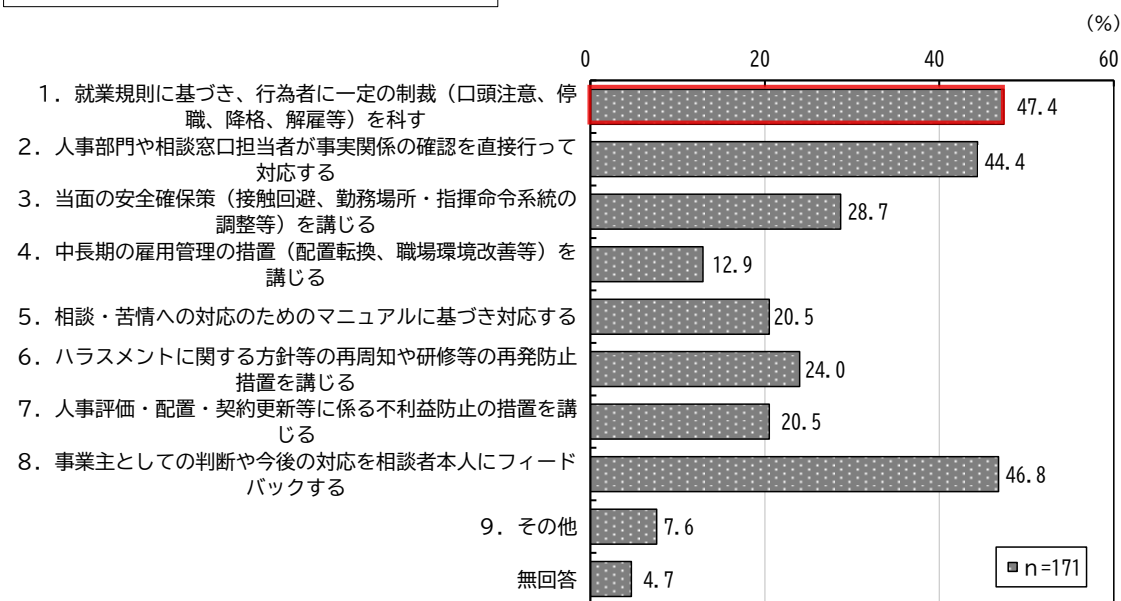


問 18. 貴事業所において、もしハラスメントに関する相談があった場合の対応として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 就業規則に基づき、行為者に一定の制裁（口頭注意、停職、降格、解雇等）を科す
2. 人事部門や相談窓口担当者が事実関係の確認を直接行って対応する
3. 当面の安全確保策（接触回避、勤務場所・指揮命令系統の調整等）を講じる
4. 中長期の雇用管理の措置（配置転換、職場環境改善等）を講じる
5. 相談・苦情への対応のためのマニュアルに基づき対応する
6. ハラスメントに関する方針等の再周知や研修等の再発防止措置を講じる
7. 人事評価・配置・契約更新等に係る不利益防止の措置を講じる
8. 事業主としての判断や今後の対応を相談者本人にフィードバックする
9. その他（ ）

事業所において、ハラスメントに関する相談があった場合の対応として、「1. 就業規則に基づき、行為者に一定の制裁（口頭注意、停職、降格、解雇等）を科す」が 47.4%と高く、次いで、「8. 事業主としての判断や今後の対応を相談者本人にフィードバックする」が 46.8%、「2. 人事部門や相談窓口担当者が事実関係の確認を直接行って対応する」44.4%となっている。

問18. ハラスメントに関する相談があった場合の対応



【その他】本部が管理しているので分からない/現段階でハラスメントの相談を受けたことがなく、フローが定まっていない/中小企業では同族経営が多く、パワハラを訴えるのは困難だと感じる/ありませんでしたが、あれば間に入り、労務士事務所の方にも相談して入ってもらいます。

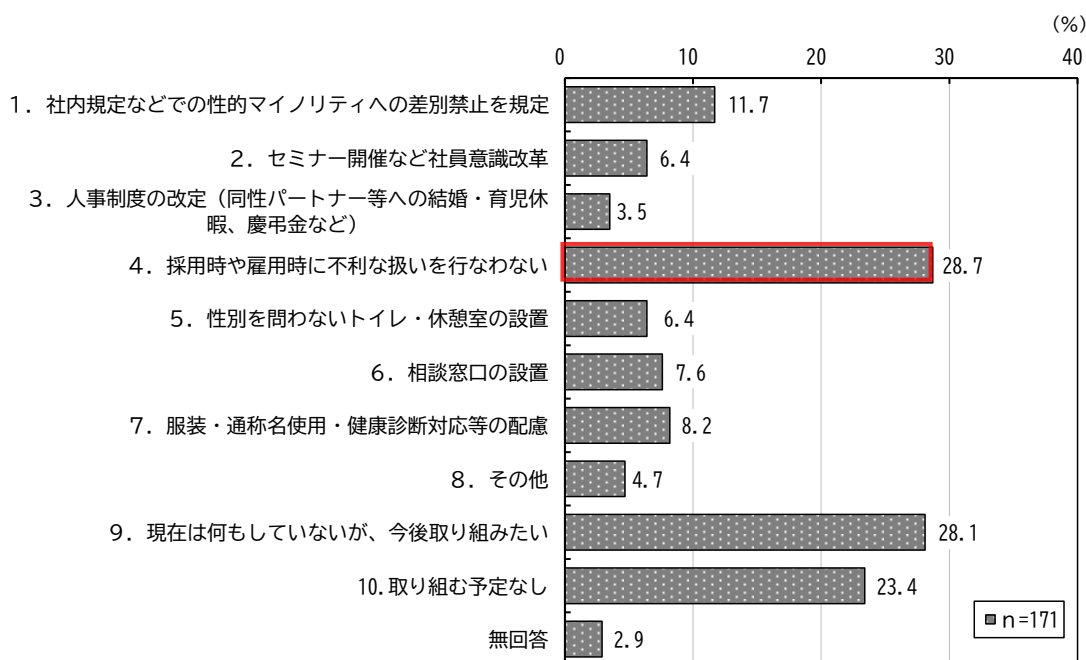
7) 性の多様性について

問 19. 貴事業所において、性的マイノリティに対する職場改善など、具体的に取り組んでいることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1. 社内規程などでの性的マイノリティへの差別禁止を規定
2. セミナー開催など社員意識改革
3. 人事制度の改定（同性パートナー等への結婚・育児休暇、慶弔金など）
4. 採用時や雇用時に不利な扱いを行わない
5. 性別を問わないトイレ・休憩室等の設置
6. 相談窓口の設置
7. 服装・通称名使用・健康診断対応等の配慮
8. その他（ ）
9. 現在は何もしていないが、今後取り組みたい
10. 取り組む予定はない

性的マイノリティに対する職場改善として、「4. 採用時や雇用時に不利な扱いを行わない」が28.7%と最も高くなっている。一方で、「9. 現在は何もしていないが、今後取り組みたい」が28.1%、「11. 取り組む予定はない」が23.4%、となっている。

問19. 性的マイノリティに対する職場改善など、具体的に取り組んでいること



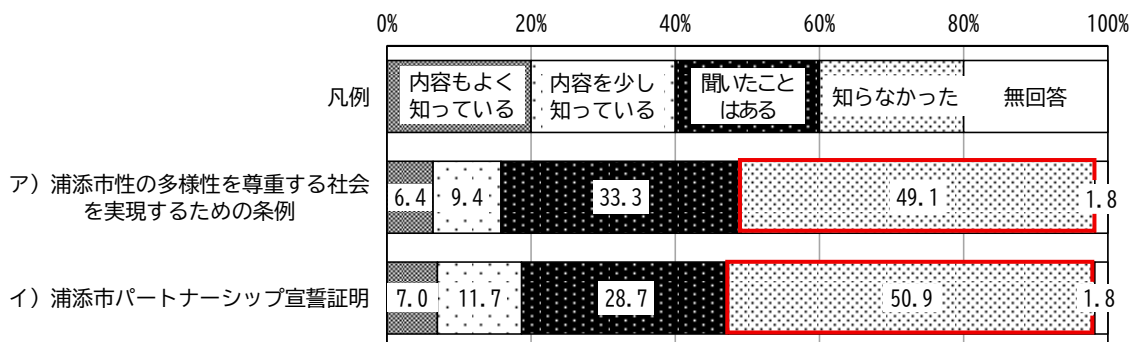
【その他】性的マイノリティの方が私の知る限りいないので、具体的に何に取り組んだらよいのかよくわかっていないが、今後取り組むべきだとは思っている。/患者さんにもいらっしゃるの、職員は理解があります。/現在は従業員が1名で対象の範囲ではないが、将来従業員が増えて該当する場合には本人の希望を聞き取り業務に支障の無い範囲で対応していく

問 20. 性の多様性に関する次の言葉を聞いたことがありますか。(○は1つずつ)

項目	選択肢			
	知っている 内容もよく	知っている 内容を少し	聞いたことは ある	知らなかった
ア) 浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例	1	2	3	4
イ) 浦添市パートナーシップ宣誓証明	1	2	3	4

性の多様性に関する語句の認知状況をみると、「ア) 浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例」も「イ) 浦添市パートナーシップ宣誓証明」も「知らなかった」が約半数(49.1%; 50.9%)となっている。なお、『知っている』(「内容もよく知っている」+「内容も少し知っている」)割合は、「ア) 浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例」が15.8%、「イ) 浦添市パートナーシップ宣誓証明」が18.7%となっている。

問20. 性の多様性に関する言葉の認知度



8) 男女共同参画行政について

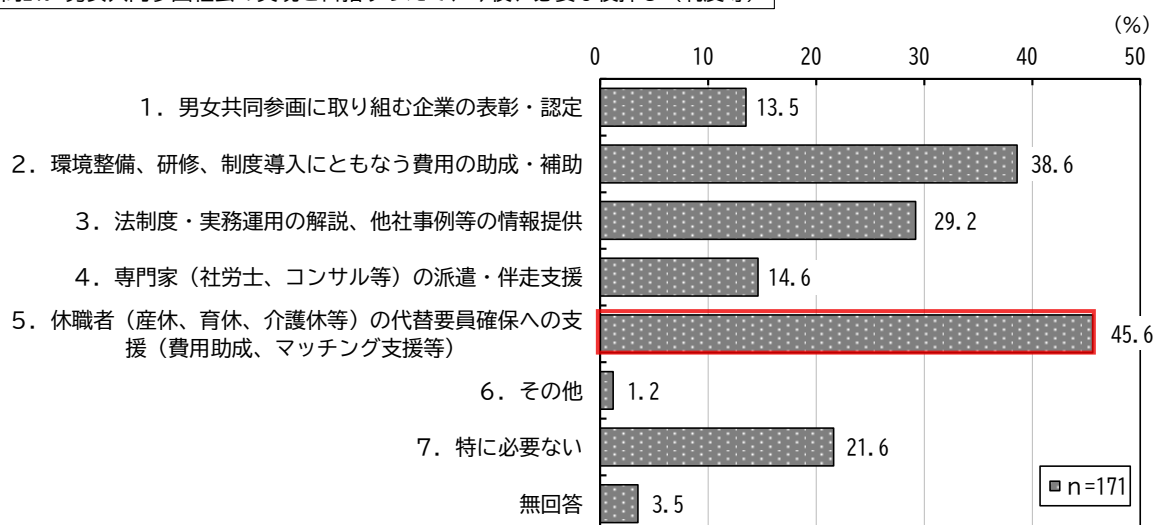
問21. 男女共同参画社会の実現を目指すうえで、今後、どのような後押し（制度等）があれば、貴事業所として取組みを推進していくことができると思いますか。（〇はいくつでも）

1. 男女共同参画に取り組む企業の表彰・認定
2. 環境整備、研修、制度導入にともなう費用の助成・補助
3. 法制度・実務運用の解説、他社事例等の情報提供
4. 専門家（社労士、コンサル等）の派遣・伴走支援
5. 休職者（産休、育休、介護休等）の代替要員確保への支援（費用助成、マッチング支援等）
6. その他（ ）
7. 特に必要ない


男女共同参画計画の実現を目指すうえで、してほしい後押し（制度等）を尋ねたところ、「5. 休職者（産休、育休、介護休等）の代替要員確保への支援（費用助成、マッチング支援等）」が45.6%と最も高く、次いで「2. 環境整備、研修、制度導入にともなう費用の助成・補助」が38.6%、「3. 法制度・実務運用の解説、他社事例等の情報提供」が29.2%となっている。

一方で、「7. 特に必要ない」が21.6%となっている。

問21. 男女共同参画社会の実現を目指すうえで、今後、必要な後押し（制度等）




9) 調査票


津浦市長官邸環境に関する事業所意識調査
 (調査の趣旨とご協力をお願い)

2026年1月
津浦市長官邸環境・男女共同参画課

市民活動・男女共同参画課では、職場環境に関する事業所の実態を把握するとともに事業所のご意見を聞き、津浦市長官邸環境行動計画の施策の参考にさせていただきたいと考えております。この度、関係市内に住所を置く事業所のなかから随作業に1,000件を抽出したところ、貴事業所にご協力いただくことになりました。ぜひ、ご意見を反映させていただきます。


ITはAKO

回答期限 2026年 2月 16日(月)まで
いずれかの方法で回答してください。

回答方法①：スマートフォン等による回答

STEP 1
二次元バーコードまたはQRコードから、アンケートに答える。
URL: https://survey.tsu.com/svc_04_042025

STEP 2
アンケートの最後に送信のボタンを押す

回答方法②：調査票による筆記回答

STEP 1
調査票に回答を記入し、返信用封筒に入れる

STEP 2
ポストに投函する

【男女共同参画社会】とは、女性も男性もすべての個人が、互いにその能力を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことです。
 ※第3次津浦市長官邸環境行動計画 改訂版

この調査は、津浦市長官邸環境フォーラム・プランニング事務局委託して実施しています。
 調査に関するお問い合わせは、Tel 096-859-7027(月～金 9時～17時 担当：高橋、谷本)へお願いいたします。

【問4で「5」または「6」と答えた方におたずねします。】

問4. 「一般事業主行動計画」を策定していない理由は、次のどれですか。理由として近い選択肢(番号)を3つまでお選びください。(〇は3つまで)

1. 次世代育成支援対策推進法について知らないから
2. 女性活躍推進法について知らないから
3. 計画をどのような形で策定すればいいかわからないから
4. 計画を策定する時間的余裕がないから
5. 計画を策定する法的義務の対象(従業員10人以上の企業)ではないから
6. 企業(事業所)にとって計画を策定するメリットが分からないから
7. その他()

2. ワーク・ライフ・バランスについて

問5. 貴事業所において、ワーク・ライフ・バランスを推進するためのような取組を実施していますが、また、実施予定もお聞かせください。(〇はそれぞれ1つ)

	選択肢	実施している	実施予定にしている	実施予定はない
①年次有給休暇の取得促進	1	2	3	
②長時短時間勤務の取組	1	2	3	
③事業所内保育施設の設置	1	2	3	
④通勤・配属に関する配慮	1	2	3	
⑤男性従業員の育児・介護への参加奨励	1	2	3	
⑥時短勤務	1	2	3	
⑦テレワークの導入	1	2	3	
⑧フレックスタイム制度	1	2	3	
⑨従業員に対する研修・啓発	1	2	3	

ご記入にあたってのお願い
 ○この調査には、宛名の事業所の事業主様または総務ご担当者様にご回答ください。
 ○質問にしながら、回答欄のあてはまる番号に〇をつけてください。

1. 事業所の概要について

問1. 貴事業所の主な業種は次のどれですか。(〇は1つ)

1. 建設業	2. 製造業	3. 電気・ガス・熱供給・水道業
4. 情報通信業	5. 運輸業	6. 卸売・小売業
7. 金融・保険業	8. 不動産業	9. 宿泊業・飲食サービス業
10. 医療・福祉	11. サービス業	12. その他()

問2. 事業所の区分は次のどれですか。

1. 単独事業所	2. 本社・本店	3. 支社・支店・営業所等
----------	----------	---------------

問3. 貴事業所が直接雇用する従業員、管理職の人数と、役員的人数をお答えください。なお、派遣社員は含みません。

	男性	女性
正従業員	人	人
うち管理職*	人	人
非正従業員*	人	人
役員*	人	人

*常務取締役、副社長取締役、監事等を含む(役員職外以上の表)をいいます。
 ※正従業員とは、パートやアルバイト、嘱託・契約社員をいいます。
 ※役員とは、取締役、執行役、監事等をいいます。

問4. 貴事業所では、次世代育成支援対策推進法および女性活躍推進法に規定されている「一般事業主行動計画」を策定していますか。(〇は1つ)

1. すでに両方とも策定している (一併化も含む)
2. 次世代育成支援対策推進法に基づく計画のみ策定している
3. 女性活躍推進法に基づく計画のみ策定している
4. 策定については検討または準備中である
5. 策定する予定はない
6. 「一般事業主行動計画」について知らない

3. 育児休業・介護休業の状況について

問6. 貴事業所には、下記のア～フまでの各種休業制度の取組がありますが、取組「ある」場合は、取組がある従業員の種類(正従業員、非正従業員)について、あてはまる選択肢(番号)すべてに〇をつけてください。(〇はそれぞれ1つ)

	ある		ない	検討中
	正従業員*	非正従業員*		
ア) 産前・産後休業制度	1	2	3	4
イ) 育児休業制度	1	2	3	4
ウ) 介護休業制度	1	2	3	4

※このときの非正従業員とは、パート、アルバイト、嘱託・契約社員等を除き、派遣社員は含みません。

問7. 貴事業所では、直近1年間(2025年1月～12月末)に、出産した女性従業員、または配偶者が出産した男性従業員はいましたが、いた場合は、その人数を性別・雇用形態別(正従業員・非正従業員)にそれぞれお答えください。(いなかった場合は0人と記入してください)

	出産があった者	
	正従業員	非正従業員
ア. 女性従業員	() 人	() 人
イ. 男性従業員	() 人	() 人

問8. 上記のうち、育児休業を取得した従業員はいましたが、いた場合は、その人数を性別・雇用形態別(正従業員・非正従業員)にそれぞれお答えください。(いなかった場合は0人と記入してください)

	育児休業取得者	
	正従業員	非正従業員
ア. 女性従業員	() 人	() 人
イ. 男性従業員	() 人	() 人

問9. 貴事業所では、直近1年間(2025年1月～12月末)に、介護休業を取得した従業員はいましたが、いた場合は、その人数を性別・雇用形態別(正従業員・非正従業員)にそれぞれお答えください。(いなかった場合は0人と記入してください)

	介護休業取得者	
	正従業員	非正従業員
ア. 女性従業員	() 人	() 人
イ. 男性従業員	() 人	() 人

問13. 国が男性の育児休業の取得を促していますが、貴事業所の男性の育児休業取得に関する課題はありますか。あてはまる選択肢（番号）をお選びください。（〇は3つまで）

1. 育児取得者以外の人の理解が得えない
2. 代替要員の確保が難しい
3. 育児取得にもなる業務の引継ぎが困難
4. 男性の育児取得の自覚がない、または少ない
5. その他にしかできない（分からない）業務がある
6. 育児取得を希望する男性従業員が少ない
7. その他（ ）
8. 課題は特になし

4. ポジティブ・アクションについて

問12. 「ポジティブ・アクション」を知っていますか。

1. よく知っていて、具体的な取り組みもなし
2. よく知っているが、具体的な取り組みはない
3. 名前だけは聞いたことがある
4. 知らない

【※ポジティブ・アクションとは】
これまでの慣行や世間による差別や偏見などから、男女の労働者が間に隔壁が生じている場合（例えば、就業機に女性が少ないなど）、偏見以上の管理職は男性が大半であるなど）、このような問題を解消するために働き手や企業が行う自主的かつ継続的な取り組みをいいます。

5. 事業所の男女共同参画への取組みについて

問11. 貴事業所において、次に掲げる項目、性別による差があると思いますが、あなたの考えに近い選択肢（番号）を選んでください。（〇はそれぞれ1つ）

項目	選好している	どちらかといえば選好している	どちらかといえば選好していない	選好していない	わからない
ア 就業や採用の条件	1	2	3	4	5
イ 賃金・昇進・昇格	1	2	3	4	5
ウ 人事配置	1	2	3	4	5
エ 教育や研修制度	1	2	3	4	5
オ 重要な仕事への配置（意思決定や企画に係る業務等）	1	2	3	4	5
カ 全体的に	1	2	3	4	5

6. ハラスメントについて

問17. 貴事業所において、ハラスメントの防止に向け取り組んでいることはありますか。（〇はいくつでも）

1. 就業規則にハラスメントに関する方針等を記載している
2. 社内報やポスターにてハラスメントに関する方針等を記載し、周知している
3. 管理職を含めた社員に対しハラスメント防止のための研修や講座を実施している
4. ハラスメント等に関する相談や苦情に対する窓口・担当者等を定め、周知している
5. 相談者・行為者等のプライバシー保護を周知している
6. 相談等を理由とする不利な取扱いをしない旨を周知・啓発している
7. その他（ ）
8. 特に実施していない

問18. 貴事業所において、もしハラスメントに関する相談があった場合の対応として、あてはまる番号すべてに〇をつけてください。

1. 就業規則に基づき、行為者に一定の制裁（口頭注意、停職、降格、解雇等）を科す
2. 人事部門や相談窓口担当者等が事実関係の検証と記録を行う対応する
3. 当事者の安全確保等（強制休職、勤務場所・指揮命令系統の調整等）を講じる
4. 中高年の雇用管理の対策（就業転換、職場環境改善等）を講じる
5. 相談・苦情への対応のためのマニュアルに基づき対応する
6. ハラスメントに関する方針等の再周知や研修等の再実施の措置を講じる
7. 人事評価・配置・契約更新等に係る不利な取扱いの措置を講じる
8. 事業主としての判断や今後の対応を相談者本人にフィードバックする
9. その他（ ）

7. 性の多様性について

問19. 貴事業所において、性的マイノリティに対する職場改善など、具体的に取り組んでいることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（〇はいくつでも）

1. 社内報などに性的マイノリティへの差別禁止を掲載
2. セミナー開催など社員意識喚起
3. 人事制度の改定（同性パートナー等への結婚・育児休暇、慶弔金など）
4. 採用時や雇用時に不平等扱いを行わない
5. 性別を問わないトイレ・休憩室等の設置
6. 相談窓口の設置
7. 服装・通称名選択・健康診断対応等の配慮
8. その他（ ）
9. 現在は何もしていないが、今後取り組みたい
10. 取り組み予定はない

問14. 貴事業所では、性別に基づく不利益や差別の横行の防止のために、どのような取組を行っていますか。あてはまる番号すべてに〇をつけてください。

1. 性別による固定的な役割分担の見直し（仕事のみ、育児、非営利活動、会議準備等を含む）
2. 妊娠・出産・育児・介護等を理由とする不利益取扱いの防止（周知・相談対応等）
3. 希望による勤務・業務の調整（転任、メール、転居、社内システム等）
4. 採用・配置・昇進・評価の基準の明確化
5. その他（具体的に ）
6. 特に取り組んでいない

問15. 貴事業所において、女性も男性も同じような環境で働いていくために、特に女性にとって課題になっていると感じることについて、あてはまる番号すべてに〇をつけてください。

1. 長時間労働・突発的な残業・休日対応が厳格になっている
2. 転勤・出張・夜間勤務などを前提とする働き方/配置が多い
3. 育児・介護と両立できる制度（時間調整、在宅等）が不十分、または利用しづらい
4. 非正規・短時間などキャリア形成しにくい雇用形態に女性が多い
5. 女性が少ない職種・業務で、研修（若手塾・トイ）や安全衛生（防護具等）が不十分
6. 管理職・研修の理解不足や、管理職の思い込み（性別役割意識）がある
7. ロープレジデントや相談員（メンター）が少なく、指導が難しい
8. 顧客・取引先等に女性の担当者/管理職を受け入れられにくい
9. 女性に業務指導や研修上の制約が厳しく、転居や業務転換が難しいと思う
10. 昇進・管理職を希望する女性が少ないと思う
11. 女性の早期離職が多く、人材育成・活用が滞りにくいと思う
12. その他（具体的に ）
13. 特に課題はない

問16. 男女共同参画社会を形成していくため、貴事業所として今後重点的に取り組みたい（取り組み必要がある）ものは何ですか。（〇は3つまで）

1. 労働時間短縮・長時間労働の防止
2. 柔軟な働き方（フレックスタイム制、テレワーク等）の導入
3. 育児・介護と両立できる制度（時間調整、在宅等）の導入
4. 昇進基準の明確化や非正規雇用の適正化
5. 管理職・意思決定層への女性の登用
6. 女性が少ない職種への就業拡大・育成
7. ハラスメントの防止（相談・対応体制を強化）
8. 男女共同参画や無意識の思い込みに関する研修
9. その他（ ）

問20. 性の多様性に関する次の取組を聞いたことがありますか。（〇は1つずつ）

項目	聞いたことがありません	聞いたことがありますが、詳しくは知りません	知っている程度です	よく知っている
ア) 職場内での多様性を尊重する社会を実現するための取組	1	2	3	4
イ) 労働者パートナーシップ協会の取組	1	2	3	4

【職場内での多様性を尊重する社会を実現するための取組（令和3年10月1日現在）】
（事業所の取組）
第6条 事業所は、性の多様性の尊重について理解を深めるとともに、性が異なる者にも協力するよう努めるものとする。
2 事業所は、その事業活動を行うに当たって、性の多様性を認識した職場環境の整備に努めるものとする。
【パートナーシップ協会の取組】
労働者では令和3年10月より発効開始
一 協会は地方自治体のマイノリティであり、互いに人生のパートナーとして、日常の生活において相互に協力しあうことを目的とした団体であること。地方自治体職員、労働者等による、協会の取組を奨励する。
二 協会は性別や性的指向が異なる者、年齢や住民票の記載が異なる者だけでなく、又法的性別に基づいた保護やサービスは受けられない。

8. 男女共同参画行政について

問21. 男女共同参画社会の実現を目的として、今後、どのような施策（制度等）があれば、貴事業所として取組むを推進していくことができるとお考えですか。（〇はいくつでも）

1. 男女共同参画に取組むための表彰・認定
2. 職場環境、研修、制度導入にもなる費用の助成・補助
3. 法制度・実務運用の解説、他社事例等の情報提供
4. 専門家（弁護士、コンサルタント等）の派遣・作成支援
5. 研修会（法律、労務、介護等）の代替役員確保への支援（費用助成、マッチング支援等）
6. その他（ ）
7. 特に必要ない

自由意見

問22. これからの貴事業所の男女共同参画行政について、ご意見ご要望があれば自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

3. 男女共同参画に関する中学生意識調査結果

(1) 調査の実施概要

1) 調査の目的

男女共同参画に関する中学生の意識や実態を把握するとともに、令和8年度策定予定の「第4次浦添市男女共同参画行動計画」の検討に向けた基礎資料として活用することを目的に実施した。

2) 調査の実施方法・結果

対象者	市内の中学校に通う中学2年生 1,229名
実施方法	各生徒が所有するタブレット端末等を用いたWEB回答
調査期間	令和7年11月11日～12月25日
有効回収数・率	1,012件・82.3%

	生徒数	回答数	回答率
浦添中学校	256	224	87.5%
仲西中学校	280	228	81.4%
神森中学校	286	249	87.1%
港川中学校	250	180	72.0%
浦西中学校	157	131	83.4%
計	1,229	1,012	82.3%

3) 結果の見方

- ・回答結果の割合は、回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しているため、単数回答であっても、合計値が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、割合を出している。そのため、合計が100%を超える場合がある。
- ・表や図中で、選択肢の文章が長いものは省略して載せている場合がある。また、「n」は集計の対象者数（設問の限定条件に該当する人の数）を表している。

(2) 調査の結果概要

1) 回答者の属性

- ・回答者の性別をみると、「1. 男性」が48.0%、「2. 女性」が48.8%、「3. その他」が1.3%、「4. 答えたくない」が1.4%となっている。
- ・回答者が通っている中学校をみると、「1. 浦添中学校」が22.1%、「2. 仲西中学校」が22.5%、「3. 神森中学校」が24.6%、「4. 港川中学校」が17.8%、「5. 浦西中学校」が12.9%となっている。

2) 学校・生活面の平等観について

- ・学校生活や日常生活の場面での男女の立場について尋ねたところ、全選択肢で「平等」が最も高くなっているが、「③部活動のとき」や「⑤校内の設備・環境」については、「平等」の割合が他の項目に比べて低い傾向となっている。
- ・大人になったときに、家事を、どのくらい自分でやりたいと思うかを尋ねたところ、「3. 家族と分担してやりたい」が50.0%と最も高い。
- ・将来、子どもを育てることになったら、子育てをどのくらい自分でやりたいと思うかを尋ねたところ、「3. 家族と分担してやりたい」が59.4%と最も割合が高い。
- ・男女共同参画に関する語句の認知状況について、『知っている』(「内容もよく知っている」+「内容は少し知っている」) 割合をみると、「イ) ジェンダー」で64.6%と最も高く、「聞いたことはある」(23.8%) をあわせると88.4%と認知度が高くなっている。

3) ジェンダー・ステレオタイプ（性別による偏見・固定観念）について

- ・中学校や家庭で「男／女だから〇〇しなさい」と言われたことがある経験を尋ねたところ、それぞれ「言われたことはない」の割合が最も高くなっている。『言われる』(「よく言われる」+「ときどき言われる」) の割合をみると、「親から」が20.6%とほかの項目より高くなっている。
- ・「よく言われる」または「ときどき言われる」と回答した生徒にその時の気持ちを尋ねたところ、「1. なぜ言われるのかよく分からなかった」が25.0%と最も高い。
- ・自分の希望する進路や就職先について、「男だから／女だから」やめた方がいいと言われたことがあるかを尋ねたところ、「言われたことはない」が全ての項目で85%を超えている。
- ・「男性」「女性」に関する考え方や意見について、『思う』(「そう思う」+「ややそう思う」) の割合をみると、『『女性』は男性に守られる存在だ』が32.5%と最も高く、次いで『『女性のほうが』男性よりも家事に向いている』が27.7%となっている。
- ・一方、『『思わない』(「あまりそう思わない」+「そう思わない」) の割合をみると、『『女性』は男性よりも理系が苦手だ』、『『男性のほうが』女性よりも文系が苦手だ』、『『男性のほうが』生徒会長や学級代表に向いている』が5～6割を占めている。
- ・ジェンダースtereotypeが、自分の可能性を狭めているかを尋ねると、「5. わからない(意識したことがない)」が56.8%と最も高い。

4) デートDV（交際相手からの暴力）について

- ・デートDVに関する授業や講演を聞いたことがあるか尋ねると、「1. 中学校で聞いた」が59.1%と最も割合が高い。
- ・暴力だと思う行動について、「カ) 嫌がるのに、性的な行為を迫ったり、裸等の写真を撮ったりする」が89.4%と最も割合が高い。
- ・「ア) デートDV」について、全体の61.3%の生徒が『知っている』（「内容もよく知っている」+「内容は少し知っている」）と回答した。また、「イ) セクシュアル・ハラスメント」については、54.1%の生徒が『知っている』（「内容もよく知っている」+「内容は少し知っている」）と回答した。

5) ネットリテラシー（インターネットの危険性・正しい理解）について

- ・普段よく利用するSNS等をみると、「1. LINE」が82.5%と最も高い。「7. どれも利用していない」は1.6%であり、98.4%の中学2年生がなんらかのソーシャルメディアを利用している。
- ・SNSやオンラインゲーム上での困った経験について、大部分の生徒が「6. いずれも経験したことがない」（78.3%）と回答していた。一方で、何らかの困った経験をしたことがある中学2年生の割合は15.1%と、約7人に1人の割合となっている。
- ・ネットリテラシーについて、「イ) 誰かの裸や下着姿の画像をネットで送ったりもらったりするのはリスクが大きい」と「ウ) 人を傷つける可能性がある投稿はしてはいけない」について、『思う』（「非常にそう思う」+「そう思う」）と回答した生徒はともに9割以上と高い傾向となっている。

6) 性の多様性について

- ・身近な方から性的少数者であることを打ち明けられた時について、「3. いままで通り接する」が37.4%と最も割合が高い。
- ・自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などに悩んだことがある経験をみると、「4. まったくない」が72.8%と最も高くなっている。なお、『ある』（「1. よくある」+「2. たまにある」）と回答した生徒は7.1%となっている。
- ・自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などで悩んでいることを誰かに「1. 相談したことがある」と回答した生徒は26.4%（19人）、「2. 相談したことはない」と回答した生徒は73.6%（53人）であった。
- ・自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などで悩んでいることの相談先として、「3. 友達」が57.9%（11人）と最も割合が高い。
- ・性の多様性に関する言葉の認知度について、「ア) LGBT（LGBTQ・LGBT+、LGBTs）」を『知っている』（「内容もよく知っている」+「内容は少し知っている」）と回答した生徒は48.8%と最も割合が高い。

7) 生理の貧困について（女子生徒のみ回答）

- ・家庭の事情から生理用品の購入や用意に困ったことが『ある』（「1. よくある」+「2. 時々ある」）と回答した女子生徒は4.0%（20人）となっている。
- ・家庭の事情から生理用品の購入や用意に困っている理由として、「3. 親（保護者）に購入を頼むのが恥ずかしいから」や「4. 自分で買うのが恥ずかしいから」が挙げられた。

（3）調査の結果詳細

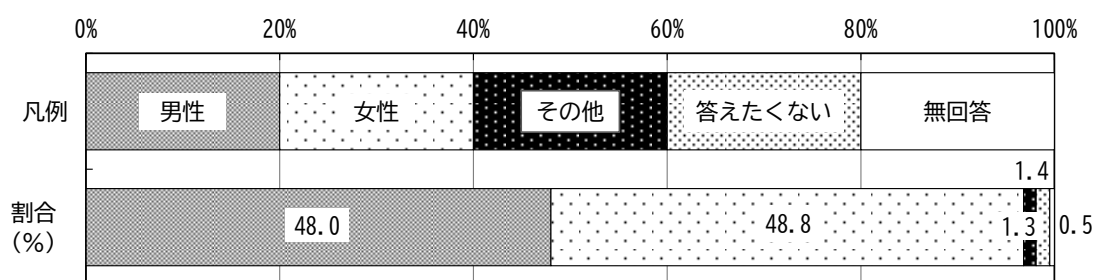
1) 回答者の属性

問22. あなたの性別を教えてください。自認する性でもけっこうです。

1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 答えたくない
-------	-------	--------	-----------

回答者の性別をみると、「1. 男性」が48.0%、「2. 女性」が48.8%、「3. その他」が1.3%、「4. 答えたくない」が1.4%となっている。

問22 性別

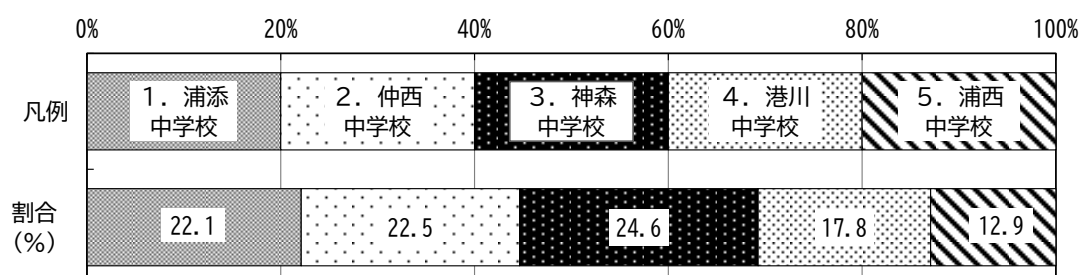


問23. あなたが通う中学校は次のどれですか。

1. 浦添中学校	2. 仲西中学校	3. 神森中学校
4. 港川中学校	5. 浦西中学校	

回答者が通っている中学校をみると、「1. 浦添中学校」が22.1%、「2. 仲西中学校」が22.5%、「3. 神森中学校」が24.6%、「4. 港川中学校」が17.8%、「5. 浦西中学校」が12.9%となっている。

問23 あなたが通う中学校

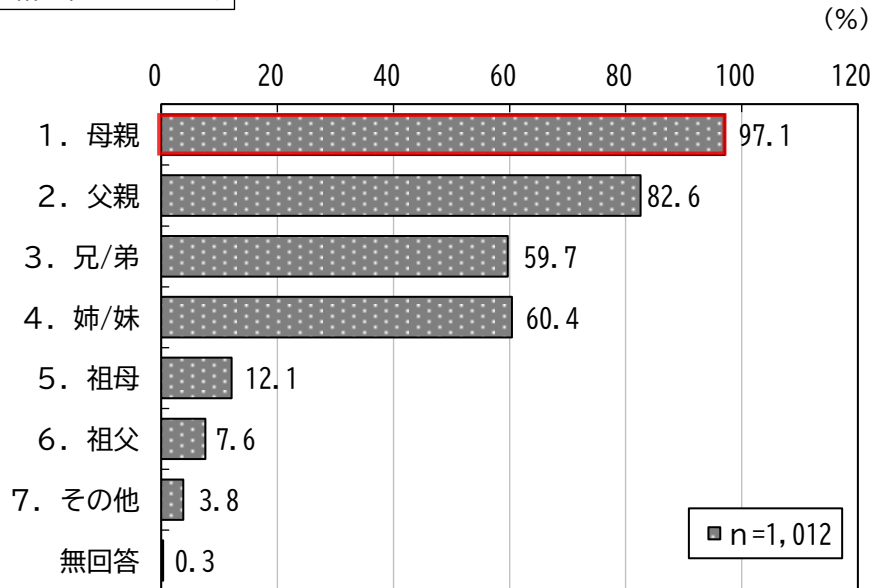


問 24. あなたと一緒に住んでいる方を次の中からすべて選んでください。

1. 母親	2. 父親	3. 兄/弟
4. 姉/妹	5. 祖母	6. 祖父
7. その他 ()		

回答者が一緒に住んでいる方については、「1. 母親」が97.1%と最も割合が高く、次いで「2. 父親」(82.6%)、「4. 姉/妹」60.4%、「3. 兄/弟」(59.7%)となっている。

問24 一緒に住んでいる方



【その他】叔父・叔母（4件）/自分の家とおじいちゃんおばあちゃんの家を
行き来してる今日は仕事あるから自分の家戻ってみたいな/いとこ/再婚相手

2) 学校・生活面の平等観について

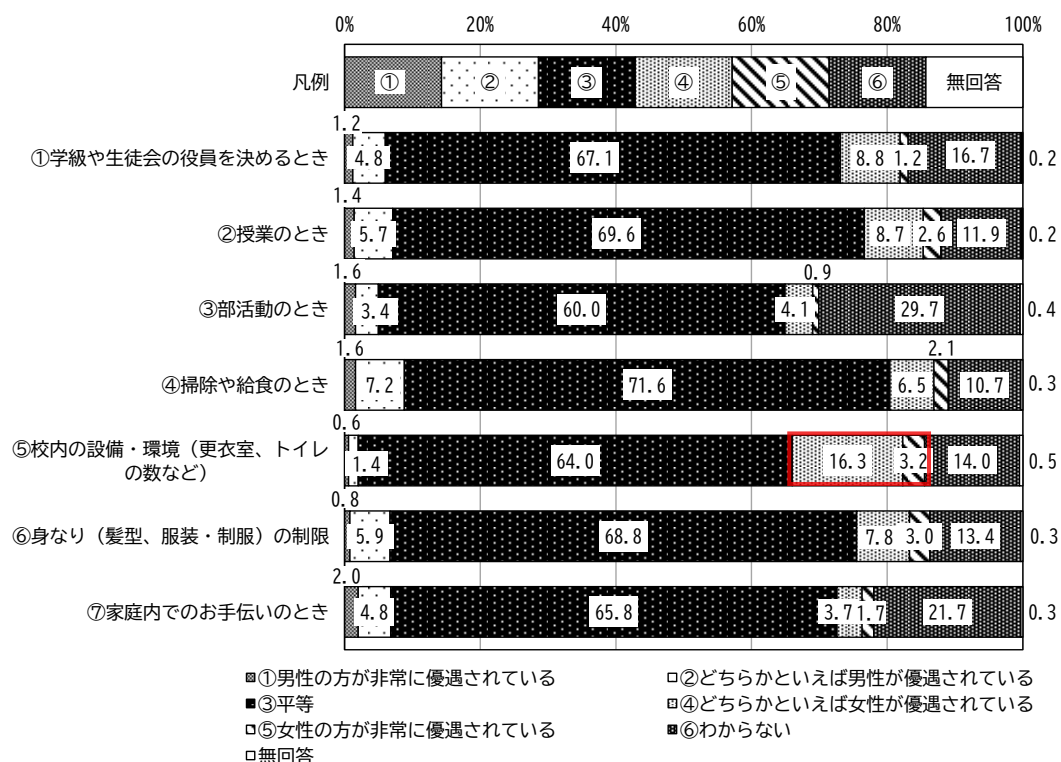
問1. あなたは、次にあげる学校生活や日常生活の場面で、男女の立場は平等になっていると思いますか。あなたの経験や感じたことをもとに、いちばん近いと思うものを1つずつ選んでください。

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等	どちらかといえば女性が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
①学級や生徒会の役員を決めるとき	1	2	3	4	5	6
②授業のとき	1	2	3	4	5	6
③部活動のとき	1	2	3	4	5	6
④掃除や給食のとき	1	2	3	4	5	6
⑤校内の設備・環境（更衣室、トイレの数など）	1	2	3	4	5	6
⑥身なり（髪型、服装・制服）の制限	1	2	3	4	5	6
⑦家庭内でのお手伝いのとき	1	2	3	4	5	6

学校生活や日常生活の場面での男女の立場について尋ねたところ、全選択肢で「平等」が最も高くなっているが、「③部活動のとき」や「⑤校内の設備・環境」については、「平等」の割合が他の項目に比べて低い傾向となっている。

『男性が優遇されている』（「男性の方が非常に優遇」＋「どちらかといえば男性の方が優遇」）と『女性が優遇されている』（「どちらかといえば女性が優遇」＋「女性の方が非常に優遇」）を比較すると、「⑤校内の設備・環境（更衣室、トイレの数など）」では『女性が優遇されている』のほうが17.5ポイント高くなっている。

問1 学校生活や日常生活の場面での男女の立場について



いずれの項目においても男女ともに「平等」という回答割合が最も高い一方で、各項目における男女別の回答の差について、以下の傾向がみられた。なお、④掃除や給食、⑥身なりの制限に関しては、女性からみて男性のほうが、男性からみて女性のほうが「優遇されている」と感じる割合が高い。

項目	傾向
④掃除や給食、⑥身なりの制限、⑦家庭内の手伝い	・女性のほうが「どちらかといえば男性が優遇されている」を多く選ぶ
①学級・生徒会役員、②授業、④掃除や給食、⑤設備環境、⑥身なりの制限	・男性のほうが「どちらかといえば/非常に女性が優遇されている」を多く選ぶ
①学級・生徒会役員、③部活動、④掃除や給食	・女性のほうが「わからない」を多く選ぶ

問1 学校・生活面の平等観について × 性別 (単数回答)

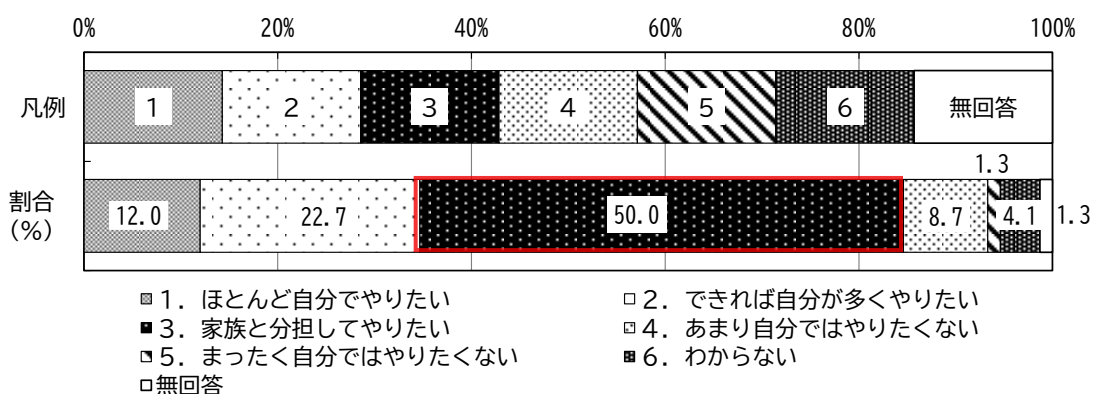
上段:度数 下段:横%	合計	①学級や生徒会の役員を決めるとき							②授業のとき							③部活動のとき						
		1. 男性の方が非常に優遇されている	2. どちらかといえば男性が優遇されている	3. 平等	4. どちらかといえば女性が優遇されている	5. 女性の方が非常に優遇されている	6. わからない	無回答	1. 男性の方が非常に優遇されている	2. どちらかといえば男性が優遇されている	3. 平等	4. どちらかといえば女性が優遇されている	5. 女性の方が非常に優遇されている	6. わからない	無回答	1. 男性の方が非常に優遇されている	2. どちらかといえば男性が優遇されている	3. 平等	4. どちらかといえば女性が優遇されている	5. 女性の方が非常に優遇されている	6. わからない	無回答
全体	1,012	12	49	67.9	8.8	12	16.9	2	14	58	70.4	8.8	26	12.0	2	16	34	60.7	4.1	9	30.1	4
男性	486	9	18	33.4	4.9	10	6.6	0	6	24	32.7	5.8	21	4.8	0	15	20	24.4	2.5	5	12.6	1
女性	494	3	3.7	66.7	10.1	2.1	13.6	0	1.2	4.9	67.7	11.9	4.3	9.9	0	3.1	4.1	60.5	5.1	1.0	25.9	0
その他	13	0	2	66.4	7.1	2	19.0	0.2	1.6	6.9	72.5	5.9	0.4	12.8	0	0.2	2.6	60.7	3.2	0.2	33.0	0
答えたくない	14	0	0	6	0	0	8	0	0	0	7	0	0	0	0	0	7	53.8	0	15.4	23.1	0
無回答	5	0	0	4	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	1	2	0
100.0	100.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0
上段:度数 下段:横%	合計	④掃除や給食のとき							⑤校内の設備・環境(更衣室、トイレの数など)							⑥身なり(髪型、服装・制服)の制限						
		1. 男性の方が非常に優遇されている	2. どちらかといえば男性が優遇されている	3. 平等	4. どちらかといえば女性が優遇されている	5. 女性の方が非常に優遇されている	6. わからない	無回答	1. 男性の方が非常に優遇されている	2. どちらかといえば男性が優遇されている	3. 平等	4. どちらかといえば女性が優遇されている	5. 女性の方が非常に優遇されている	6. わからない	無回答	1. 男性の方が非常に優遇されている	2. どちらかといえば男性が優遇されている	3. 平等	4. どちらかといえば女性が優遇されている	5. 女性の方が非常に優遇されている	6. わからない	無回答
全体	1,012	16	73	72.5	6.6	21	10.8	3	6	14	64.8	16.5	3.2	14.0	5	8	60	69.6	7.9	30	13.6	3
男性	486	19	25	71.6	6.5	21	10.7	0	0	1.4	64.0	16.3	3.2	14.0	0	0	5	68.3	7.8	3.0	13.4	0
女性	494	6	4.7	35.5	2.3	2	6.0	1	1	6	32.9	8.1	7	6.9	1	3	45	32.6	4.0	7	7.2	1
その他	13	0	0	6	0	0	3	0	0	1.2	66.6	16.4	1.4	14.0	0	0	9	66.0	8	1	14	0
答えたくない	14	0	0	8	0	0	6	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	8	0	0	6	0
無回答	5	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2
100.0	100.0	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	42.9	7.1	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	42.9	0.0
100.0	100.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0
上段:度数 下段:横%	合計	⑦家庭内での手伝いのとき																				
		1. 男性の方が非常に優遇されている	2. どちらかといえば男性が優遇されている	3. 平等	4. どちらかといえば女性が優遇されている	5. 女性の方が非常に優遇されている	6. わからない	無回答														
全体	1,012	20	49	66.6	3.7	17	22.0	3														
男性	486	8	12	33.5	1.8	8	10.5	0														
女性	494	11	3.5	68.9	3.7	1.6	21.6	1														
その他	13	1	2	7	0	2	1	0														
答えたくない	14	0	0	5	0	2	7	0														
無回答	5	0	0	3	0	1	2	0														
100.0	100.0	0.0	0.0	35.7	0.0	14.3	50.0	0.0														
100.0	100.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0														

問2. あなたは大人になったときに、家事（食事のしたく、そうじ、洗濯など）を、どのくらい自分でやりたいと思いますか。最も近いものを1つだけ選んでください。※どの答えも正しい・間違っているということはありません。あなたが今の時点でどう思うかを選んでください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. ほとんど自分でやりたい | 2. できれば自分が多くやりたい |
| 3. 家族と分担してやりたい | 4. あまり自分ではやりたくない |
| 5. まったく自分ではやりたくない | 6. わからない |

大人になったときに、家事を、どのくらい自分でやりたいと思うかを尋ねたところ、「3. 家族と分担してやりたい」が50.0%と最も高く、次いで、「2. できれば自分が多くやりたい」が22.7%、「1. ほとんど自分でやりたい」が12.0%となっている。

問2 大人になったときに家事を、どのくらい自分でやりたいと思うか



問2 大人になったときに、家事を、どのくらい自分でやりたいと思うか × 性別 (単数回答)

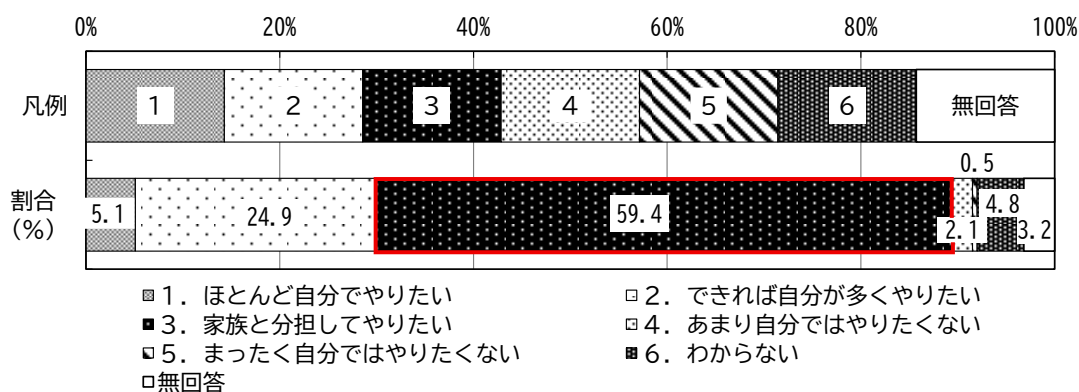
上段:度数 下段:横%	合計	1. ほとんど自分でやりたい	2. できれば自分が多くやりたい	3. 家族と分担してやりたい	4. あまり自分ではやりたくない	5. まったく自分ではやりたくない	6. わからない	無回答
全体	1,012	121	230	506	88	13	41	13
	100.0	12.0	22.7	50.0	8.7	1.3	4.1	1.3
男性	486	57	144	214	35	5	25	6
	100.0	11.7	29.6	44.0	7.2	1.0	5.1	1.2
女性	494	62	78	286	48	7	9	4
	100.0	12.6	15.8	57.9	9.7	1.4	1.8	0.8
その他	13	2	2	4	4	1	0	0
	100.0	15.4	15.4	30.8	30.8	7.7	0.0	0.0
答えたくない	14	0	5	2	0	0	7	0
	100.0	0.0	35.7	14.3	0.0	0.0	50.0	0.0
無回答	5	0	1	0	1	0	0	3
	100.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0

問3. あなたが将来、子どもを育てることになったら、子育てをどのくらい自分でやりたいと思いますか。最も近いものを1つだけ選んでください。※子どもを持つ／持たないは人それぞれですが、「もしそうになったら」と考えて選んでください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. ほとんど自分でやりたい | 2. できれば自分が多くやりたい |
| 3. 家族と分担してやりたい | 4. あまり自分ではやりたくない |
| 5. まったく自分ではやりたくない | 6. わからない |

将来、子どもを育てることになったら、子育てをどのくらい自分でやりたいと思うかを尋ねたところ、「3. 家族と分担してやりたい」が59.4%と最も割合が高く、次いで、「2. できれば自分が多くやりたい」が24.9%、「1. ほとんど自分でやりたい」が5.1%となっている。

問3 子どもを育てることになったら、子育てをどのくらい自分でやりたいと思うか



問3 将来、子どもを育てることになったら、子育てをどのくらい自分でやりたいか × 性別 (単数回答)

上段:度数 下段:横%	合計	1. ほとんど自分でやりたい	2. できれば自分が多くやりたい	3. 家族と分担してやりたい	4. あまり自分ではやりたくない	5. まったく自分ではやりたくない	6. わからない	無回答
全体	1,012	52	252	601	21	5	49	32
	100.0	5.1	24.9	59.4	2.1	0.5	4.8	3.2
男性	486	25	134	263	14	2	32	16
	100.0	5.1	27.6	54.1	2.9	0.4	6.6	3.3
女性	494	26	109	327	7	2	10	13
	100.0	5.3	22.1	66.2	1.4	0.4	2.0	2.6
その他	13	1	3	7	0	1	1	0
	100.0	7.7	23.1	53.8	0.0	7.7	7.7	0.0
答えたくない	14	0	6	1	0	0	6	1
	100.0	0.0	42.9	7.1	0.0	0.0	42.9	7.1
無回答	5	0	0	3	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0

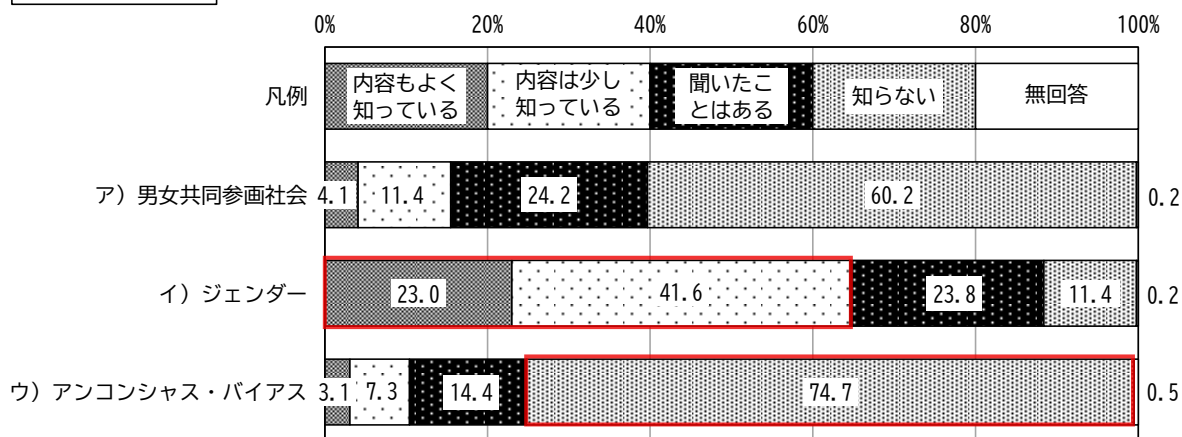
問4. あなたは次の言葉を知っていますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	内容もよく知っている	内容は少し知っている	聞いたことはある	知らない
ア) 男女共同参画社会	1	2	3	4
イ) ジェンダー	1	2	3	4
ウ) アンコンシャス・バイアス	1	2	3	4

男女共同参画に関する語句の認知状況について、『知っている』(「内容もよく知っている」+「内容は少し知っている」)割合をみると、「イ) ジェンダー」で64.6%と最も高く、「聞いたことはある」(23.8%)をあわせると88.4%と認知度が高くなっている。

「知らない」割合をみると、「ウ) アンコンシャス・バイアス」が74.7%と最も高く、次いで、「ア) 男女共同参画社会」が60.2%となっている。

問4 言葉の認知度



問4 言葉の認知度 × 性別

(単数回答)

上段:度数 下段:横%	合計	ア) 男女共同参画社会					イ) ジェンダー					ウ) アンコンシャス・バイアス				
		1. 内容もよく知っている	2. 内容は少し知っている	3. 聞いたことはある	4. 知らない	無回答	1. 内容もよく知っている	2. 内容は少し知っている	3. 聞いたことはある	4. 知らない	無回答	1. 内容もよく知っている	2. 内容は少し知っている	3. 聞いたことはある	4. 知らない	無回答
全体	1,012	41	115	245	609	2	233	421	241	115	2	31	74	146	756	5
	100.0	4.1	11.4	24.2	60.2	0.2	23.0	41.6	23.8	11.4	0.2	3.1	7.3	14.4	74.7	0.5
男性	486	23	51	120	292	0	77	189	137	83	0	16	33	72	363	2
	100.0	4.7	10.5	24.7	60.1	0.0	15.8	38.9	28.2	17.1	0.0	3.3	6.8	14.8	74.7	0.4
女性	494	16	61	116	301	0	145	224	101	24	0	11	38	71	373	1
	100.0	3.2	12.3	23.5	60.9	0.0	29.4	45.3	20.4	4.9	0.0	2.2	7.7	14.4	75.5	0.2
その他	13	2	1	3	7	0	5	3	2	3	0	3	1	2	7	0
	100.0	15.4	7.7	23.1	53.8	0.0	38.5	23.1	15.4	23.1	0.0	23.1	7.7	15.4	53.8	0.0
答えたくない	14	0	2	5	7	0	4	4	1	5	0	1	2	1	10	0
	100.0	0.0	14.3	35.7	50.0	0.0	28.6	28.6	7.1	35.7	0.0	7.1	14.3	7.1	71.4	0.0
無回答	5	0	0	1	2	2	2	1	0	0	2	0	0	0	3	2
	100.0	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0

3) ジェンダーステレオタイプ（性別による偏見・固定観念）について

問5. あなたは、中学校や家庭で「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	言われたことはない
先生から	1	2	3	4
友達・先輩から	1	2	3	4
親から	1	2	3	4
兄弟姉妹から	1	2	3	4

中学校や家庭で「男／女だから〇〇しなさい」と言われたことがある経験を尋ねたところ、それぞれ「言われたことはない」の割合が最も高くなっている。

『言われる』（「よく言われる」＋「ときどき言われる」）の割合をみると、「親から」が20.6%とほかの項目より高くなっている。

問5 「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われること



問5 ジェンダースtereotype (性別による偏見・固定観念) × 性別 (単数回答)

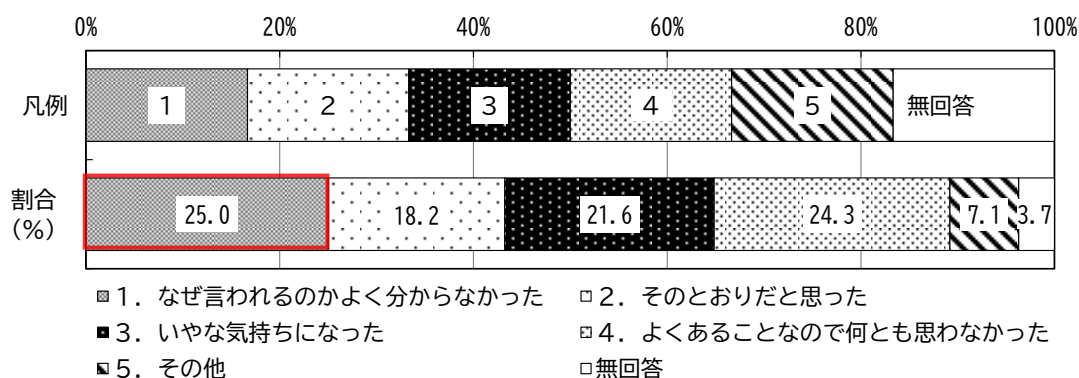
上段:度数 下段:横%	合計	先生から					友達・先輩から				
		1. よく言われる	2. ときどき言われる	3. あまり言われない	4. 言われたことはない	無回答	1. よく言われる	2. ときどき言われる	3. あまり言われない	4. 言われたことはない	無回答
全体	1,012 100.0	17 1.7	112 11.1	294 29.1	588 58.1	1 0.1	9 0.9	55 5.4	246 24.3	698 69.0	4 0.4
男性	486 100.0	14 2.9	56 11.5	149 30.7	267 54.9	0 0.0	8 1.6	38 7.8	127 26.1	312 64.2	1 0.2
女性	494 100.0	3 0.6	53 10.7	141 28.5	297 60.1	0 0.0	1 0.2	15 3.0	115 23.3	362 73.3	1 0.2
その他	13 100.0	0 0.0	2 15.4	4 30.8	7 53.8	0 0.0	0 0.0	2 15.4	4 30.8	7 53.8	0 0.0
答えたくない	14 100.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	13 92.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 100.0	0 0.0
無回答	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0
上段:度数 下段:横%	合計	親から					兄弟姉妹から				
		1. よく言われる	2. ときどき言われる	3. あまり言われない	4. 言われたことはない	無回答	1. よく言われる	2. ときどき言われる	3. あまり言われない	4. 言われたことはない	無回答
全体	1,012 100.0	44 4.3	165 16.3	261 25.8	540 53.4	2 0.2	16 1.6	61 6.0	208 20.6	721 71.2	6 0.6
男性	486 100.0	25 5.1	72 14.8	120 24.7	269 55.3	0 0.0	12 2.5	28 5.8	102 21.0	342 70.4	2 0.4
女性	494 100.0	16 3.2	86 17.4	136 27.5	256 51.8	0 0.0	4 0.8	31 6.3	101 20.4	357 72.3	1 0.2
その他	13 100.0	1 7.7	4 30.8	4 30.8	4 30.8	0 0.0	0 0.0	1 7.7	3 23.1	9 69.2	0 0.0
答えたくない	14 100.0	2 14.3	2 14.3	1 7.1	9 64.3	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	11 78.6	1 7.1
無回答	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0

問6 問5で「よく言われる」「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。あなたはその時どんな気持ちになりましたか。最も近いものを1つだけ選んでください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. なぜ言われるのかよく分からなかった | 2. そのとおりだと思った |
| 3. いやな気持ちになった | 4. よくあることなので何とも思わなかった |
| 5. その他 () | 6. 友達・交際相手 (付き合っている人) |

「よく言われる」または「ときどき言われる」と回答した生徒にその時の気持ちを尋ねたところ、「1. なぜ言われるのかよく分からなかった」が25.0%と最も高く、次いで「4. よくあることなので何とも思わなかった」が24.3%、「3. いやな気持ちになった」が21.6%、「2. そのとおりだと思った」が18.2%となっている。

問6 「よく言われる」「ときどき言われる」その時の気持ち(n=296)



【その他】別に何も思わなかった(2件)/女の子だからとか男の子だからとか関係なくねって思う/普通/女子の仕草についてだからその通りだと思った/不平等だと思ったから、男女も対等だということを教えるために言い返した、反抗した/よく言われるわけじゃないけど何も思わない/私は私なのに/言われた時あまり理解できない/むかつく/男女差別/決めつけるなどと思った/今の時代それはないだろ/それが当たり前と思うなよ/なんで女性だけ/自分の都合いい時はレディーファーストとか言うくせに嫌なことがあったら「男なんだから先やりなさい」とかいう理不尽、腹立つ/ちょい納得したかも/あまり気にしてない

問6 「よく言われる」「ときどき言われる」その時の気持ち × 性別 (単数回答)

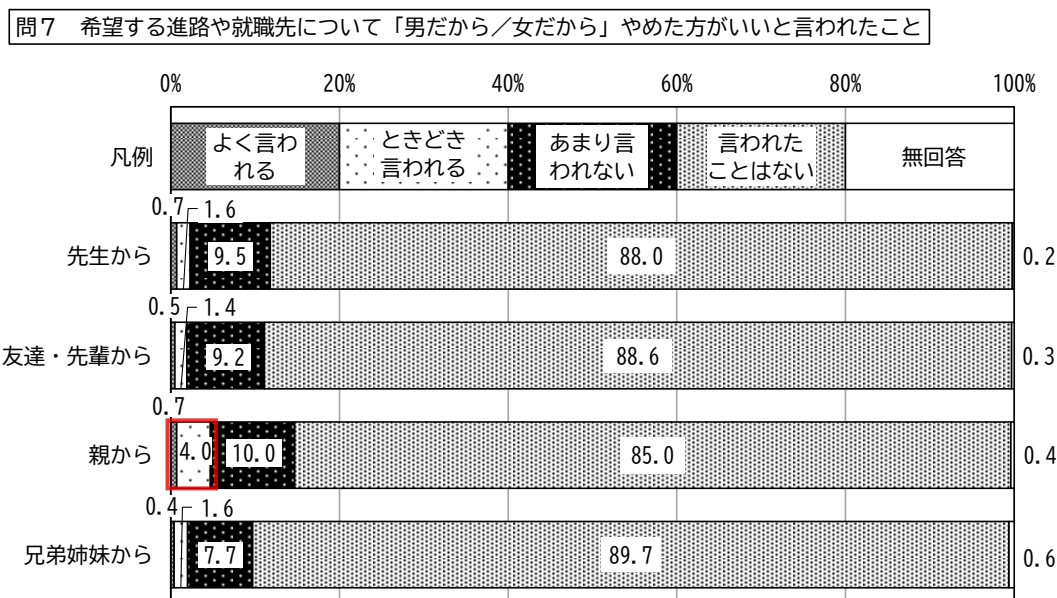
上段:度数 下段:横%	合計	1. なぜ言われるのかよく分からなかった	2. そのとおりだと思った	3. いやな気持ちになった	4. よくあることなので何とも思わなかった	5. その他	無回答
全体	296 100.0	74 25.0	54 18.2	64 21.6	72 24.3	21 7.1	11 3.7
男性	150 100.0	42 28.0	31 20.7	28 18.7	32 21.3	11 7.3	6 4.0
女性	135 100.0	29 21.5	23 17.0	30 22.2	38 28.1	10 7.4	5 3.7
その他	5 100.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
答えたくない	5 100.0	1 20.0	0 0.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
無回答	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0

問7. あなたは、自分の希望する進路や就職先について、「男だから／女だから」やめた方がいいと言われたことがありますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	言われたことはない
先生から	1	2	3	4
友達・先輩から	1	2	3	4
親から	1	2	3	4
兄弟姉妹から	1	2	3	4

自分の希望する進路や就職先について、「男だから／女だから」やめた方がいいと言われたことがあるかを尋ねたところ、「言われたことはない」が全ての項目で 85%を超えている。

『言われる』（「よく言われる」＋「ときどき言われる」）の割合をみると、「親から」が 4.7%とほかの項目より高い傾向となっている。



問7 自分の希望する進路や就職先について、「男だから/女だから」やめた方がいいと言われたこと×性別（単数回答）

上段:度数 下段:横%	合計	先生から					友達・先輩から				
		よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	言われたことはない	無回答	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	言われたことはない	無回答
全体	1,012 100.0	7 0.7	16 1.6	96 9.5	891 88.0	2 0.2	5 0.5	14 1.4	93 9.2	897 88.6	3 0.3
男性	486 100.0	6 1.2	9 1.9	50 10.3	421 86.6	0 0.0	5 1.0	11 2.3	49 10.1	420 86.4	1 0.2
女性	494 100.0	0 0.0	7 1.4	43 8.7	444 89.9	0 0.0	0 0.0	3 0.6	40 8.1	451 91.3	0 0.0
その他	13 100.0	1 7.7	0 0.0	3 23.1	9 69.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 30.8	9 69.2	0 0.0
答えたくない	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 100.0	0 0.0
無回答	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0
上段:度数 下段:横%	合計	親から					兄弟姉妹から				
		よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	言われたことはない	無回答	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	言われたことはない	無回答
全体	1,012 100.0	7 0.7	40 4.0	101 10.0	860 85.0	4 0.4	4 0.4	16 1.6	78 7.7	908 89.7	6 0.6
男性	486 100.0	6 1.2	19 3.9	45 9.3	415 85.4	1 0.2	4 0.8	10 2.1	43 8.8	427 87.9	2 0.4
女性	494 100.0	1 0.2	20 4.0	53 10.7	420 85.0	0 0.0	0 0.0	5 1.0	32 6.5	455 92.1	2 0.4
その他	13 100.0	0 0.0	1 7.7	3 23.1	8 61.5	1 7.7	0 0.0	1 7.7	3 23.1	9 69.2	0 0.0
答えたくない	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 100.0	0 0.0
無回答	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0

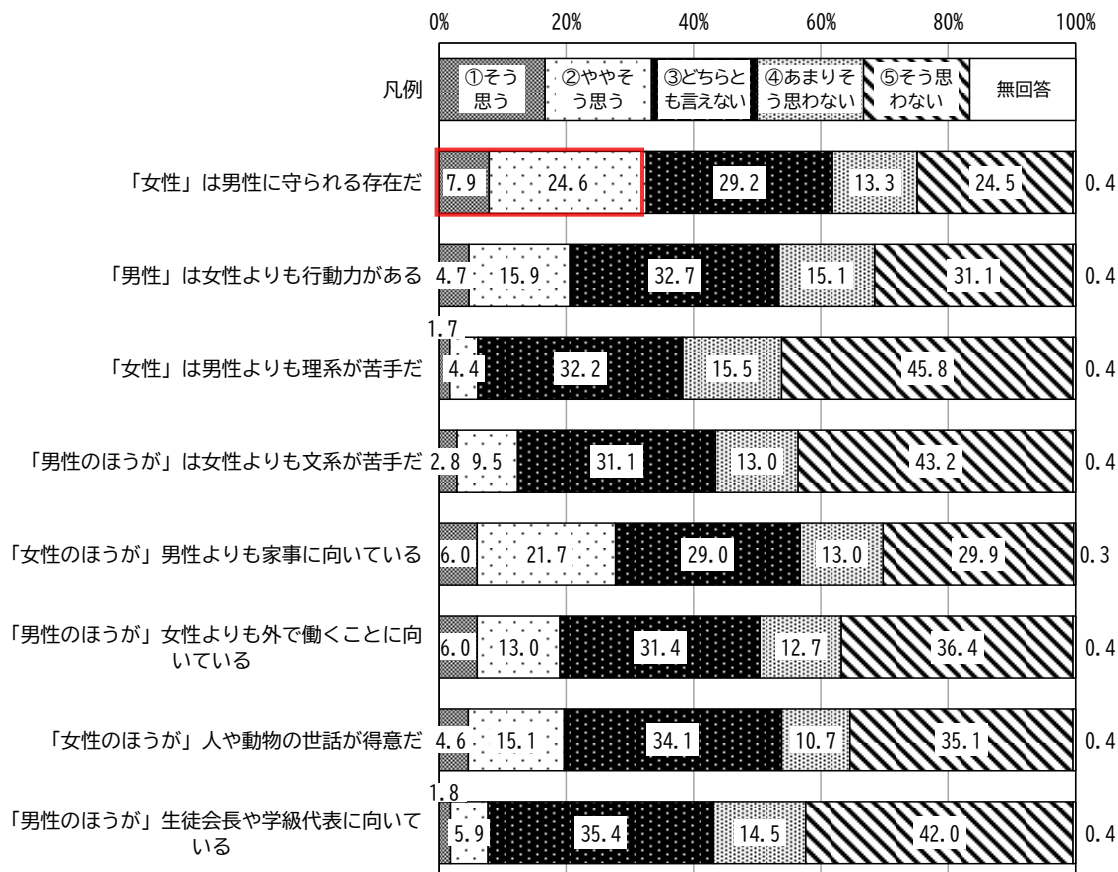
問8. あなたは、「男性」「女性」に関する次のような考え方や意見について、どのように思いますか。
人によって考えが異なるものもあります。あなた自身がどう思うか1つずつ選んでください。

	そう 思う	ややそ う思う	どちらと も言え ない	あまりそ う思わ ない	そう思わ ない
「女性は」男性に守られる存在だ	1	2	3	4	5
「男性」は女性よりも行動力がある	1	2	3	4	5
「女性」は男性よりも理系が苦手だ	1	2	3	4	5
「男性のほうが」女性よりも文系が苦手だ	1	2	3	4	5
「女性のほうが」男性よりも家事に向いている	1	2	3	4	5
「男性のほうが」女性よりも外で働くことに向いている	1	2	3	4	5
「女性のほうが」人や動物の世話が得意だ	1	2	3	4	5
「男性のほうが」生徒会長や学級代表に向いている	1	2	3	4	5

「男性」「女性」に関する考え方や意見について、『思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）の割合をみると、『女性』は男性に守られる存在だ』が32.5%と最も高く、次いで『女性のほうが』男性よりも家事に向いている』が27.7%となっている。

一方、『思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）の割合をみると、『女性』は男性よりも理系が苦手だ』、『男性のほうが』女性よりも文系が苦手だ』、『男性のほうが』生徒会長や学級代表に向いている』が5～6割を占めている。

問8 「男性」「女性」に関する考え方について



問8 「男性」「女性」の考え方について×性別

(単数回答)

上段:度数 下段:横%	合計	女性は男性に守られる存在だ						男性は女性よりも行動力がある						女性は男性よりも理系が苦手だ					
		そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,012	80	249	296	135	248	4	48	161	331	153	315	4	17	45	326	157	463	4
	100.0	7.9	24.6	29.2	13.3	24.5	0.4	4.7	15.9	32.7	15.1	31.1	0.4	1.7	4.4	32.2	15.5	45.8	0.4
男性	486	53	129	149	51	103	1	33	71	175	63	143	1	9	22	178	66	210	1
	100.0	10.9	26.5	30.7	10.5	21.2	0.2	6.8	14.6	36.0	13.0	29.4	0.2	1.9	4.5	36.6	13.6	43.2	0.2
女性	494	26	117	140	83	127	1	15	83	151	88	156	1	7	21	144	87	234	1
	100.0	5.3	23.7	28.3	16.8	25.7	0.2	3.0	16.8	30.6	17.8	31.6	0.2	1.4	4.3	29.1	17.6	47.4	0.2
その他	13	0	1	4	1	7	0	0	4	2	1	6	0	1	1	1	3	7	0
	100.0	0.0	7.7	30.8	7.7	53.8	0.0	0.0	30.8	15.4	7.7	46.2	0.0	7.7	7.7	7.7	23.1	53.8	0.0
答えたくない	14	0	1	2	0	11	0	0	1	2	1	10	0	0	1	1	1	11	0
	100.0	0.0	7.1	14.3	0.0	78.6	0.0	0.0	7.1	14.3	7.1	71.4	0.0	0.0	7.1	7.1	7.1	78.6	0.0
無回答	5	1	1	1	0	0	2	0	2	1	0	0	2	0	0	2	0	1	2
	100.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	40.0

上段:度数 下段:横%	合計	男性のほうが女性よりも文系が苦手だ						女性のほうが男性よりも家事に向いている						男性のほうが女性よりも外で働くことに向いている					
		そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,012	28	96	315	132	437	4	61	220	293	132	303	3	61	132	318	129	368	4
	100.0	2.8	9.5	31.1	13.0	43.2	0.4	6.0	21.7	29.0	13.0	29.9	0.3	6.0	13.0	31.4	12.7	36.4	0.4
男性	486	21	51	164	57	192	1	36	94	150	59	147	0	44	69	163	48	161	1
	100.0	4.3	10.5	33.7	11.7	39.5	0.2	7.4	19.3	30.9	12.1	30.2	0.0	9.1	14.2	33.5	9.9	33.1	0.2
女性	494	6	45	146	71	225	1	24	122	138	72	137	1	15	60	151	78	189	1
	100.0	1.2	9.1	29.6	14.4	45.5	0.2	4.9	24.7	27.9	14.6	27.7	0.2	3.0	12.1	30.6	15.8	38.3	0.2
その他	13	1	0	2	3	7	0	0	2	3	1	7	0	0	2	2	2	7	0
	100.0	7.7	0.0	15.4	23.1	53.8	0.0	0.0	15.4	23.1	7.7	53.8	0.0	0.0	15.4	15.4	15.4	53.8	0.0
答えたくない	14	0	0	1	1	12	0	0	1	1	0	12	0	1	0	2	0	11	0
	100.0	0.0	0.0	7.1	7.1	85.7	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	85.7	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0	78.6	0.0
無回答	5	0	0	2	0	1	2	1	1	1	0	2	2	1	1	0	1	0	2
	100.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0

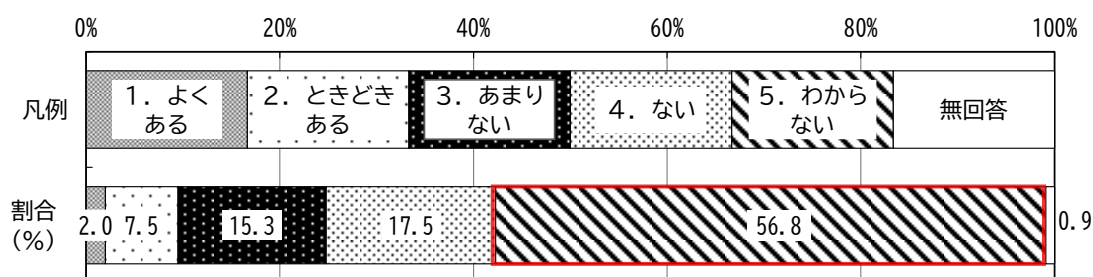
上段:度数 下段:横%	合計	「女性のほうが」人や動物の世話が得意だ						「男性のほうが」生徒会長や学級代表に向いている					
		そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,012	47	153	345	108	355	4	18	60	358	147	425	4
	100.0	4.6	15.1	34.1	10.7	35.1	0.4	1.8	5.9	35.4	14.5	42.0	0.4
男性	486	31	78	177	42	157	1	16	31	190	56	192	1
	100.0	6.4	16.0	36.4	8.6	32.3	0.2	3.3	6.4	39.1	11.5	39.5	0.2
女性	494	16	72	161	65	179	1	2	29	160	88	215	0
	100.0	3.2	14.6	32.6	13.2	36.2	0.2	0.4	5.9	32.4	17.8	43.5	0.0
その他	13	0	2	3	1	7	0	0	0	4	3	6	0
	100.0	0.0	15.4	23.1	7.7	53.8	0.0	0.0	0.0	30.8	23.1	46.2	0.0
答えたくない	14	0	0	3	0	11	0	0	0	2	0	11	1
	100.0	0.0	0.0	21.4	0.0	78.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	78.6	7.1
無回答	5	0	1	1	0	1	2	0	0	2	0	1	2
	100.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	40.0

問9. あなたは、ジェンダーステレオタイプ（性別による偏見・固定概念）が、自分の可能性を狭めていると感じることがありますか。

1. よくある	2. ときどきある	3. あまりない
4. ない	5. わからない（意識したことがない）	

ジェンダーステレオタイプが、自分の可能性を狭めているかを尋ねると、「5. わからない（意識したことがない）」が56.8%と最も高く、次いで「4. ない」が17.5%、「3. あまりない」が15.3%となっている。一方で、『ある』（「1. よくある」+「2. ときどきある」）割合は9.5%となっている。

問9 ジェンダーステレオタイプが、自分の可能性を狭めていると感じることがあるか



問9 ジェンダーステレオタイプが、自分の可能性を狭めている × 性別（単数回答）

	合計	1. よくある	2. ときどきある	3. あまりない	4. ない	5. わからない (意識したことがない)	無回答
		上段:度数 下段:横%					
全体	1,012 100.0	20 2.0	76 7.5	155 15.3	177 17.5	575 56.8	9 0.9
男性	486 100.0	12 2.5	35 7.2	85 17.5	76 15.6	274 56.4	4 0.8
女性	494 100.0	6 1.2	36 7.3	68 13.8	96 19.4	285 57.7	3 0.6
その他	13 100.0	1 7.7	3 23.1	1 7.7	4 30.8	4 30.8	0 0.0
答えたくない	14 100.0	1 7.1	1 7.1	1 7.1	1 7.1	10 71.4	0 0.0
無回答	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0

問 10. 「男の子／女の子だから」何かを言われたりやらされたりした経験や、学校や家庭において性別によって差がある（一方に有利／不利）と感ずることがあればご自由にお書きください。

学校制度・校則・設備・教師対応の男女差（15 件）	
1.	女子の方が身なりのことに関しては優遇されている気がする
2.	男子更衣室が少ない、それは置いて男子更衣室になる教室に女子が入ってくるのは厳しいって、立場が逆だったら生徒指導だろ
3.	学校の評価
4.	男子の更衣室がない。女子もしてるのに男子がよく怒られる
5.	先生が評価に男女で差があるような評価の付け方をしてきました
6.	ある先生が給食のデザートを女子に優先しておかわりさせていた事
7.	先生が女子には怒らず、男子には怒る
8.	怒られる時の差
9.	校則を守らせたいからか知らないけど、「女の子だからスカート短くしてそんな足見せないで」って言われて、男子は髪は毛染めたり、ベルトつけなかったりスカートの校則よりやばいことしてるのに男子は一回の注意で済んで、スカートは男子よりしつこく何回も言ってきたり直してるのに元々が短かい人ってみなされてるから直してとか言うてる
10.	男の子はツープロしていいのに、女の子はダメって言われてるのをみたことがある
11.	学校で女子の校則が多い
12.	先生の対応が男女で違うことがある。女子の方に優しくされたりする
13.	女子が男子に口が荒くても何も言わんのに、男子が女子に口が荒いと何か言われる
14.	自分と話す時はつめたい
15.	当番や係活動とかをちゃんと行わない
男子／女子の固定観念（14 件）	
16.	小学生 1 年生の頃女子と喧嘩して両方泣いたときに先生に「男だから泣くな」と言われ、男女の差を感じた。
17.	男の子、女の子だからといって、勉強が全てできたら家事が全てできないとわかって欲しい
18.	女の子は手先が器用だから折り紙をやって、男の子は力持ちだから教科書運ぶの手伝ってなど
19.	自分は男で真面目にやっているつもりだけど、男性は女性と比べて集中力が低かったり不真面目という固定概念によって、本来とは違うような期待、評価をされていると感ずることがある。
20.	男の子だからとかは、人の可能性を狭める呪いの言葉だと思う。
21.	「男だから泣くな」と言われたことはあります。男だからといって、泣き虫の人もいれば泣きたい時もあります。逆に女はずっと泣いているというわけでもないから。
22.	中学一年生の時の合唱コンクールの学級紹介を誰がやるか決める時に、女は男より声が通りやすいからという理由で、私にやって欲しいと頼まれたことがある。
23.	僕は親や友達などの周りの人に「男の子なんだから虫なんて克服しなさい」て言われるけど、嫌いなものは嫌いで、見るだけでも嫌なのに、嫌なことしないといけないのは不利だと思う
24.	家庭で、男だから泣くなと言われたことがある。泣いていいのは女子だけと言われた
25.	小学生の頃、折り紙を折ったり絵を描いたりすることが好きだったが、親や先生に男の子なんだから外で遊んできてと言われ、友達と運動場などでかくれんぼや鬼ごっこをすることになった経験がある。少なくなってきたとは言え、やはり男女への差別や偏見はまだあるんじゃないかと感ずる
26.	学校『女子だから提出物も出来るはず（出せないことはないとか）』『女子でこの成績はなかなかいない（男子と同じレベルだよ）』
27.	「男子の場合」「女子の場合」とか説明文や動画に載ってる所

28.	いつも「女なのになんで出来ないの」と言われてる。
29.	男の子だからたくさんおかわりさせられてのを見ると、嫌な気持ちになる。
外見・ふるまい・自己表現への規範（11件）	
30.	女の子らしくしなさいと言われた
31.	足開いて座ったら怒られた
32.	ズボンを履いても「女の子なんだから足は閉じる」と言われて、ズボンを履いているのになんでだろうと疑問に思った。
33.	私は元々一人称が「俺」であったり、メンズっぽい服装が好きであったりしたけれど、母親に「厨二病みたい、我が家に泥を塗らないでほしい」とお願いされて、やめるようになった。けれど、内心今でも気にしているし、できる事ならメンズっぽい格好をしたいなと思った。
34.	一時期一人称が「俺」の時があって、髪の毛も行動も男の子に寄せていて、男の子だけと下校していたことがあった。だけどあの時はその方が過ごしやすかったし悪口しか言わない女子よりはマシだった。だけど今は可愛くなりたくて好きな人のために頑張っている。今考えるとあの頃の自分にちょっと嫌気がさした。多分親に一人称のことを言われたり、中学生になってからジェンダーについて意識し始めていたからだと思う。今嫌気がさしている自分があの頃の自分と会っていたら、今の自分はあの自分を差別していたかもしれない。差別する自分も嫌だけど、もう今は性別なんてその人自身が生きやすいようにしてほしいから私は気にしていない
35.	女の子だから足を広げたり、髪を短く切ったりはしない方がいいよと言われて、関係ないのにと思いました。
36.	女子だから部屋を綺麗にしなさいとか、髪は長めでいなさいとか、可愛くいなさいとか、制服のズボンを折るのですが、着て行こうとしたら反抗されて不快に感じた。
37.	自分が悪いかもだけど、「女なんだから足くらい閉じろ」とか、一方的に怒られた
38.	なぜか、自由気ままにだらだらしていたりしたら、私が悪いけど男ならいいけど女の子なんだからちゃんとしなさいって言われる。気持ちは分かるし私が悪いけど男ならいいって何なん
39.	女の子だから綺麗にしなさいってお母さんに言われた
40.	親に女の子だから可愛くしなさいと言われた事がある
力仕事・雑務・学校内役割の偏り（10件）	
41.	荷物を運ぶ時、「男だから運べ」みたいなものがある
42.	母さんから男の子なんだから荷物持ってと言われ、差があるなんて思ったことはない
43.	担任にクラスみんなでやる入学式の準備やめんどくさいことをしていると女子を先に教室に帰して男子だけにやらせていた
44.	男は筋肉が付きやすい体質なため、力持ちだからと言う理由で妹が荷物を自分に任せて何も持たない
45.	男だけ教科書運ばされた。男子だから給食台を運べと言われた
46.	力仕事などを任せられる
47.	「男だから何とかして」という理由で理不尽なことに巻き込まれたりしたことがある。
48.	男子だからという理由で自分のクラスの男子全員が卒業式の準備に駆り出された
49.	授業のお手伝いで、力持ちな男子が手伝って、女子はワークを進めていてと言われたことがある
50.	あんた男だからやってと言われたら
家庭内の性別役割分担（8件）	
51.	母がお姉ちゃんたちに女だから家事ができて当然とよく言っている。
52.	家事をやる時にお兄ちゃんあんまりやらなくても何も言われてないけど、自分はやらないとちょっと言われることがある
53.	親にお兄ちゃんなんだからと言われキレそうになりました。
54.	「女子だから家事ができるようにならないと」とよく言われるのが理不尽だと強く思

	う。兄弟は特に何も言われないのになぜ「自分だけ」と感じるがよくある。
55.	「女の子だから家事ができないとダメ」と言われることがあり、少し不満
56.	お姉ちゃんなんだから
57.	女の子だからと言う理由で兄弟がやっていない家事を手伝わされたことがある。
58.	お母さんがいない時の食器洗いは、ほぼ私がやってるから不平等だと思う。
恋愛・対人関係・部活動などでの性役割期待（5件）	
59.	デートするときに男がエスコートしなさいと言われた
60.	女の子とは、はしゃぎ辛い
61.	野球部のマネージャーに〇〇だからとか、差別とか理不尽にされることがある。
62.	学校の女子たちが言ったことは嫌でも断れない
63.	男はどんなに女に酷いことを言われても手を出しちゃいけない、どうせ女なんて殴れば勝てるからせめて口喧嘩ぐらいは勝たせてあげます
その他（6件）	
64.	怖がられる
65.	多様性と言われていなかった幼稚園と小学校時の入学式・始業式
66.	あまり思い浮かばない
67.	そういう経験はない
68.	よそ家は平日もゲームできてるところもあるけど、自分の家では平日にゲームできない。
69.	このアンケートに答えるのがつらいです 自分のこと考えるから

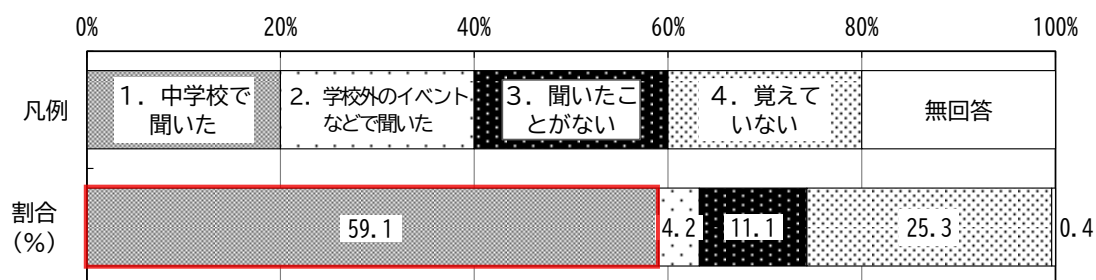
4) デートDV（交際相手からの暴力）について

問11. あなたはこれまでに、デートDVに関する授業や講演を聞いたことがありますか。

1. 中学校で聞いた	2. 学校外のイベントなどで聞いた
3. 聞いたことがない	4. 覚えていない

デートDVに関する授業や講演を聞いたことがあるか尋ねると、「1. 中学校で聞いた」が59.1%と最も割合が高く、次いで「4. 覚えていない」が25.3%、「3. 聞いたことがない」が11.1%、「2. 学校外のイベントなどで聞いた」が4.2%となっている。

問11 これまでにデートDVに関する授業や講演を聞いたことがあるか



問11 これまでに、デートDVに関する授業や講演を聞いたことがあるか×性別 (単数回答)

	上段:度数 下段:横%	合計	1. 中学校で聞いた	2. 学校のイベントなどで聞いた	3. 聞いたことがない	4. 覚えていない	無回答
全体	1,012 100.0	598 59.1	42 4.2	112 11.1	256 25.3	4 0.4	
男性	486 100.0	258 53.1	16 3.3	72 14.8	139 28.6	1 0.2	
女性	494 100.0	323 65.4	25 5.1	36 7.3	110 22.3	0 0.0	
その他	13 100.0	8 61.5	1 7.7	2 15.4	2 15.4	0 0.0	
答えたくない	14 100.0	7 50.0	0 0.0	1 7.1	5 35.7	1 7.1	
無回答	5 100.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	

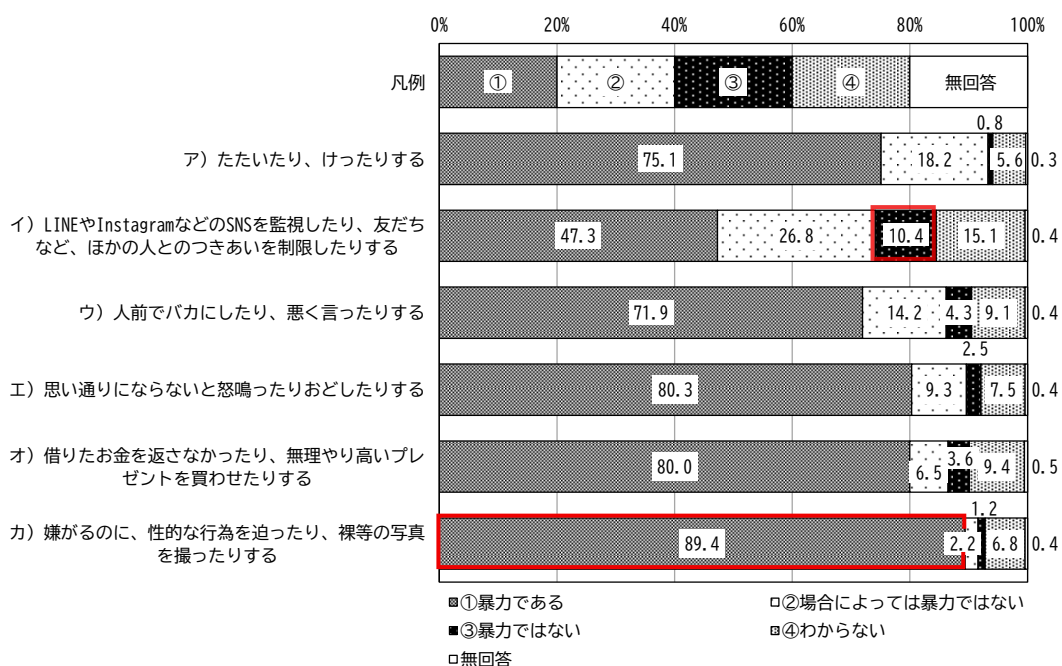
問 12 あなたは、交際している（付き合っている）2人の間で以下のようなことをする/されるとき、暴力だと思えますか。あなた自身がどう思うか1つずつ選んでください。

	暴力である	場合によっては暴力ではない	暴力ではない	わからない
ア) たたいたり、けったりする	1	2	3	4
イ) LINE や Instagram などの SNS を監視したり、友だちなど、ほかの人とのつきあいを制限したりする	1	2	3	4
ウ) 人前でバカにしたり、悪く言ったりする	1	2	3	4
エ) 思い通りにならないと怒鳴ったりおどしたりする	1	2	3	4
オ) 借りたお金を返さなかったり、無理やり高いプレゼントを買わせたりする	1	2	3	4
カ) 嫌がるのに、性的な行為を迫ったり、裸等の写真を撮ったりする	1	2	3	4

暴力だと思う行動について、「①暴力である」をみると、ほとんどの項目で7割を超えている。その中でも、「カ) 嫌がるのに、性的な行為を迫ったり、裸等の写真を撮ったりする」が89.4%と最も割合が高く、次いで「エ) 思い通りにならないと怒鳴ったりおどしたりする」が80.3%、「オ) 借りたお金を返さなかったり、無理やり高いプレゼントを買わせたりする」が80.0%となっている。

一方で、「③暴力ではない」をみると、「イ) LINE や Instagram などの SNS を監視したり、友だちなど、ほかの人とのつきあいを制限したりする」が10.4%と最も割合が高い。

問12 交際している（付き合っている）2人の間で暴力だと思うこと



問12 交際している2人の間で暴力だと思うこと× 性別

(単数回答)

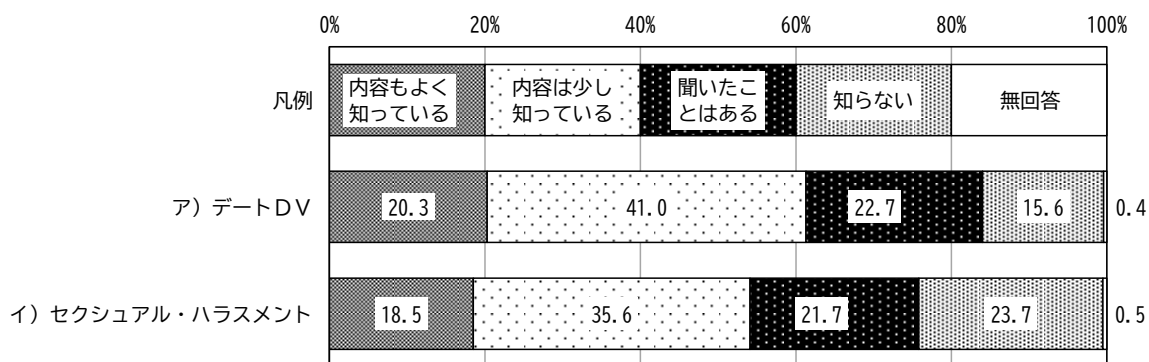
上段:度数 下段:横%	合計	ア) たたいたり、けったりする					イ) LINEやInstagramなどのSNSを監視したり、友だちなど、ほかの人とのつきあいを制限したりする				
		暴力である	場合によっては暴力でない	暴力でない	わからない	無回答	暴力である	場合によっては暴力でない	暴力でない	わからない	無回答
全体	1,012 100.0	760 75.1	184 18.2	8 0.8	57 5.6	3 0.3	479 47.3	271 26.8	105 10.4	153 15.1	4 0.4
男性	486 100.0	375 77.2	77 15.8	3 0.6	30 6.2	1 0.2	240 49.4	131 27.0	43 8.8	71 14.6	1 0.2
女性	494 100.0	370 74.9	102 20.6	3 0.6	19 3.8	0 0.0	226 45.7	137 27.7	60 12.1	70 14.2	1 0.2
その他	13 100.0	8 61.5	3 23.1	1 7.7	1 7.7	0 0.0	6 46.2	3 23.1	1 7.7	3 23.1	0 0.0
答えたくない	14 100.0	4 28.6	2 14.3	1 7.1	7 50.0	0 0.0	5 35.7	0 0.0	1 7.1	8 57.1	0 0.0
無回答	5 100.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0
上段:度数 下段:横%	合計	ウ) 人前でバカにしたり、悪く言ったりする					エ) 思い通りにならないと怒鳴ったりおどしたりする				
		暴力である	場合によっては暴力でない	暴力でない	わからない	無回答	暴力である	場合によっては暴力でない	暴力でない	わからない	無回答
全体	1,012 100.0	728 71.9	144 14.2	44 4.3	92 9.1	4 0.4	813 80.3	94 9.3	25 2.5	76 7.5	4 0.4
男性	486 100.0	348 71.6	68 14.0	24 4.9	45 9.3	1 0.2	383 78.8	52 10.7	13 2.7	38 7.8	0 0.0
女性	494 100.0	364 73.7	73 14.8	19 3.8	37 7.5	1 0.2	412 83.4	41 8.3	12 2.4	28 5.7	1 0.2
その他	13 100.0	8 61.5	2 15.4	1 7.7	2 15.4	0 0.0	9 69.2	1 7.7	0 0.0	3 23.1	0 0.0
答えたくない	14 100.0	5 35.7	1 7.1	0 0.0	8 57.1	0 0.0	6 42.9	0 0.0	0 0.0	7 50.0	1 7.1
無回答	5 100.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
上段:度数 下段:横%	合計	オ) 借りたお金を返さなかったり、無理やり高いプレゼントを買わせたりする					カ) 嫌がるのに、性的な行為を迫ったり、裸等の写真を撮ったりする				
		暴力である	場合によっては暴力でない	暴力でない	わからない	無回答	暴力である	場合によっては暴力でない	暴力でない	わからない	無回答
全体	1,012 100.0	810 80.0	66 6.5	36 3.6	95 9.4	5 0.5	905 89.4	22 2.2	12 1.2	69 6.8	4 0.4
男性	486 100.0	367 75.5	45 9.3	24 4.9	48 9.9	2 0.4	429 88.3	16 3.3	4 0.8	35 7.2	2 0.4
女性	494 100.0	425 86.0	21 4.3	11 2.2	36 7.3	1 0.2	456 92.3	6 1.2	7 1.4	25 5.1	0 0.0
その他	13 100.0	10 76.9	0 0.0	1 7.7	2 15.4	0 0.0	10 76.9	0 0.0	1 7.7	2 15.4	0 0.0
答えたくない	14 100.0	6 42.9	0 0.0	0 0.0	8 57.1	0 0.0	7 50.0	0 0.0	0 0.0	7 50.0	0 0.0
無回答	5 100.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0

問13 あなたは次の言葉を知っていますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	内容もよく知っている	内容は少し知っている	聞いた事はあるが内容は知らない	知らない
ア) デートDV	1	2	3	4
イ) セクシュアル・ハラスメント	1	2	3	4

「ア) デートDV」について、全体の61.3%の生徒が『知っている』（「内容もよく知っている」＋「内容は少し知っている」）と回答した。また、「イ) セクシュアル・ハラスメント」については、54.1%の生徒が『知っている』（「内容もよく知っている」＋「内容は少し知っている」）と回答した。

問13 言葉の認知度



問13 交際している2人の間で暴力だと思うこと×性別

(単数回答)

上段:度数 下段:横%	合計	ア) デートDV					イ) セクシュアル・ハラスメント				
		内容もよく知っている	内容は少し知っている	聞いたことはある	知らない	無回答	内容もよく知っている	内容は少し知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体	1,012	205	415	230	158	4	187	360	220	240	5
	100.0	20.3	41.0	22.7	15.6	0.4	18.5	35.6	21.7	23.7	0.5
男性	486	79	190	107	108	2	85	160	95	143	3
	100.0	16.3	39.1	22.0	22.2	0.4	17.5	32.9	19.5	29.4	0.6
女性	494	118	217	118	41	0	94	192	119	89	0
	100.0	23.9	43.9	23.9	8.3	0.0	19.0	38.9	24.1	18.0	0.0
その他	13	3	4	4	2	0	3	4	4	2	0
	100.0	23.1	30.8	30.8	15.4	0.0	23.1	30.8	30.8	15.4	0.0
答えたくない	14	3	4	1	6	0	4	3	1	6	0
	100.0	21.4	28.6	7.1	42.9	0.0	28.6	21.4	7.1	42.9	0.0
無回答	5	2	0	0	1	2	1	1	1	0	2
	100.0	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	40.0

5) ネットリテラシー（インターネットの危険性・正しい理解）について

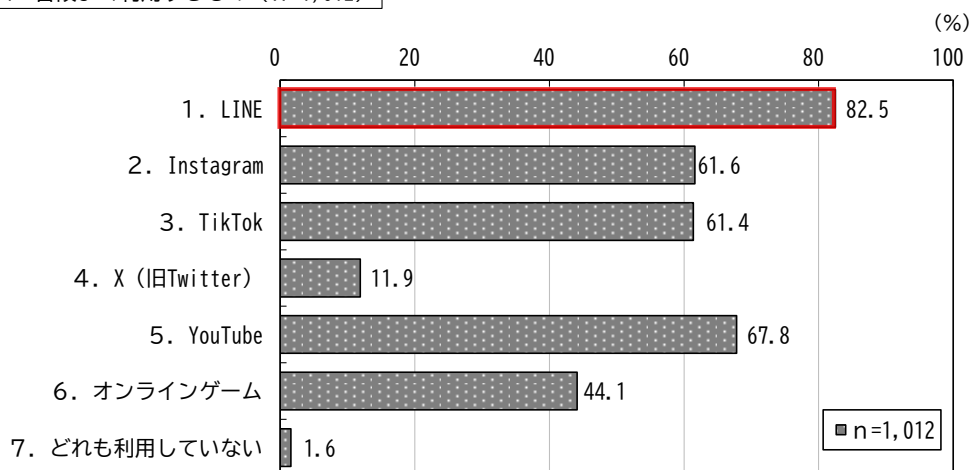
問14. 以下のなかで、あなたが普段よく利用するものはどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. LINE	2. Instagram	3. TikTok
4. X (旧 Twitter)	5. YouTube	6. オンラインゲーム
7. どれも利用していない		

普段よく利用する SNS 等をみると、「1. LINE」が 82.5%と最も高く、次いで「5. YouTube」が 67.8%、「2. Instagram」が 61.6%、「3. TikTok」が 61.4%、「6. オンラインゲーム」が 44.1%、「4. X (旧 Twitter)」が 11.9%となっている。

一方で、「7. どれも利用していない」は 1.6%であり、98.4%の中学2年生がなんらかのソーシャルメディアを利用している。

問14 普段よく利用するもの (n=1,012)



問14 普段よく利用するもの×性別

(複数回答)

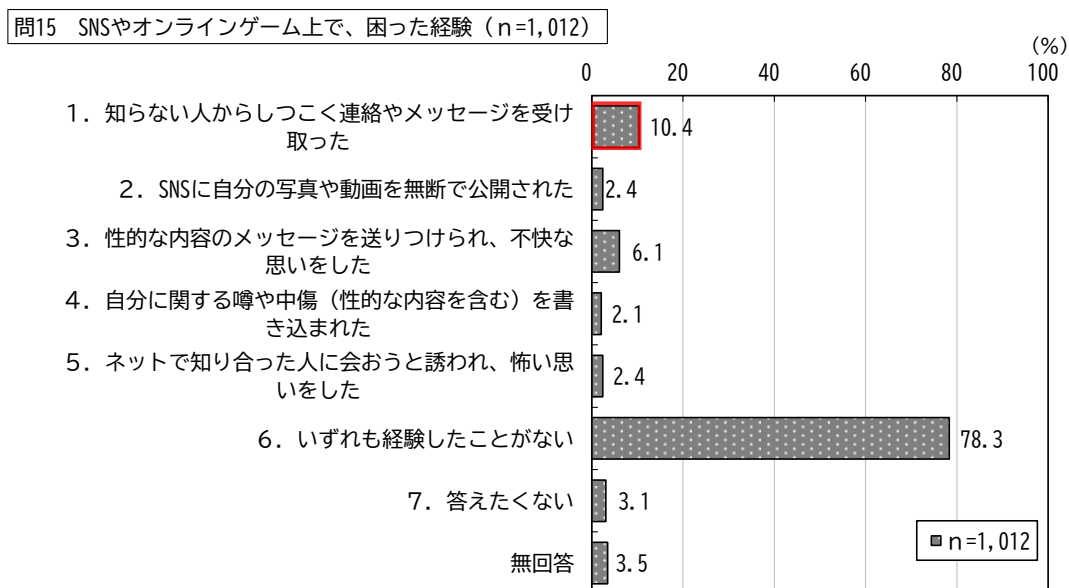
	1. LINE	2. Instagram	3. TikTok	4. X (旧 Twitter)	5. YouTube	6. オンラインゲーム	7. どれも利用していない
上段:度数 下段:横%							
全体 (n=1,012)	835 82.5	623 61.6	621 61.4	120 11.9	686 67.8	446 44.1	16 1.6
男性 (n=486)	395 81.3	272 56.0	265 54.5	54 11.1	355 73.0	333 68.5	8 1.6
女性 (n=494)	419 84.8	336 68.0	341 69.0	61 12.3	309 62.6	97 19.6	4 0.8
その他 (n=13)	9 69.2	6 46.2	8 61.5	2 15.4	9 69.2	8 61.5	1 7.7
答えたくない (n=14)	10 71.4	7 50.0	5 35.7	2 14.3	10 71.4	5 35.7	1 7.1
無回答 (n=5)	2 40.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0

問15. あなたはSNSやオンラインゲーム上で、次のような困った経験がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. 知らない人からしつこく連絡やメッセージを受け取った
2. SNSに自分の写真や動画を無断で公開された
3. 性的な内容のメッセージを送りつけられ、不快な思いをした
4. 自分に関する噂や中傷（性的な内容を含む）を書き込まれた
5. ネットで知り合った人に会おうと誘われ、怖い思いをした
6. いずれも経験したことがない
7. 答えたくない

SNSやオンラインゲーム上での困った経験について、大部分の生徒が「6. いずれも経験したことがない」（78.3%）と回答していた。一方で、何らかの困った経験をしたことがある中学2年生の割合は15.1%と、約7人に1人の割合となっている。

困った経験についてみると、「1. 知らない人からしつこく連絡やメッセージを受け取った」が10.4%と最も高く、次いで「3. 性的な内容のメッセージを送りつけられ、不快な思いをした」が6.1%であった。



問15 あなたはSNSやオンラインゲーム上で、次のような困った経験×性別 (複数回答)

	1. 知らない人からしつこく連絡やメッセージを受け取った	2. SNSに自分の写真や動画を無断で公開された	3. 性的な内容のメッセージを送りつけられ、不快な思いをした	4. 自分に関する噂や中傷（性的な内容を含む）を書き込まれた	5. ネットで知り合った人に会おうと誘われ、怖い思いをした	6. いずれも経験したことがない	7. 答えたくない	無回答
全体 (n=1,012)	105 10.4	24 2.4	62 6.1	21 2.1	24 2.4	792 78.3	31 3.1	35 3.5
男性 (n=486)	40 8.2	15 3.1	16 3.3	11 2.3	10 2.1	389 80.0	12 2.5	20 4.1
女性 (n=494)	60 12.1	8 1.6	42 8.5	8 1.6	13 2.6	385 77.9	12 2.4	15 3.0
その他 (n=13)	4 30.8	1 7.7	3 23.1	2 15.4	1 7.7	7 53.8	1 7.7	0 0.0
答えたくない (n=14)	1 7.1	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	7 50.0	5 35.7	0 0.0
無回答 (n=5)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0

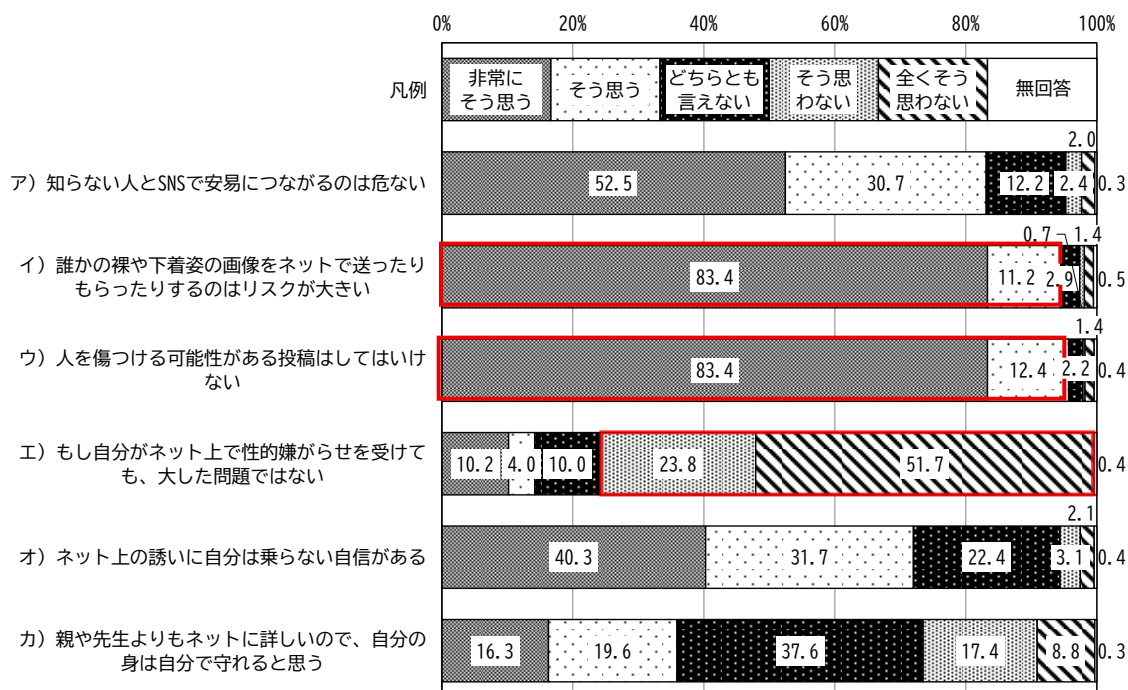
問 16. あなたは、次のような考えについて、どのように思いますか。あなたの思いに近いものをそれぞれ1つ選んでください。

	非常に そう思う	そう思う	どちら とも言 えない	そう思 わない	全くそ う思 わない
ア) 知らない人と SNS で安易につながるのは危 ない	1	2	3	4	5
イ) 誰かの裸や下着姿の画像をネットで送ったり もらったりするのはリスクが大きい	1	2	3	4	5
ウ) 人を傷つける可能性がある投稿はしてはい けない	1	2	3	4	5
エ) もし自分がネット上で性的嫌がらせを受 けても、大した問題ではない	1	2	3	4	5
オ) ネット上の誘いに自分は乗らない自信があ る	1	2	3	4	5
カ) 親や先生よりもネットに詳しいので、自分 の身は自分で守れると思う	1	2	3	4	5

ネットリテラシーについて、「イ) 誰かの裸や下着姿の画像をネットで送ったりもらったりするのはリスクが大きい」と「ウ) 人を傷つける可能性がある投稿はしてはいけない」について、『思う』（「非常にそう思う」＋「そう思う」）と回答した生徒はともに9割以上と高い傾向となっている。

また、「エ) もし自分がネット上で性的嫌がらせを受けても、大した問題ではない」に対し、『思わない』（「そう思わない」＋「まったくそう思わない」）と回答した生徒は75.5%と高い傾向となっている。

問16 あなたの思いに近い考え方



問16 あなたの思いに近いもの×性別

(単数回答)

上段:度数	合計	ア) 知らない人とSMSで安易につながるの危険はない						イ) 誰かの裸や下着姿の画像をネットで送ったりもらった りするのリスクが大きい						ウ) 人を傷つける可能性がある投稿はしてはいけない					
		非常にそう 思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わ ない	全くそう思 わない	無回答	非常にそう 思う	そう思う	どちらと も言えない	そう思わ ない	全くそ う思わ ない	無回答	非常に そう思 う	そう思 う	どちら とも言 えない	そう思 わない	まったく そう思 わない	無回答
全体	1,012	531	311	123	24	20	3	844	113	29	7	14	5	844	125	92	3	14	4
100.0	100.0	52.5	30.7	12.2	2.4	2.0	0.3	83.4	11.2	2.9	0.7	1.4	0.5	83.4	12.4	2.2	0.3	1.4	0.4
1. 男性	486	243	151	64	13	14	1	378	72	22	4	8	2	368	89	18	1	9	1
100.0	100.0	50.0	31.1	13.2	2.7	2.9	0.2	77.8	14.8	4.5	0.8	1.6	0.4	75.7	18.3	3.7	0.2	1.9	0.2
2. 女性	494	277	154	54	9	0	0	447	40	4	1	1	1	458	33	2	0	0	0
100.0	100.0	56.1	31.2	10.9	1.8	0.0	0.0	90.5	8.1	0.8	0.2	0.2	0.2	92.7	6.7	0.4	0.0	0.0	0.0
3. その他	13	6	1	2	2	2	0	9	0	1	2	1	0	9	1	0	2	1	0
100.0	100.0	46.2	7.7	15.4	15.4	15.4	0.0	69.2	0.0	7.7	15.4	7.7	0.0	69.2	7.7	0.0	15.4	7.7	0.0
4. 答えたくない	14	4	3	3	0	4	0	7	1	2	0	4	0	7	1	2	0	4	0
100.0	100.0	28.6	21.4	21.4	0.0	28.6	0.0	50.0	7.1	14.3	0.0	28.6	0.0	50.0	7.1	14.3	0.0	28.6	0.0
無回答	5	1	2	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	2
100.0	100.0	20.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0
上段:度数	合計	エ) もし自分がネット上で性的嫌がらせを受けても、大した問題ではない						オ) ネット上の誘いに自分には乗らない自信がある						カ) 親や先生よりもネットに詳しいので、自分の身は自分で守れると思う					
		非常にそう 思う	そう思う	どちらとも 言えない	そう思わ ない	全くそう思 わない	無回答	非常にそう 思う	そう思う	どちらと も言えない	そう思わ ない	全くそ う思わ ない	無回答	非常に そう思 う	そう思 う	どちら とも言 えない	そう思 わない	全くそう 思わない	無回答
全体	1,012	103	40	101	241	523	4	408	321	227	31	21	4	165	198	381	176	89	3
100.0	100.0	10.2	4.0	10.0	23.8	51.7	0.4	40.3	31.7	22.4	3.1	2.1	0.4	16.3	19.6	37.6	17.4	8.8	0.3
1. 男性	486	73	25	61	130	196	1	209	149	102	15	10	1	108	89	165	77	46	1
100.0	100.0	15.0	5.1	12.6	26.7	40.3	0.2	43.0	30.7	21.0	3.1	2.1	0.2	22.2	18.3	34.0	15.8	9.5	0.2
2. 女性	494	27	13	35	104	314	1	190	165	118	14	6	1	48	107	207	95	37	0
100.0	100.0	5.5	2.6	7.1	21.1	63.6	0.2	38.5	33.4	23.9	2.8	1.2	0.2	9.7	21.7	41.9	19.2	7.5	0.0
3. その他	13	2	1	1	4	5	0	4	2	2	1	0	0	3	2	4	3	1	0
100.0	100.0	15.4	7.7	7.7	30.8	38.5	0.0	30.8	30.8	15.4	15.4	7.7	0.0	23.1	15.4	30.8	23.1	7.7	0.0
4. 答えたくない	14	1	0	3	3	7	0	4	1	5	0	4	0	4	0	4	1	5	0
100.0	100.0	7.1	0.0	21.4	21.4	50.0	0.0	28.6	7.1	35.7	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	28.6	7.1	35.7	0.0
無回答	5	0	1	1	0	1	2	1	2	0	0	0	0	2	0	1	0	0	2
100.0	100.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0

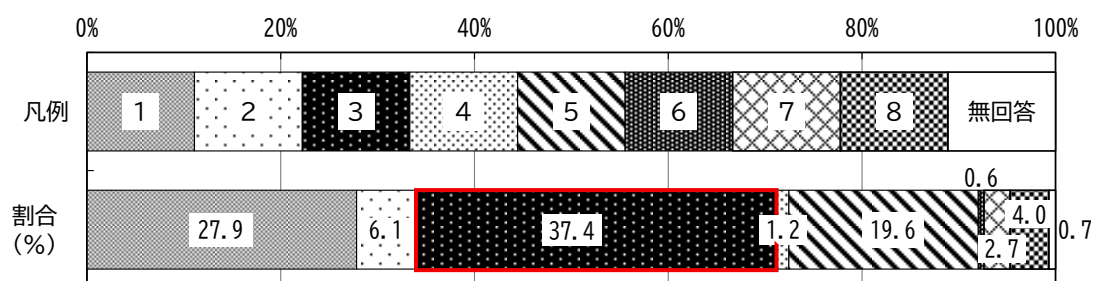
6) 性の多様性について

問17. あなたは、家族や友人など身近な方から性的少数者（セクシュアルマイノリティ）であることを打ち明けられたとしたら、どのように思いますか。（○は1つ）

1. 理解したいと思う	2. 応援したいと思う
3. いままで通り接する	4. 距離を置きたいと思う
5. その時にならないとわからない	6. 一部の人のことで、身近な問題ではない
7. 違和感がある	8. その他（ ）

身近な方から性的少数者であることを打ち明けられた時について、「3. いままで通り接する」が37.4%と最も割合が高く、次いで「1. 理解したいと思う」が27.9%、「5. その時にならないとわからない」が19.6%となっている。

問17 身近な方から性的少数者であることを打ち明けられた時



- 1. 理解したいと思う
- 3. いままで通り接する
- ▨ 5. その時にならないとわからない
- ▩ 7. 違和感がある
- 無回答
- 2. 応援したいと思う
- ▨ 4. 距離を置きたいと思う
- ▩ 6. 一部の人のことで、身近な問題ではない
- ▩ 8. その他

【その他】性的少数者（セクシュアルマイノリティ）の意味がわからない（22件）/どうでもいい/どうも思わない/自分でなければ何も思わない/可愛い子だったら付き合う/気まずいどう接していいかわからない/少し引くかもしれないけど応援はする。より一層仲良くなりたい/何とも思わない

問17 家族や友人など身近な方から性的少数者であることを打ち明けられたとき× 性別 (単数回答)

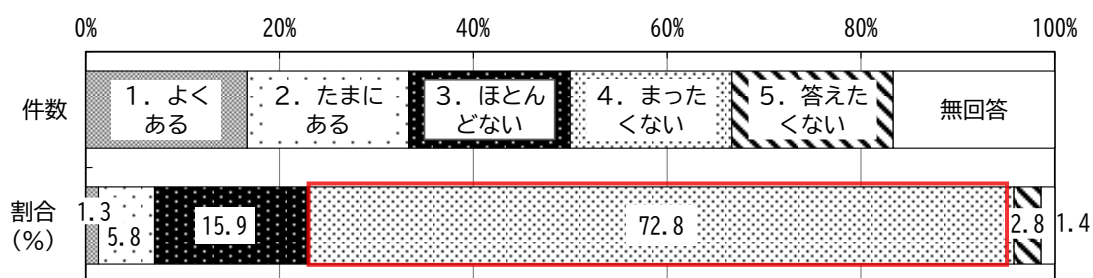
上段:度数 下段:横%	合計	1. 理解したいと思う	2. 応援したいと思う	3. いままで通り接する	4. 距離を置きたいと思う	5. その時にならないとわからない	6. 一部の人のことで、身近な問題ではない	7. 違和感がある	8. その他	無回答
全体	1,012	282	62	378	12	198	6	27	40	7
	100.0	27.9	6.1	37.4	1.2	19.6	0.6	2.7	4.0	0.7
1. 男性	486	130	26	168	9	109	4	17	21	2
	100.0	26.7	5.3	34.6	1.9	22.4	0.8	3.5	4.3	0.4
2. 女性	494	145	32	201	2	88	1	6	16	3
	100.0	29.4	6.5	40.7	0.4	17.8	0.2	1.2	3.2	0.6
3. その他	13	5	3	3	1	1	0	0	0	0
	100.0	38.5	23.1	23.1	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
4. 答えたくない	14	1	1	5	0	0	1	4	2	0
	100.0	7.1	7.1	35.7	0.0	0.0	7.1	28.6	14.3	0.0
無回答	5	1	0	1	0	0	0	0	1	2
	100.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0

問 18. あなたは今までに、自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などに悩んだことはありますか。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. よくある | 2. たまにある |
| 3. ほとんどない | 4. まったくない |
| 5. 答えたくない | |

自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などに悩んだことがある経験をみると、「4. まったくない」が 72.8%と最も高くなっている。なお、『ある』（「1. よくある」+「2. たまにある」）と回答した生徒は 7.1%となっている。

問18 からだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などに悩んだこと



問18 からだの性と心の性が異なること等や、性別などに悩んだこと × 性別 (単数回答)

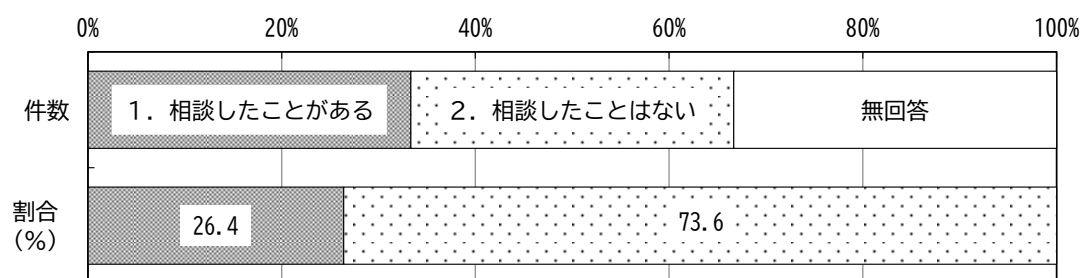
上段:度数 下段:横%	合計	1. よくある	2. たまにある	3. ほとんどない	4. まったくない	5. 答えたくない	無回答
全体	1,012 100.0	13 1.3	59 5.8	161 15.9	737 72.8	28 2.8	14 1.4
男性	486 100.0	7 1.4	18 3.7	86 17.7	362 74.5	9 1.9	4 0.8
女性	494 100.0	2 0.4	36 7.3	73 14.8	367 74.3	10 2.0	6 1.2
その他	13 100.0	3 23.1	2 15.4	1 7.7	5 38.5	2 15.4	0 0.0
答えたくない	14 100.0	1 7.1	2 14.3	0 0.0	3 21.4	7 50.0	1 7.1
無回答	5 100.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0

問 19. 問 18 で「1. よくある」「2. たまにある」と答えた方にお聞きします。悩んでいることを誰かに相談したことはありますか。

1. 相談したことがある	2. 相談したことはない
--------------	--------------

自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などで悩んでいることを誰かに「1. 相談したことがある」と回答した生徒は 26.4% (19 人)、「2. 相談したことはない」と回答した生徒は 73.6% (53 人) であった。

問19 悩んでいることを誰かに相談したことはあるか(n=72)



問19 悩んでいることを相談したこと × 性別 (単数回答)

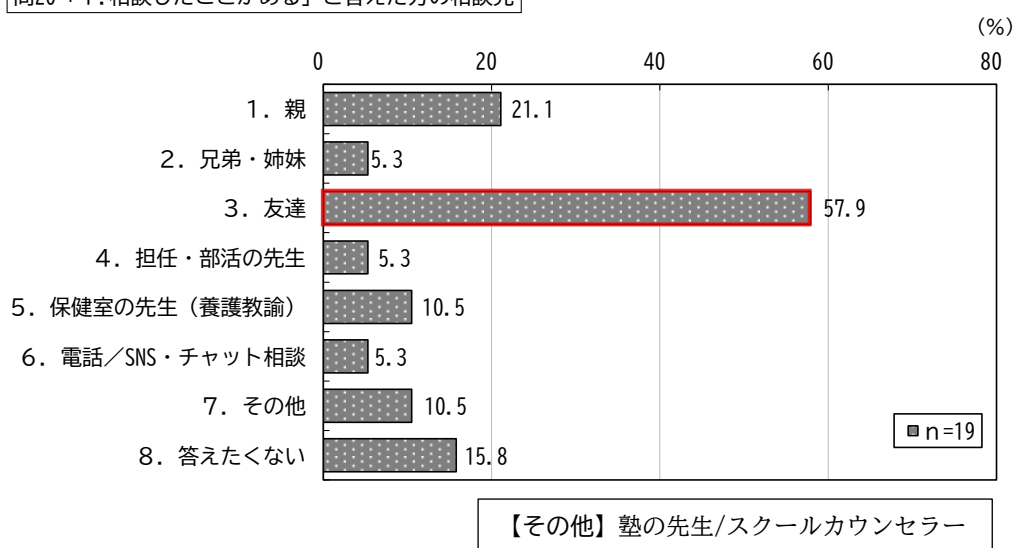
	上段:度数 下段:横%	合計	1. 相談した ことがある	2. 相談した ことはない
全体		72	19	53
		100.0	26.4	73.6
男性		25	7	18
		100.0	28.0	72.0
女性		38	10	28
		100.0	26.3	73.7
その他		5	2	3
		100.0	40.0	60.0
答えたくない		3	0	3
		100.0	0.0	100.0
無回答		1	0	1
		100.0	0.0	100.0

問20. 問19で「1.相談したことがある」と答えた方にお聞きします。誰に（どこに）相談しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 親 | 2. 兄弟・姉妹 |
| 3. 友達 | 4. 担任・部活の先生 |
| 5. 保健室の先生（養護教諭） | 6. 電話／SNS・チャット相談 |
| 7. その他（ ） | 8. 答えたくない |

自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などで悩んでいることの相談先として、「3. 友達」が57.9%（11人）と最も割合が高く、次いで「1. 親」が21.1%（4人）となっている。

問20「1.相談したことがある」と答えた方の相談先



問20 誰に（どこに）相談したか × 性別 (複数回答)

	1. 親	2. 兄弟・姉妹	3. 友達	4. 担任・部活の先生	5. 保健室の先生（養護教諭）	6. 電話／SNS・チャット相談	7. その他	8. 答えたくない
全体 (n=19)	4 21.1	1 5.3	11 57.9	1 5.3	2 10.5	1 5.3	2 10.5	3 15.8
男性 (n=7)	2 28.6	0 0.0	5 71.4	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3
女性 (n=10)	2 20.0	1 10.0	5 50.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0
その他 (n=2)	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0

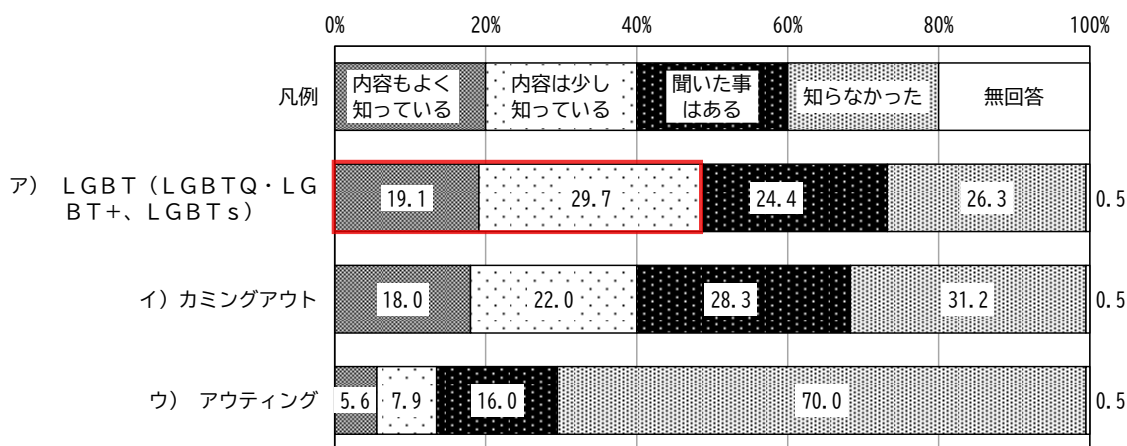
問 21. あなたは次の言葉を知っていますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	内容もよく知っていた	内容は少し知っていた	聞いた事はある	知らなかった
ア) LGBT (LGBTQ・LGBT+、LGBTs)	1	2	3	4
イ) カミングアウト	1	2	3	4
ウ) アウティング	1	2	3	4

性の多様性に関する言葉の認知度について、「ア) LGBT (LGBTQ・LGBT+、LGBTs)」を『知っている』(「内容もよく知っている」+「内容は少し知っている」)と回答した生徒は48.8%と最も割合が高く、次いで「イ) カミングアウト」(40.0%)となっている。

一方、「ウ) アウティング」を『知っている』割合は13.5%と低くなっている。

問21 言葉の認知度



問21 言葉の認知度×性別

(単数回答)

上段:度数	合計	問21-ア) LGBT (LGBTQ・LGBT+、LGBTs)					問21-イ) カミングアウト					問21-ウ) アウティング				
		内容もよく知っていた	内容は少し知っていた	聞いた事はある	知らなかった	無回答	内容もよく知っていた	内容は少し知っていた	聞いた事はある	知らなかった	無回答	内容もよく知っていた	内容は少し知っていた	聞いた事はある	知らなかった	無回答
全体	1,012	193	301	247	266	5	182	223	286	316	5	57	80	162	708	5
男性	486	61	136	141	146	2	53	90	148	193	2	21	42	79	342	2
女性	494	123	159	103	109	0	123	128	131	112	0	32	36	77	349	0
その他	13	5	4	2	2	0	3	2	6	2	0	3	0	4	6	0
答えたくない	14	4	1	1	8	0	3	1	1	9	0	1	2	2	9	0
無回答	5	0	1	0	1	3	0	2	0	3	0	0	0	2	3	0
	100.0	0.0	20.0	0.0	20.0	60.0	0.0	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0

8) 調査票

男女共同参画に関する中学生意識調査 調査票

調査票では、「あなた」と「わたし」が読めるよう、記入する「自分らしく輝くまち」を登録し、ジェンダー平等の実現と他の多様な価値観を取り組んでいます。

このアンケートを通じて、みなさんの意見や感じていることをお聞きさせていただき、調査結果の参考にさせていただきます。

アンケートは子どもにはありませんので、子ども用になっていることをご確認ください。また、回答は匿名で実施させていただきます。また、回答の記入は必要ありませんので、回答が他の人に知られることはありません。

12月25日(木)までに回答をお願いします。

【全26問】

回答によっては26問より多くなります。

調査アンケートURL: https://quest.jp/q/urason_gk_1st25/



学校・生活面の平等観について

問1. あなたは、次における学校生活や日常生活の場面で、男女の立場は平等になっていると思いますか。あなたの経験や感じていることをもとに、いちばん近いと思うものを1つずつ選んでください。

	男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかと いえば男性 が優遇され ている	平等	どちらかと いえば女性 が優遇され ている	女性の方が 非常に優遇 されている	わからない
① 中学校や生徒会の役員を決めること	1	2	3	4	5	6
② 授業のこと	1	2	3	4	5	6
③ 部活動のこと	1	2	3	4	5	6
④ 制服や給食のこと	1	2	3	4	5	6
⑤ 校内の設備・環境(更衣室、トイレの数など)	1	2	3	4	5	6
⑥ 必要なり(塾生、家庭・習習)の依頼	1	2	3	4	5	6
⑦ 家庭内でのお手伝いのこと	1	2	3	4	5	6

1 / 9

ジェンダーステレオタイプ(性別による偏見・固定観念)について

問1. あなたは、中学校や家庭で「男だから○○なさい」や「女だから○○なさい」と言われたことがありますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	よく言われる	ととど言われる	あまり言われない	言われたことない
先生から	1	2	3	4
友達・先輩から	1	2	3	4
親から	1	2	3	4
兄弟姉妹から	1	2	3	4

問2. 問1で「よく言われる」「ととど言われる」と言えただけに感じます。あなたはそれ何回どんな気持ちになりましたか。いちばん近いものを1つずつ選んでください。

1. なかなか言われるのがやがらなかつた
2. そのとおりだと思った
3. いやな気持ちになった
4. よくあることなので何とも思わなかつた
5. その他()

問3. あなたは、自分の希望する進路や就職先について、「男だから/女だから」やめた方がいいと言われたことがありますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	よく言われる	ととど言われる	あまり言われない	言われたことない
先生から	1	2	3	4
友達・先輩から	1	2	3	4
親から	1	2	3	4
兄弟姉妹から	1	2	3	4

問4. あなたは、「男性」「女性」に関する次のような考え方や意見について、どのように思いますか。人によって考えが異なるものもあります。あなた自身がどう思うか1つずつ選んでください。

	そう思う	ややそう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わない
「女性も」男性に守られる存在だ	1	2	3	4	5
「男性」は女性よりも行動力がある	1	2	3	4	5
「女性」は男性よりも理系が苦手だ	1	2	3	4	5
「男性のほうか」女性よりも文系が得意だ	1	2	3	4	5
「女性のほうか」男性よりも家事に詳しい	1	2	3	4	5
「男性のほうか」女性よりもおてがくことに詳しい	1	2	3	4	5

3 / 9

問5. あなたは大人になったときに、家事(食事のしたく、そうじ、洗濯など)を、どのくらい自分でやりたいと思いますか。いちばん近いものを1つだけ選んでください。※どの答えも正しい・間違っているということはありません。あなたが今の時点でどう思うかを選んでください。

1. ほとんど自分でやりたい	2. できれば自分が多くやりたい
3. 家話と分担してやりたい	4. あまり自分でやりたいくない
5. まったく自分でやりたいくない	6. わからない

問6. あなたが将来、子どもを育てることになったら、子育てをどのくらい自分でやりたいと思いますか。いちばん近いものを1つだけ選んでください。※子どもを持つ/持たないは人それぞれですが、「もしそうになったら」と考えて選んでください。

1. ほとんど自分でやりたい	2. できれば自分が多くやりたい
3. 家話と分担してやりたい	4. あまり自分でやりたいくない
5. まったく自分でやりたいくない	6. わからない

問7. あなたは次の言葉を聞いていますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	内容がよく 知っている	内容が少し 知っている	聞いたこと はある	知らない
ア) 男女共同参画社会 性別に問わずに、それぞれの個性や能力が最大限に発揮できる社会	1	2	3	4
イ) ジェンダー 性別によって男女の役割や責任を「男らしさ/女らしさ」として区別する考え方	1	2	3	4
ウ) アンコンシャス・バイアス 「無意識のうちに、性別による偏見や固定観念」のこと	1	2	3	4

2 / 9

	そう思う	ややそう思 う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わない
「女性のほうが」人や動物の本音が得難 い	1	2	3	4	5
「男性のほうか」生徒会長や学級代表に 向いている	1	2	3	4	5

問8. あなたは、ジェンダーステレオタイプ(性別による偏見・固定観念)が、自分の可能性を狭めていると感じることがありますか。

1. よくある	2. ときどきある	3. あまりない
4. ない	5. わからない(意識したことがない)	

問9. 「男の子/女の子だから」何かを言われたりやらされたりした経験や、学校や家庭において性別によって差がある(一方に有利/不利)と感じることがあれば自由に書き込んでください。

4 / 9

デートDV（交際相手からの暴力）について

問11. あなたはこれまでに、デートDVに関する授業や講演を聞いたことがありますか。(複数回答)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 中学校で聞いた | 2. 学校外のイベントなどで聞いた |
| 3. 聞いたことがない | 4. 覚えていない |

問12. あなたは、交際している(付き合っている)2人の間で以下のようなことをする(される)とき、暴力だと感じますか。あなた自身がどう思うか1つずつ選んでください。

	暴力である	場合によっては暴力ではない	暴力ではない	わからない
ア) たたいたり、けついたりする	1	2	3	4
イ) LINE や Instagram などの SNS を監視したり、友達など、ほかの人のつきあいを制限したりする	1	2	3	4
ウ) 人前でバカにしたり、悪く言ったりする	1	2	3	4
エ) 思い通りにならないと怒鳴ったりおどしたりする	1	2	3	4
オ) 借りたお金を返さなかったり、服やバッグ、プレゼントを盗まれたりする	1	2	3	4
カ) 寝がらみ、性的な行為を強いたり、服等の写真を撮られたりする	1	2	3	4

問13. あなたは次の言葉を覚えていますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	内容がよく知っている	内容が少し知っている	聞いたことはある	知らない
ア) デートDV 恋人などの間で発生する(または発生しうる)暴力行為の総称のこと	1	2	3	4
イ) セクシュアル・ハラスメント 職場や学校などでの性的な言動や行為による嫌がらせのこと	1	2	3	4

性の多様性について

問14. あなたは、家族や友人など身近な方から性的少数者(セクシュアルマイノリティ)であることを打ち明けられたとしたら、どのように感じますか。(Cは1つ)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 理解したいと思う | 2. 応援したいと思う |
| 3. いままで通り接する | 4. 距離を置きたいと思う |
| 5. その時にならないとわからない | 6. 一部の人のうちのことです。普通な話題ではない |
| 7. 違和感がある | 8. その他() |

問15. あなたは今までに、自分から自分の性や心の性が異なることや、好きな相手の性別などに悩んだことはありますか。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. よくある | 2. たまにある |
| 3. ほとんどない | 4. まったくない |
| 5. 答えたくない | |

問16. 問15で「1.よくある」「2.たまにある」と答えた方にお聞きします。悩んでいることを誰かに相談したことはありますか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 相談したことがある | 2. 相談したことはない |
|--------------|--------------|

問17. 問16で「1. 相談したことがある」と答えた方にお聞きします。誰に(どこに)相談しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 親 | 2. 兄弟・姉妹 |
| 3. 友達 | 4. 担任・担任の先生 |
| 5. 保健室の先生(養護教諭) | 6. 電話・SNS・チャット相談 |
| 7. その他() | 8. 答えたくない |

問18. あなたは次の言葉を覚えていますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	内容がよく知っている	内容が少し知っている	聞いた事はある	知らない
ア) LGBT (LGBTQ・LGBT+、LGBTs) 性別や性傾向や性自認によって、LGBT(レズビアン、バイセクシュアル、トランスジェンダー)の総称を指す言葉のこと	1	2	3	4
イ) カミングアウト 自分の性傾向や性自認について周囲の人に知らせること	1	2	3	4
ウ) アウティング 本人の同意なく第三者が自分の性傾向や性自認を周囲に知らせること	1	2	3	4

ネットリテラシー（インターネットの危険性・正しい理解）について

問14. 以下のなかで、あなたが普段よく利用するものはどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | | |
|------------------|--------------|-------------|
| 1. LINE | 2. Instagram | 3. TIKTOK |
| 4. X (旧 Twitter) | 5. YouTube | 6. オンラインゲーム |
| 7. これらを利用していない | | |

問15. あなたは SNS やオンラインゲーム上で、次のような困った経験がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 知らない人からしつこく連絡やメッセージを受け取った |
| 2. SNS に自分の写真や動画を無断で公開された |
| 3. 性的な内容のメッセージを送りつけられ、不快な思いをした |
| 4. 自分に就する噂や中傷(性的な内容を含む)を書き込まれた |
| 5. ネットで知り合った人に会おうと誘われ、悪い思いをした |
| 6. いずれも経験したことがない |
| 7. 答えたくない |

問16. あなたは、次のような考えについて、どのように感じますか。あなたの思いに近いものをそれぞれ1つ選んでください。

	非常にそう思う	そう思う	どちらとも思えない	そう思わない	全くそう思わない
ア) 知らない人と SNS で安易につながるのは危ない	1	2	3	4	5
イ) 誰かの顔や下着姿の画像をネットに送ったりもらったりするのはリスクが大きい	1	2	3	4	5
ウ) 人を傷つける可能性がある投稿はしてはいけない	1	2	3	4	5
エ) もし自分がネット上で性的嫌がらせを受けても、大した問題ではない	1	2	3	4	5
オ) ネット上の思いが自分自身を傷つけない自信がある	1	2	3	4	5
カ) 親や先生よりもネットに詳しいので、自分の身は自分で守れると思う	1	2	3	4	5

ご回答を統計的に分析するためにおうかがいします。

問12. あなたの性別を教えてください。複数する性でも構いません。

- | | | | |
|-------|-------|--------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 答えたくない |
|-------|-------|--------|-----------|

問13. あなたが通う中学校は次のどれですか。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 浦田中学校 | 2. 仲高中学校 | 3. 神倉中学校 |
| 4. 池田中学校 | 5. 津西中学校 | |

問14. あなたと一緒に住んでいる方を次の中からすべて選んでください。

- | | | |
|-----------|-------|-------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 兄弟 |
| 4. 姉・妹 | 5. 結婚 | 6. 祖父 |
| 7. その他() | | |

(問15で「2. 女性」を選んだ方はおたずねします。)

生理用品について

問15. 生理(月経)のある人は、生理用品を毎回両方使しなければならないませんが、家財の事情から生理用品を買ったり用意したりするのに困ったことはありますか。

- | | | |
|---------|---------|-------------|
| 1. よくある | 2. 時々ある | 3. 困ったことはない |
|---------|---------|-------------|

問16. 困っていた理由として近いものを次のうちどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | |
|--------------------------|
| 1. 生理用品に使えるお金がない(少ない) |
| 2. 親(保護者)が買ってくれないから |
| 3. 親(保護者)に購入を頼むのが恥ずかしいから |
| 4. 自分で買うのが恥ずかしいから |
| 5. その他() |
| 6. 答えたくない |

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

【届ったときの状態】(電話/チャット)
ひとりで抱えなくて大丈夫。無料・匿名OKの窓口があります。
「こんなこと聞いていいの?」という内容でも利用ありません。まずは話してみませんか。

学校・家庭での悩み
高松市 家庭支援相談室
Tel: 087-874-4073
#学校生活 #家庭 #悩み相談

高松市教育委員会 教育相談室「くくくい」
Tel: 087-879-1296
#学校生活 #人間関係の悩み #不登校

いじめ/暴力など
21 児童支援 501 デイケア (文部科学省)
Tel: 0320-0-78310 (なやみあおう)
#いじめ #学校 #家庭 #友人関係

子どもの人権 118 線 (法務省)
Tel: 0320-007-110
#人権 #差別 #いじめ #家庭の問題

性暴力被害
24 被害 性暴力被害者ワンストップ支援センター
Tel: 03031 0300 (若年性暴力ワンストップ)
#性被害 #虐待 #警察 #法的支援

Care Line (24時間/ネット相談)
チャットで相談
#性被害 #チャット #匿名 #再被害で相談

性被害・性的被害など「自分の性」のこと
1029 (にじいろ相談 (性被害))
Tel: 080-880-8434 (性暴力支援)
#1029 #性被害 #家庭 #学校

高松市 1029 電話相談窓口
Tel: 070-5491-3228 (毎月第3水曜日)
#1029 #1029 #相談

その他の窓口一覧
女性相談・援助相談 窓口一覧 (お知らせ/同僚関係)

性被害・性暴力相談窓口 (内線付 匿名対応相談)

※詳細情報は各リンク先で確認してください。
※0120 から始まる番号は通話料無料です (それ以外は通話料がかかります)。

4. 男女共同参画に関する高校生意識調査結果

(1) 調査の実施概要

1) 調査の目的

男女共同参画に関する高校生の意識や実態を把握するとともに、令和8年度策定予定の「第4次浦添市男女共同参画行動計画」の検討に向けた基礎資料として活用することを目的に実施した。

2) 調査の実施方法・結果

対象者	市内の高校に通う高校2年生 1,400名
実施方法	各生徒が所有するタブレット端末等を用いたWEB回答
調査期間	令和7年11月11日～12月25日
有効回収数・率	725件・51.8%

	生徒数	回答数	回答率
浦添高校	360	200	55.6%
浦添商業高校	217	141	65.0%
浦添工業高校	266	97	36.5%
陽明高校	244	179	73.4%
那覇工業高校	320	108	33.8%
計	1,407	725	51.5%

3) 結果の見方

- ・ 回答結果の割合は、回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しているため、単数回答であっても、合計値が100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、割合を出している。そのため、合計が100%を超える場合がある。
- ・ 表や図中で、選択肢の文章が長いものは省略して載せている場合がある。また、「n」は集計の対象者数（設問の限定条件に該当する人の数）を表している。

(2) 調査の結果概要

1) 回答者の属性

- ・回答者の性別をみると、「1. 男性」が42.3%、「2. 女性」が50.5%、「3. その他」が1.7%、「4. 答えたくない」が4.4%となっている。
- ・回答者が通っている高校をみると、「1. 浦添高校」が27.4%、「2. 浦添商業高校」が19.4%、「3. 浦添工業高校」が13.4%、「4. 陽明高校」が24.7%、「5. 那覇工業高校」が14.9%となっている。

2) 学校・生活面の平等観について

- ・学校生活や日常生活の場面での男女の立場について尋ねたところ、全項目で「平等」が最も高くなっているが、「③部活動のとき」や「⑤校内の設備・環境」については、「平等」の割合が他の項目に比べて低い傾向となっている。
- ・大人になったときに、家事を、どのくらい自分でやりたいと思うかを尋ねたところ、「3. 家族と分担してやりたい」が51.3%と最も高い。
- ・将来、子どもを育てることになったら、子育てをどのくらい自分でやりたいと思うかを尋ねたところ、「3. 家族と分担してやりたい」が65.7%と最も高い。
- ・男女共同参画に関する語句の認知状況について、「イ) ジェンダー」については、『知っている』（「内容もよく知っている」+「内容は少し知っている」）が74.9%であり、「聞いたことはある」（17.9%）をあわせると92.8%と認知度が高くなっている。「ア) 男女共同参画社会」を『知っている』割合は52.5%となっている。

3) ジェンダー・ステレオタイプ（性別による偏見・固定観念）について

- ・高校や家庭で「男／女だから〇〇しなさい」と言われた経験を尋ねたところ、それぞれ「言われたことはない」が最も高くなっている。なお、『言われる』（「よく言われる」+「ときどき言われる」）の割合をみると、「親から」が22.9%とほかの項目より高くなっている。
- ・「よく言われる」または「ときどき言われる」と回答した生徒にその時の気持ちを尋ねたところ、「4. よくあることなので何とも思わなかった」が27.8%と最も割合が高い。
- ・自分の希望する進路や就職先について、「男だから／女だから」やめた方がいいと言われたことがあるかを尋ねたところ、「言われたことはない」が全ての項目で75%を超えている。なお、『言われる』（「よく言われる」+「ときどき言われる」）の割合をみると、「親から」が7.2%とほかの項目より高い傾向がみられる。
- ・「男性」「女性」に関する考え方や意見について、『思う』（「そう思う」+「ややそう思う」）の割合をみると、『女性』は男性に守られる存在だ」が36.9%と最も高い。
- ・一方、『思わない』（「あまりそう思わない」+「そう思わない」）の割合をみると、『女性』は男性よりも理系が苦手だ』『男性のほうが』女性よりも文系が苦手だ』『男性のほうが』生徒会長や学級代表に向いている」が約6割を占めている。
- ・ジェンダースtereotypeが、自分の可能性を狭めているかを尋ねると、「5. わからな

い（意識したことがない）」が49.5%と最も割合が高い。一方で、『ある』（「1. よくある」+「2. ときどきある」）割合は、13.7%となっている。

4) デートDV（交際相手からの暴力）について

- ・デートDVに関する授業や講演を聞いたことがあるか尋ねると、「2. 高校で聞いた」が56.8%と最も割合が高い。
- ・暴力だと思う行動について、「①暴力である」をみると、「カ）嫌がるのに、性的な行為を迫ったり、裸等の写真を撮ったりする」が82.1%と最も割合が高い。一方で、「③暴力ではない」をみると、「イ）LINEやInstagramなどのSNSを監視したり、友だちなど、ほかの人とのつきあいを制限したりする」が13.4%と最も割合が高い。
- ・「ア）デートDV」について、『知っている』（「内容もよく知っている」+「内容は少し知っている」）と回答した生徒は70.9%高くなっている。また、「イ）セクシュアル・ハラスメント」を『知っている』と回答した生徒は77.9%と認知度が高い傾向となっている。

5) ネットリテラシー（インターネットの危険性・正しい理解）について

- ・普段よく利用するSNS等をみると、「1. LINE」が84.3%と最も高い。一方で、「7. どれも利用していない」は2.3%であり、97.0%の高校2年生がなんらかのソーシャルメディアを利用している。
- ・SNSやオンラインゲーム上での困った経験について、大部分の生徒が「6. いずれも経験したことがない」（70.8%）と回答していた。一方で、何らかの困った経験をしたことがある高校2年生の割合は18.6%と、約6人に1人の割合となっている。
- ・ネットリテラシーについて、「イ）誰かの裸や下着姿の画像をネットで送ったりもらったりするのはリスクが大きい」と「ウ）人を傷つける可能性がある投稿はしてはいけない」について、『思う』（「非常にそう思う」+「そう思う」）と回答した生徒はともに8割以上となっている。

6) 性の多様性について

- ・身近な方から性的少数者であることを打ち明けられた時について、「1. 理解したいと思う」が40.1%と最も割合が高い。
- ・自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などに悩んだことがある経験をみると、「4. まったくない」が64.8%と最も高い割合となっている。なお、『ある』（「1. よくある」+「2. たまにある」）と回答した生徒は10.0%（72人）となっている。
- ・自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などで悩んでいることを誰かに「1. 相談したことがある」と回答した生徒は40.3%（29人）、「2. 相談したことはない」と回答した生徒は56.9%（41人）となっている。
- ・自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などで悩んでいることの相談先として、「3. 友達」が58.6%（17人）と最も割合が高い。

- ・性の多様性に関する言葉の認知度について、「ア）LGBT（LGBTQ・LGBT+、LGBTs）」を『知っている』（「内容もよく知っている」+「内容は少し知っている」）割合は72.4%と最も高い。

7) 生理の貧困について（女子生徒のみ回答）

- ・家庭の事情から生理用品の購入や用意に困ったことが『ある』（「1. よくある」+「2. 時々ある」）と回答した女子生徒は8.5%（31人）となっている。
- ・家庭の事情から生理用品の購入や用意に困っている理由として、「1. 生理用品に使えるお金がない（少ない）」が29.0%（9人）と最も割合が高く、次いで「3. 親（保護者）に購入を頼むのが恥ずかしいから」が25.8%（8人）となっている。

(3) 調査の結果詳細

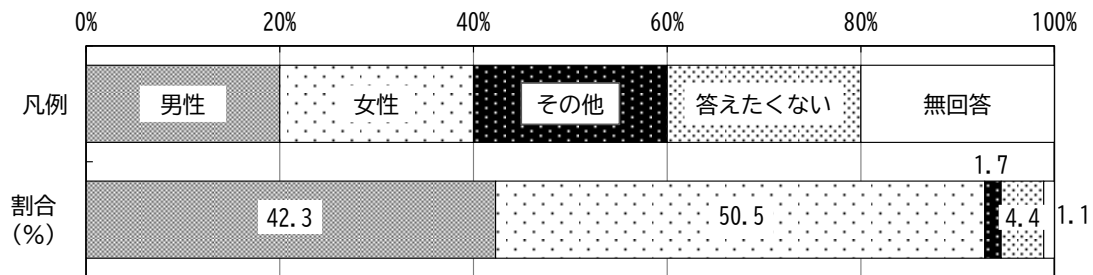
1) 回答者の属性

問 22. あなたの性別を教えてください。自認する性でもけっこうです。

1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 答えたくない
-------	-------	--------	-----------

回答者の性別をみると、「1. 男性」が42.3%、「2. 女性」が50.5%、「3. その他」が1.7%、「4. 答えたくない」が4.4%となっている。

問22 性別

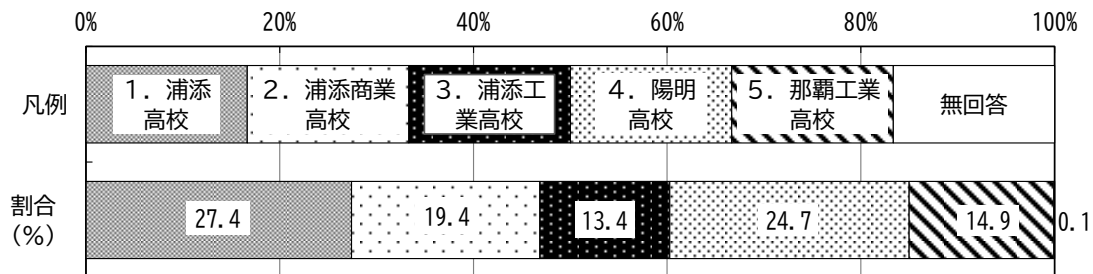


問 23. あなたが通う高校は次のどれですか。

1. 浦添高校	2. 浦添商業高校	3. 浦添工業高校
4. 陽明高校	5. 那覇工業高校	

回答者が通っている高校をみると、「1. 浦添高校」が27.4%、「2. 浦添商業高校」が19.4%、「3. 浦添工業高校」が13.4%、「4. 陽明高校」が24.7%、「5. 那覇工業高校」が14.9%となっている。

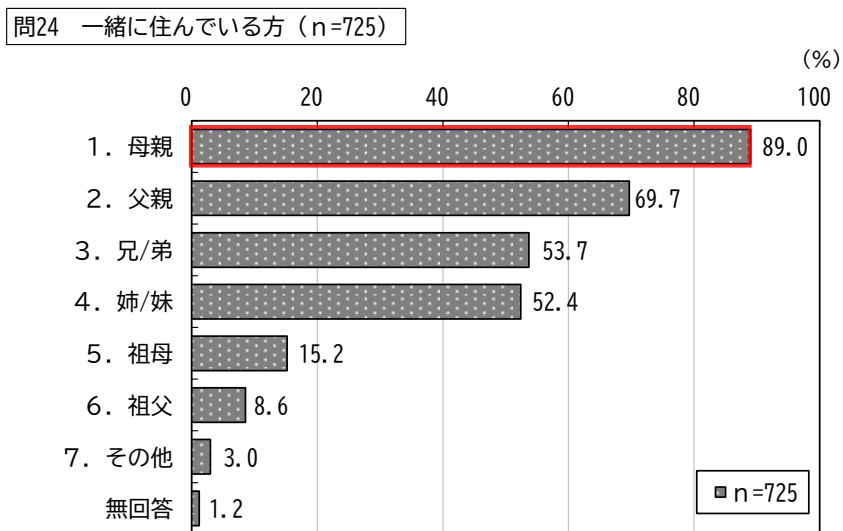
問23 あなたが通う高校



問 24. あなたと一緒に住んでいる方を次の中からすべて選んでください。

1. 母親	2. 父親	3. 兄/弟
4. 姉/妹	5. 祖母	6. 祖父
7. その他 ()		

回答者が一緒に住んでいる方をみると、「1. 母親」が 89.0%と最も高く、次いで「2. 父親」(69.7%)、「3. 兄/弟」(53.7%)、「4. 姉/妹」(52.4%)となっている。



【その他】寮 (3件) /いとこ (2件) /ひとり暮らし (2件) /叔父 (2件) /叔母/姪っ子/

2) 学校・生活面の平等観について

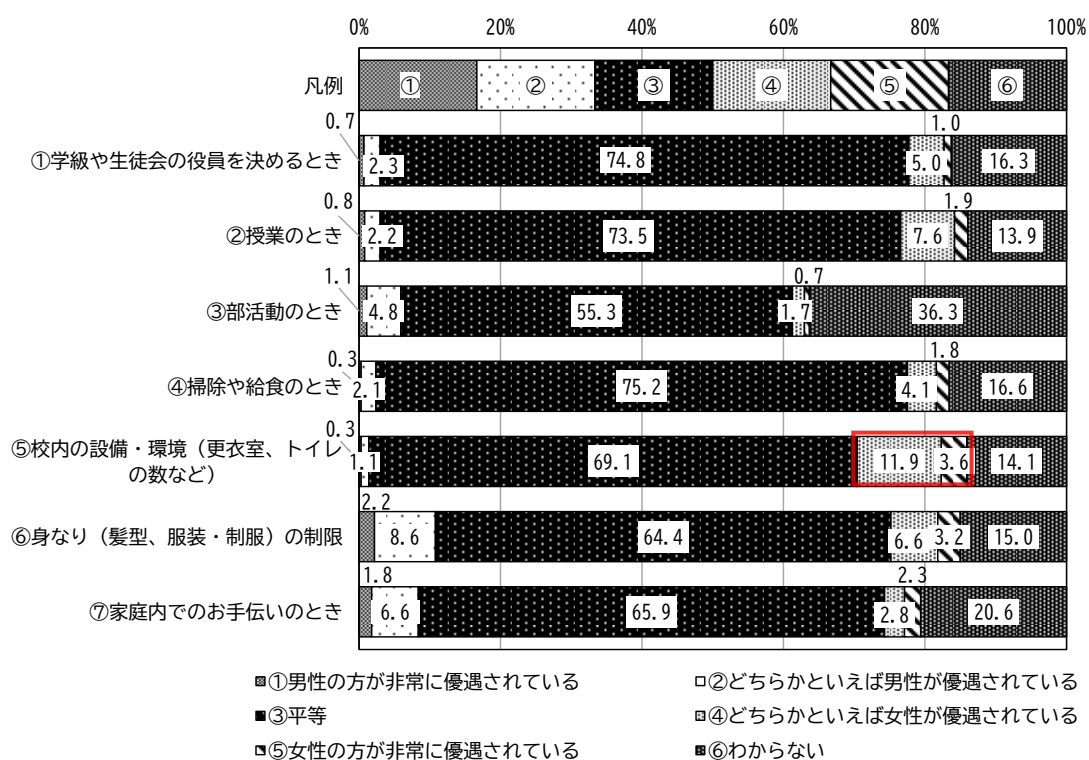
問1. あなたは、次にあげる学校生活や日常生活の場面で、男女の立場は平等になっていると思いますか。あなたの経験や感じたことをもとに、いちばん近いと思うものを1つずつ選んでください。

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等	どちらかといえば女性が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
①学級や生徒会の役員を決めるとき	1	2	3	4	5	6
②授業のとき	1	2	3	4	5	6
③部活動のとき	1	2	3	4	5	6
④掃除や給食のとき	1	2	3	4	5	6
⑤校内の設備・環境（更衣室、トイレの数など）	1	2	3	4	5	6
⑥身なり（髪型、服装・制服）の制限	1	2	3	4	5	6
⑦家庭内でのお手伝いのとき	1	2	3	4	5	6

学校生活や日常生活の場面での男女の立場について尋ねたところ、全選択肢で「平等」が最も高くなっているが、「③部活動のとき」や「⑤校内の設備・環境」については、「平等」の割合が他の項目に比べて低い傾向となっている。

『男性が優遇されている』（「男性の方が非常に優遇」＋「どちらかといえば男性の方が優遇」）と『女性が優遇されている』（「どちらかといえば女性が優遇」＋「女性の方が非常に優遇」）を比較すると、「⑤校内の設備・環境（更衣室、トイレの数など）」では『女性が優遇されている』のほうが14.4ポイント高くなっている。

問1 学校生活や日常生活の場面での男女の立場について



問1 学校・生活面の平等観について × 性別

(単数回答)

上段:度数 下段:横%	合計	①学級や生徒会の役員を決めるとき						②授業のとき						③部活動のとき							
		1. 男性の方が非常に優遇されている	2. どちらかといえば男性が優遇されている	3. 平等	4. どちらかといえば女性が優遇されている	5. 女性の方が非常に優遇されている	6. わからない	1. 男性の方が非常に優遇されている	2. どちらかといえば男性が優遇されている	3. 平等	4. どちらかといえば女性が優遇されている	5. 女性の方が非常に優遇されている	6. わからない	1. 男性の方が非常に優遇されている	2. どちらかといえば男性が優遇されている	3. 平等	4. どちらかといえば女性が優遇されている	5. 女性の方が非常に優遇されている	6. わからない	無回答	
全体	725 100.0	5 0.7	17 2.3	542 74.8	36 5.0	7 1.0	118 16.3	6 0.8	16 2.2	533 73.5	55 7.6	14 1.9	101 13.9	8 1.1	35 4.8	401 55.3	12 1.7	5 0.7	263 36.3	1 0.1	
男性	307 100.0	3 1.0	6 2.0	220 71.7	18 5.9	5 1.6	55 17.9	0 0.0	3 1.0	214 69.7	31 10.1	10 3.3	49 16.0	3 1.0	15 4.9	177 57.7	8 2.6	5 1.6	99 32.2	0 0.0	
女性	366 100.0	0 0.0	9 2.5	291 79.5	16 4.4	1 0.3	49 13.4	4 1.1	13 3.6	285 77.9	20 5.5	2 0.5	42 11.5	4 1.1	18 4.9	195 53.3	3 0.8	0 0.0	145 39.6	1 0.3	
その他	12 100.0	0 0.0	0 0.0	8 66.7	0 0.0	0 0.0	4 33.3	0 0.0	0 0.0	10 83.3	0 0.0	0 0.0	2 16.7	0 0.0	0 58.3	7 0.0	0 0.0	0 0.0	5 41.7	0 0.0	
答えたくない	32 100.0	2 6.3	1 3.1	19 59.4	1 3.1	1 3.1	8 25.0	2 6.3	0 0.0	19 59.4	3 9.4	3 6.3	6 18.8	1 3.1	1 3.1	18 56.3	1 3.1	0 0.0	11 34.4	0 0.0	
無回答	8 100.0	0 0.0	0 0.0	4 50.0	0 0.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	4 25.0	0 0.0	0 0.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 37.5	0 0.0

上段:度数 下段:横%	合計	④掃除や給食のとき						⑤校内の設備・環境(更衣室、トイレの数など)						⑥身なり(髪型、服装・制服)の制限						
		1. 男性の方が非常に優遇されている	2. どちらかといえば男性が優遇されている	3. 平等	4. どちらかといえば女性が優遇されている	5. 女性の方が非常に優遇されている	6. わからない	1. 男性の方が非常に優遇されている	2. どちらかといえば男性が優遇されている	3. 平等	4. どちらかといえば女性が優遇されている	5. 女性の方が非常に優遇されている	6. わからない	1. 男性の方が非常に優遇されている	2. どちらかといえば男性が優遇されている	3. 平等	4. どちらかといえば女性が優遇されている	5. 女性の方が非常に優遇されている	6. わからない	
全体	725 100.0	2 0.3	15 2.1	545 75.2	30 4.1	13 1.8	120 16.6	2 0.3	8 1.1	501 69.1	86 11.9	26 3.6	102 14.1	16 2.2	62 8.6	467 64.4	48 6.6	23 3.2	109 15.0	0 0.0
男性	307 100.0	0 0.0	5 1.6	223 72.6	13 4.2	10 3.3	56 18.2	0 0.0	4 1.3	198 64.5	34 11.1	16 5.2	55 17.9	1 0.3	17 5.5	189 61.6	31 10.1	15 4.9	54 17.6	0 0.0
女性	366 100.0	1 0.3	9 2.5	279 77.9	17 4.6	3 0.5	52 14.2	1 0.3	4 1.1	271 74.0	46 12.6	9 2.5	35 9.6	13 3.6	35 11.2	250 68.3	13 3.6	5 1.4	44 12.0	0 0.0
その他	12 100.0	0 0.0	0 0.0	9 75.0	0 0.0	0 0.0	3 25.0	0 0.0	0 0.0	8 66.7	2 16.7	0 0.0	2 16.7	0 0.0	0 58.3	7 8.3	0 0.0	1 8.3	1 16.7	2 25.0
答えたくない	32 100.0	1 3.1	1 3.1	23 71.9	0 0.0	0 0.0	7 21.9	1 3.1	0 0.0	19 59.4	4 12.5	0 0.0	4 25.0	1 3.1	1 3.1	19 59.4	3 9.4	2 6.3	6 18.8	0 0.0
無回答	8 100.0	0 0.0	0 0.0	5 62.5	0 0.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	5 62.5	0 0.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0	3 37.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0

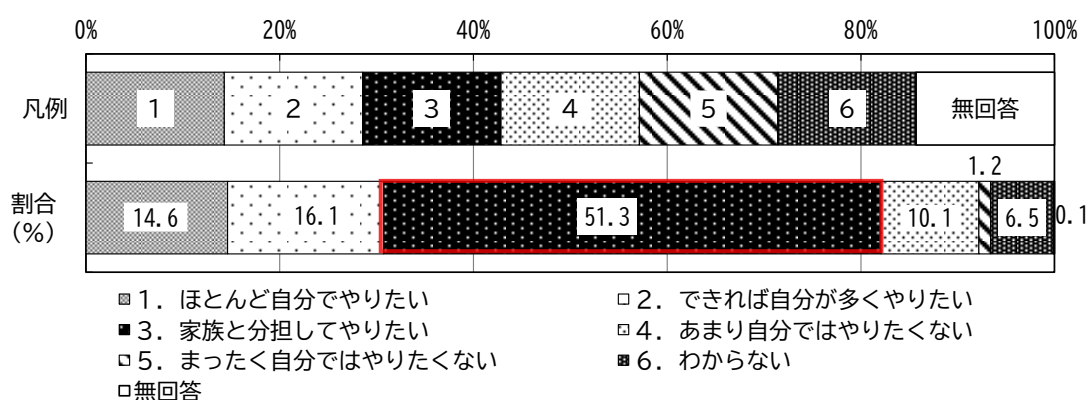
上段:度数 下段:横%	合計	⑦家庭内でのお手伝いのとき					
		1. 男性の方が非常に優遇されている	2. どちらかといえば男性が優遇されている	3. 平等	4. どちらかといえば女性が優遇されている	5. 女性の方が非常に優遇されている	6. わからない
全体	725 100.0	13 1.8	48 6.6	478 65.9	20 2.8	17 2.3	149 20.6
男性	307 100.0	0 0.0	12 3.9	210 68.4	9 2.9	8 2.6	68 22.1
女性	366 100.0	11 3.0	33 9.0	236 64.5	11 3.0	9 2.5	66 18.0
その他	12 100.0	1 8.3	0 0.0	8 66.7	0 0.0	0 0.0	3 25.0
答えたくない	32 100.0	1 3.1	1 3.1	21 65.6	0 0.0	0 0.0	9 28.1
無回答	8 100.0	0 0.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	3 37.5

問2. あなたは大人になったときに、家事（食事のしたく、そうじ、洗濯など）を、どのくらい自分でやりたいと思いますか。最も近いものを1つだけ選んでください。※どの答えも正しい・間違っているということはありません。あなたが今の時点でどう思うかを選んでください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. ほとんど自分でやりたい | 2. できれば自分が多くやりたい |
| 3. 家族と分担してやりたい | 4. あまり自分ではやりたくない |
| 5. まったく自分ではやりたくない | 6. わからない |

大人になったときに、家事を、どのくらい自分でやりたいと思うかを尋ねたところ、「3. 家族と分担してやりたい」が51.3%と最も高く、次いで、「2. できれば自分が多くやりたい」が16.1%、「1. ほとんど自分でやりたい」が14.6%となっている。

問2 大人になったときに家事を、どのくらい自分でやりたいと思うか



問2 大人になったときに、家事を、どのくらい自分でやりたいと思うか × 性別 (単数回答)

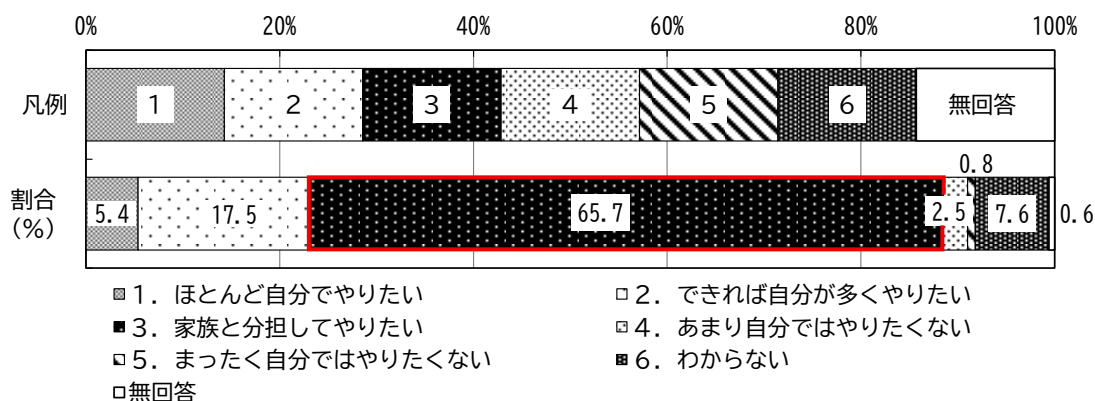
	合計	1. ほとんど自分でやりたい	2. できれば自分が多くやりたい	3. 家族と分担してやりたい	4. あまり自分ではやりたくない	5. まったく自分ではやりたくない	6. わからない	無回答
全体	725 100.0	106 14.6	117 16.1	372 51.3	73 10.1	9 1.2	47 6.5	1 0.1
男性	307 100.0	58 18.9	66 21.5	135 44.0	29 9.4	1 0.3	18 5.9	0 0.0
女性	366 100.0	41 11.2	43 11.7	218 59.6	40 10.9	8 2.2	16 4.4	0 0.0
その他	12 100.0	3 25.0	1 8.3	5 41.7	1 8.3	0 0.0	2 16.7	0 0.0
答えたくない	32 100.0	2 6.3	6 18.8	11 34.4	3 9.4	0 0.0	10 31.3	0 0.0
無回答	8 100.0	2 25.0	1 12.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5

問3. あなたが将来、子どもを育てることになったら、子育てをどのくらい自分でやりたいと思いますか。最も近いものを1つだけ選んでください。※子どもを持つ／持たないは人それぞれですが、「もしそうになったら」と考えて選んでください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. ほとんど自分でやりたい | 2. できれば自分が多くやりたい |
| 3. 家族と分担してやりたい | 4. あまり自分ではやりたくない |
| 5. まったく自分ではやりたくない | 6. わからない |

将来、子どもを育てることになったら、子育てをどのくらい自分でやりたいと思うかを尋ねたところ、「3. 家族と分担してやりたい」が65.7%と最も高く、次いで、「2. できれば自分が多くやりたい」が17.5%、「1. ほとんど自分でやりたい」が5.4%となっている。

問3 子どもを育てることになったら、子育てをどのくらい自分でやりたいと思うか



問3 将来、子どもを育てることになったら、子育てをどのくらい自分でやりたいか × 性別 (単数回答)

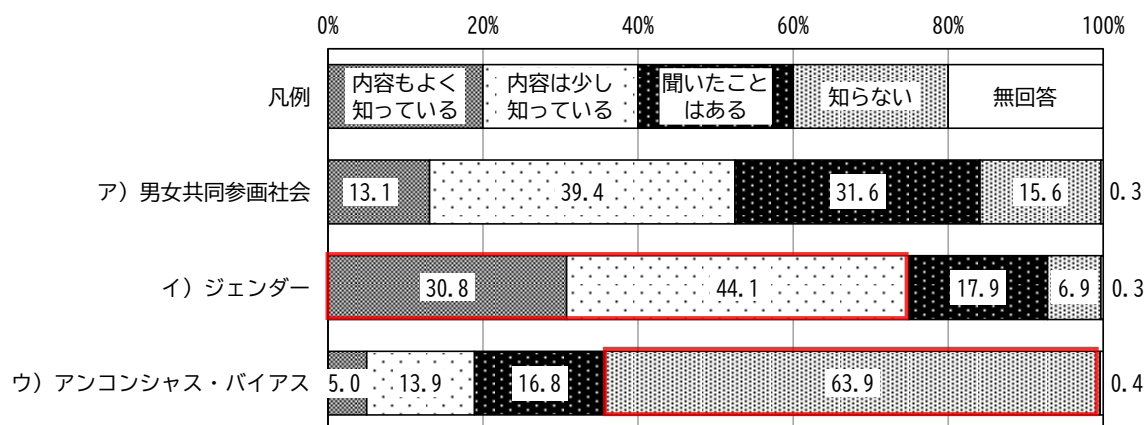
	上段: 度数 下段: 横%	合計	1. ほとん	2. でき	3. 家族	4. あま	5. まっ	6. わか	無回答
			んど自	れば自	と分担	り自	たく自	らな	
			でやり	が自分	してや	りた	く自分	い	
			たい	が多く	りた	く	ではや		
			い	や	たい	く	りた		
			い	り	い	く	く		
全体	725	39	127	476	18	6	55	4	
	100.0	5.4	17.5	65.7	2.5	0.8	7.6	0.6	
男性	307	18	74	176	8	0	30	1	
	100.0	5.9	24.1	57.3	2.6	0.0	9.8	0.3	
女性	366	16	45	277	7	5	15	1	
	100.0	4.4	12.3	75.7	1.9	1.4	4.1	0.3	
その他	12	2	1	6	0	0	3	0	
	100.0	16.7	8.3	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	
答えたくない	32	2	5	14	3	1	6	1	
	100.0	6.3	15.6	43.8	9.4	3.1	18.8	3.1	
無回答	8	1	2	3	0	0	1	1	
	100.0	12.5	25.0	37.5	0.0	0.0	12.5	12.5	

問4. あなたは次の言葉を知っていますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	内容もよく知っている	内容は少し知っている	聞いたことはある	知らない
ア) 男女共同参画社会	1	2	3	4
イ) ジェンダー	1	2	3	4
ウ) アンコンシャス・バイアス	1	2	3	4

男女共同参画に関する語句の認知状況について、「イ) ジェンダー」については、『知っている』（「内容もよく知っている」+「内容は少し知っている」）が74.9%であり、「聞いたことはある」（17.9%）をあわせると92.8%と認知度が高くなっている。「ア) 男女共同参画社会」を『知っている』割合は52.5%となっている。一方で、「知らない」をみると、「ウ) アンコンシャス・バイアス」が63.9%と高くなっている。

問4 言葉の認知度



問4 言葉の認知度 × 性別

(単数回答)

上段:度数 下段:横%	合計	ア) 男女共同参画社会					イ) ジェンダー					ウ) アンコンシャス・バイアス				
		1. 内容もよく知っている	2. 内容は少し知っている	3. 聞いたことはある	4. 知らない	無回答	1. 内容もよく知っている	2. 内容は少し知っている	3. 聞いたことはある	4. 知らない	無回答	1. 内容もよく知っている	2. 内容は少し知っている	3. 聞いたことはある	4. 知らない	無回答
全体	725	95	286	229	113	2	223	320	130	50	2	36	101	122	463	3
	100.0	13.1	39.4	31.6	15.6	0.3	30.8	44.1	17.9	6.9	0.3	5.0	13.9	16.8	63.9	0.4
男性	307	44	114	90	59	0	83	128	66	29	1	15	52	56	183	1
	100.0	14.3	37.1	29.3	19.2	0.0	27.0	41.7	21.5	9.4	0.3	4.9	16.9	18.2	59.6	0.3
女性	366	46	156	124	40	0	129	178	50	9	0	19	43	55	249	0
	100.0	12.6	42.6	33.9	10.9	0.0	35.2	48.6	13.7	2.5	0.0	5.2	11.7	15.0	68.0	0.0
その他	12	2	5	2	2	1	4	3	2	3	0	1	2	4	5	0
	100.0	16.7	41.7	16.7	16.7	8.3	33.3	25.0	16.7	25.0	0.0	8.3	16.7	33.3	41.7	0.0
答えたくない	32	2	10	9	11	0	6	8	9	9	0	1	4	6	20	1
	100.0	6.3	31.3	28.1	34.4	0.0	18.8	25.0	28.1	28.1	0.0	3.1	12.5	18.8	62.5	3.1
無回答	8	1	1	4	1	1	1	3	3	0	1	0	0	1	6	1
	100.0	12.5	12.5	50.0	12.5	12.5	12.5	37.5	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	75.0	12.5

3) ジェンダーステレオタイプ（性別による偏見・固定観念）について

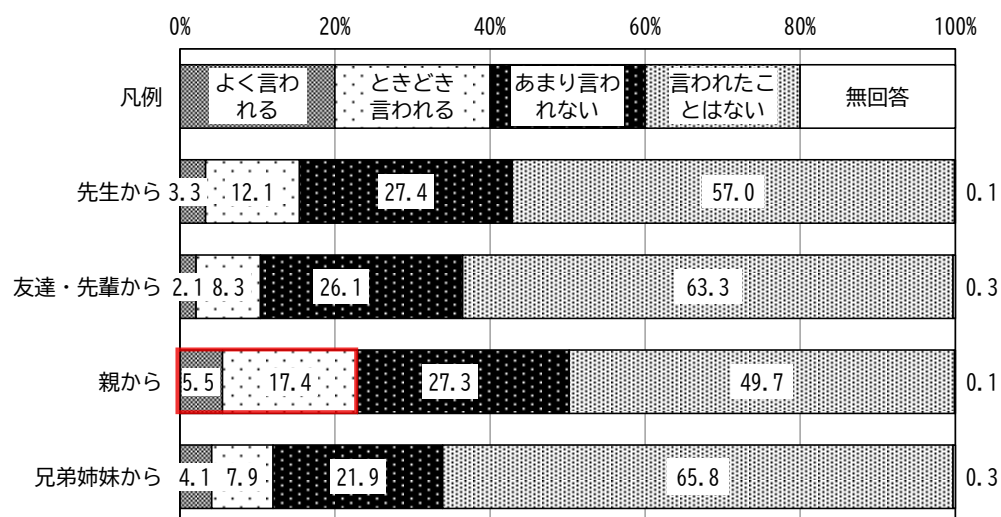
問5. あなたは、高校や家庭で「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	言われたことはない
先生から	1	2	3	4
友達・先輩から	1	2	3	4
親から	1	2	3	4
兄弟姉妹から	1	2	3	4

高校や家庭で「男／女だから〇〇しなさい」と言われた経験を尋ねたところ、それぞれ「言われたことはない」が最も高くなっている。

『言われる』（「よく言われる」＋「ときどき言われる」）の割合をみると、「親から」が22.9%とほかの項目より高くなっている。

問5 高校や家庭で「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われること



問5 ジェンダーステレオタイプ（性別による偏見・固定観念） × 性別 (単数回答)

上段:度数 下段:横%	合計	先生から					友達・先輩から				
		1. よく言われる	2. ときどき言われる	3. あまり言われない	4. 言われたことはない	無回答	1. よく言われる	2. ときどき言われる	3. あまり言われない	4. 言われたことはない	無回答
全体	725 100.0	24 3.3	88 12.1	199 27.4	413 57.0	1 0.1	15 2.1	60 8.3	189 26.1	459 63.3	2 0.3
男性	307 100.0	11 3.6	33 10.7	78 25.4	185 60.3	0 0.0	10 3.3	31 10.1	86 28.0	179 58.3	1 0.3
女性	366 100.0	10 2.7	47 12.8	110 30.1	199 54.4	0 0.0	2 0.5	24 6.6	89 24.3	251 68.6	0 0.0
その他	12 100.0	1 8.3	2 16.7	2 16.7	7 58.3	0 0.0	1 8.3	2 16.7	2 16.7	7 58.3	0 0.0
答えたくない	32 100.0	2 6.3	4 12.5	7 21.9	19 59.4	0 0.0	2 6.3	3 9.4	10 31.3	17 53.1	0 0.0
無回答	8 100.0	0 0.0	2 25.0	2 25.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	5 62.5	1 12.5

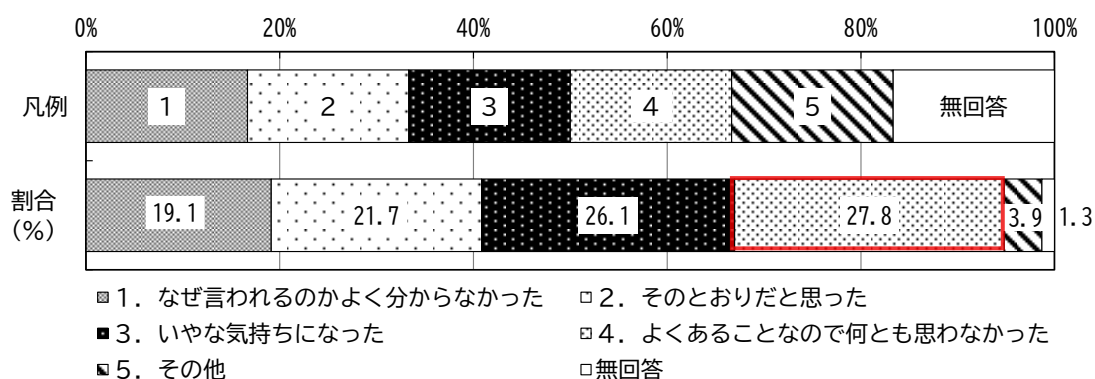
上段:度数 下段:横%	合計	親から					兄弟姉妹から				
		1. よく言われる	2. ときどき言われる	3. あまり言われない	4. 言われたことはない	無回答	1. よく言われる	2. ときどき言われる	3. あまり言われない	4. 言われたことはない	無回答
全体	725 100.0	40 5.5	126 17.4	198 27.3	360 49.7	1 0.1	30 4.1	57 7.9	159 21.9	477 65.8	2 0.3
男性	307 100.0	18 5.9	39 12.7	82 26.7	168 54.7	0 0.0	19 6.2	18 5.9	69 22.5	201 65.5	0 0.0
女性	366 100.0	20 5.5	73 19.9	101 27.6	172 47.0	0 0.0	7 1.9	33 9.0	77 21.0	249 68.0	0 0.0
その他	12 100.0	1 8.3	3 25.0	2 16.7	6 50.0	0 0.0	2 16.7	0 0.0	4 33.3	6 50.0	0 0.0
答えたくない	32 100.0	1 3.1	8 25.0	10 31.3	13 40.6	0 0.0	2 6.3	5 15.6	7 21.9	17 53.1	1 3.1
無回答	8 100.0	0 0.0	3 37.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	2 25.0	4 50.0	1 12.5

問6 問5で「よく言われる」「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。あなたはその時どんな気持ちになりましたか。最も近いものを1つだけ選んでください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. なぜ言われるのかよく分からなかった | 2. そのとおりだと思った |
| 3. いやな気持ちになった | 4. よくあることなので何とも思わなかった |
| 5. その他 () | 6. 友達・交際相手 (付き合っている人) |

「よく言われる」または「ときどき言われる」と回答した生徒にその時の気持ちを尋ねたところ、「4. よくあることなので何とも思わなかった」が27.8%と最も割合が高く、次いで「3. いやな気持ちになった」が26.1%、「2. そのとおりだと思った」が21.7%であった。

問6 「よく言われる」「ときどき言われる」その時の気持ち(n=230)



【その他】イライラした(2件)/嫌だとは思わなかったけど言い方を工夫するようにした方が良くと思う(彼氏・彼女を恋人などに)/「まあ思考は人それぞれですからねえ～」と思った/それをしたくなかったりした時、自分は男でもなく女でもなく自分は何者なんだよという気持ちになります/どうでもいい、めんどくさい/冗談を言ってたから、なんとも思わなかった

問6 「よく言われる」「ときどき言われる」その時の気持ち × 性別 (単数回答)

	合計	1. なぜ言われるのかよく分からなかった	2. そのとおりだと思った	3. いやな気持ちになった	4. よくあることなので何とも思わなかった	5. その他	無回答
全体	230	44	50	60	64	9	3
	100.0	19.1	21.7	26.1	27.8	3.9	1.3
男性	85	16	21	21	22	4	1
	100.0	18.8	24.7	24.7	25.9	4.7	1.2
女性	125	25	25	31	37	5	2
	100.0	20.0	20.0	24.8	29.6	4.0	1.6
その他	5	1	2	2	0	0	0
	100.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない	12	2	2	4	4	0	0
	100.0	16.7	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0
無回答	3	0	0	2	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0

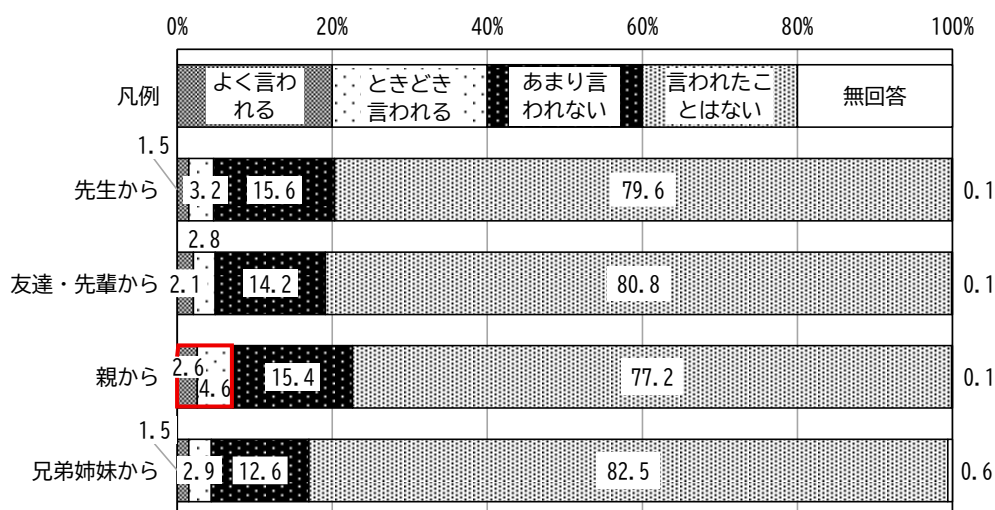
問7. あなたは、自分の希望する進路や就職先について、「男だから／女だから」やめた方がいいと言われたことがありますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	言われたことはない
先生から	1	2	3	4
友達・先輩から	1	2	3	4
親から	1	2	3	4
兄弟姉妹から	1	2	3	4

自分の希望する進路や就職先について、「男だから／女だから」やめた方がいいと言われたことがあるかを尋ねたところ、「言われたことはない」が全ての項目で75%を超えている。

『言われる』（「よく言われる」＋「ときどき言われる」）の割合をみると、「親から」が7.2%とほかの項目より高い傾向がみられる。

問7 希望する進路や就職先について「男だから／女だから」やめた方がいいと言われたこと



問7 自分の希望する進路や就職先について、「男だから/女だから」やめた方がいいと言われたこと× 性別 (単数回答)

上段:度数 下段:横%	合計	先生から					友達・先輩から				
		よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	言われたことはない	無回答	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	言われたことはない	無回答
全体	725 100.0	11 1.5	23 3.2	113 15.6	577 79.6	1 0.1	15 2.1	20 2.8	103 14.2	586 80.8	1 0.1
男性	307 100.0	6 2.0	12 3.9	44 14.3	245 79.8	0 0.0	6 2.0	12 3.9	43 14.0	246 80.1	0 0.0
女性	366 100.0	2 0.5	6 1.6	60 16.4	298 81.4	0 0.0	4 1.1	7 1.9	48 13.1	307 83.9	0 0.0
その他	12 100.0	0 0.0	3 25.0	1 8.3	8 66.7	0 0.0	1 8.3	0 0.0	4 33.3	7 58.3	0 0.0
答えたくない	32 100.0	2 6.3	2 6.3	7 21.9	21 65.6	0 0.0	4 12.5	1 3.1	6 18.8	21 65.6	0 0.0
無回答	8 100.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	5 62.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	5 62.5	1 12.5

上段:度数 下段:横%	合計	親から					兄弟姉妹から				
		よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	言われたことはない	無回答	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	言われたことはない	無回答
全体	725 100.0	19 2.6	33 4.6	112 15.4	560 77.2	1 0.1	11 1.5	21 2.9	91 12.6	598 82.5	4 0.6
男性	307 100.0	6 2.0	11 3.6	43 14.0	247 80.5	0 0.0	3 1.0	10 3.3	39 12.7	255 83.1	0 0.0
女性	366 100.0	8 2.2	17 4.6	59 16.1	282 77.0	0 0.0	5 1.4	8 2.2	43 11.7	310 84.7	0 0.0
その他	12 100.0	0 0.0	1 8.3	4 33.3	7 58.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3	2 16.7	8 66.7	1 8.3
答えたくない	32 100.0	4 12.5	4 12.5	5 15.6	19 59.4	0 0.0	2 6.3	2 6.3	6 18.8	21 65.6	1 3.1
無回答	8 100.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	5 62.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	4 50.0	2 25.0

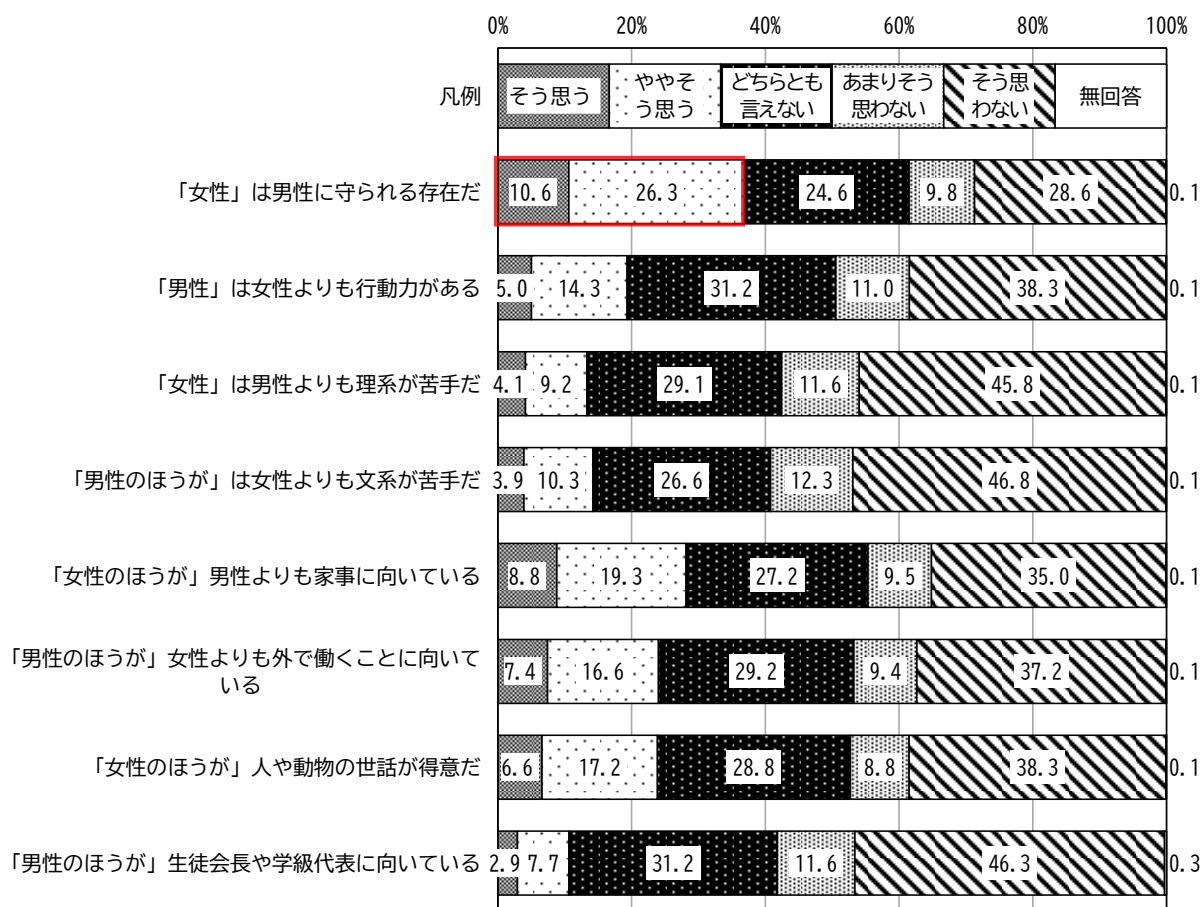
問8. あなたは、「男性」「女性」に関する次のような考え方や意見について、どのように思いますか。
人によって考えが異なるものもあります。あなた自身はどう思うか1つずつ選んでください。

	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない
「女性は」男性に守られる存在だ	1	2	3	4	5
「男性」は女性よりも行動力がある	1	2	3	4	5
「女性」は男性よりも理系が苦手だ	1	2	3	4	5
「男性のほうが」女性よりも文系が苦手だ	1	2	3	4	5
「女性のほうが」男性よりも家事に向いている	1	2	3	4	5
「男性のほうが」女性よりも外で働くことに向いている	1	2	3	4	5
「女性のほうが」人や動物の世話が得意だ	1	2	3	4	5
「男性のほうが」生徒会長や学級代表に向いている	1	2	3	4	5

「男性」「女性」に関する考え方や意見について、『思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）の割合をみると、『女性』は男性に守られる存在だ』が36.9%と最も高く、次いで『女性のほうが』男性よりも家事に向いている』が28.1%となっている。

一方、『思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）の割合をみると、『女性』は男性よりも理系が苦手だ』『男性のほうが』女性よりも文系が苦手だ』『男性のほうが』生徒会長や学級代表に向いている』が約6割を占めている。

問8 「男性」「女性」に関する考え方について



問8 「男性」「女性」に関する考え方について × 性別

(単数回答)

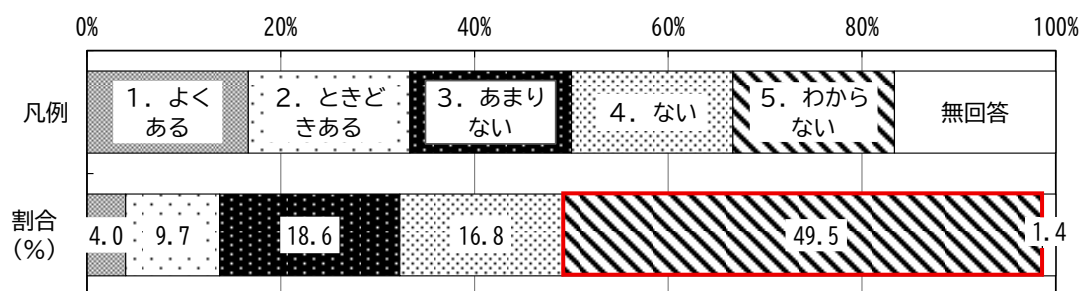
上段:度数 下段:横%	合計	女性は男性に守られる存在だ						男性は女性よりも行動力がある						女性は男性よりも理系が苦手だ					
		そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	725 100.0	77 10.6	191 26.3	178 24.6	71 9.8	207 28.6	1 0.1	36 5.0	104 14.3	226 31.2	80 11.0	278 38.3	1 0.1	30 4.1	67 9.2	211 29.1	84 11.6	332 45.8	1 0.1
男性	307 100.0	41 13.4	73 23.8	74 24.1	24 7.8	95 30.9	0 0.0	21 6.8	39 12.7	98 31.9	28 9.1	121 39.4	0 0.0	16 5.2	23 7.5	92 30.0	26 8.5	150 48.9	0 0.0
女性	366 100.0	31 8.5	113 30.9	93 25.4	42 11.5	87 23.8	0 0.0	10 2.7	59 16.1	116 31.7	48 13.1	133 36.3	0 0.0	12 3.3	41 11.2	104 28.4	52 14.2	157 42.9	0 0.0
その他	12 100.0	0 0.0	2 16.7	3 25.0	1 8.3	6 50.0	0 0.0	1 8.3	3 25.0	2 16.7	1 8.3	5 41.7	0 0.0	1 8.3	0 0.0	4 33.3	1 8.3	6 50.0	0 0.0
答えたくない	32 100.0	3 9.4	3 9.4	7 21.9	3 9.4	16 50.0	0 0.0	3 9.4	2 6.3	7 21.9	2 6.3	18 56.3	0 0.0	1 3.1	2 6.3	7 21.9	4 12.5	18 56.3	0 0.0
無回答	8 100.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	4 50.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5
上段:度数 下段:横%	合計	男性のほうが女性よりも文系が苦手だ						女性のほうが男性よりも家事に向いている						男性のほうが女性よりも外で働くことに向いている?					
		そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	725 100.0	28 3.9	75 10.3	193 26.6	89 12.3	339 46.8	1 0.1	64 8.8	140 19.3	197 27.2	69 9.5	254 35.0	1 0.1	54 7.4	120 16.6	212 29.2	68 9.4	270 37.2	1 0.1
男性	307 100.0	14 4.6	29 9.4	85 27.7	27 8.8	152 49.5	0 0.0	29 9.4	51 16.6	86 28.0	25 8.1	116 37.8	0 0.0	34 11.1	53 17.3	84 27.4	18 5.9	118 38.4	0 0.0
女性	366 100.0	13 3.6	42 11.5	96 26.2	53 14.5	162 44.3	0 0.0	31 8.5	79 21.6	106 29.0	37 10.1	113 30.9	0 0.0	19 5.2	63 17.2	115 31.4	41 11.2	128 35.0	0 0.0
その他	12 100.0	0 0.0	0 0.0	4 33.3	2 16.7	6 50.0	0 0.0	2 16.7	1 8.3	2 16.7	0 0.0	7 58.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3	2 16.7	2 16.7	7 58.3	0 0.0
答えたくない	32 100.0	1 3.1	3 9.4	5 15.6	5 15.6	18 56.3	0 0.0	2 6.3	6 18.8	2 6.3	5 15.6	17 53.1	0 0.0	1 3.1	3 9.4	8 25.0	6 18.8	14 43.8	0 0.0
無回答	8 100.0	0 0.0	1 12.5	3 37.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	3 37.5	1 12.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	3 37.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5
上段:度数 下段:横%	合計	「女性のほうが」人や動物の世話が得意だ						「男性のほうが」生徒会長や学級代表に向いている											
		そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答						
全体	725 100.0	48 6.6	125 17.2	209 28.8	64 8.8	278 38.3	1 0.1	21 2.9	56 7.7	226 31.2	84 11.6	336 46.3	2 0.3						
男性	307 100.0	28 9.1	42 13.7	89 29.0	21 6.8	127 41.4	0 0.0	10 3.3	21 6.8	96 31.3	28 9.1	151 49.2	1 0.3						
女性	366 100.0	19 5.2	79 21.6	106 29.0	37 10.1	125 34.2	0 0.0	10 2.7	30 8.2	116 31.7	50 13.7	160 43.7	0 0.0						
その他	12 100.0	0 0.0	1 8.3	4 33.3	0 0.0	7 58.3	0 0.0	0 0.0	3 25.0	2 16.7	0 0.0	7 58.3	0 0.0						
答えたくない	32 100.0	1 3.1	3 9.4	6 18.8	5 15.6	17 53.1	0 0.0	1 3.1	2 6.3	9 28.1	5 15.6	15 46.9	0 0.0						
無回答	8 100.0	0 0.0	0 0.0	4 50.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	3 37.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5						

問9. あなたは、ジェンダーステレオタイプ（性別による偏見・固定概念）が、自分の可能性を狭めていると感じることがありますか。

1. よくある	2. ときどきある	3. あまりない
4. ない	5. わからない（意識したことがない）	

ジェンダーステレオタイプが、自分の可能性を狭めているかを尋ねると、「5. わからない（意識したことがない）」が49.5%と最も割合が高く、次いで「3. あまりない」が18.6%、「4. ない」が16.8%となっている。一方で、『ある』（「1. よくある」+「2. ときどきある」）割合は13.7%となっている。

問9 ジェンダーステレオタイプが、自分の可能性を狭めていると感じることがあるか



問9 ジェンダーステレオタイプが、自分の可能性を狭めていると感じること×性別（単数回答）

	合計	性別					
		1. よくある	2. ときどきある	3. あまりない	4. ない	5. わからない（意識したことがない）	無回答
全体	725 100.0	29 4.0	70 9.7	135 18.6	122 16.8	359 49.5	10 1.4
1. 男性	307 100.0	9 2.9	35 11.4	50 16.3	51 16.6	155 50.5	7 2.3
2. 女性	366 100.0	16 4.4	31 8.5	74 20.2	67 18.3	177 48.4	1 0.3
3. その他	12 100.0	1 8.3	0 0.0	4 33.3	0 0.0	7 58.3	0 0.0
4. 答えたくない	32 100.0	2 6.3	3 9.4	5 15.6	4 12.5	17 53.1	1 3.1
無回答	8 100.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	0 0.0	3 37.5	1 12.5

問 10. 「男の子/女の子だから」何かを言われたりやらされたりした経験や、学校や家庭において性別によって差がある（一方に有利/不利）と感じることがあればご自由にお書きください。

学校制度・校則・設備・教師対応の男女差（7件）	
70.	男女の差がたまに違うなど感じる
71.	中学生の時に男子だけ着替えがガラス張りの教室だった
72.	コンビニのトイレに入る時、男子トイレと共用トイレの2つしかなくて、お腹が痛い時に困った
73.	差は感じる
74.	女子生徒は制服のズボンをはいたりするが、男子生徒はスカートに抵抗があるイメージ。あと、着替えの際に男子はほぼ隠されない
75.	学校のトイレ工事中の期間中、男子の更衣所を女子が使い、男子はカーテンのない教室で着替えさせられた。
76.	顧問の先生が年末の部活で「女の子はお家の手伝いで忙しいから部活はお休みにしようね」とあたりまえのように言われたことにイラッとしたり、気持ち悪く感じた
家庭内の性別役割分担（6件）	
77.	3兄弟の中の男一人のお兄ちゃんはやっぱ女の子より結構甘やかされてると思う
78.	長男だから仏壇を継げと言われた
79.	女の子だから家事やりなさいと自分だけたくさん家事を押し付けられて、少しでもできていなかったら怒られる
80.	女だから家事やるべきみたいな
81.	男は台所には行ってはいけないと言われた
82.	親戚で集まりがあった時、「女の子たちこれ運んで」、「食器洗って」と女の子だけ呼ばれて、お手伝いを頼まれる。男の子はみんなゲームをしたりしている。
男子/女子の固定観念（5件）	
83.	とっつぁんに「髪切れ」だの「髪結ぶな」だの「男だろ強うなれ」だの言われた
84.	女の子だから整理整頓ができてあたりまえと言われた
85.	選択肢がせまくなる気がする
86.	男の子だから泣くとか、小学校のときに先生か誰かに言われた覚えがある。その時は「男の子だからってそういうのやめてくれないかな、そういうの嫌なんだけど」って言った
87.	性別は関係ない
力仕事・雑務・学校内役割の偏り（5件）	
88.	何か物運ぶ系
89.	男は荷物運びをしないといけない
90.	力仕事
91.	男だから荷物持てとか、更衣室使えないとかは意味がわかりません。改善求む
92.	重い荷物はだいたい男性のほうが持っていることが多いと思った
外見・ふるまい・自己表現への規範（3件）	
93.	女の子だから清潔にきなさいとか股閉じなさいとか関係ない
94.	声の低さとかやはり肉体的な強さで男の方が怖く感じる
95.	祖母に女の子なんだからお手伝いしなさいって言われて嫌な気持ちになった。自分にもやるべきがあり、もっと暇な時間を持って余している人にも分担してやってもらいたい
恋愛・対人関係・部活動などでの性役割期待（3件）	
96.	男性が男性を好きなことに反対している人がいたが、自由でいいと思った
97.	女に暴力振るうなってのは、向こうが先にやった場合許せ
98.	スポーツ面で感じる事がある
その他（5件）	
99.	ジタバタした

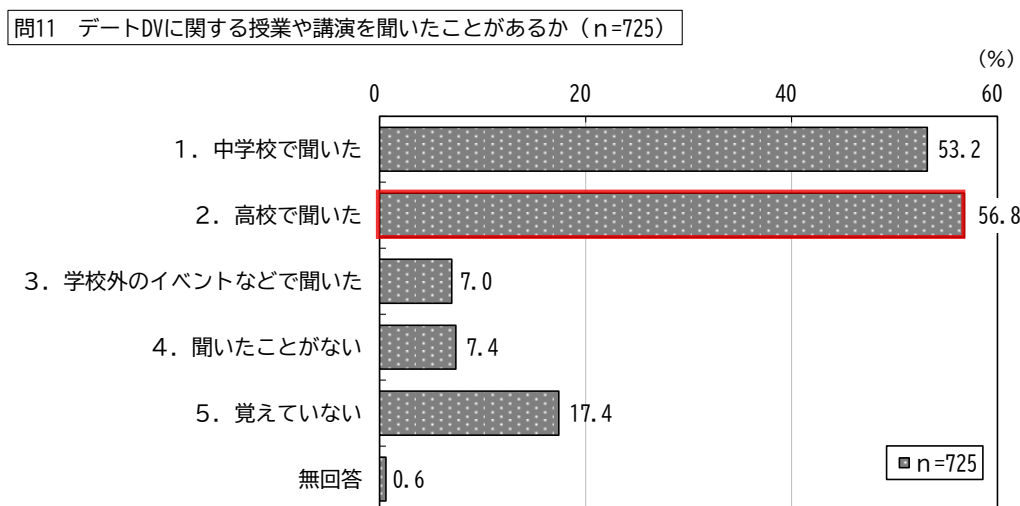
100.	覚えてないけどめっちゃある
101.	痴漢は男が圧倒的に不利
102.	保健の先生がハラスメントに近いことをしていたのを見た
103.	感じない

4) デートDV（交際相手からの暴力）について

問 11. あなたはこれまでに、デートDVに関する授業や講演を聞いたことがありますか。

1. 中学校で聞いた	2. 高校で聞いた
3. 学校外のイベントなどで聞いた	4. 聞いたことがない
5. 覚えていない	

デートDVに関する授業や講演を聞いたことがあるか尋ねると、「2. 高校で聞いた」が56.8%と最も割合が高く、次いで「1. 中学校で聞いた」が53.2%となっている。



問11 これまでに、デートDVに関する授業や講演を聞いたことがあるか×性別（複数回答）

	1. 中学校で聞いた	2. 高校で聞いた	3. 学校外のイベントなどで聞いた	4. 聞いたことがない	5. 覚えていない	無回答
全体 (n=725)	386 53.2	412 56.8	51 7.0	54 7.4	126 17.4	4 0.6
男性 (n=307)	158 51.5	156 50.8	24 7.8	28 9.1	63 20.5	1 0.3
女性 (n=366)	211 57.7	235 64.2	23 6.3	24 6.6	43 11.7	1 0.3
その他 (n=12)	4 33.3	7 58.3	0 0.0	0 0.0	3 25.0	0 0.0
答えたくない (n=32)	7 21.9	10 31.3	3 9.4	2 6.3	17 53.1	1 3.1
無回答 (n=8)	6 75.0	4 50.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5

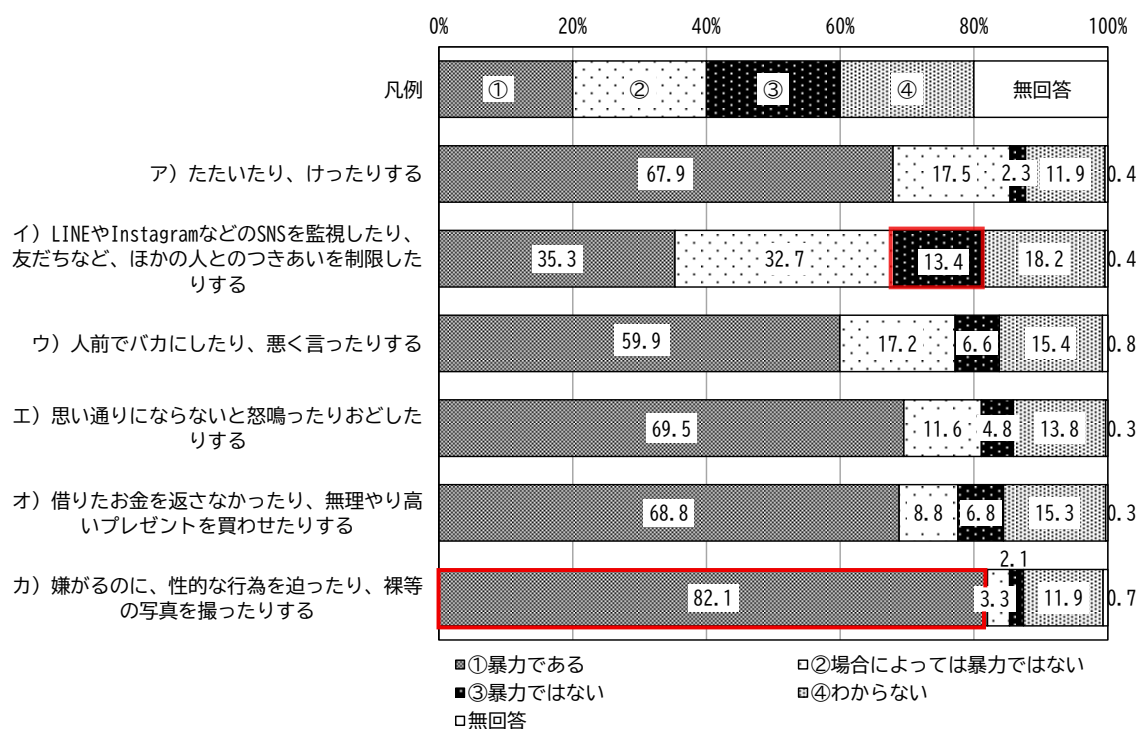
問 12 あなたは、交際している（付き合っている）2人の間で以下のようなことをする/されるとき、暴力だと思いますか。あなた自身がどう思うか1つずつ選んでください。

	暴力である	場合によっては暴力ではない	暴力ではない	わからない
ア) たたいたり、けったりする	1	2	3	4
イ) LINE や Instagram などの SNS を監視したり、友だちなど、ほかの人とのつきあいを制限したりする	1	2	3	4
ウ) 人前でバカにしたり、悪く言ったりする	1	2	3	4
エ) 思い通りにならないと怒鳴ったりおどしたりする	1	2	3	4
オ) 借りたお金を返さなかったり、無理やり高いプレゼントを買わせたりする	1	2	3	4
カ) 嫌がるのに、性的な行為を迫ったり、裸等の写真を撮ったりする	1	2	3	4

暴力だと思う行動について、「①暴力である」をみると、「カ) 嫌がるのに、性的な行為を迫ったり、裸等の写真を撮ったりする」が82.1%と最も割合が高く、次いで「オ) 借りたお金を返さなかったり、無理やり高いプレゼントを買わせたりする」が68.8%、「ア) たたいたり、けったりする」が67.9%、「エ) 思い通りにならないと怒鳴ったりおどしたりする」が69.5%となっている。

一方で、「③暴力ではない」をみると、「イ) LINE や Instagram などの SNS を監視したり、友だちなど、ほかの人とのつきあいを制限したりする」が13.4%と最も割合が高くなっている。

問12 交際している（付き合っている）2人の間で暴力だと思うこと



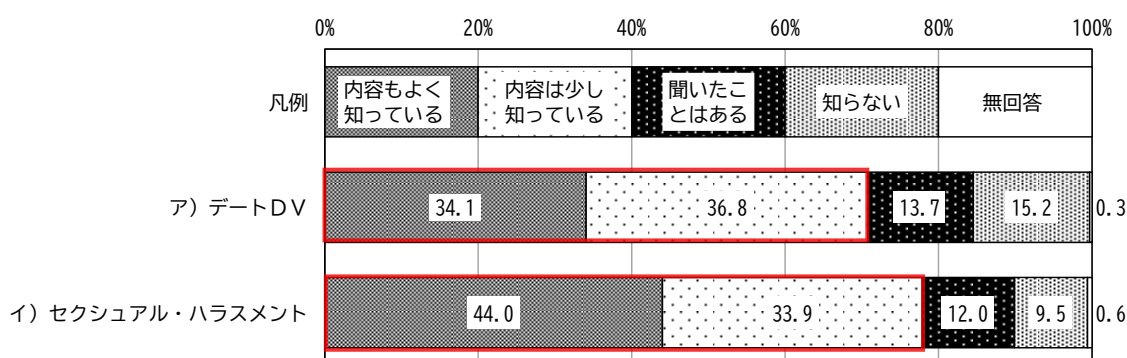
上段:度数 下段:横%	合計	ア) たたいたり、けったりする					イ) LINEやInstagramなどのSNSを監視したり、友だちなど、ほかの人とのつきあいを制限したりする					ウ) 人前でバカにしたり、悪く言ったりする				
		暴力である	場合によっては暴力でない	暴力でない	わからない	無回答	暴力である	場合によっては暴力でない	暴力でない	わからない	無回答	暴力である	場合によっては暴力でない	暴力でない	わからない	無回答
全体	725 100.0	492 67.9	127 17.5	17 2.3	86 11.9	3 0.4	256 35.3	237 32.7	97 13.4	132 18.2	3 0.4	434 59.9	125 17.2	48 6.6	112 15.4	6 0.8
男性	307 100.0	216 70.4	39 12.7	7 2.3	45 14.7	0 0.0	99 32.2	104 33.9	40 13.0	64 20.8	0 0.0	175 57.0	57 18.6	19 6.2	54 17.6	2 0.7
女性	366 100.0	255 69.7	82 22.4	4 1.1	24 6.6	1 0.3	145 39.6	121 33.1	50 13.7	49 13.4	1 0.3	244 66.7	58 15.8	25 6.8	39 10.7	0 0.0
その他	12 100.0	4 33.3	2 16.7	3 25.0	3 25.0	0 0.0	1 8.3	3 25.0	4 33.3	4 33.3	0 0.0	2 16.7	4 33.3	2 16.7	3 25.0	1 8.3
答えたくない	32 100.0	13 40.6	1 3.1	3 9.4	14 43.8	1 3.1	8 25.0	5 15.6	3 9.4	15 46.9	1 3.1	8 25.0	4 12.5	2 6.3	16 50.0	2 6.3
無回答	8 100.0	4 50.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	3 37.5	4 50.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	5 62.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
上段:度数 下段:横%	合計	エ) 思い通りにならないと怒鳴ったりおどしたりする					オ) 借りたお金を返さなかったり、無理やり高いプレゼントを買わせたりする					カ) 嫌がるのに、性的な行為を迫ったり、裸等の写真を撮ったりする				
		暴力である	場合によっては暴力でない	暴力でない	わからない	無回答	暴力である	場合によっては暴力でない	暴力でない	わからない	無回答	暴力である	場合によっては暴力でない	暴力でない	わからない	無回答
全体	725 100.0	504 69.5	84 11.6	35 4.8	100 13.8	2 0.3	499 68.8	64 8.8	49 6.8	111 15.3	2 0.3	595 82.1	24 3.3	15 2.1	86 11.9	5 0.7
男性	307 100.0	204 66.4	40 13.0	15 4.9	48 15.6	0 0.0	206 67.1	29 9.4	20 6.5	52 16.9	0 0.0	244 79.5	9 2.9	7 2.3	45 14.7	2 0.7
女性	366 100.0	278 76.0	39 10.7	14 3.8	35 9.6	0 0.0	273 74.6	30 8.2	22 6.0	41 11.2	0 0.0	326 89.1	11 3.0	5 1.4	24 6.6	0 0.0
その他	12 100.0	4 33.3	1 8.3	5 41.7	2 16.7	0 0.0	5 41.7	1 8.3	4 33.3	2 16.7	0 0.0	5 41.7	3 25.0	2 16.7	2 16.7	0 0.0
答えたくない	32 100.0	13 40.6	2 6.3	1 3.1	15 46.9	1 3.1	11 34.4	3 9.4	2 6.3	15 46.9	1 3.1	15 46.9	0 0.0	1 3.1	14 43.8	2 6.3
無回答	8 100.0	5 62.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	4 50.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	5 62.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5

問13 あなたは次の言葉を知っていますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	内容もよく知っている	内容は少し知っている	聞いたことはある	知らない
ア) デートDV	1	2	3	4
イ) セクシュアル・ハラスメント	1	2	3	4

「ア) デートDV」について、『知っている』（「内容もよく知っている」+「内容は少し知っている」）と回答した生徒は70.9%と高くなっている。また、「イ) セクシュアル・ハラスメント」を『知っている』と回答した生徒は77.9%と認知度が高い傾向となっている。

問13 言葉の認知度



問13 言葉の認知度×性別

(単数回答)

上段:度数 下段:横%	合計	ア) デートDV					イ) セクシュアル・ハラスメント				
		内容もよく知っている	内容は少し知っている	聞いたことはある	知らない	無回答	内容もよく知っている	内容は少し知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体	725	247	267	99	110	2	319	246	87	69	4
	100.0	34.1	36.8	13.7	15.2	0.3	44.0	33.9	12.0	9.5	0.6
男性	307	92	103	51	61	0	128	98	42	39	0
	100.0	30.0	33.6	16.6	19.9	0.0	41.7	31.9	13.7	12.7	0.0
女性	366	144	152	42	28	0	176	140	35	14	1
	100.0	39.3	41.5	11.5	7.7	0.0	48.1	38.3	9.6	3.8	0.3
その他	12	4	3	2	3	0	6	2	1	3	0
	100.0	33.3	25.0	16.7	25.0	0.0	50.0	16.7	8.3	25.0	0.0
答えたくない	32	6	4	3	18	1	8	2	7	13	2
	100.0	18.8	12.5	9.4	56.3	3.1	25.0	6.3	21.9	40.6	6.3
無回答	8	1	5	1	0	1	1	4	2	0	1
	100.0	12.5	62.5	12.5	0.0	12.5	12.5	50.0	25.0	0.0	12.5

5) ネットリテラシー（インターネットの危険性・正しい理解）について

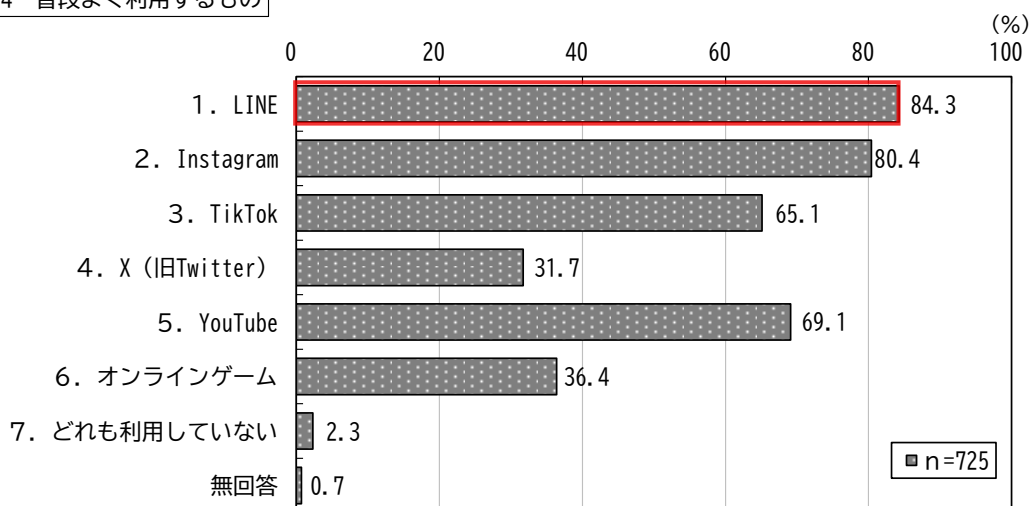
問14. 以下のなかで、あなたが普段よく利用するものはどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. LINE	2. Instagram	3. TikTok
4. X (旧Twitter)	5. YouTube	6. オンラインゲーム
7. どれも利用していない		

普段よく利用する SNS 等をみると、「1. LINE」が 84.3%と最も高く、次いで「2. Instagram」が 80.4%、「5. YouTube」が 69.1%、「3. TikTok」が 65.1%となっている。

一方で、「7. どれも利用していない」は 2.3%であり、97.0%の高校2年生がなんらかのソーシャルメディアを利用している。

問14 普段よく利用するもの



問14 普段よく利用するもの×性別

(複数回答)

	1. LINE	2. Instagram	3. TikTok	4. X (旧Twitter)	5. YouTube	6. オンラインゲーム	7. どれも利用していない	無回答
全体 (n=725)	611 84.3	583 80.4	472 65.1	230 31.7	501 69.1	264 36.4	17 2.3	5 0.7
男性 (n=307)	262 85.3	228 74.3	168 54.7	91 29.6	231 75.2	172 56.0	5 1.6	1 0.3
女性 (n=366)	321 87.7	325 88.8	280 76.5	127 34.7	246 67.2	73 19.9	4 1.1	0 0.0
その他 (n=12)	9 75.0	8 66.7	10 83.3	6 50.0	6 50.0	5 41.7	1 8.3	0 0.0
答えたくない (n=32)	14 43.8	17 53.1	12 37.5	3 9.4	12 37.5	10 31.3	7 21.9	3 9.4
無回答 (n=8)	5 62.5	5 62.5	2 25.0	3 37.5	6 75.0	4 50.0	0 0.0	1 12.5

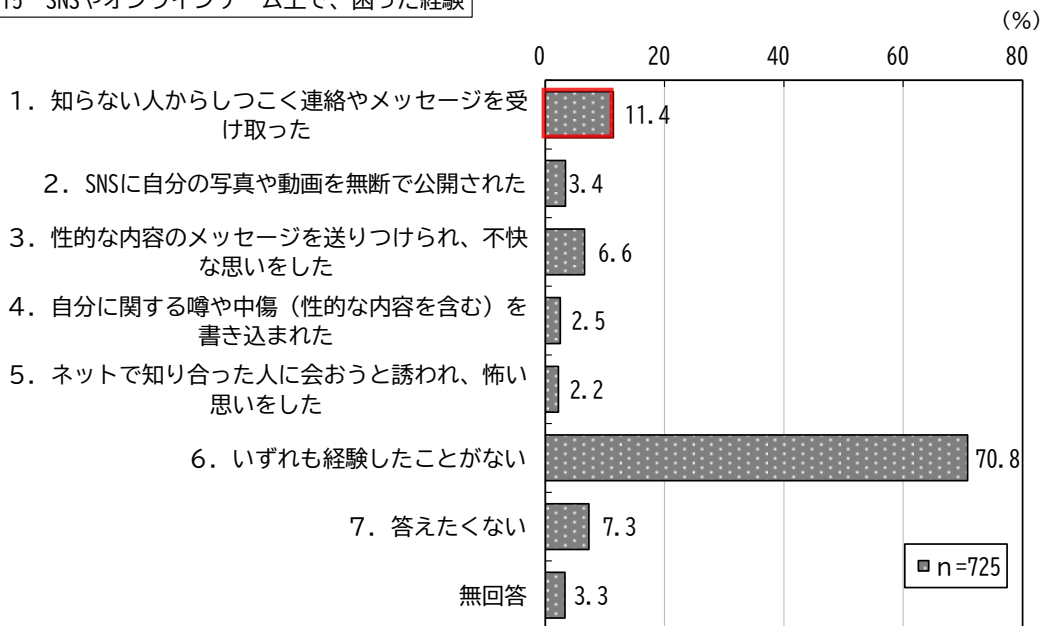
問15. あなたは SNS やオンラインゲーム上で、次のような困った経験がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. 知らない人からしつこく連絡やメッセージを受け取った
2. SNS に自分の写真や動画を無断で公開された
3. 性的な内容のメッセージを送りつけられ、不快な思いをした
4. 自分に関する噂や中傷（性的な内容を含む）を書き込まれた
5. ネットで知り合った人に会おうと誘われ、怖い思いをした
6. いずれも経験したことがない
7. 答えたくない

SNS やオンラインゲーム上での困った経験について、大部分の生徒が「6. いずれも経験したことがない」(70.8%) と回答していた。一方で、何らかの困った経験をしたことがある高校2年生の割合は18.6%と、約5人に1人の割合となっている。

困った経験をした生徒をみると、「1. 知らない人からしつこく連絡やメッセージを受け取った」が11.4%と最も割合が高く、次いで「3. 性的な内容のメッセージを送りつけられ、不快な思いをした」が6.6%であった。

問15 SNSやオンラインゲーム上で、困った経験



問15 SNSやオンラインゲーム上で、困った経験 × 性別

(複数回答)

	1. 知らない人からしつこく連絡やメッセージを受け取った	2. SNSに自分の写真や動画を無断で公開された	3. 性的な内容のメッセージを送りつけられ、不快な思いをした	4. 自分に関する噂や中傷（性的な内容を含む）を書き込まれた	5. ネットで知り合った人に会おうと誘われ、怖い思いをした	6. いずれも経験したことがない	7. 答えたくない	無回答
上段: 度数 下段: 横%								
全体 (n=725)	83 11.4	25 3.4	48 6.6	18 2.5	16 2.2	513 70.8	53 7.3	24 3.3
男性 (n=307)	35 11.4	9 2.9	6 2.0	7 2.3	5 1.6	229 74.6	18 5.9	13 4.2
女性 (n=366)	41 11.2	12 3.3	35 9.6	7 1.9	8 2.2	266 72.7	19 5.2	5 1.4
その他 (n=12)	3 25.0	1 8.3	3 25.0	2 16.7	1 8.3	3 25.0	3 25.0	1 8.3
答えたくない (n=32)	3 9.4	3 9.4	4 12.5	2 6.3	2 6.3	11 34.4	12 37.5	3 9.4
無回答 (n=8)	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 50.0	1 12.5	2 25.0

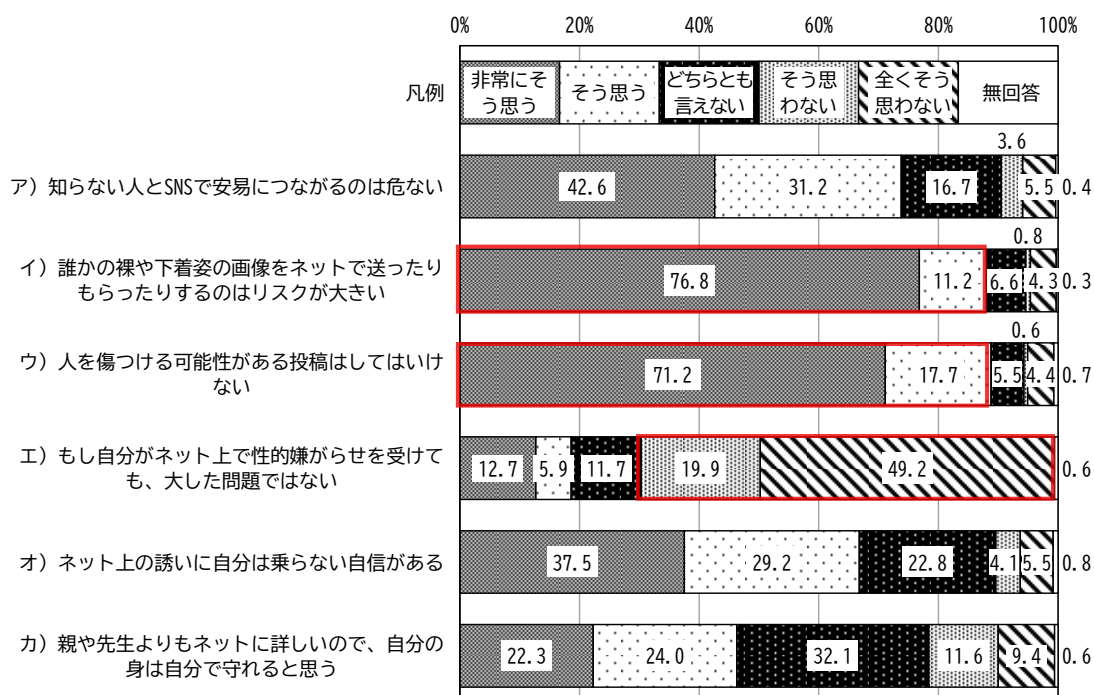
問 16. あなたは、次のような考えについて、どのように思いますか。あなたの思いに近いものをそれぞれ1つ選んでください。

	非常に そう 思う	そう 思う	どちら とも 言え ない	そう 思わ ない	全く そう 思わ ない
ア) 知らない人と SNS で安易につながるのは危 ない	1	2	3	4	5
イ) 誰かの裸や下着姿の画像をネットで送ったり もらったりするのはリスクが大きい	1	2	3	4	5
ウ) 人を傷つける可能性がある投稿はしてはい けない	1	2	3	4	5
エ) もし自分がネット上で性的嫌がらせを受 けても、大した問題ではない	1	2	3	4	5
オ) ネット上の誘いに自分は乗らない自信があ る	1	2	3	4	5
カ) 親や先生よりもネットに詳しいので、自分 の身は自分で守れると思う	1	2	3	4	5

ネットリテラシーについて、「イ) 誰かの裸や下着姿の画像をネットで送ったりもらったりするのはリスクが大きい」と「ウ) 人を傷つける可能性がある投稿はしてはいけない」について、『思う』（「非常にそう思う」＋「そう思う」）と回答した生徒はともに8割以上となっている。

一方、『思わない』（「そう思わない」＋「まったくそう思わない」）と回答した生徒をみると、「エ) もし自分がネット上で性的嫌がらせを受けても、大した問題ではない」が69.1%と最も高い割合となっている。

問16 あなたの思いに近い考え方



問16 あなたの思いに近いもの×性別

(単数回答)

上段:度数	合計	ア) 知らない人とSNSで安易につながるのは危ない						イ) 誰かの裸や下着姿の画像をネットで送ったりもらったりするのはリスクが大きい						ウ) 人を傷つける可能性がある投稿はしてはいけない					
		非常に そう思 う	そう思 う	どちら とも言 えない	そう思 わない	全くそ う思わ ない	無回答	非常に そう思 う	そう思 う	どちら とも言 えない	そう思 わない	全くそ う思わ ない	無回答	非常に そう思 う	そう思 う	どちら とも言 えない	そう思 わない	まった くそう 思わな い	無回答
全体	725 100.0	309 42.6	226 31.2	121 16.7	26 3.6	40 5.5	3 0.4	557 76.8	81 11.2	48 6.6	6 0.8	31 4.3	2 0.3	516 71.2	128 17.7	40 5.5	4 0.6	32 4.4	5 0.7
1. 男性	307 100.0	115 37.5	105 34.2	57 18.6	8 2.6	22 7.2	0 0.0	223 72.6	47 15.3	20 6.5	2 0.7	15 4.9	0 0.0	207 67.4	60 19.5	21 6.8	1 0.3	16 5.2	2 0.7
2. 女性	366 100.0	184 50.3	110 30.1	54 14.8	13 3.6	5 1.4	0 0.0	315 86.1	29 7.9	18 4.9	1 0.3	3 0.8	0 0.0	291 79.5	60 16.4	11 3.0	1 0.3	3 0.8	0 0.0
3. その他	12 100.0	1 8.3	4 33.3	4 33.3	0 0.0	2 16.7	1 8.3	3 25.0	0 0.0	6 50.0	0 0.0	2 16.7	1 8.3	4 33.3	1 8.3	3 25.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3
4. 答えたくない	32 100.0	7 21.9	6 18.8	3 9.4	4 12.5	11 34.4	1 3.1	13 40.6	2 6.3	4 12.5	2 6.3	2 34.4	1 0.0	12 37.5	2 6.3	5 15.6	1 3.1	11 34.4	1 3.1
無回答	8 100.0	2 25.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	3 37.5	3 37.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	2 25.0	5 62.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
上段:度数	合計	エ) もし自分がネット上で性的嫌がらせを受けても、大した問題ではない						オ) ネット上の誘いに自分は乗らない自信がある						カ) 親や先生よりもネットに詳しいので、自分の身は自分で守れると思う					
		非常に そう思 う	そう思 う	どちら とも言 えない	そう思 わない	全くそ う思わ ない	無回答	非常に そう思 う	そう思 う	どちら とも言 えない	そう思 わない	全くそ う思わ ない	無回答	非常に そう思 う	そう思 う	どちら とも言 えない	そう思 わない	全くそ う思わ ない	無回答
全体	725 100.0	92 12.7	43 5.9	85 11.7	144 19.9	357 49.2	4 0.6	272 37.5	212 29.2	165 22.8	30 4.1	40 5.5	6 0.8	162 22.3	174 24.0	233 32.1	84 11.6	68 9.4	4 0.6
1. 男性	307 100.0	46 15.0	25 8.1	47 15.3	70 22.8	119 38.8	0 0.0	111 36.2	86 28.0	73 23.8	13 4.2	21 6.8	3 1.0	73 23.8	81 26.4	96 31.3	27 8.8	29 9.4	1 0.3
2. 女性	366 100.0	38 10.4	12 3.3	30 8.2	67 18.3	218 59.6	1 0.3	155 42.3	113 30.9	82 22.4	12 3.3	4 1.1	0 0.0	81 22.1	89 24.3	122 33.3	51 13.9	23 6.3	0 0.0
3. その他	12 100.0	1 8.3	2 16.7	2 16.7	1 8.3	5 41.7	1 8.3	0 0.0	2 16.7	3 25.0	3 16.7	4 33.3	1 8.3	2 16.7	1 8.3	4 33.3	2 16.7	2 16.7	1 8.3
4. 答えたくない	32 100.0	6 18.8	2 6.3	3 9.4	5 15.6	15 46.9	1 3.1	5 15.6	8 25.0	5 15.6	3 9.4	10 31.3	1 3.1	5 15.6	2 6.3	8 25.0	4 12.5	12 37.5	1 3.1
無回答	8 100.0	1 12.5	2 25.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	3 37.5	2 25.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5	0 0.0	2 25.0	1 12.5

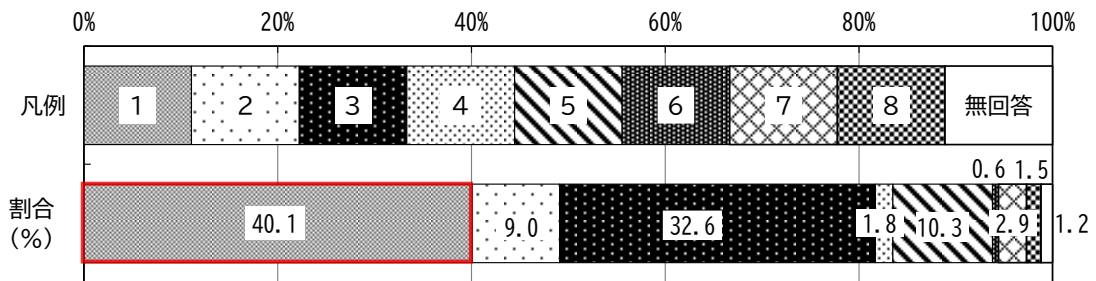
6) 性の多様性について

問17. あなたは、家族や友人など身近な方から性的少数者（セクシュアルマイノリティ）であることを打ち明けられたとしたら、どのように思いますか。（○は1つ）

1. 理解したいと思う	2. 応援したいと思う
3. いままで通り接する	4. 距離を置きたいと思う
5. その時にならないとわからない	6. 一部の人のことで、身近な問題ではない
7. 違和感がある	8. その他（ ）

身近な方から性的少数者であることを打ち明けられた時について、「1. 理解したいと思う」が40.1%と最も割合が高く、次いで「3. いままで通り接する」が32.6%、「5. その時にならないとわからない」が10.3%、「2. 応援したいと思う」が9.0%となっている。

問17 身近な方から性的少数者であることを打ち明けられた時



- 1. 理解したいと思う
- 2. 応援したいと思う
- 3. いままで通り接する
- 4. 距離を置きたいと思う
- 5. その時にならないとわからない
- 6. 一部の人のことで、身近な問題ではない
- 7. 違和感がある
- 8. その他
- 無回答

【その他】何も思わない（3件）/今まで通り接すると言いたいが、確固とした自信はない/その人が今まで通り接して欲しいのか、関わって欲しくないのかを聞いて接し方を変える/それが何か分からないから反応できない/どうでもいい

問17 家族や友人など身近な方から性的少数者であることを打ち明けられたとき×性別 (単数回答)

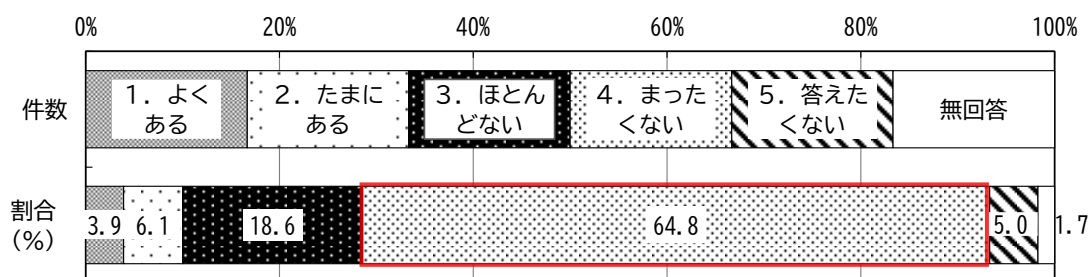
	合計	1. 理解したいと思う	2. 応援したいと思う	3. いままで通り接する	4. 距離を置きたいと思う	5. その時にならないとわからない	6. 一部の人のことで、身近な問題ではない	7. 違和感がある	8. その他	無回答
全体	725	291	65	236	13	75	4	21	11	9
	100.0	40.1	9.0	32.6	1.8	10.3	0.6	2.9	1.5	1.2
1. 男性	307	112	26	103	8	37	2	8	8	3
	100.0	36.5	8.5	33.6	2.6	12.1	0.7	2.6	2.6	1.0
2. 女性	366	163	38	125	2	32	1	1	3	1
	100.0	44.5	10.4	34.2	0.5	8.7	0.3	0.3	0.8	0.3
3. その他	12	5	1	2	0	1	0	1	0	2
	100.0	41.7	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	16.7
4. 答えたくない	32	9	0	4	3	4	0	11	0	1
	100.0	28.1	0.0	12.5	9.4	12.5	0.0	34.4	0.0	3.1
無回答	8	2	0	2	0	1	1	0	0	2
	100.0	25.0	0.0	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0

問18. あなたは今までに、自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などに悩んだことはありますか。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. よくある | 2. たまにある |
| 3. ほとんどない | 4. まったくない |
| 5. 答えたくない | |

自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などに悩んだことがある経験をみると、「4. まったくない」が64.8%と最も高い割合となっている。なお、『ある』（「1. よくある」+「2. たまにある」）と回答した生徒は10.0%（72人）となっている。

問18 からだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などに悩んだこと



問18 からだの性と心の性が異なること等で、悩んだこと × 性別 (単数回答)

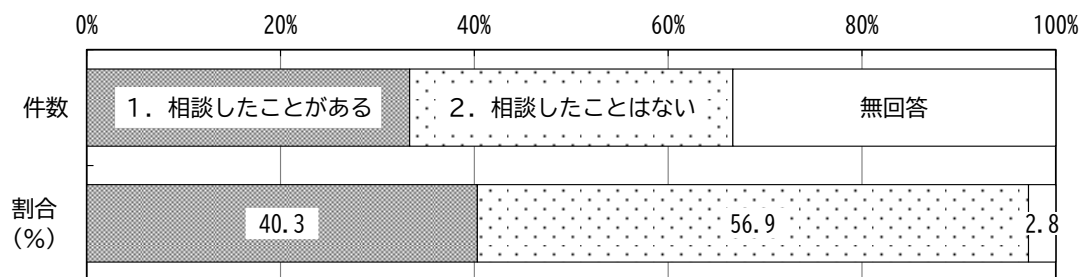
	合計	1. よくある	2. たまにある	3. ほとんどない	4. まったくない	5. 答えたくない	無回答
全体	725 100.0	28 3.9	44 6.1	135 18.6	470 64.8	36 5.0	12 1.7
男性	307 100.0	14 4.6	16 5.2	51 16.6	214 69.7	8 2.6	4 1.3
女性	366 100.0	9 2.5	24 6.6	72 19.7	247 67.5	10 2.7	4 1.1
その他	12 100.0	2 16.7	2 16.7	7 58.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0
答えたくない	32 100.0	3 9.4	2 6.3	4 12.5	5 15.6	17 53.1	1 3.1
無回答	8 100.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5	3 37.5

問 19. 問 18 で「1. よくある」「2. たまにある」と答えた方にお聞きします。悩んでいることを誰かに相談したことはありますか。

1. 相談したことがある	2. 相談したことはない
--------------	--------------

自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などで悩んでいることを誰かに「1. 相談したことがある」と回答した生徒は 40.3% (29 人)、「2. 相談したことはない」と回答した生徒は 56.9% (41 人) となっている。

問19 悩んでいることを誰かに相談したことはあるか(n=72)



問19 悩んでいることを相談したこと × 性別 (単数回答)

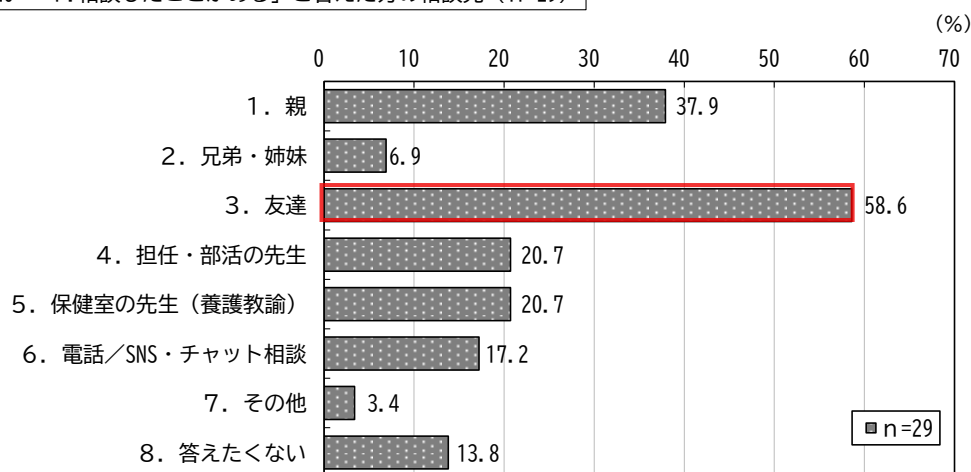
	上段:度数 下段:横%	合計	1. 相談した ことがある	2. 相談した ことはない	無回答
全体	72 100.0	72	29 40.3	41 56.9	2 2.8
男性	30 100.0	30	11 36.7	19 63.3	0 0.0
女性	33 100.0	33	13 39.4	19 57.6	1 3.0
その他	4 100.0	4	3 75.0	0 0.0	1 25.0
答えたくない	5 100.0	5	2 40.0	3 60.0	0 0.0

問 20. 問 19 で「1.相談したことがある」と答えた方にお聞きします。誰に（どこに）相談しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 親 | 2. 兄弟・姉妹 |
| 3. 友達 | 4. 担任・部活の先生 |
| 5. 保健室の先生（養護教諭） | 6. 電話／SNS・チャット相談 |
| 7. その他（ ） | 8. 答えたくない |

自分のからだの性と心の性が異なることや、好きになる相手の性別などで悩んでいることの相談先として、「3. 友達」が58.6%（17人）と最も割合が高く、次いで「1. 親」が37.9%（11人）、「4. 担任・部活の先生」と「5. 保健室の先生（養護教諭）」がともに20.7%（6人）となっている。

問20 「1.相談したことがある」と答えた方の相談先 (n=29)



問20 誰に（どこに）相談したか × 性別

(複数回答)

	1. 親	2. 兄弟・姉妹	3. 友達	4. 担任・部活の先生	5. 保健室の先生（養護教諭）	6. 電話／SNS・チャット相談	7. その他	8. 答えたくない
全体 (n=29)	11 37.9	2 6.9	17 58.6	6 20.7	6 20.7	5 17.2	1 3.4	4 13.8
男性 (n=11)	5 45.5	0 0.0	3 27.3	1 9.1	2 18.2	1 9.1	0 0.0	4 36.4
女性 (n=13)	2 15.4	1 7.7	11 84.6	3 23.1	1 7.7	2 15.4	0 0.0	0 0.0
その他 (n=3)	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
答えたくない (n=2)	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0

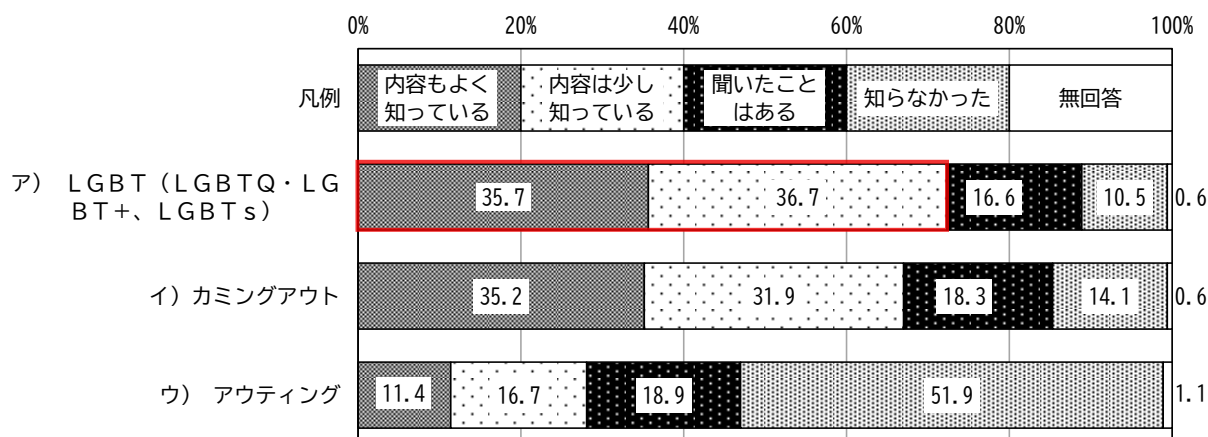
問 21. あなたは次の言葉を知っていますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	内容もよく知っていた	内容は少し知っていた	聞いた事はある	知らなかった
ア) LGBT (LGBTQ・LGBT+、LGBTs)	1	2	3	4
イ) カミングアウト	1	2	3	4
ウ) アウティング	1	2	3	4

性の多様性に関する言葉の認知度について、「ア) LGBT (LGBTQ・LGBT+、LGBTs)」を『知っている』(「内容もよく知っている」+「内容は少し知っている」)割合は72.4%と最も高く、次いで「イ) カミングアウト」が67.1%となっている。

一方、「ウ) アウティング」を『知っている』割合は28.1%と低くなっている。

問21 言葉の認知度



問21 言葉の認知度×性別

(単数回答)

上段:度数	合計	ア) LGBT (LGBTQ・LGBT+、LGBTs)					問21-イ) カミングアウト					問21-ウ) アウティング				
		内容もよく知っていた	内容は少し知っていた	聞いた事はある	知らなかった	無回答	内容もよく知っていた	内容は少し知っていた	聞いた事はある	知らなかった	無回答	内容もよく知っていた	内容は少し知っていた	聞いた事はある	知らなかった	無回答
全体	725	259	266	120	76	4	255	231	133	102	4	83	121	137	376	8
	100.0	35.7	36.7	16.6	10.5	0.6	35.2	31.9	18.3	14.1	0.6	11.4	16.7	18.9	51.9	1.1
男性	307	108	109	56	33	1	86	95	73	52	1	37	53	60	155	2
	100.0	35.2	35.5	18.2	10.7	0.3	28.0	30.9	23.8	16.9	0.3	12.1	17.3	19.5	50.5	0.7
女性	366	143	145	57	21	0	162	123	51	30	0	42	60	70	192	2
	100.0	39.1	39.6	15.6	5.7	0.0	44.3	33.6	13.9	8.2	0.0	11.5	16.4	19.1	52.5	0.5
その他	12	3	5	1	3	0	2	5	3	2	0	1	5	1	5	0
	100.0	25.0	41.7	8.3	25.0	0.0	16.7	41.7	25.0	16.7	0.0	8.3	41.7	8.3	41.7	0.0
答えたくない	32	4	5	3	19	1	4	6	3	18	1	2	2	5	21	2
	100.0	12.5	15.6	9.4	59.4	3.1	12.5	18.8	9.4	56.3	3.1	6.3	6.3	15.6	65.6	6.3
無回答	8	1	2	3	0	2	1	2	3	0	2	1	1	1	3	2
	100.0	12.5	25.0	37.5	0.0	25.0	12.5	25.0	37.5	0.0	25.0	12.5	12.5	12.5	37.5	25.0

8) 調査票

男女共同参画に関する高校生意識調査 調査票

調査票では、「あなた」と「わたし」が組みあがり、またあがり「自分らしく輝くまち」を目指し、ジェンダー平等の実現と性の多様性の尊重に取り組んでいます。

このアンケートを通じて、みなさんの意見や感じていることをお聞かせいただき、調査票の取組みを見直す際の参考にさせていただきます。

アンケートはテストではありませんので、山だも思っていることや感じていることをお書きください。答えたくない質問は飛ばしてかまいません。また、最初の記入は必須ではありませんので、回答が他の人にかかれることはありません。

12月25日(木)までにご回答をお願いします。

【全26問】

回答によっては26問より少なくなります。

WEBアンケートURL: https://aonast.jp/aonast_jp/aonast_jp_h2025



学校・生活面の平等観について

問1. あなたは、次に掲げる学校生活や日常生活の場面で、男女の立場は平等になっていると思いますか。あなたの経験や感じたことをもとに、いちばん近いと思うものを1つずつ選んでください。

	男性の方が 劣等に感じ られている	どちらかとい えば男性 が優遇され ている	平等	どちらかとい えば女性 が優遇され ている	女性の方が 劣等に感じ られている	わからない
① 中学校や高校 生の役員を決 めること	1	2	3	4	5	6
② 授業のとき	1	2	3	4	5	6
③ 部活動のとき	1	2	3	4	5	6
④ 運動や練習 のとき	1	2	3	4	5	6
⑤ 校内の居 寝・雑用(更衣 室、トイレの 数など)	1	2	3	4	5	6
⑥ 登下り(髪 型、髪髻・結 髪)の強制	1	2	3	4	5	6
⑦ 家庭内での お手洗いのと こ	1	2	3	4	5	6

1 / 9

ジェンダーステレオタイプ(性別による偏見・固定観念)について

問2. あなたは、高校や家庭で「男だから〇〇しないよ」や「女だから〇〇しないよ」と言われたことがありますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	言われたことはない
先生から	1	2	3	4
友達・先輩から	1	2	3	4
親から	1	2	3	4
兄弟姉妹から	1	2	3	4

問3. 問2で「よく言われる」「ときどき言われる」と言えられた方に聞きます。あなたはどの時ほど気分が悪くなりましたか。最も近いものを1つだけ選んでください。

1. なほ言われるのがよく分らなかった
2. そのとおりだと思った
3. いやな気持ちになった
4. よくあることなので何とも思わなかった
5. その他()

問4. あなたは、自分の希望する進路や就職先について、「男だから/女だから」早めた方がいいと言われたことがありますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	言われたことはない
先生から	1	2	3	4
友達・先輩から	1	2	3	4
親から	1	2	3	4
兄弟姉妹から	1	2	3	4

問5. あなたは、「男性」「女性」に関する次のような考え方や意見について、どのように思いますか。人によって考えが異なるものもあります。あなた自身がどう思うか1つずつ選んでください。

	そう思う	ややそう思 う	どちらにも 思えない	あまりそう 思わない	そう思わな い
「女性は」男性に守られる存在だ	1	2	3	4	5
「男性」は女性よりも行動力がある	1	2	3	4	5
「女性」は男性よりも理系が苦手だ	1	2	3	4	5
「男性のほうが」女性よりも交友が苦手だ	1	2	3	4	5
「女性のほうが」男性よりも家事に取 いている	1	2	3	4	5
「男性のほうが」女性よりも外で働くこ とに取っている	1	2	3	4	5

3 / 9

問6. あなたは大人になったときに、家事(食事のしたく、そうじ、洗濯など)を、どのくらい自分でやりたいと思いますか。最も近いものを1つだけ選んでください。※どの答えも正しい・間違っているということはありません。あなたが今の時点でどう思うかを選んでください。

1. ほとんど自分でやりたい	2. できれば自分が多くやりたい
3. 家族と分担してやりたい	4. あまり自分でやりたいくない
5. まったく自分でやりたいくない	6. わからない

問7. あなたが将来、子どもを育てることになったら、子育てをどのくらい自分でやりたいと思いますか。最も近いものを1つだけ選んでください。※子どもを持つ/持たない人それぞれですが、「もしそうだったら」と考えて選んでください。

1. ほとんど自分でやりたい	2. できれば自分が多くやりたい
3. 家族と分担してやりたい	4. あまり自分でやりたいくない
5. まったく自分でやりたいくない	6. わからない

問8. あなたは次の言葉を知っていますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	内容がよく 知っている	内容は少し 知っている	聞いたこと はある	知らない
ア) 男女共同参画社会 性別(オオカミ)です。それ以外の性別と差別が無く平等である社会のこと	1	2	3	4
イ) ジェンダー 性別(オオカミ)や性別(オオカミ)「男らしさ/女らしさ」のこと	1	2	3	4
ウ) アンコンシヤス・バイアス 「無意識のうちに、オオカミ」差別の偏見、固定観念	1	2	3	4

2 / 9

	そう思う	ややそう思 う	どちらにも 思えない	あまりそう 思わない	そう思わな い
「女性のほうが」人や動物の体話が得意だ	1	2	3	4	5
「男性のほうが」生徒役員や学級代表に 向いている	1	2	3	4	5

問9. あなたは、ジェンダーステレオタイプ(性別による偏見・固定観念)が、自分の可能性を決めていると感じることがありますか。

1. よくある	2. ときどきある	3. あまりない
4. ない	5. わからない(意識したことがない)	

問10. 「男の子/女の子だから」何かを言われたりやらされたりした経験や、学校や家庭において性別によって差がある(一方に有利/不利)と感じることがあれば自由にお書きください。

4 / 9

デートDV（交際相手からの暴力）について

問1. あなたはこれまで、デートDVに関する授業や講演を聞いたことがありますか。（複数回答）

- 1. 中学校で聞いた
- 2. 高校で聞いた
- 3. 学校のイベントなどで聞いた
- 4. 聞いたことがない
- 5. 覚えていない

問2. あなたは、交際している（付き合っている）2人の間で以下のようなことをする/されるととき、暴力だと思えますか。あなた自身がどう思うか1つずつ選んでください。

	暴力である	場合によっては暴力ではない	暴力ではない	わからない
ア) たたいたり、むち打ちする	1	2	3	4
イ) LINEやInstagramなどのSNSを監視したり、友だちなど、ほかの人とのつきあいを制限したりする	1	2	3	4
ウ) 人前でバカにしたり、悪く言ったりする	1	2	3	4
エ) 思い通りにならないと怒鳴ったりおどしたりする	1	2	3	4
オ) 褒めたお言葉を言わなかったり、罵倒や高いプレゼントを贈りせたりする	1	2	3	4
カ) 寝るのに、性的な行為を迫ったり、裸身の写真を撮ったりする	1	2	3	4

問3. あなたは次の言葉を知っていますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	内容がよく知っている	内容は少し知っている	聞いたことはある	知らない
ア) デートDV <small>恋人などの交際相手（または元交際相手）から受ける暴力のこと</small>	1	2	3	4
イ) セクシュアル・ハラスメント <small>職場で望まない性的行為を強要されることによる被害のこと</small>	1	2	3	4

性の多様性について

問1. あなたは、家族や友人など身近な方から性的少数者（セクシュアルマイノリティ）であることを打ち明けられたとしたら、どのように思いますか。（〇は1つ）

- 1. 理解したいと思う
- 2. 応酬したいと思う
- 3. いままで通り接する
- 4. 距離を置きたいと思う
- 5. その解にならないとわからない
- 6. 一部の人のことなので、普遍的判断ではない
- 7. 違和感がある
- 8. その他（ ）

問2. あなたは今までに、自分から自分の性との性が異なることや、好きになる相手の性別などに悩んだことはありますか。

- 1. よくある
- 2. たまにある
- 3. ほとんどない
- 4. まったくない
- 5. 覚えていない

問3. 問1で「1. よくある」「2. たまにある」と答えた方にお聞きします。悩んでいることを誰かに相談したことはありますか。

- 1. 相談したことがある
- 2. 相談したことはない

問4. 問1で「1. 相談したことがある」と答えた方にお聞きします。誰に（どこに）相談しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1. 親
- 2. 兄弟・姉妹
- 3. 友達
- 4. 担任・部活の先生
- 5. 保健室の先生（養護教諭）
- 6. 電話/SNS/チャット相談
- 7. その他（ ）
- 8. 覚えていない

問5. あなたは次の言葉を知っていますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。

	内容がよく知っている	内容は少し知っている	聞いた事はある	知らない
ア) LGBT（LGBTQ・LGBT+、LGBTs） <small>性別や性傾向が多様であることを指す用語の一つ。レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの総称を指す場合も用いられる</small>	1	2	3	4
イ) オミクシングアウト <small>多様な性傾向や性別について意識を共有し合うこと</small>	1	2	3	4
ウ) アウティング <small>本人の同意なく第三者を通じて本人の性傾向や性別が暴露されること</small>	1	2	3	4

ネットリテラシー（インターネットの危険性・正しい理解）について

問14. 以下のなかで、あなたが普段よく利用するものはどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1. LINE
- 2. Instagram
- 3. TikTok
- 4. X（旧Twitter）
- 5. YouTube
- 6. オンラインゲーム
- 7. どれも利用していない

問15. あなたはSNSやオンラインゲーム上で、次のような困った経験がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1. 知らない人からしつこく連絡やメッセージを受け取った
- 2. SNSに自分の写真や動画を無断で公開された
- 3. 性的な内容のメッセージを送りつけられ、不快な思いをした
- 4. 自分に関する噂や中傷（性的な内容を含む）を書き込まれた
- 5. ネットで知り合った人に会おうと誘われ、怖い思いをした
- 6. いずれも経験したことがない
- 7. 覚えていない

問16. あなたは、次のような考えについて、どのように思いますか。あなたの思いに近いものをそれぞれ1つ選んでください。

	非常にそう思う	そう思う	どちらとも思えない	そう思わない	全くそう思わない
ア) 知らない人と SNS で変身につながるのほぞない	1	2	3	4	5
イ) 誰かの嫌や下着姿の画像をネットですったりもらったりするのリスクが大きい	1	2	3	4	5
ウ) 人を傷つける可能性がある投稿はしてはいけない	1	2	3	4	5
エ) もし自分がネット上で性的嫌がらむを受けても、大した問題ではない	1	2	3	4	5
オ) ネット上の嫌いに自分自身は傷つけない自信がある	1	2	3	4	5
カ) 噂や中傷よりもネットに詳しいので、自分の身は自分で守れると思う	1	2	3	4	5

ご回答を統計的に分析するためにありがとうございます。

問22. あなたの性別を教えてください。複数回答でも構いません。

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. その他
- 4. 覚えていない

問23. あなたが通う高校は次のどれですか。

- 1. 普通高校
- 2. 通信制高校
- 3. 清浄工業高校
- 4. 専門高校
- 5. 都立工業高校

問24. あなたと一緒に住んでいる方を次の中からすべて選んでください。

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. 兄弟
- 4. 姉妹
- 5. 祖父母
- 6. 祖父
- 7. その他（ ）

【問22で「2. 女性」を選んだ方にお聞きします。】

生理用品について

問25. 生理（月経）のある人は、生理用品を毎回用意しなければなりません。家庭の事情から生理用品を買ったり用意したりするのにお困りなことはありますか。

- 1. よくある
- 2. 時々ある
- 3. 困ったことはない

問26. 困っている理由として近いものは次のうちどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1. 生理用品に使えるお金がない（少ない）
- 2. 親（保護者）が買ってくれないから
- 3. 親（保護者）に購入金額の心配が大きいから
- 4. 自分で買うのが恥ずかしいから
- 5. その他（ ）
- 6. 覚えていない

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

【開いたときの画面（電話/チャット）】
ひとりで抱えなくて大丈夫。無料・匿名の窓口があります。
「こんなこと聞いていいの？」という内容でも届きます。まずは話してみませんか。

いじめ・暴力など

24時間受付 24時間ダイヤル（立派な窓口）
Tel: 0120-973730（なやみあそび）
お問い合わせ先 警察 児童相談所

子どもの人権（いじめ）

Tel: 0120-667110
#人権 #権利 #いじめ #児童の権利

性暴力被害

24時間 性暴力被害者ワンストップ支援センター
Tel: 0363-82400（江のくうんストップ）
#性被害 #虐待 #警察 #法的支援

Date Time の選択/メッセージ

チャットで相談
#性被害 #チャット #匿名 #外国語で相談

性被害・性的暴力など「自分の性」のこと

24時間受付 24時間ダイヤル（毎日24時間）
Tel: 030-662-6434（毎日24時間）
#性被害 #性的暴力 #東京 #学校

匿名で相談できる窓口

Tel: 070-5481-3233（毎月第3水曜日）
#匿名 #相談 #相談

その他の窓口一覧

全国の窓口・匿名相談窓口一覧（毎月1至3日更新）

性被害・性暴力被害者（内閣府、男女共同参画局）

※受付時間はオンラインのみで確認してください。
※0120 から始まる番号は通話料無料です（それ以外は通話料がかかります）。

5. 男女共同参画に関する浦添市職員意識調査結果

(1) 調査の実施概要

1) 調査の目的

男女共同参画に関する市職員の意識を把握するとともに、令和8年度策定予定の「第4次浦添市男女共同参画行動計画」の検討に向けた基礎資料として活用することを目的に実施した。

2) 調査の実施方法・結果

対象者	浦添市役所職員 1,629 名 (三役、再任用、会計年度任用職員、派遣職員含む)
実施方法	WEB アンケートツールを介した WEB 回答
調査期間	令和8年2月6日～2月27日
有効回収数・率	306 件・18.8%

	職員数	回答数	回答率
正職員	897	239	26.6%
会計年度任用職員	732	67	9.2%
計	1,629	306	18.8%

3) 結果の見方

- ・回答結果の割合は、回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しているため、単数回答であっても、合計値が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、割合を出している。そのため、複数回答の質問については、すべての選択肢の比率を合計すると、合計が100%を超える。
- ・表や図中で、選択肢の文章が長いものは省略して載せている場合がある。また、「n」は集計の対象者数（設問の限定条件に該当する人の数）を表している。

(2) 調査の結果概要

1) 回答者の属性について

- ・回答者の性別をみると、「男性」が46.9%、「女性」が51.1%、「どちらともいえない、または答えたくない」が2.0%となっている。
- ・回答者の年齢をみると、「40～49歳」が28.0%と最も割合が高く、次いで「50～59歳」が27.0%、「30～39歳」が25.1%、「18～29歳」が12.7%、「60歳以上」が7.2%となっている。
- ・回答者の採用区分をみると、「一般行政職」が75.2%と最も割合が高い。「技術職」は13.4%、「消防職」は3.6%、「保育教諭・保育士」は0.3%、「その他」は7.5%となっている。
- ・回答者の職層をみると、「一般職員」が32.6%と最も割合が高く、次いで「2. 係長級」が27.4%、「会計年度任用職員」が21.8%となっている。
- ・行政職の職員が経験した業務として、「2. 住民への窓口対応や相談業務」が87.8%と最も高い。

2) 職場環境について

- ・性別による対応や評価などの差をみると、「(カ) 全体的に」では「平等」が57.0%となっている。一方で、「(オ) 重要な仕事（意思決定や企画に係る業務等）への配置」、「(カ) 全体的に」において、『男性優遇』（「男性の方が優遇されている」+「どちらかと言えば男性が優遇されている」）のほうが10ポイント以上高くなっている。

3) ワーク・ライフ・バランスについて

- ・ワーク・ライフ・バランスの推進に向け市が優先すべき取り組みについて、「1. フレックスタイム制の導入やテレワーク、時短勤務など多様な働き方を促進する制度の充実を図る」が60.3%と最も割合が高い。

4) 昇進と能力について

- ・将来つきたい役職について、「3. 昇進したいと思わない」が39.1%と最も高く、次いで、「2. 係長級までの役職でよい（管理職は望まない）」が18.5%、「1. 管理職（課長補佐級以上）まで昇進したい」17.9%となっている。
- ・管理職や昇進を望まない理由について、「8. 管理職に必要な能力・適性に自信がないから」が44.3%と最も高く、次いで「1. 責任・判断が重くなるから」が42.5%となっている。
- ・現在の担当業務における自身の強みの発揮状況をみると、「2. どちらかと言えばできている」が54.1%と最も割合が高い。

5) 女性の管理職・審議会委員登用について

- ・市職員の女性管理職（課長相当職以上）登用について、「7. 管理職の業務量・責任・長時間勤務が多く、敬遠されやすい」が56.7%と最も高い。
- ・審議会等への女性委員の登用率について、「1. 推薦元の組織や団体等に男性が多く、結果的に男性が推薦されることが多い」、「4. 土木・建設、農林水産、商工団体など、もともと男性比率が高い分野がある」がともに44.6%と最も高い。

6) 育児休業について

- ・育児休業について、「1. ぜひ取得したい」が45.3%と最も高い。
- ・育児休業取得への消極的な理由として、「1. 同僚や部下に負担がかかる」が65.8%（25人）と最も高い。

7) ハラスメントについて

- ・各種ハラスメントについて尋ねたところ、「受けたことがある」割合が最も高いのは「パワハラ」で25.1%、次いで「セクハラ」で12.4%となっている。「見聞きしたことがある」割合が最も高いのも「パワハラ」で44.0%、次いで「セクハラ」で31.6%となっている。
- ・ハラスメントの相談状況をみると、「7. どこにも相談しなかった」が50.5%（100人）と最も割合が高い。
- ・ハラスメントのない職場環境の実現に向けさらに推進していくべきことをみると、「2. 管理監督職の意識啓発研修」が41.4%と最も割合が高く、次いで「7. 互いの人格を尊重し支え合えるような職場風土の醸成」が39.7%となっている。

8) LGBTQを含む性の多様性への理解について

- ・性の多様性を尊重するために必要な取組として、「2. 幼少期からの教育」が60.6%と最も高い。
- ・性の多様性に関する語句の認知状況をみると、「ア）浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例」も「イ）浦添市パートナーシップ宣誓証明も「聞いたことはある」が約半数（46.6%；42.0%）となっている。
- ・身近な方から性的少数者であることを打ち明けられた場合について、「3. いままで通り接する」が43.6%と最も高い。
- ・「性の多様性を尊重する職員ハンドブック」について、「3. 知らなかった」が48.9%と最も高い。

9) 条例等の認知度について

- ・法令・条例や用語の認知度をみると、「内容もよく知っている」割合は「カ）ジェンダー」が16.3%と最も高い。一方で、「知らなかった」割合は「オ）アンコンシャス・バイアス」が52.4%と最も高く、次いで「イ）女性活躍推進法」が29.0%となっている。

(3) 調査の結果詳細

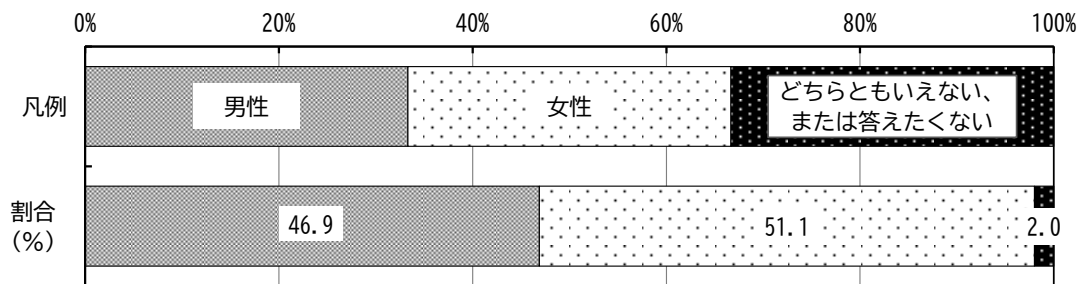
1) 回答者の属性について

1) あなたの性別をお答えください。ご自身が認識する性でお答えください。

- | | | |
|-------|-------|----------------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. どちらともいえない、または答えない |
|-------|-------|----------------------|

回答者の性別をみると、「男性」が46.9%、「女性」が51.1%、「どちらともいえない、または答えない」が2.0%となっている。

1) 性別



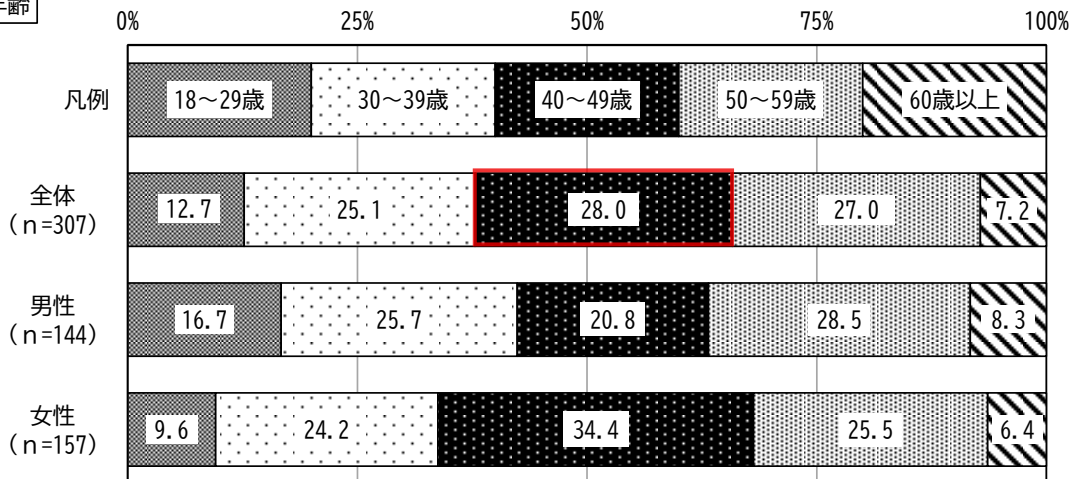
2) あなたの年齢をお答えください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18~29 歳 | 2. 30~39 歳 | 3. 40~49 歳 |
| 4. 50~59 歳 | 5. 60 歳以上 | |

回答者の年齢をみると、「40~49 歳」が28.0%と最も割合が高く、次いで「50~59 歳」が27.0%、「30~39 歳」が25.1%、「18~29 歳」が12.7%、「60 歳以上」が7.2%となっている。

性別でみると、男性は「50~59 歳」が28.5%と最も割合が高く、次いで「30~39 歳」が25.7%となっている。女性は「40~49 歳」が34.4%と最も割合が高く、次いで「50~59 歳」が25.5%となっている。

2) 年齢

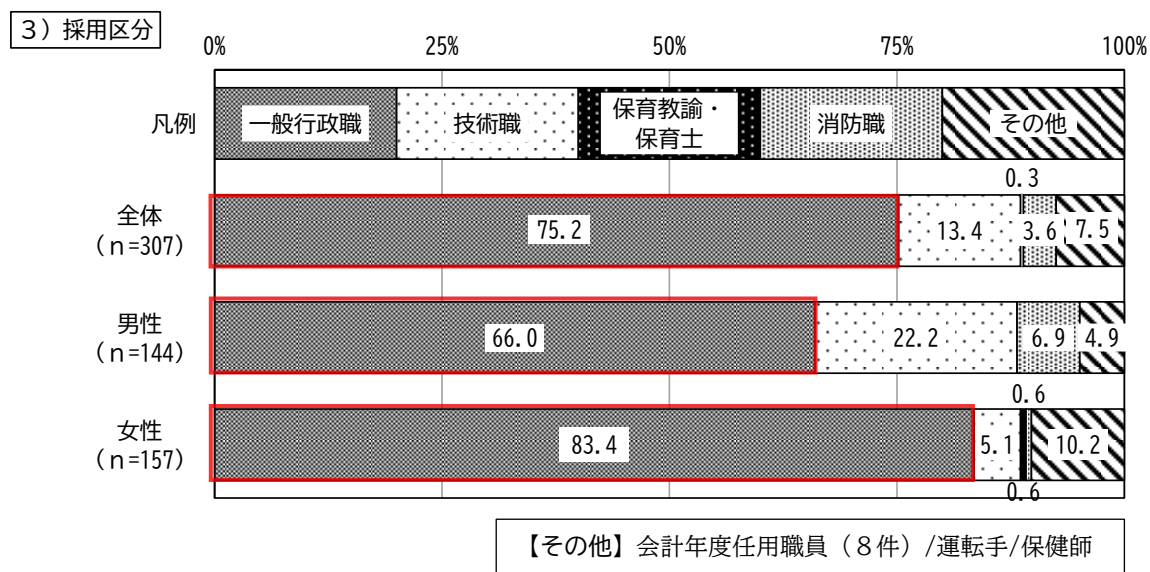


3) あなたの採用区分をお答えください。

1. 一般行政職 2. 技術職 3. 保育教諭・保育士 4. 消防職 5. その他

回答者の採用区分をみると、「1. 一般行政職」が75.2%と最も割合が高い。「2. 技術職」は13.4%、「4. 消防職」は3.6%、「3. 保育教諭・保育士」は0.3%、「5. その他」は7.5%となっている。

性別でみると、男性は「1. 一般行政職」が66.0%と最も割合が高く、次いで「2. 技術職」が22.2%となっている。女性は「1. 一般行政職」が83.4%と最も割合が高く、次いで「5. その他」(保健師等)が10.2%となっている。

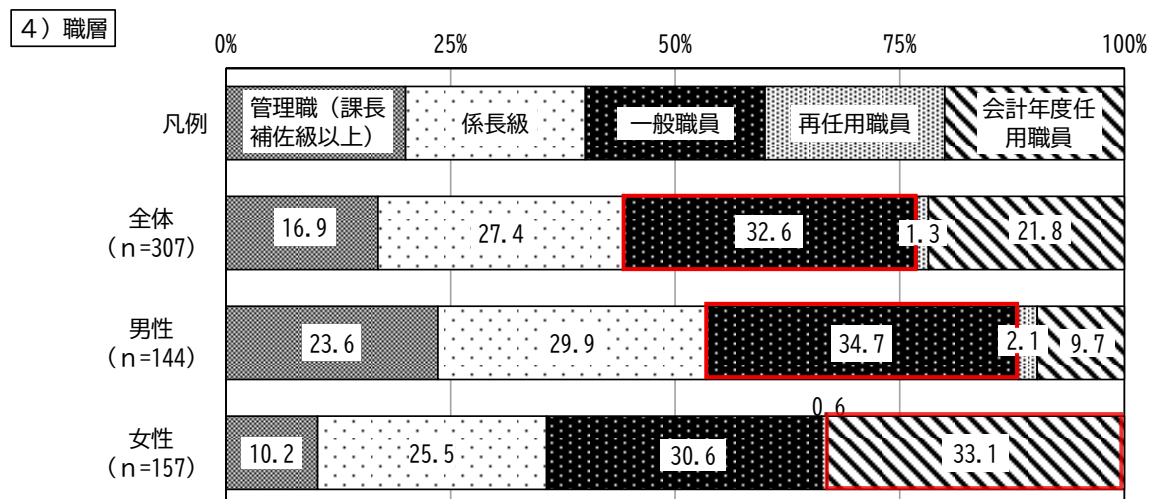


4) あなたの職層をお答えください。

1. 管理職(課長補佐級以上) 2. 係長級 3. 一般職員 4. 再任用職員 5. 会計年度任用職員

回答者の職層をみると、「3. 一般職員」が32.6%と最も割合が高く、次いで「2. 係長級」が27.4%、「5. 会計年度任用職員」が21.8%となっている。

性別でみると、男性は「3. 一般職員」が34.7%と最も割合が高く、次いで「2. 係長級」が29.9%となっている。女性は「5. 会計年度任用職員」が33.1%と最も割合が高く、次いで「3. 一般職員」が30.6%となっている。



※【5、6）は正職員・再任用職員で一般行政職のみ回答】

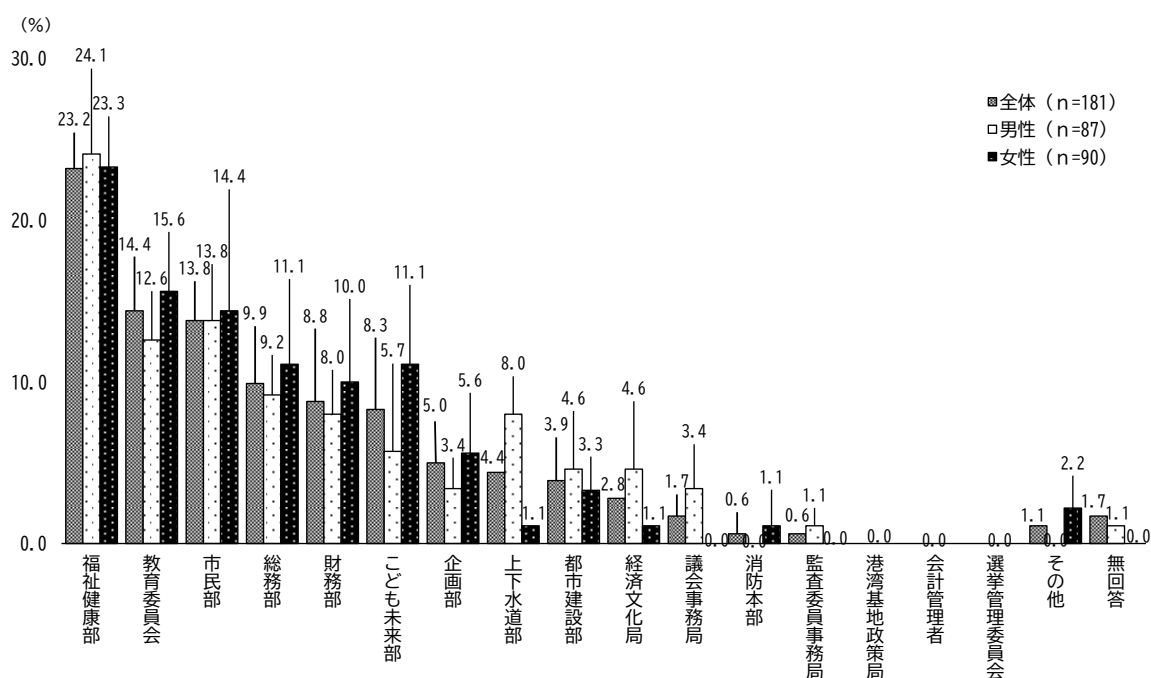
5) あなたがこれまで所属したことのある部署のなかで、所属期間が長い部署について上位3部署を選んでください。

1位		2位		3位	
1. 総務部	2. 財務部	3. 企画部	4. 港湾基地政策局		
5. 市民部	6. 経済文化局	7. 福祉健康部	8. こども未来部		
9. 都市建設部	10. 会計管理者	11. 消防本部	12. 上下水道部		
13. 教育委員会	14. 議会事務局	15. 選挙管理委員会	16. 監査委員事務局		
17. その他 ()					

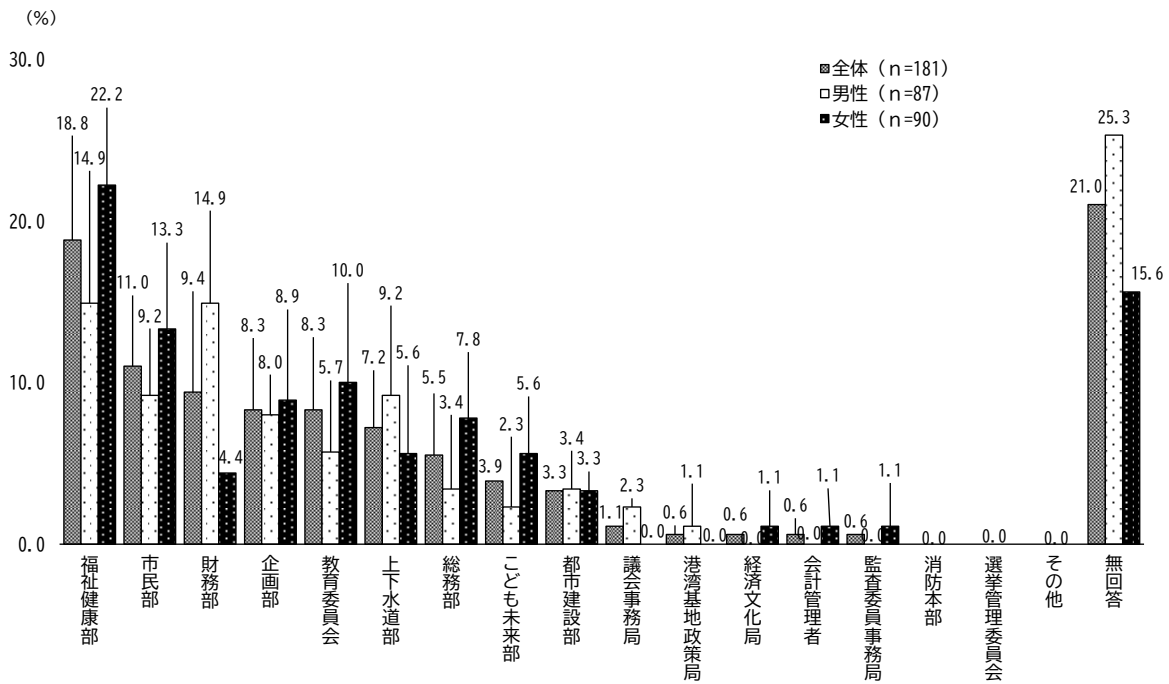
所属期間が長い部署として、1位、2位、3位のいずれも「7. 福祉健康部」となっている。

性別でみると、男性の1位は「7. 福祉健康部」(24.1%)、2位は「7. 福祉健康部」及び「2. 財務部」(14.9%)、3位は「9. 都市建設部」が12.6%となっている。女性は1位、2位、3位のいずれも「7. 福祉健康部」となっている。

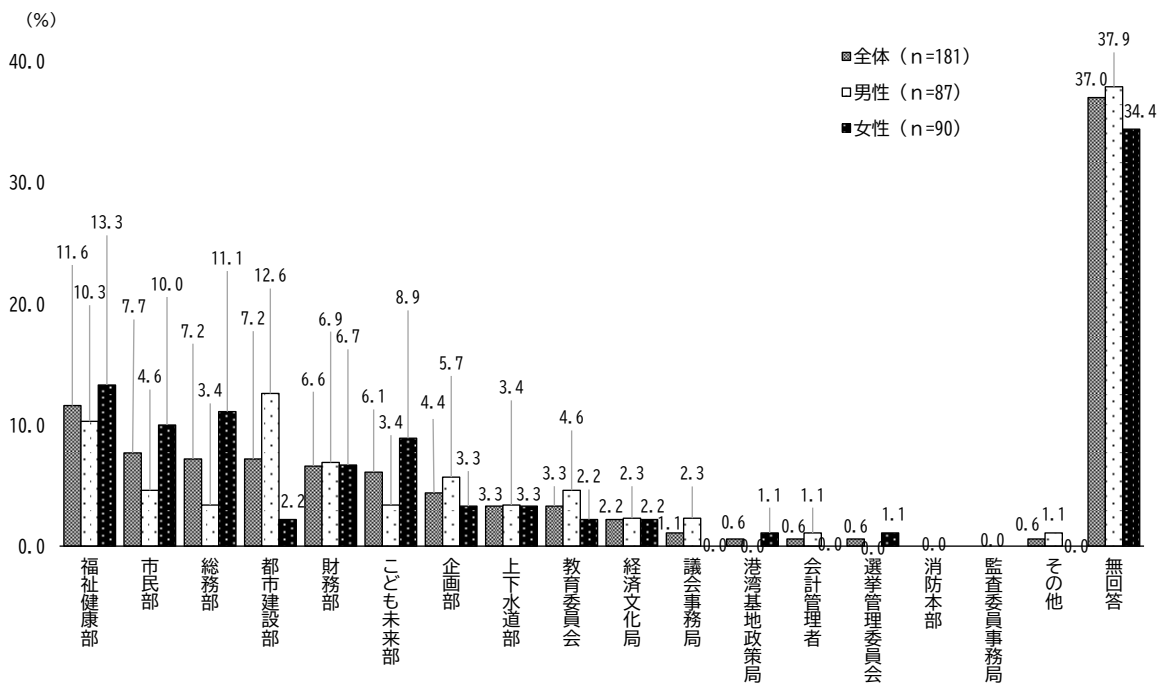
5) 所属期間が長い部署 1位



5) 所属期間が長い部署 2位



5) 所属期間が長い部署 3位



【その他】どの部も所属期間が同じ(3年で異動)

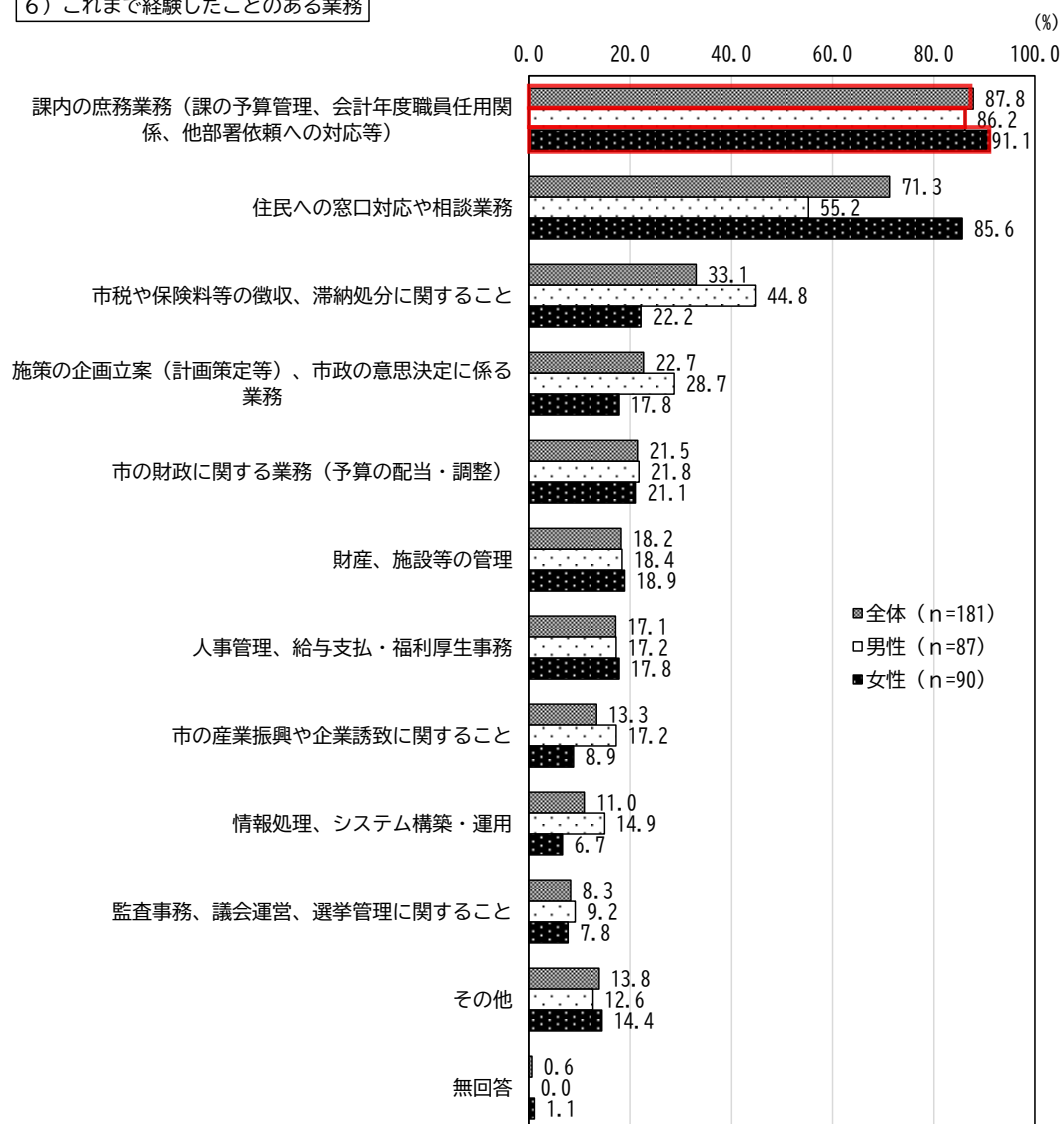
6) あなたがこれまで経験したことのある業務を、次の中からすべて選んでください。覚えている範囲で構いません。

- | | |
|--|---------------------|
| 1. 課内の庶務業務（課の予算管理、会計年度職員任用関係、他部署依頼への対応等） | |
| 2. 住民への窓口対応や相談業務 | |
| 3. 市税や保険料等の徴収、滞納処分に関する事 | |
| 4. 施策の企画立案（計画策定等）、市政の意思決定に係る業務 | |
| 5. 市の財政に関する業務（予算の配当・調整） | |
| 6. 財産、施設等の管理 | 7. 人事管理、給与支払・福利厚生事務 |
| 8. 市の産業振興や企業誘致に関する事 | 9. 情報処理、システム構築・運用 |
| 10. 監査事務、議会運営、選挙管理に関する事 | 11. その他（ ） |

行政職の職員が経験した業務として、「1. 課内の庶務業務」が 87.8%と最も高く、次いで、「2. 住民への窓口対応や相談業務」が 71.3%、「3. 市税や保険料等の徴収、滞納処分に関する事」が 33.1%となっている。

性別で見ると、男性は「1. 課内の庶務業務」が 86.2%と最も割合が高く、次いで「2. 住民への窓口対応や相談業務」が 55.2%となっている。女性は「1. 課内の庶務業務」が 91.1%と最も割合が高く、次いで「2. 住民への窓口対応や相談業務」が 85.6%となっている。

6) これまで経験したことのある業務



【その他】補助金業務/課税業務/住民への手当支給、健康福祉業務/学校事務、会計業務/事業用地の買収業務/都市建設(部)の業務/住民記録

2) 職場環境について

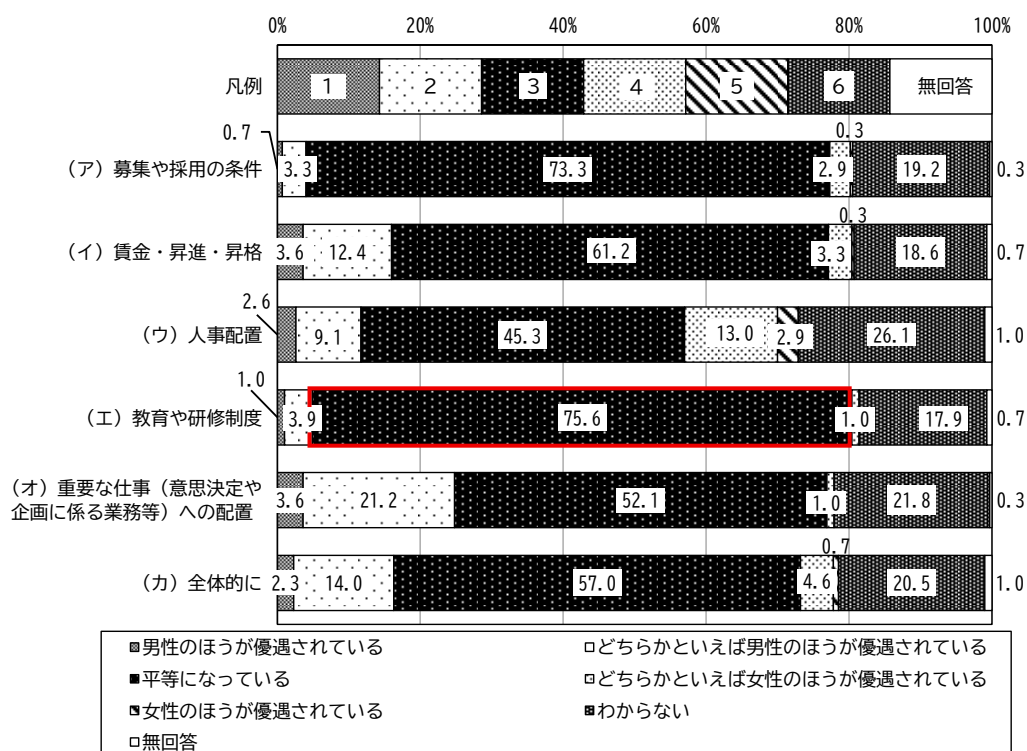
7) 庁内において、次の(ア)～(カ)の面で、性別による差があると思いますか。あなたの考えに近いものをそれぞれ1つ選んでください。

項目	選択肢	男性のほう が優遇されて いる	どちらかとい えば男性のほう が優遇されて いる	平等になっ てい	どちらかとい えば女性のほう が優遇されて いる	女性のほう が優 遇されて いる	わからない
(ア) 募集や採用の条件		1	2	3	4	5	6
(イ) 賃金・昇進・昇格		1	2	3	4	5	6
(ウ) 人事配置		1	2	3	4	5	6
(エ) 教育や研修制度		1	2	3	4	5	6
(オ) 重要な仕事(意思決定や企画に係る業務等)への配置		1	2	3	4	5	6
(カ) 全体的に		1	2	3	4	5	6

性別による対応や評価などの差をみると、「カ) 全体的に」では「平等」が57.0%となっている。各項目をみると、「平等」が最も高いのは「(エ) 教育や研修制度」の75.6%となっており、次いで「(ア) 募集や採用の条件」が73.3%、「(イ) 賃金・昇進・昇格」が61.2%となっている。

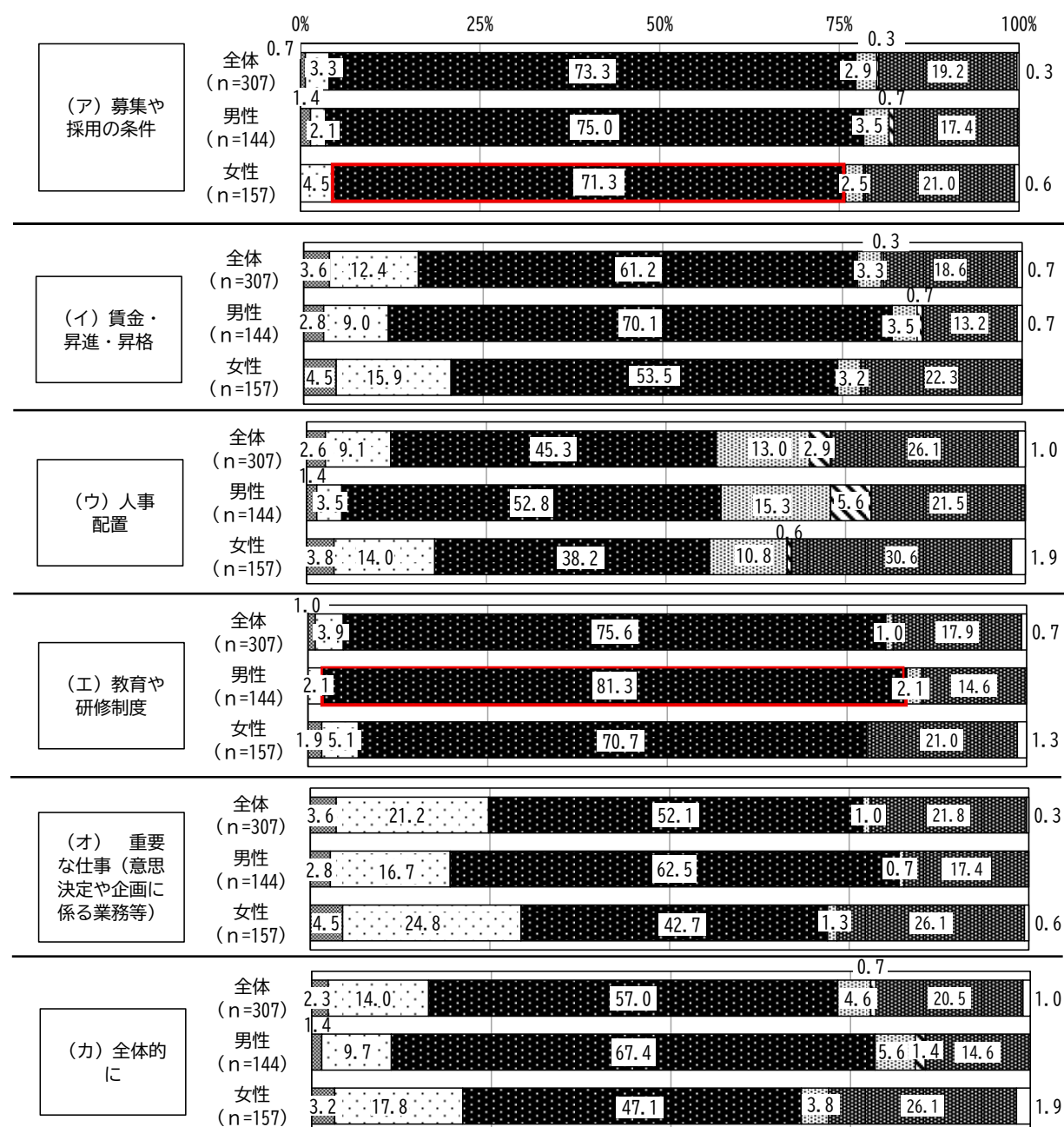
一方で、「(オ) 重要な仕事(意思決定や企画に係る業務等)への配置」、「カ) 全体的に」において、『男性優遇』(「男性の方が優遇されている」+「どちらかといえば男性が優遇されている」)のほうが10ポイント以上高くなっている。『女性優遇』(「どちらかといえば女性が優遇されている」+「女性の方が優遇されている」)のほうが5ポイント以上高い項目はみられない。

問7. 性別による対応や評価などの差について



性別でみると、「平等になっている」について、男性は「(エ) 教育や研修制度」が81.3%と最も割合が高く、次いで「(ア) 募集や採用の条件」が75.0%となっている。女性は「(ア) 募集や採用の条件」が71.3%と最も割合が高く、次いで「(エ) 教育や研修制度」が70.7%となっている。

- 男性のほうが優遇されている
- 平等になっている
- 女性のほうが優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性のほうが優遇されている
- どちらかといえば女性のほうが優遇されている
- わからない



3) ワーク・ライフ・バランスについて

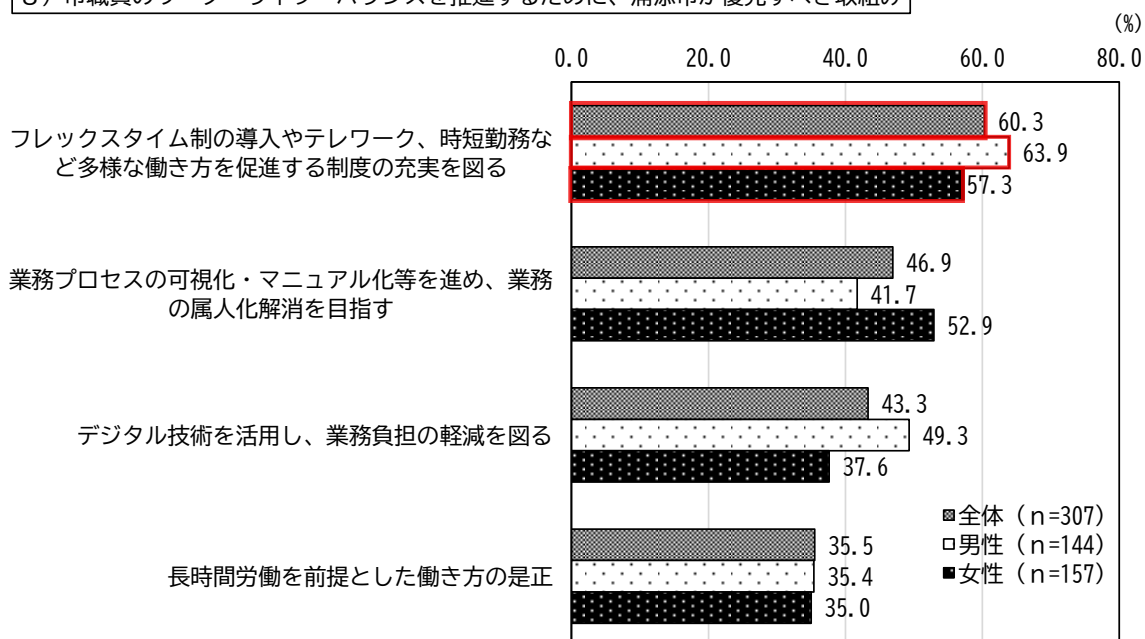
8) 市職員のワーク・ライフ・バランスを推進するために、浦添市が優先すべき取り組みは何だと思えますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

1. フレックスタイム制の導入やテレワーク、時短勤務など多様な働き方を促進する制度の充実を図る
2. 長時間労働を前提とした働き方の是正
3. 看護休暇、介護休暇の対象となる範囲を広げる等、既存の休暇制度をより利用しやすくするための整備を進める
4. デジタル技術を活用し、業務負担の軽減を図る
5. ワーク・ライフ・バランスに対する職場の理解促進
6. 男女がともに育児・介護休業を取得しやすく、職場復帰しやすい職場環境の整備を進める
7. 業務プロセスの可視化・マニュアル化等を進め、業務の属人化解消を目指す
8. その他 ()

ワーク・ライフ・バランスの推進に向け市が優先すべき取り組みについて、「1. フレックスタイム制の導入やテレワーク、時短勤務など多様な働き方を促進する制度の充実を図る」が60.3%と最も割合が高く、次いで「7. 業務プロセスの可視化・マニュアル化等を進め、業務の属人化解消を目指す」が46.9%、「4. デジタル技術を活用し、業務負担の軽減を図る」が43.3%、「2. 長時間労働を前提とした働き方の是正」が35.5%となっている。

性別でみると、男性は「1. フレックスタイム制の導入やテレワーク、時短勤務など多様な働き方を促進する制度の充実を図る」が63.9%と最も割合が高く、次いで「4. デジタル技術を活用し、業務負担の軽減を図る」が49.3%となっている。女性は「1. フレックスタイム制の導入やテレワーク、時短勤務など多様な働き方を促進する制度の充実を図る」が57.3%と最も割合が高く、次いで「7. 業務プロセスの可視化・マニュアル化等を進め、業務の属人化解消を目指す」が52.9%となっている。

8) 市職員のワーク・ライフ・バランスを推進するために、浦添市が優先すべき取り組み



【その他】育休や介護休をとりやすい環境づくりは大切だが、カバーする人の負担にならないような余裕のある人員配置が必要と考える/産休等で人員減の場合の周りの職員への待遇改善。仕事は増えるのに、何も無いのが不満/余計な施設建設や福祉が業務量増、財政負担になっている/既存のサービスや契約で不要なものを中止していく取り組みが必要と感じる。ネットや技術の普及に伴い役所のサービスが増え続けているため、費用対効果の低いものは見直すべきだと思う/年休も含めて、権利主張、周りを配慮しない人がワーク・ライフ・バランスが整い、そうでない人の業務が増える環境を何とかしてほしい。ワーク・ライフ・バランスの差がひどい/稼働可能人材の確保（正規職員が揃ったことが皆無）/人員配置のバランスを見直す。業務量に応じ兼務を導入する/育児休暇等の推進と合わせて職員配置の適正化/業務量は変わらないのに、働き方改革するためには職員数が必要です。休みやすい人を出すために、誰かがこの人の仕事を代理で行うことを忘れていただきたい/消防は職員数を増やさないと休みが取れない/独身、既婚者、子育て中の方の平等化/やらなくていい仕事を各課に精査してもらって、庁議メンバーで意思決定してほしい/職員配置の改善/業務量に合った職員配置と組織体制の見直し/議会の簡略化/必要な部署に適正な人材配置/人材育成

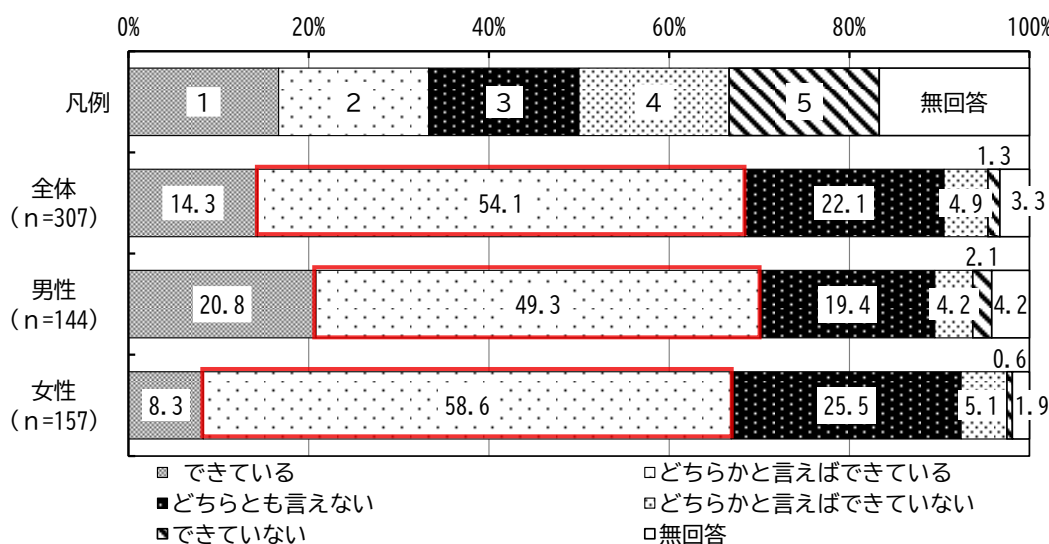
11) あなたは、現在の担当業務において、これまでの知識や経験、自身の強みを十分に活かせていると思いますか。

- | |
|--|
| 1. できている
2. どちらかと言えばできている
3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばできていない
5. できていない |
|--|

現在の担当業務における自身の強みの発揮状況をみると、「2. どちらかと言えばできている」が54.1%と最も割合が高く、次いで「3. どちらとも言えない」が22.1%となっている。

性別でみると、男性は「2. どちらかと言えばできている」が49.3%と最も割合が高く、次いで「1. できている」が20.8%となっている。女性は「2. どちらかと言えばできている」が58.6%と最も割合が高く、次いで「3. どちらとも言えない」が25.5%となっている。

11) 現在の担当業務における自身の強みの発揮状況



【Q11で「4. どちらかと言えばできていない」「5. できていない」と回答した方へ】

12) どのような時に、これまでの知識や経験、自身の強みを十分に活かせていないと感じますか。書ける範囲で構いませんので、具体的な場面をお書きください。

No.	内容
1.	係長として起案の確認や条例等の知識不足から正確な決裁ができているかわからない点
2.	市民の方に電話等で説明する際に上手く伝えきれないことがあるとき。
3.	大型事業を担当しており、施政全体像を見ながら業務にあたるのが望ましいが、知識や技能、資質が足りず広い視野を持ってないため。
4.	業務分野が異なる時
5.	まったく初めて携わる業務について。建物の浸水があった場合の対応について等
6.	まったく適性のない、希望しない配置になったため
7.	現場経験があると思うが、それを意志決定に活かさない、決定過程で反映できなかった
8.	「大変な業務だ」と言われたが、正直すぐに終わって時間も余ってしまう。空いた時間に何かしたいが、主事職だと任せられるものもなく、持て余している。
9.	専門分野の仕事の時間があまり確保できず、他の業務に追われている。
10.	自分の日頃の行いが、効果のある人材育成ができていないか不明である。
11.	異動先によってはこれまで培ってきた知識が活かさないこともあり、仕事の連続性がないと感じることが多々ある。

5) 女性の管理職・審議会委員登用について

【Q13～15は正職員・再任用職員のみ回答】

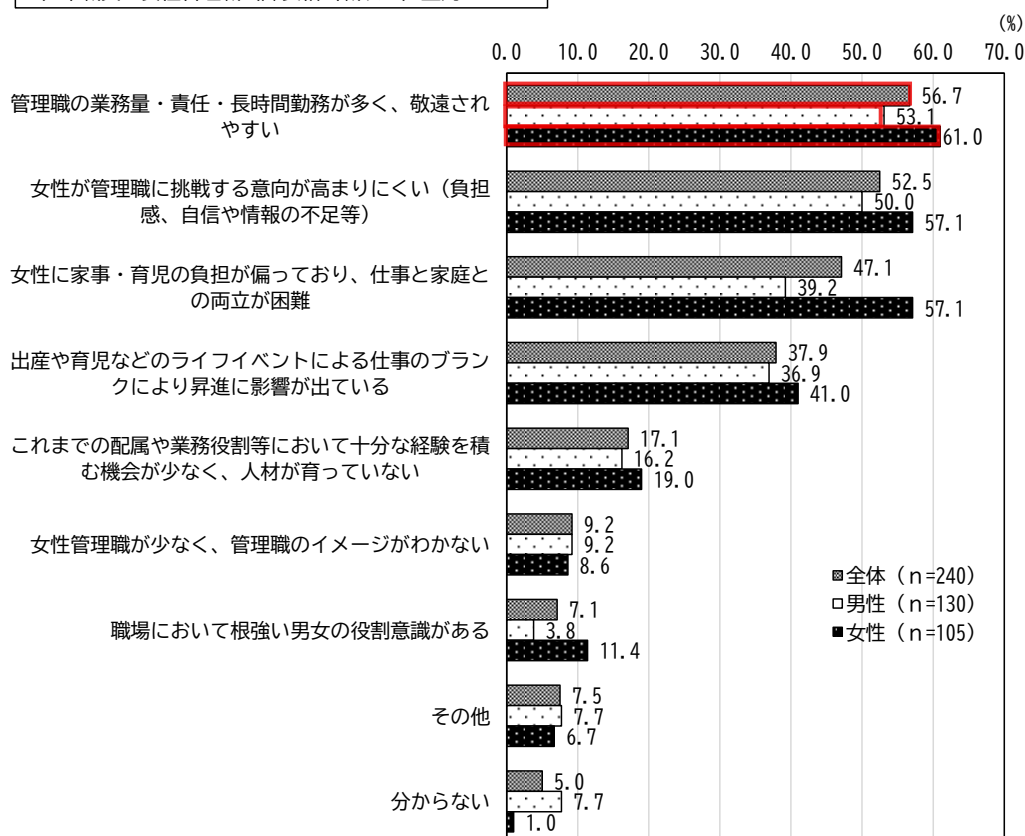
13) 市職員の女性管理職（課長相当職以上）登用について、市では令和8年度までに30%と目標を掲げていますが、令和6年度時点で16.3%（県内市町村15位）と目標を達成できていません。課題として考えられるものは何だと思えますか？あなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

1. 女性に家事・育児の負担が偏っており、仕事と家庭との両立が困難
2. 職場において根強い男女の役割意識がある
3. 女性管理職が少なく、管理職のイメージがわからない
4. これまでの配属や業務役割等において十分な経験を積む機会が少なく、人材が育っていない
5. 出産や育児などのライフイベントによる仕事のブランクにより昇進に影響が出ている
6. 女性が管理職に挑戦する意向が高まりにくい（負担感、自信や情報の不足等）
7. 管理職の業務量・責任・長時間勤務が多く、敬遠されやすい
8. その他（ ）
9. 分からない

市職員の女性管理職（課長相当職以上）登用について、「7. 管理職の業務量・責任・長時間勤務が多く、敬遠されやすい」が56.7%と最も高く、次いで、「6. 女性が管理職に挑戦する意向が高まりにくい（負担感、自信や情報の不足等）」が52.5%、「1. 女性に家事・育児の負担が偏っており、仕事と家庭との両立が困難」が47.1%となっている。

性別でみると、男性は「7. 管理職の業務量・責任・長時間勤務が多く、敬遠されやすい」が53.1%と最も割合が高く、次いで「6. 女性が管理職に挑戦する意向が高まりにくい（負担感、自信や情報の不足等）」が50.0%となっている。女性は「7. 管理職の業務量・責任・長時間勤務が多く、敬遠されやすい」が61.0%と最も割合が高く、次いで「6. 女性が管理職に挑戦する意向が高まりにくい（負担感、自信や情報の不足等）」及び「1. 女性に家事・育児の負担が偏っており、仕事と家庭との両立が困難」が57.1%となっている。

13) 市職員の女性管理職（課長相当職以上）登用について



【その他】「女性管理職登用」を目標にすること自体が疑問。男女に関わらず適任な人が登用されるべき。人事において、目標に囚われるのは良くないと思う/行政事務担当については管理職にも女性が多く活躍していると思うが、技術職ではあまり見られないように思う/優秀な職員であれば男性であろうが女性であろうが関係ないと思う。女性管理職の目標があることによって無理やり女性を管理職にすることに疑問を感じる/昇任拒否を意思表示する人が多いように感じる/制度に不備がなくても管理職への登用を希望する女性職員率が潜在的に低い可能性がある。女性特有の各種リスクを覚悟して管理職になる女性職員率が向上しないのはやむを得ないのではないかと思う/一般行政職としては3割はいるのではないか。技術職と消防職では女性が少ないのでやむを得ないと感じる/男女年齢関係無く、職務に対しての責任感やマネジメント能力がある方が管理職に登用されて欲しい。数値目標を追いかけて現場が困る状態は組織力の低下に繋がると考える/介護もあるため、両立が困難/子育てや家事の負担/課長と係長の基本業務を明確になっていないため、上司や部下がパワハラ的に強いと話をかかず、女性は仕事を押し付けられやすい/回答1, 3, 7等共通で登用する側の意識が変わっていない/男女共に管理職を望む人が年々減少していると感じる/もそも、女性の数が少ないから、達成がむづかしい/能力の問題

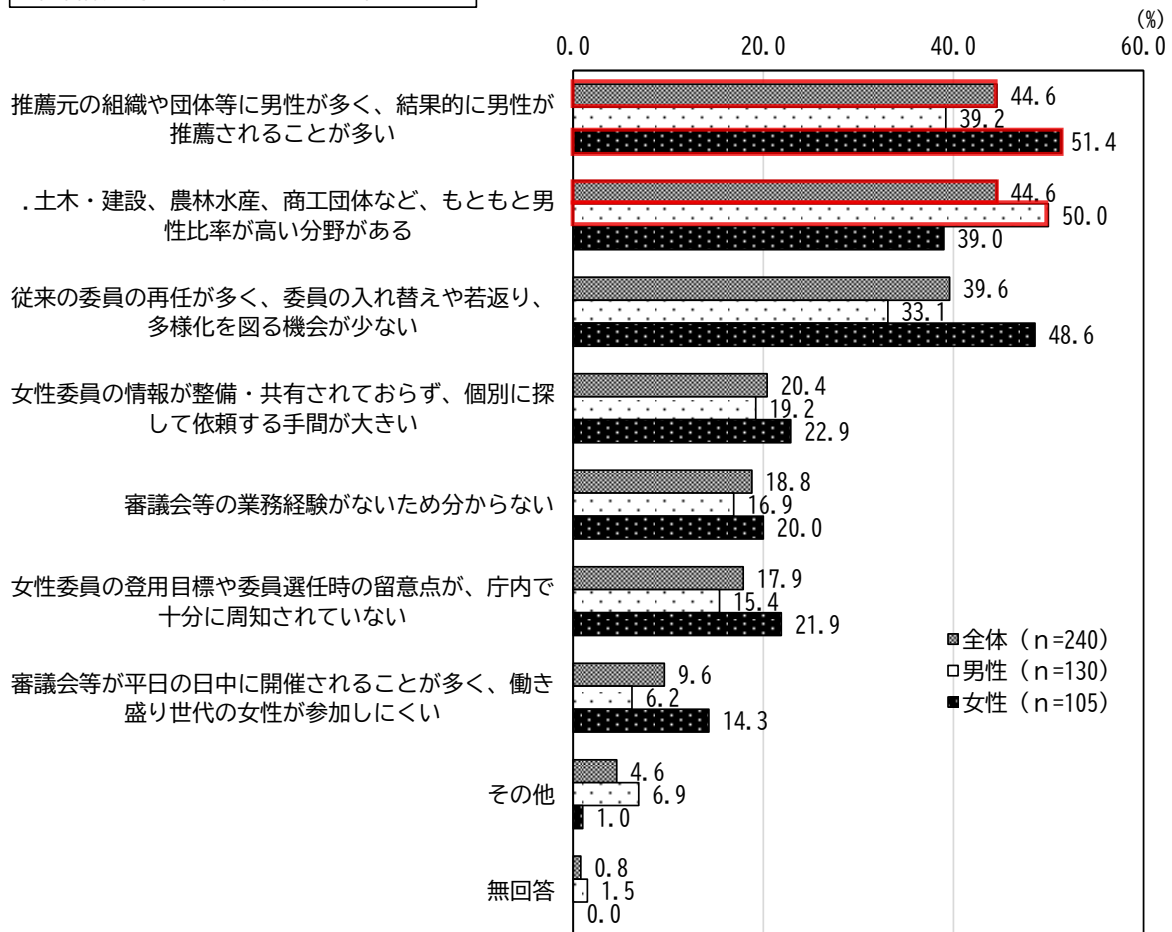
14) 審議会等（法令に基づいて審議や意思決定を行う場）への女性委員の登用率について、市では令和8年度までに40%以上から男女ほぼ同数を目標に掲げていますが、令和6年度時点で29.3%（県内市町村19位）と目標を達成できていません。女性の審議委員登用について課題として考えられるものは何だと思いませんか。

1. 推薦元の組織や団体等に男性が多く、結果的に男性が推薦されることが多い
2. 従来の委員の再任が多く、委員の入れ替えや若返り、多様化を図る機会が少ない
3. 女性委員の情報が整備・共有されておらず、個別に探して依頼する手間が大きい
4. 土木・建設、農林水産、商工団体など、もともと男性比率が高い分野がある
5. 審議会等が平日の日中に開催されることが多く、働き盛り世代の女性が参加しにくい
6. 女性委員の登用目標や委員選任時の留意点が、庁内で十分に周知されていない
7. その他（ ）
8. 審議会等の業務経験がないため分からない

審議会等への女性委員の登用率について、「1. 推薦元の組織や団体等に男性が多く、結果的に男性が推薦されることが多い」、「4. 土木・建設、農林水産、商工団体など、もともと男性比率が高い分野がある」がともに44.6%と最も高く、次いで、「2. 従来の委員の再任が多く、委員の入れ替えや若返り、多様化を図る機会が少ない」が39.6%となっている。

性別で見ると、男性は「4. 土木・建設、農林水産、商工団体など、もともと男性比率が高い分野がある」が50.0%と最も割合が高く、次いで「1. 推薦元の組織や団体等に男性が多く、結果的に男性が推薦されることが多い」が39.2%となっている。女性は「1. 推薦元の組織や団体等に男性が多く、結果的に男性が推薦されることが多い」が51.4%と最も割合が高く、次いで「2. 従来の委員の再任が多く、委員の入れ替えや若返り、多様化を図る機会が少ない」が48.6%となっている。

14) 審議会等への女性委員の登用率について



【その他】審議会が効果的に運営されているなら問題ないと思う/相応しい人がいれば性別は問わない/性別での数値設定がそもそもおかしい/昔、女性管理職（課長）が「審議会に女性を着けたがるから、数少ない女性管理職に役割が多く回ってくるため大変」と話していた/委員登用率を性別で分けるメリットを感じない。男女ともに意欲のある方が行うべき/女性が少ない/能力の問題/外部団体へ選任を一任しているので、こちらで女性登用の促進を推進できない

15) 本市では「浦添市審議会等への女性委員の登用促進規程」に基づき、委員への女性登用を進めていますが、効果的な取り組みやご意見等があれば教えてください。

No.	内容
1.	本市にはすでに優秀な部長課長級の女性管理職員も多いと思うが、そういった人材を幅広く活躍させるために業務量負担の減少を行うことがスムーズに委員への登用がかなうものだと考える。現状では管理職の負担が大きく、通常業務以外に手が回らなくなれば、自ずと目標は遠のくものではないかと考える。
2.	委員の選定は公共団体だけでなく民間団体で顕著な功績があり、かつ参画意識の高い人材等を取り込む等して底辺を拡大することにより女性登用の可能性が高まる。
3.	女性委員の情報の整備・共有
4.	オンライン参加の導入
5.	各審議会の委員の男女比の同率を目指す。委員の推薦依頼をする場合に女性または若手の推薦をお願いする。
6.	男性でも女性でも、年齢も関係なく、マネジメント能力のある方を登用して欲しい。その為の人材育成プログラムが必要だと思います。
7.	関係する外部団体において女性の絶対数がそもそも少ないため、登用のしようがない場合も多々ある印象を持っている。重要なのは「女性委員の数＝量」よりも、「女性の視点や考え＝質」が重要であると考え、市関係団体に限定せず、外部専門家（大学教授、識者）を招聘するなど質を担保する手法もあるかと思う。
8.	職員全員対象の研修が必要ではないでしょうか。私自身がこの規定について理解が足りていないだけかもしれませんが、今のところ効果的な意見を述べるだけのレベルに達していません。
9.	飲み会会議をなくす
10.	働いている女性は、育児、介護、更年期症状等の個人的な理由でお仕事をお休みすることが多いため、審議会委員の機会があってもお仕事を休むことへ躊躇してしまう。開催時間が夕方や休日の場合でも、子どもや親の体調面で必ず参加できるか不安でお断りする。自宅からzoomオンライン参加可能だとやる気がある女性は参加しやすいと思います
11.	普通の仕事に余裕がないと、審議会等の委員は引き受けないと考えます。家事、育児の時間は大切なので、委員に推薦されても断る女性が多いのではないのでしょうか。
12.	審議会等の開催方法(リモートの併用、書面での意見、開催日の工夫)により適任者のイメージが変わると思える
13.	数字先行は良くない。男女関係なくきちんと実力・能力など逆差別にならぬよう評価し、登用していただきたい。
14.	男女比よりも本人の意思・意欲が大切だと思います。
15.	女性なら誰でも良いではなく、公の場で議論ができる方を推薦してほしい。井戸端会議的な感覚での意見しか持たないような方は外してほしい。
16.	女性が社会に出る事ができる環境整備
17.	女性登用は多様な意見の反映のために重要と考えますが、女性を登用することが目的になっていると感じがしてあまり良い印象は抱きません。
18.	わざわざ女性登用を進めなくてもいいんじゃないかと思う。
19.	女性を登用することによりいろいろなアイデアを取り入れることができる考えは一理あると思いますが、無理に女性を登用しようとしなくてもいいかなと思います。
20.	性別に捉われることなく、責任遂行能力のある方の登用を望みます。

6) 育児休業について

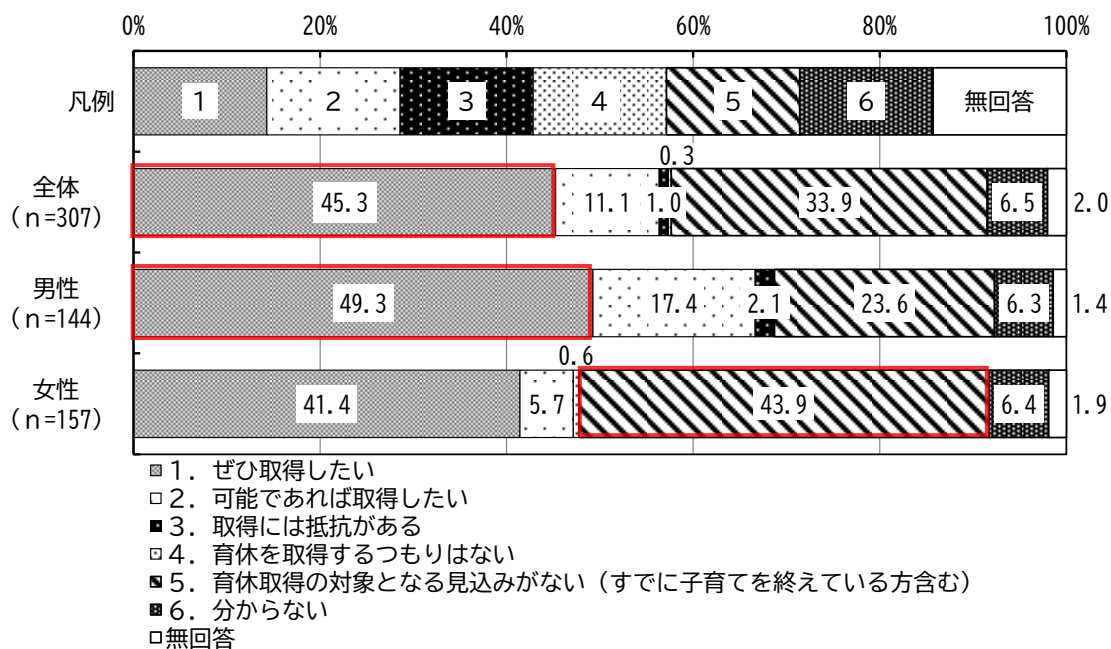
16) あなたはこれから先、子育ての機会があれば育児休業を取得したいと思いますか。

1. ぜひ取得したい
2. 可能であれば取得したい
3. 取得には抵抗がある
4. 育休を取得するつもりはない
5. 育休取得の対象となる見込みがない（すでに子育てを終えている方含む）
6. 分からない

育児休業について、「1. ぜひ取得したい」が45.3%と最も高く、次いで、「5. 育休取得の対象となる見込みがない（すでに子育てを終えている方含む）」が33.9となっている。

性別でみると、男性は「1. ぜひ取得したい」が49.3%と最も割合が高く、次いで「5. 育休取得の対象となる見込みがない（すでに子育てを終えている方含む）」が23.6%となっている。女性は「5. 育休取得の対象となる見込みがない（すでに子育てを終えている方含む）」が43.9%と最も割合が高く、次いで「1. ぜひ取得したい」が41.4%となっている。

16) 育児休業の取得について



【Q16で「2. 可能であれば取得したい」「3. 取得には抵抗がある」「4. 育休を取得するつもりはない」と回答した方】

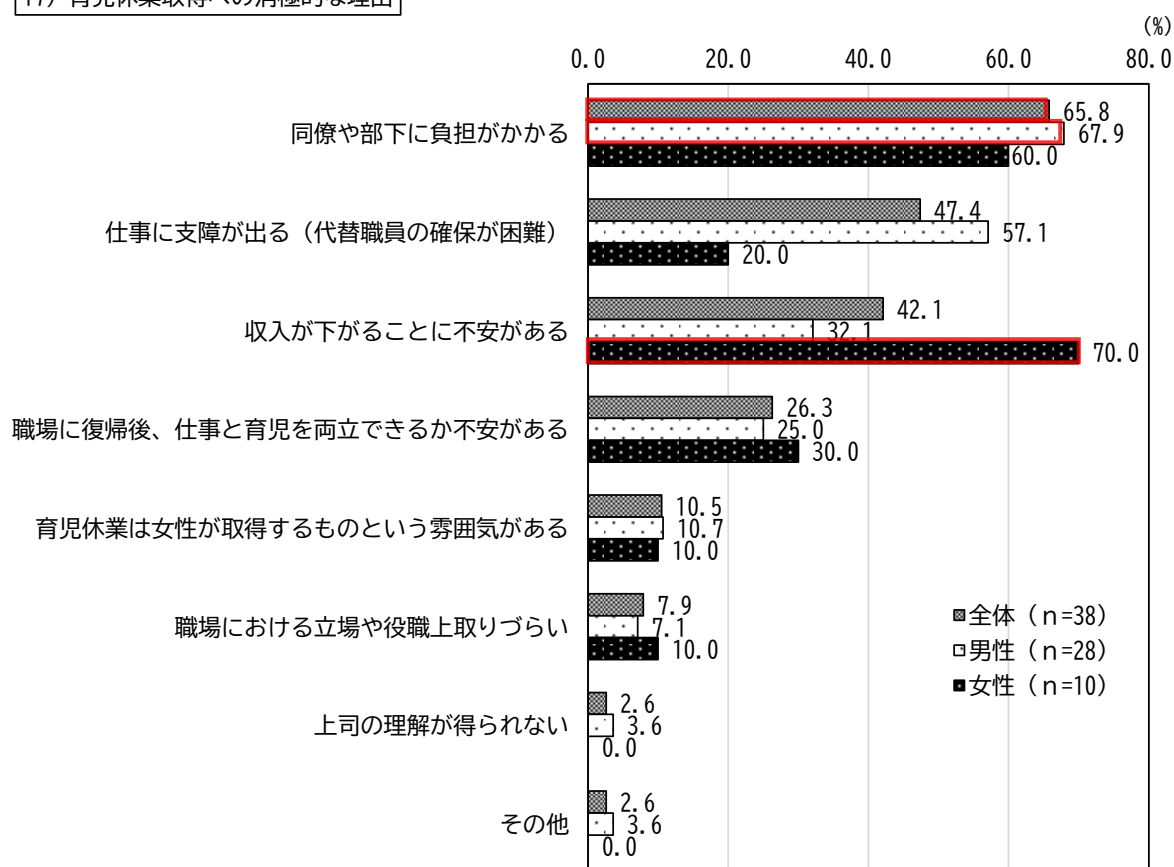
17) そのように思う理由は何ですか。主なものを3つまで選んでください。

1. 同僚や部下に負担がかかる
2. 上司の理解が得られない
3. 仕事に支障が出る（代替職員の確保が困難）
4. 育児休業は女性が取得するものという雰囲気がある
5. 職場に復帰後、仕事と育児を両立できるか不安がある
6. 収入が下がることに不安がある
7. 職場における立場や役職上取りづらい
8. その他（ ）

育児休業取得への消極的な理由として、「1. 同僚や部下に負担がかかる」が65.8% (25人)と最も高く、次いで、「3. 仕事に支障が出る（代替職員の確保が困難）」が47.4% (18人)、「6. 収入が下がることに不安がある」が42.1% (16人)となっている。

性別でみると、男性は「1. 同僚や部下に負担がかかる」が67.9% (19人)と最も割合が高く、次いで「3. 仕事に支障が出る（代替職員の確保が困難）」が57.1% (16人)となっている。女性は「6. 収入が下がることに不安がある」が70.0% (7人)と最も割合が高く、次いで「1. 同僚や部下に負担がかかる」が60.0% (6人)となっている。

17) 育児休業取得への消極的な理由



【その他】産後、仕事と育児を両立できるか不安がある

18) あなたの職場の同僚や部下、上司が育児休業を取得するとしたら、どのように思いますか。

	当然の権利だと思う	お互い様だと思うので構わない	理解したいが、仕事のしわ寄せがくるのではないか気になる	仕事が回らなくなるので困る	分からない
同僚や部下	1	2	3	4	5
上司	1	2	3	4	5

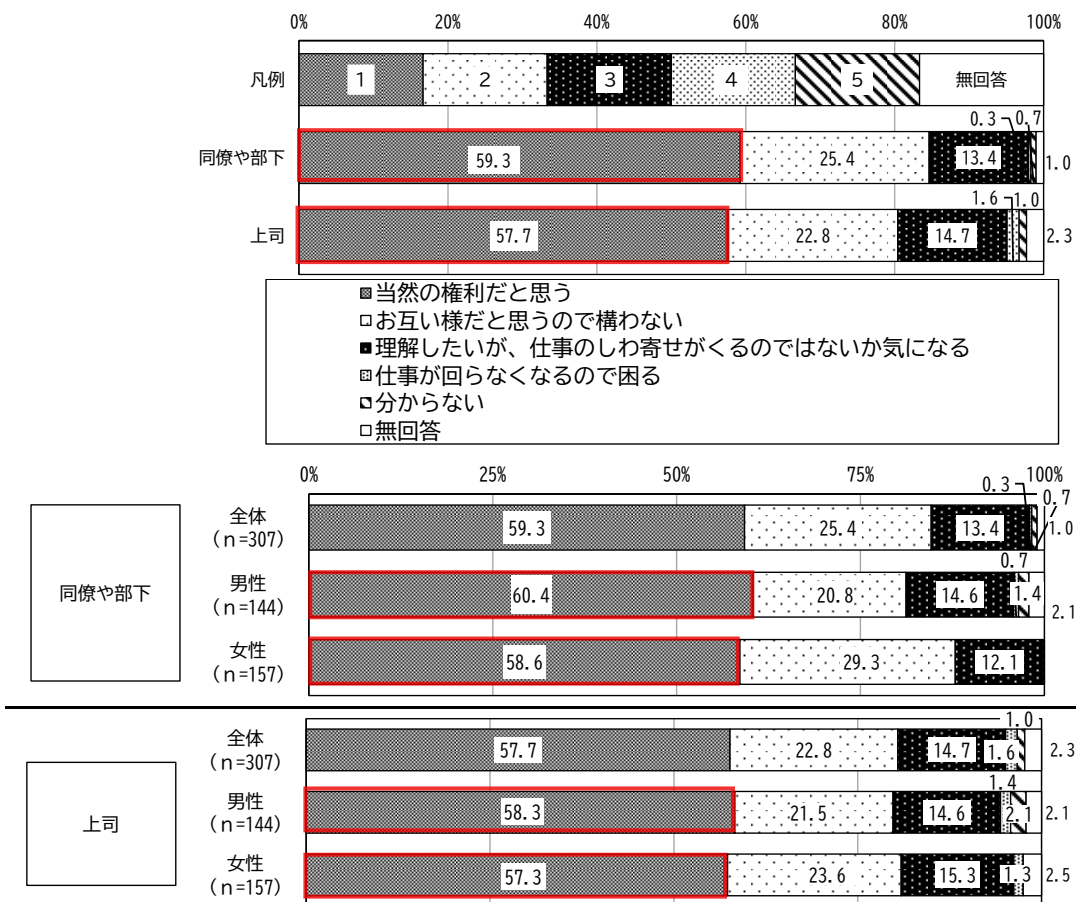
育児休業取得について、同僚や部下の場合をみると、「当然の権利だと思う」が、59.3%、最も高く、次いで、「お互い様だと思うので構わない」が25.4%、「理解したいが、仕事のしわ寄せがくるのではないか気になる」が13.4%となっている。

上司の場合をみると、「当然の権利だと思う」が、57.7%、最も高く、次いで、「お互い様だと思うので構わない」が22.8%、「理解したいが、仕事のしわ寄せがくるのではないか気になる」が14.7%となっている。

性別でみると、男性は同僚や部下の育児休業取得について、「当然の権利だと思う」が60.4%と最も割合が高く、次いで「お互い様だと思うので構わない」が20.8%となっている。また、上司の育児休業取得についても男性は「当然の権利だと思う」が58.3%と最も割合が高く、次いで「お互い様だと思うので構わない」が21.5%となっている。

女性は同僚や部下の育児休業取得について、「当然の権利だと思う」が58.6%と最も割合が高く、次いで「お互い様だと思うので構わない」が21.5%となっている。上司の育児休業取得についても、女性は「当然の権利だと思う」が57.3%と最も割合が高く、次いで「お互い様だと思うので構わない」が23.6%となっている。

18) 職場の同僚や部下、上司の育児休業取得について



7) ハラスメントについて

19) あなたは職場で、以下のハラスメントを受けたこと、または身近で見聞きしたことはありますか？

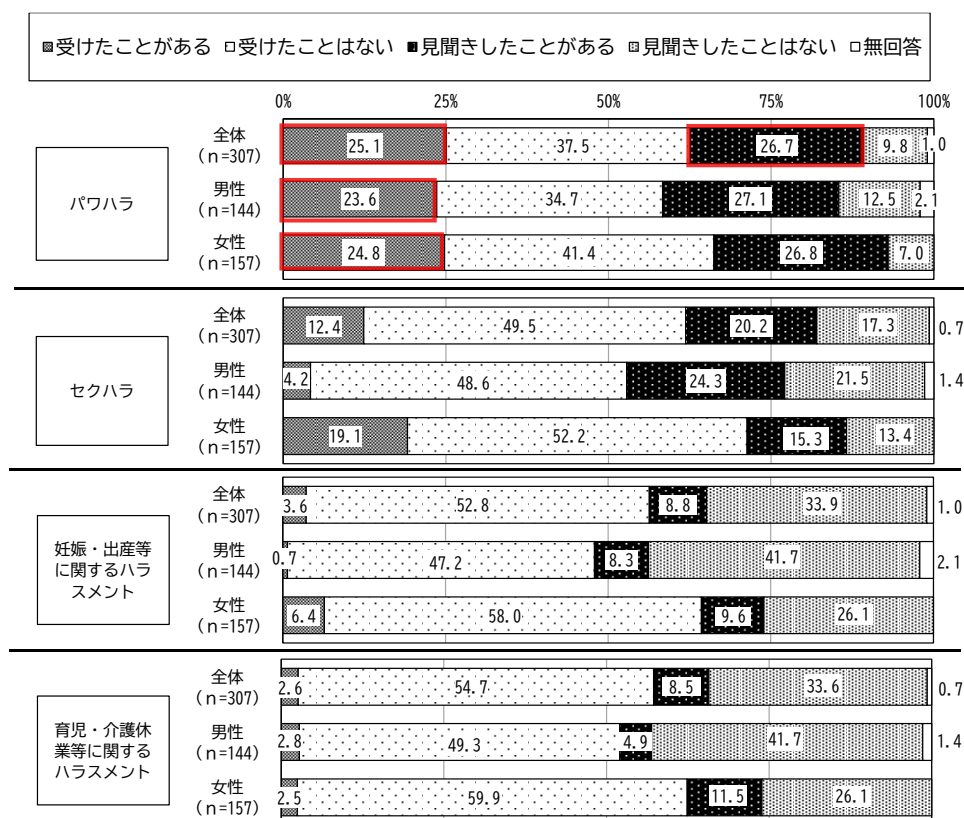
	受けたことがある	受けたことはない	見聞きしたことがある	見聞きしたことはない
パワハラ (優越的な関係を背景とした言動により就業環境が害されること)	1	2	3	4
セクハラ (性的な言動により就業環境が害されること)	1	2	3	4
妊娠・出産等に関するハラスメント (妊娠・出産等を理由とする不利益な取扱い)	1	2	3	4
育児・介護休業等に関するハラスメント (育児・介護休業等の申出・取得等を理由とする不利益な取扱い)	1	2	3	4

各種ハラスメントについて尋ねたところ、「受けたことがある」割合が最も高いのは「パワハラ」で25.1%、次いで「セクハラ」で12.4%となっている。「見聞きしたことがある」割合が最も高いのも「パワハラ」で44.0%、次いで「セクハラ」で31.6%となっている。

妊娠・出産等に関するハラスメントや、育児・介護休業等に関するハラスメントについては「受けたことはない」(52.8%；54.7%)、「見聞きしたことはない」(51.8%；53.1%)が高くなっている。

なお、回答者の64.5%(307人中198人)がいずれかのハラスメントについて「受けたことがある」または「見聞きしたことがある」と回答している。

性別でみると、「受けたことがある」について、男性は「パワハラ」が23.6%と最も割合が高く、次いで「セクハラ」が4.2%となっている。女性も「パワハラ」が24.8%と最も割合が高く、次いで「セクハラ」が19.1%となっている。



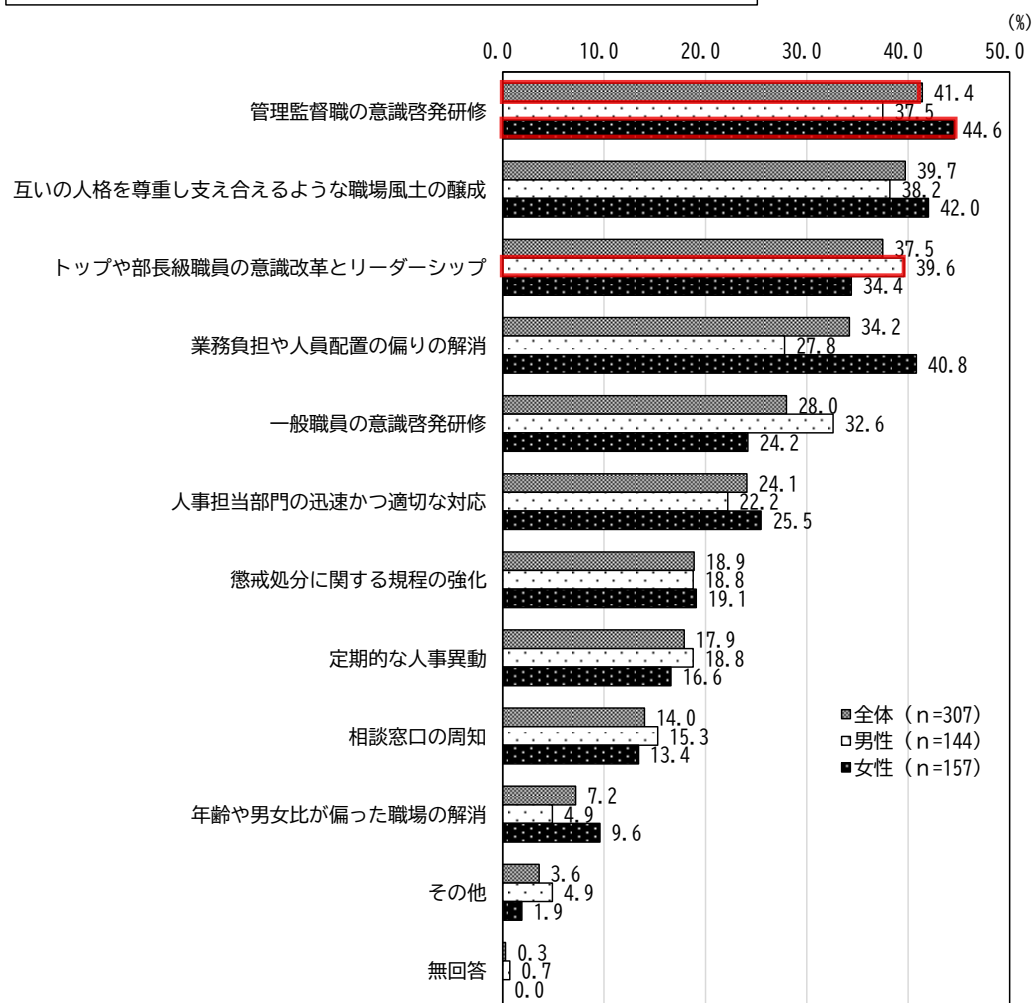
21) ハラスメントのない職場環境を実現するために、さらに推進していくべきと考えるものは何ですか。

1. トップや部長級職員の意識改革とリーダーシップ
2. 管理監督職の意識啓発研修
3. 一般職員の意識啓発研修
4. 相談窓口の周知
5. 懲戒処分に関する規程の強化
6. 人事担当部門の迅速かつ適切な対応
7. 互いの人格を尊重し支え合えるような職場風土の醸成
8. 年齢や男女比が偏った職場の解消
9. 定期的な人事異動
10. 業務負担や人員配置の偏りの解消
11. その他 ()

ハラスメントのない職場環境の実現に向けさらに推進していくべきことをみると、「2. 管理監督職の意識啓発研修」が41.4%と最も割合が高く、次いで「7. 互いの人格を尊重し支え合えるような職場風土の醸成」が39.7%、「1. トップや部長級職員の意識改革とリーダーシップ」が37.5%、「10. 業務負担や人員配置の偏りの解消」が34.2%となっている。

性別でみると、男性は「1. トップや部長級職員の意識改革とリーダーシップ」が39.6%と最も割合が高く、次いで「7. 互いの人格を尊重し支え合えるような職場風土の醸成」が38.2%となっている。女性は「2. 管理監督職の意識啓発研修」が44.6%と最も割合が高く、次いで「7. 互いの人格を尊重し支え合えるような職場風土の醸成」が42.0%となっている。

21) ハラスメントのない職場環境を実現するために、さらに推進していくべきこと



【その他】正直わからない/安心して頼って貰える、相談して貰える相談窓口や上司との関係性が必要だと思います。相談窓口や上司は「頼って貰えていない」事に対して危機感を持つことが必要だと思う/無くなるわけない/管理職の意識の変容が必要だと思う/ハラスメント気質の職員を昇進させるべきではない/業務を適切に成し遂げられない人の処遇を検討する必要がある/適正評価による人材登用/相談窓口の電話は単独回線にした方が良いのではないかと思う/議員へ意識啓発研修

8) LGBTQを含む性の多様性への理解について

22) あなたは、性の多様性を尊重する取組としてどのようなことが必要だと思いますか。

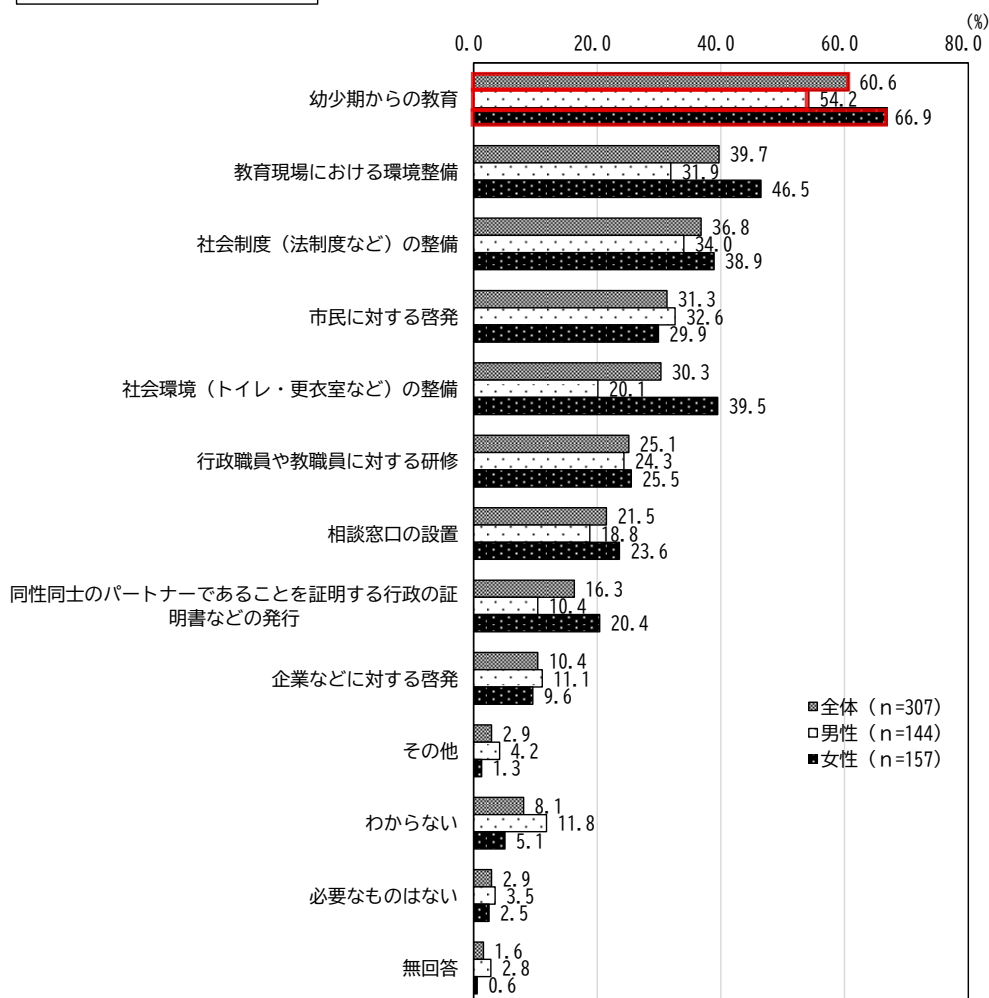
(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 1. 市民に対する啓発 | 2. 幼少期からの教育 |
| 3. 相談窓口の設置 | 4. 社会制度（法制度など）の整備 |
| 5. 社会環境（トイレ・更衣室など）の整備 | 6. 教育現場における環境整備 |
| 7. 行政職員や教職員に対する研修 | 8. 企業などに対する啓発 |
| 9. 同性同士のパートナーであることを証明する行政の証明書などの発行 | 10. その他（ ） |
| 11. わからない | 12. 必要なものはない |

性の多様性を尊重するために必要な取組として、「2. 幼少期からの教育」が60.6%と最も高く、次いで「6. 教育現場における環境整備」が39.7%、「4. 社会制度（法制度など）の整備」が36.8%となっている。

性別で見ると、男性は「2. 幼少期からの教育」が54.2%と最も割合が高く、次いで「4. 社会制度（法制度など）の整備」が34.0%となっている。女性は「2. 幼少期からの教育」が66.9%と最も割合が高く、次いで「6. 教育現場における環境整備」が46.5%となっている。

22) 性の多様性を尊重する取組み



【その他】性の多様性の尊重よりも社会と家庭における幼少期からの一様性の教育を後押しする各種取組みの推進とジェンダーの方を社会的な差別から守るための取組みのパッケージ化/マスメディアからの正しい発信/特に大きく取り組む必要は無いと思う。意識している＝差別だと思う/そもそも性の多様性を尊重するのが間違いであり、個人を尊重すべきと考える/市独自でパートナーシップ証明発行者に対しても婚姻同様の法的な対応を増やしてほしい

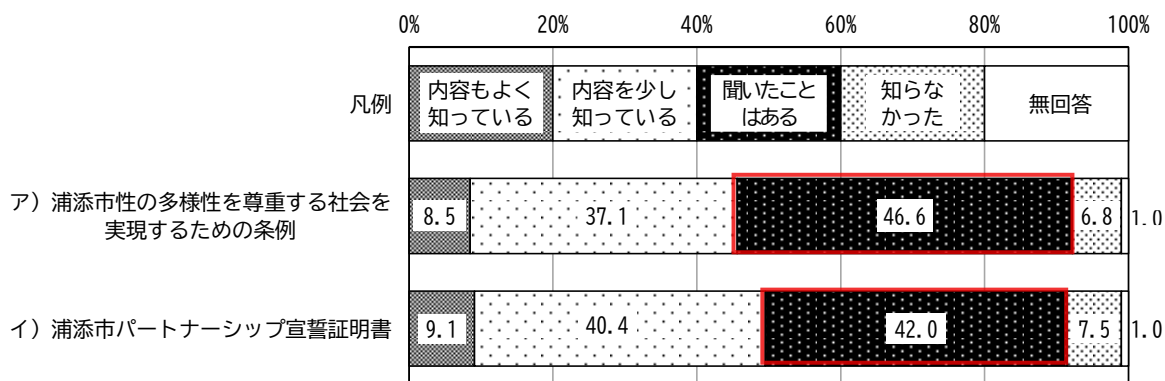
23) あなたは、性の多様性に関する次の言葉を知っていますか。あてはまる選択肢（番号）を選んでください。（○はそれぞれ1つ）

項目	選択肢			
	知っている 内容もよく	知っている 内容を少し	聞いたことは ある	知らなかった
ア) 浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例	1	2	3	4
イ) 浦添市パートナーシップ宣誓証明	1	2	3	4

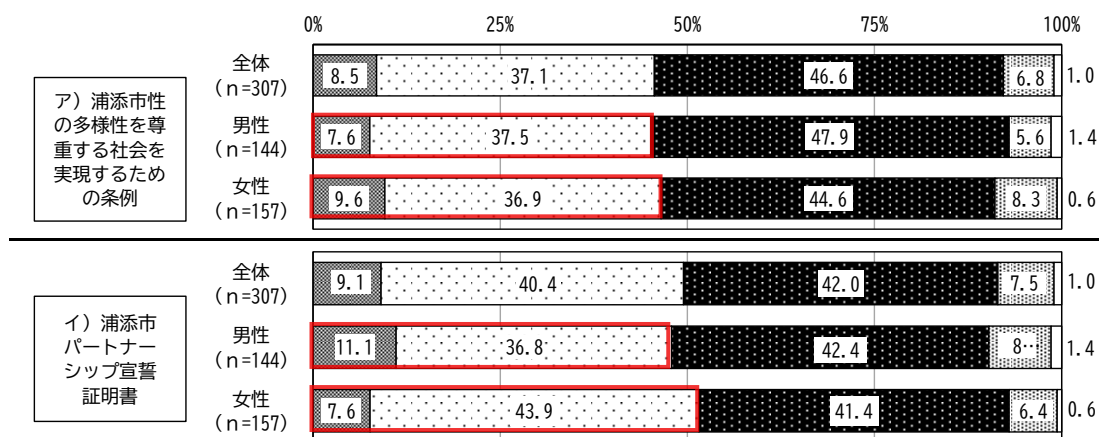
性の多様性に関する語句の認知状況をみると、「ア）浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例」も「イ）浦添市パートナーシップ宣誓証明」も「聞いたことはある」が約半数（46.6%；42.0%）となっている。なお、『知っている』（「内容もよく知っている」+「内容を少し知っている」）割合は、「ア）浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例」が45.6%、「イ）浦添市パートナーシップ宣誓証明」が49.5%となっている。

性別でみると、「ア）浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例」について、『知っている』男性は45.1%、『知っている』女性は46.5%となっている。また、「イ）浦添市パートナーシップ宣誓証明」について、『知っている』男性は47.9%、『知っている』女性は51.5%となっている。

23) 性の多様性に関する言葉の認知度



■内容もよく知っている □内容を少し知っている ■聞いたことはある □知らなかった □無回答



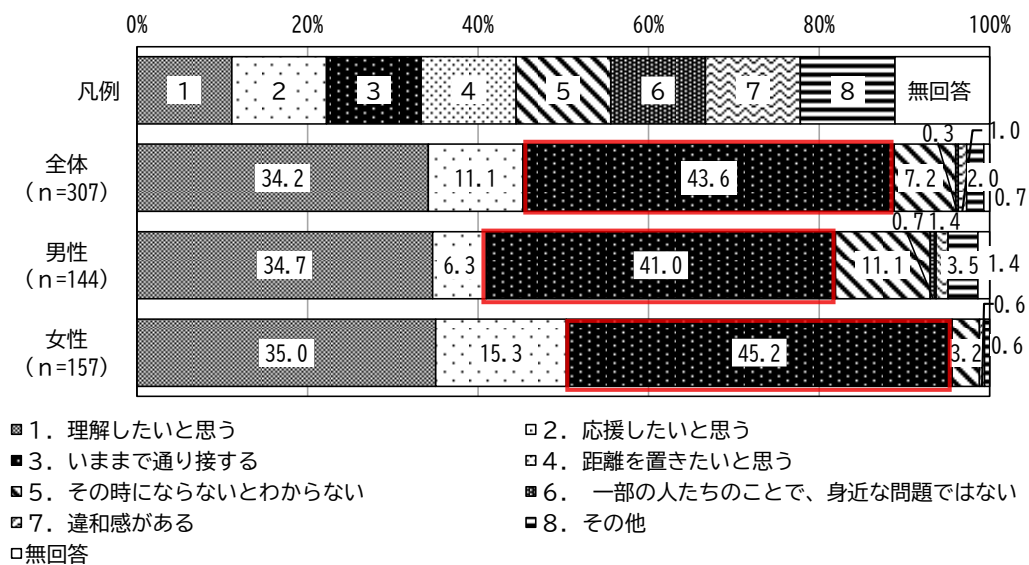
24) あなたは、家族や友人など身近な方から性的少数者（セクシュアルマイノリティ）であることを打ち明けられたとしたら、どのように思いますか。（○は1つ）

- | |
|--|
| 1. 理解したいと思う
2. 応援したいと思う
3. いままで通り接する
4. 距離を置きたいと思う
5. その時にならないとわからない
6. 一部の人のことで、身近な問題ではない
7. 違和感がある
8. その他 () |
|--|

身近な方から性的少数者であることを打ち明けられた場合について、「3. いままで通り接する」が43.6%と最も高く、次いで「1. 理解したいと思う」が34.2%となっている。

性別でみると、男性は「3. いままで通り接する」が41.0%と最も割合が高く、次いで「1. 理解したいと思う」が34.7%となっている。女性は「3. いままで通り接する」が45.2%と最も割合が高く、次いで「1. 理解したいと思う」が35.0%となっている。

24) 家族や友人など身近な方から性的少数者であることを打ち明けられたとき



【その他】相談に乗って助ける/話を聞く。可能であればやめてもらいたい /そのまま受け入れたいと思う/気にしない/なんとも思わない

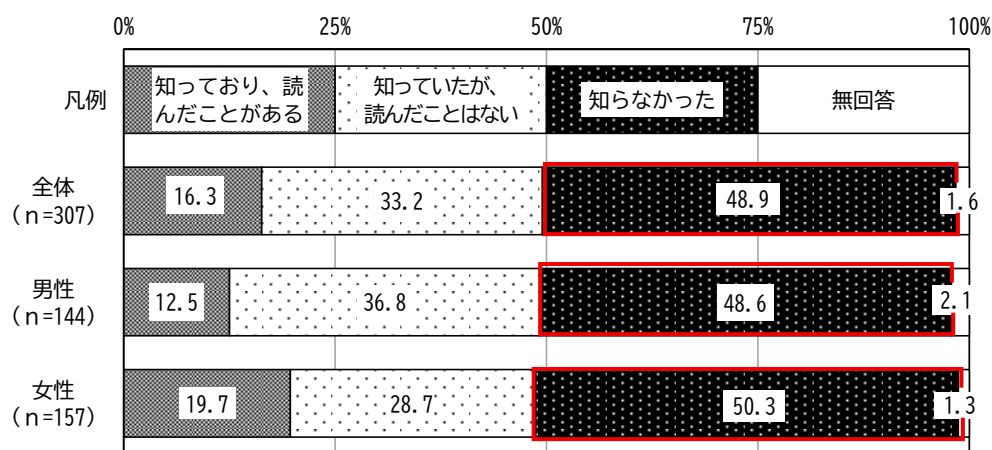
25) 浦添市では「性の多様性を尊重する職員ハンドブック」を作成しています。このハンドブックについて知っていましたか。

- | |
|--|
| 1. 知っており、読んだことがある
2. 知っていたが、読んだことはない
3. 知らなかった |
|--|

「性の多様性を尊重する職員ハンドブック」について、「3. 知らなかった」が48.9%と最も高く、次いで「2. 知っていたが、読んだことはない」が33.2%となっている。「1. 知っており、読んだことがある」は16.3%で、約6人に1人の割合となっている。

性別で見ると、男性は「3. 知らなかった」が48.6%と最も割合が高く、次いで「2. 知っていたが、読んだことはない」が36.8%となっている。女性は「3. 知らなかった」が50.3%と最も割合が高く、次いで「2. 知っていたが、読んだことはない」が28.7%となっている。

25) 「性の多様性を尊重する職員ハンドブック」について



9) 条例等の認知度について

26) 次のあげる法令・条例や用語について知っていますか？

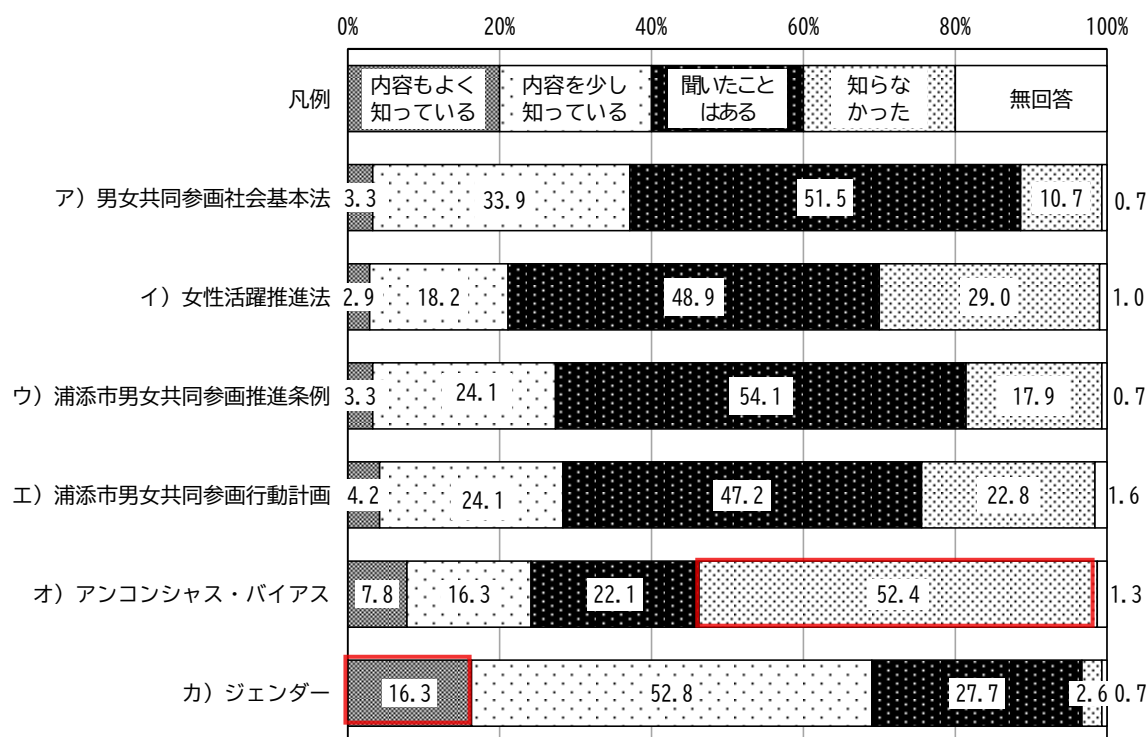
項目	選択肢			
	内容もよく知っている	内容を少し知っている	聞いたことはある	知らなかった
ア) 男女共同参画社会基本法	1	2	3	4
イ) 女性活躍推進法	1	2	3	4
ウ) 浦添市男女共同参画推進条例	1	2	3	4
エ) 浦添市男女共同参画行動計画	1	2	3	4
オ) アンコンシャス・バイアス（「無意識の思い込み」や「無意識の偏見」のこと）	1	2	3	4
カ) ジェンダー（社会によって作り上げられた「男らしさ/女らしさ」という概念）	1	2	3	4

法令・条例や用語の認知度をみると、「内容もよく知っている」割合は「カ）ジェンダー」が16.3%と最も高く、「内容を少し知っている」（52.8%）とあわせて79.1%と高い。

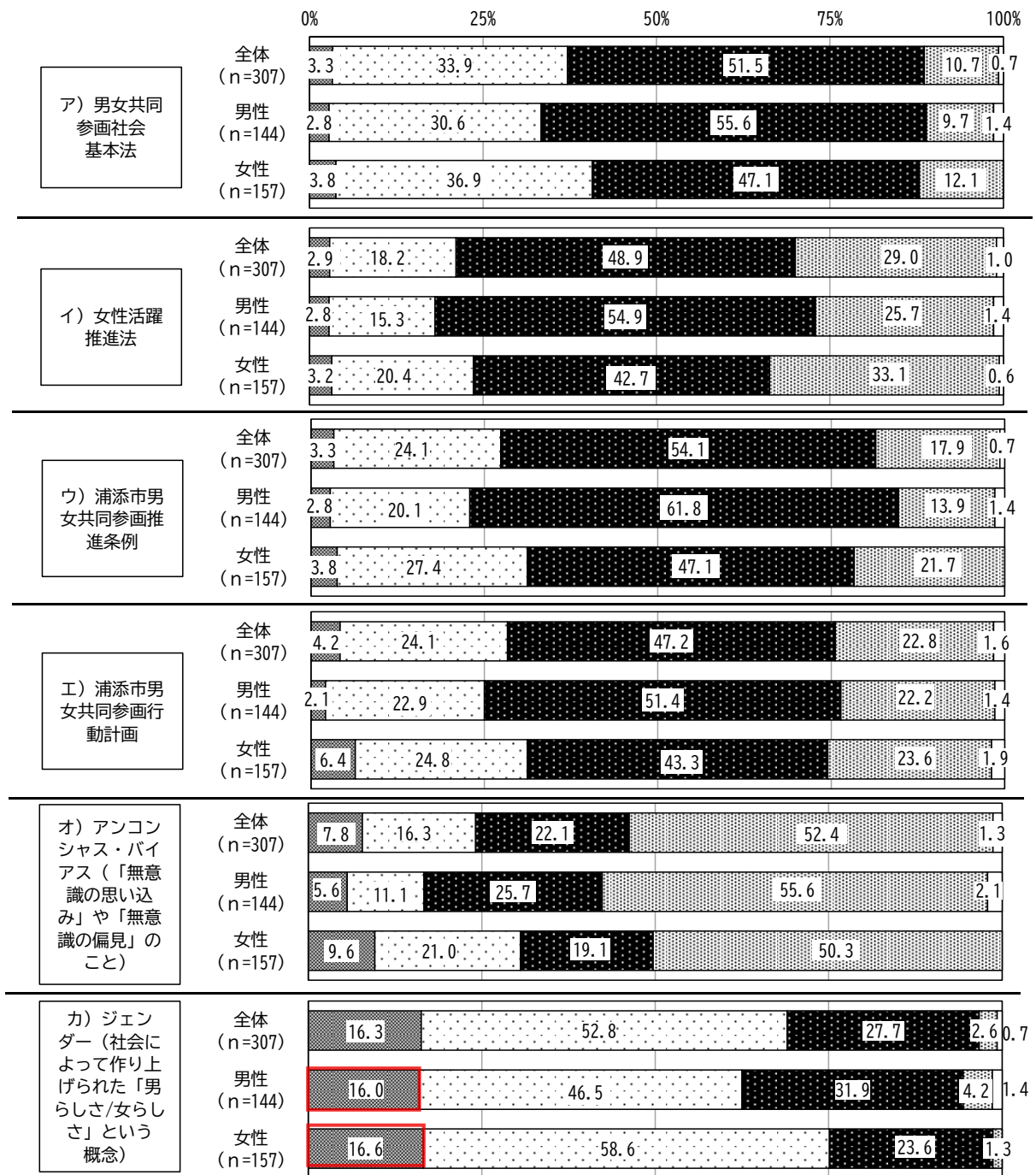
一方で、「知らなかった」割合は「オ）アンコンシャス・バイアス」が52.4%と最も高く、次いで「イ）女性活躍推進法」が29.0%となっている。

性別でみると、「内容もよく知っている」について、男性は「カ）ジェンダー」が16.0%と最も割合が高く、次いで「オ）アンコンシャス・バイアス」が5.6%となっている。女性も「カ）ジェンダー」が16.6%と最も割合が高く、次いで「オ）アンコンシャス・バイアス」が9.6%となっている。

26) 法令・条例や用語の認知度



■内容もよく知っている □内容を少し知っている ■聞いたことはある □知らなかった □無回答



10) 調査票

2026/2/3 現在

男女共同参画に関する清瀬市職員意識調査

市民活動-男女共同参画課では「第4次清瀬市男女共同参画行動計画」の策定に向けて、各種意識調査を実施しています。

男女共同参画のさらなる推進のためには、行政運営に関わる職員自らが男女共同参画意識や、人権を守る意識を高め、率先して行動していくことが重要です。そこで、ワーク・ライフ・バランスの推進、育児、育休の各種制度などに関する清瀬市職員の考えや意向の把握と意識向上を図るため、意識調査を実施いたします。

ご参加のようご参加いただけますが、**2月24日(金)までにご回答にご協力**くださいますようお願いいたします。



※このアンケートの調査・算出・分析は株式会社ディープランニングの協力を得ています。回答者名等が特定されることなく、回答内容を理由に不利益な取扱いを受けることは一切ありません。

回答者の属性について

- あなたの性別をお答えください。ご自身が認識する性でお答えください。
 - 男性
 - 女性
 - どちらともいえない、または答えたくない
- あなたの年齢をお答えください。
 - 18～24歳
 - 25～34歳
 - 35～44歳
 - 45～54歳
 - 55歳以上
- あなたの所属区分をお答えください。
 - 一般行政職
 - 技術職
 - 保育職・保育士
 - 消防職
 - その他
- あなたの職階をお答えください。
 - 管理職（課長階級以上）
 - 系長階
 - 一般職員
 - 再任用職員
 - 非正規任用職員

1

2026/2/3 現在

職務内容について（1問）

7) 方向において、次の(A)～(F)の中で、性別による差があると思いますか？あなたの考えに近いものをそれぞれ1つ選んでください。

	選ばない （性別による差はない）	選ぶ （性別による差がある）
(A) 標準や評価の条件	1	2
(B) 異動・異進・異動	1	2
(C) 人事配置	1	2
(D) 教育や研修制度	1	2
(E) 業務の仕事（意思決定や企画に関与する等）への配属	1	2
(F) 定例的に	1	2

ワーク・ライフ・バランス（1問）

仕事と生活の両方（ワーク・ライフ・バランス）の両立は、働き手の生活水準を高めることにつながります。事業や行政の両方において、働き手の生活水準を高めることにつながります。

- 非正規職のワーク・ライフ・バランスを推進するために、清瀬市が優先すべき取り組みは何かと思いますか？あてはまるものを3つまで選んでください。
 - フレックスタイム制の導入やリモートワーク、育児休暇などが手厚な働き方を促進する制度の充実を図る
 - 長時間労働を前提とした働き方の見直し
 - 労働時間、労働報酬の削減となる勤務先への転出、自身の労働時間をより利用しやすい職場への転職を促す
 - メンタル健康を支援し、業務負担の軽減を図る
 - ワーク・ライフ・バランスに対する職場の理解促進
 - 労務などに育児・介護休業を取得しやすく、職場復帰しやすい職場環境の整備を進める
 - 業務プロセスの可視化・マニュアル化を進め、業務の異人化対策を推進する
 - その他（自由記述）

2

2026/2/3 現在

【5. 6】は正職員・再任用職員で一般行政職のみ回答

5) あなたがこれまで所属したことのある部署のなかで、所属期間が長い部署について上位3部署を選んでください。

- 1位 _____ 2位 _____ 3位 _____
- | | | | |
|-----------|-----------|-------------|--------------|
| 1. 総務部 | 2. 財務部 | 3. 企画部 | 4. 清瀬市地政局 |
| 5. 市民部 | 6. 経済文化局 | 7. 福祉健康部 | 8. こども未来部 |
| 9. 都市建設部 | 10. 会計管理課 | 11. 消防本部 | 12. 上下水道部 |
| 13. 教育委員会 | 14. 議会事務局 | 15. 選挙管理委員会 | 16. 議会委員会事務局 |
17. その他（ ）

※組織改編等で部署が変わった部署については、現在の部署名を記入してください。

6) あなたがこれまで経験したことのある業務を、次の中からすべて選んでください。覚えていない範囲で構いません。

- 課内の総務業務（課の予算管理、会計年度当分の業務、庶務業務への対応等）
- 市民への窓口対応や相談業務
- 申請や保険料等の徴収、納付処分に関する事
- 臨時の企画立案（計画策定等）、市政の意思決定に関する業務
- 市の財政に関する業務（予算の配分・調整）
- 財政、施設等の管理
- 人事管理、給与支払、福利厚生業務
- 市の産業振興や企業活動に関する事
- 情報管理、システム構築・運用
- 議会事務局、議会運営、選挙管理に関する事
- その他（ ）

3

2026/2/3 現在

評価と能力について（4問）

【Q9. Q付は係長階級、一般職員のみの回答（管理職、再任用職員、会計年度任用職員は除く）】

- あなたは指導者としての役割についてどう感じますか？（いずれか1つ選択）
 - 管理職（課長階級以上）まで昇進したい
 - 係長階級までの役割でよい（管理職は望まない）
 - 昇進したいと思わない
 - その他（自由記述）
 - 分からない

【Q9で「係長階級までの役割でよい（管理職は望まない）」「昇進したいと思わない」と回答した方へ】

- 10) 管理職や昇進を望まない理由は何ですか？あてはまるものを3つまで選んでください。
 - 責任・判断が重くなるから
 - 部下の指導・評価など人事管理が負担だから
 - 仕事量や調整業務が増え、長時間労働になりそうだから
 - 報酬・待遇が見合わないと思うから
 - 現在の業務（現場・専門）を続けたいから
 - 仕事と家庭（育児・介護等）の両立が難しくなりそうだから
 - 女性管理職が少なく、管理職のイメージがわからない
 - 管理職に必要な能力・適性に自信がないから
 - 健康・体力面で不安があるから
 - その他（自由記述）
 - 特に理由はない

11) あなたは、現在の担当業務において、これまでの知識や経験、自身の強みを十分に活かせていると思いますか。

1. できている
2. どちらかと言えばできている
3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばできていない
5. できていない

【Q11で「4. どちらかと言えばできていない」「5. できていない」と回答した方へ】

- 12) どのような時に、これまでの知識や経験、自身の強みを十分に活かせていないと感じますか、書いてくれる範囲で構いませんので、具体的な場面をお書きください。

4

【Q13-15 は正職員・再任用職員のみ回答】

女性の管理職・審議委員会等について（3問）

※女性管理職の定数は、組織により異なるものがある。意見決定の権限がなくても、専任中心の職務に就く場合も再任用（再任用）が認められる場合がある。また女性管理職の定数は再任用も含めて記載している。

- 13) 市職員の女性管理職（課長相当職以上）登用について、市では令和6年度までに定数と目標を掲げていますが、令和6年度時点で16.2%（管内平均15.0%）と目標を達成できていません。課題として考えられるものは何だと感じますか？

- 14) 審議会等（法に基づいて審議や意思決定を行う）への女性委員の登用率について、市では令和6年度までに40%以上から男女立派登用率を目標に掲げていますが、令和6年度時点で28.3%（管内平均19.0%）と目標を達成できていません。女性の審議会等登用について課題として考えられるものは何だと感じますか？

- 15) 本市では「両市審議会等への女性委員の登用促進用件」に基づき、委員への女性登用を進めていますが、効果的な取組みや意見等があれば教えてください。

回答欄

ハラスメントについて（3問）

- 19) あなたは職場で、以下のハラスメントを受けたこと、または身近で見聞されたことはありますか？

Table with 5 columns: 受けたことがある、受けたことはない、見聞したことがある、見聞したことはない. Rows include Power harassment, Sexual harassment, Harassment related to promotion, Harassment related to work environment.

【Q19で、受けたことがある、見聞したことがあると回答した方へ】

- 20) あなたはハラスメントを受けた後もしくは見聞した後、誰かに相談しましたか？

- 21) ハラスメントのない職場環境を実現するために、さらに推進していくべきと考えられるものはありますか？

育児休業（3問）

- 16) あなたはこれから先、子育ての機会があれば育児休業を取得したいと思えますか？

【Q16で「2、可能であれば取得したい」「3、取得には抵抗がある」「4、取得を取得するつもりはない」と回答した方】

- 17) そのように思う理由は何ですか？主なものを3つまで選んでください。

- 18) あなたの職場の部長や部下、上司が育児休業を取得するとしたら、どのように思いますか？

Table with 5 columns: 自然の権利だと思う、お互い様だと思わない、理解しているが仕事が終わるまで休めないか気になる、仕事が終わるまで休めないか気になる、分からない. Rows include Manager/Supervisor, Others.

- 5. 働き方に関する情報の提供
6. 人事担当部門との連携強化
7. 若い人材を育成して支えるような職場環境の整備
8. 平等や男女が築いた職場の解消
9. 定期的な人事研修
10. 業務内容や人員配置の再見直し
11. その他

【Q19でQを答えた方の多様性への理解について（4問）】

- 22) あなたは、性の多様性を尊重する取組としてどのようなことが必要だと思いますか。（〇はい/×いいえ）

- 1. 市民に対する啓発
2. 幼少期からの教育
3. 相談窓口の整備
4. 社会制度（差別禁止など）の整備
5. 社会環境（トイレ・更衣室など）の整備
6. 教育現場における理解促進
7. 行政機関や関係者に対する啓発
8. 企業などに対する啓発
9. 同性同士のパートナーであることを証明する行政の証明書などの発行
10. その他
11. わからない
12. 必要なのはなし

- 23) あなたは、性の多様性に関する次の言葉をどう感じますか。当てはまる選択肢（番号）を選んでください。（〇はそれぞれ1つ）

Table with 5 columns: 悪いこと、いいこと、どちらでもない、よくない、よくない. Rows include Diversity for social realization, Diversity for partnership.

- 24) あなたは、家族や友人など身近な方から性的少数者（セクシュアルマイノリティ）であることを受け取られたとしたら、どのように感じますか。（〇は1つ）

- 1. 理解したいと思う
2. 応援したいと思う
3. いままで通り接する
4. 距離を置きたいと思う

- 5. その他に知らないと思われる
- 6. 一部の人手でのことで、身近な問題ではない
- 7. 趣向がある
- 8. その他()

- 2.5) 調査書では「性の多様性を尊重する職員ハンドブック」を作成しています。このハンドブックについて知っているまたは、読んでいたことがありますか。
- 1. 知っており、読んだことがある
 - 2. 知っていたが、読んだことがない
 - 3. 知りなかった

「性の多様性を尊重する職員ハンドブック」のダウンロード先
 〒100-8501 東京都千代田区千代田1-1-1 東京都庁本庁舎 5階 男女共同参画課

差別等の認知について (1問)

- 2.6) 次のあげる法令・条例や指針について知っていますか？

項目	認知状況				
	全く知らない （0）	知っているが 詳しくない （1）	知っているが 詳しい （2）	知っているが 詳しい （3）	知っているが 詳しい （4）
ア) 男女共同参画社会基本法	1	2	3	4	
イ) 女性活躍推進法	1	2	3	4	
ロ) 東京都男女共同参画推進条例	1	2	3	4	
エ) 東京都男女共同参画行動計画	1	2	3	4	
オ) アンコンシヤス・バイアス（「無意識の思い込み」や「無意識の偏見」のこと）	1	2	3	4	
ホ) フロントダー（世間によって作り上げられた「男らしさ/女らしさ」という概念）	1	2	3	4	

国が定める参画行政に関する自由意見

- 2.7) 職場における男女共同参画あるいは調停が進める男女共同参画施策について、ご意見ご要望があればご記入ください。

**浦添市男女共同参画に関する
市民・事業者等の意識と実態調査報告書
(令和7年度)**

令和8年3月

浦添市 市民協働・男女共同参画課

〒901-2114 浦添市安波茶二丁目3番5号

Tel:(098)874-5711